IS~Friend~

madoka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

【小説タイトル】

IS~ Friend~

【スコード】

N3974S

【作者名】

m a d o k a

【あらすじ】

一夏に気の置ける友人

である) (男性心理を理解してあれこれフォローしてくれる、 ただし女の子

がいたら?。

というコンセプトでお話を書いています。

スラップスティックコメディでシリアスはほぼ無しです。

寮の自室のドアを開けたらルームメイトが男に押し倒されていた。 しかもルームメイトが身につけているのはバスタオル一枚。

合意か?合意の上なのか?

それともレイプか?レイプなのか?

完全に凍りついた二人を見下ろし、 暫し沈思黙考。

る)。 私は、 右手でピースサイン (もちろんそれは2時間を意味してい

始 曖昧な笑みを浮かべ、ひらひらと左手を振り、 出ることにした。 そのまま後退を開

つまり部屋を

わぁ

・待て誤解だ!」

ムメイトを押し倒している男...織斑ー夏が叫んだ。

とにした。 とりあえずルームメイト... 篠ノ之箒さんに、 服を着ていただくこ

織斑氏には事情を聞く。

で篠ノ之さんに確認を取る。

ヤワー まぁ ルームを出る癖を直すべきかな」 なんだね、 女同士で住んでるとは言え、 バスタオルだけでシ

「す、すまない...」

え で、 問題は織斑君の部屋がココに割り当てられちゃったことだね

プだからな。 山田先生は天然というか、 結構抜けていうか、 まぁそういうタイ

おっぱいはおっきいんだけどねぇ

るべきだよね。織斑先生みたいに。 正直男が生徒になったんだから。 もう少しカッチリした格好をす

あー でも似合わなさそ...

そんなことを考えながら、 端末を操作し、 山田先生に連絡を取る。

『え゛!じょ、冗談ですよね?』

すし 「残念ですが、 事実です、 現に織斑君はこの部屋のキー、 持ってま

『ど、どうしましょう?』

元代表候補生のはずなんだけどなぁ、 なんで生徒に相談するの?バカの子なの? この女性。

は あ 」

 \Box

はいはい、 それより織斑君の部屋を直ぐに用意してください、 先

生

『う゛実はですね...直ぐには無理なんですぅ』

は あ ?

泣きそうな山田先生を問いただすと。

が有り、 のだ。 なんでもこの一年生寮の空き部屋は、 つまりインフラが整っていないため、 水道管やら電気配線に問題 使用できないそうな

と漏らしてしまった所、 そんなもん春休みの内に終わらせとけや、と思い、実際にボソリ 山田先生はぼろぼろ泣き出した。

ことにした。 背後に非難の視線を感じるが、ちっと舌打ちし、 通信を打ち切る

泊めます」 とりあえず今日はどうにもできないでしょうし、 今夜は織斑君を

「「なっ!」」

『そーゆー訳には!』

「山田先生、"僕"が居るから大丈夫ですよ」

のか、 含みを込めてそう言うと、 山田先生は納得したようだ 私の個人的な事情を思いだしたくれた

嶋野さん』 はい。 じやぁ、 すいませんがよろしくおねがいします。

· 「えつ!」」

つ た あっさりと山田先生が納得したことに後の二人が驚く。 おおハモ

仲がいいねぇ二人とも、 息がぴったりあってるよ」

篠ノ之さんもまんざらではなさそうだ。 二人をからかうと、織斑君は「まぁ幼馴染だからな」と言い。

はいはい、ご馳走様。

「いや、そうじゃなくてだな」

「そうだ!男女7歳にして

「は」い、 はいはい。 じゃぁどうする?廊下かロビーで寝るかい?

織斑君」

う...

私は二組だが、 昼間の騒ぎは見ている。

能性が有る。 そんなところに居ようものなら、 朝には身包み剥がされている可

お前ェ?」

まぁそれはそうだが...お前はいいのかよ」

なら気心の知れた幼馴染の所にご厄介になるのは有りでしょう?」

「そういえば自己紹介してなかったか。 あ、すまん...だけど俺、 おま、いや貴方の名前を知らないし シマノカオル。 シマはやま

どり嶋、 ノは野原の野でカオルは井上馨の馨。 よろしくね織斑一夏

くん

「えーと名前でいいか?」

要求します」 理由は無いね。 「知り合って1 時間も経っていない君に、 嶋野" さん" とさん付けで呼 (べやデコ助) ぶ事を ファー ストネー ムを許す

「はい…」

篠ノ之さんは是非名前で呼んで頂戴。 私も箒さんとお呼びしたし

たいし」

「う、うむ... 善処する」

視無視と。 なにやら織斑君が恨みがましい視線を送っている気もするが、 ルームメイトと苗字で呼び合う問というのは少々...ねぇ? 無

「で、嶋野...さん。貴方は嫌ではないのですか?男が一緒の部屋で

も

「うん。まぁ平気かな」

「なんでだよ?」

さてどうしたものか...

「二人はISというのを知っているかい?」

/ (゜ロ/) (/ロ゚)/

. はあ?」

「 何を...」

勿論、 インフィニット・ ストラトスのことじゃないよ?」

「一体...あ、もしかして」

へえ織斑君は案外物知りなんだな。

だったのさ」 「そう、 i n t e r s e Χ u a 1 : " **僕** はつい数年前まではそう

intersexual…通称ISとも。

医学的には性分化疾患。

者。 色々言い方や症状はあるけども、男でも女でもなく生まれついた

に養子に入ったんだ」 「私は小学校に上がる前に両親を亡くしていてね、 遠縁の嶋野の家

ようは無い。 死んだ両親が、 どんな思いで自分をISとして育てのかは、 知り

なるようにするものなのだそうだ。 普通は生まれて直ぐ、 あるいは子供のうちに、 どちらかの性別に

だが、何も告げず、何も残さず、両親は逝った。

だから自分がISだとは知りもしなかった。

自分は"男"だと信じて生きてきた。

ことでISに触れたら、 ところがぎっちょん。 ISが反応した」 中学校に上がった直後だね。 ちょっとした

「それって...」

ってことが判明したわけ」 そう、 君と同じだね。 で上に下にの大騒ぎの結果、 自分がISだ

僕の場合は遺伝子レベルでは正真正銘の女の子なのだそうだ。 つまり染色体はXX。

したわけさね」 でまぁ 女性化手術をして、女の子として生きていくことを決意

:

から。 なにせISの出現以来、 何かと女性の方がトクなのは事実なのだ

からね、 「とはいえねぇ、 そうは上手くいかない、色々と苦労も多いんだよ?」 物心ついてから十年。 男として生きてきたわけだ

らねえ を志願したわけだけど、それはつまり女子学校に通うってことだか IS学園の入学を考慮して、中学からいわばIS学園受験コース

「色々大変だったんだな」

が上でしょう?織斑君..世界で唯一の男のIS操者さん」 その一言で済むレベルではないけどね、 ま大変さ加減では君の方

Ξ΄

居るのは、 「まぁでも、 ちょっと嬉しいよ」 **僕** としてはこの女の園に、 精神的な意味で同性が

すいと右手を差し出す。

「私と友達になってくれるかな?織斑一夏君?」

正真正銘、 これは彼にとっても悪い提案ではないはず。 女の園に迷い込んだ男としては、 多少なりとも気心の

知れた友人ができるのは、 中学校時代の苦労を知ってる僕が言うのだ、 楽なはずだ。 間違いは無い。

こちらこそよろしく。 で名前で呼んで良いか?」

彼がこちらの手を取り、 友情のシェイクハンド。

うから」 「もちろん、 何ならあだ名でも結構だよ、 僕も一夏と呼ばせてもら

おう、よろしくな馨」

そう言って一夏をシャワールームに追いやる。 あと君汗臭いよ、 心は兎も角、 おっとそれ以上の接触は禁止だ一夏。 私の体は貧相とはいえ女の子なんだからな。 シャワーを浴びてきたまえ。

:

ノ之さんの横に座る いまいち事の成り行きについてこれず、 まるで空気の様だった篠

っさて箒さん」

なんだ」

おや尻一つぶん横に逃げた。

今までの話を総合して、今夜はどうしよう?」

さんに囁きかける。 再度横に座り、 (なにせ元男の子なので) ハスキーな声で篠ノ之

「どちらが一夏と一緒に寝るかってこと」「どう...とはなんだ、どうとは」

ぼんっと篠ノ之さんが紅くなる。 かわいいねぇ

「箒さんが一夏と寝る?」

ばっ!ばかを言うな!男女は

じゃぁ " 僕"と寝る?悪いけど精神的な意味では、 僕は男だよ」

₹ :__

それとも... 私"が一夏と寝ても良い?」

それはだめだ!」

おやおや

じゃぁ箒さんは私と一緒に寝るってことで」

· いっ 一夏を床に寝かせればいい!」

それはちょっと可哀想だと思うよ?」

やぁやぁこんなナイスバディの美少女と同衾たぁ、ラッキーだねぇ 一夏さまさまだ

そんな訳で夜。

ると... テル並にベッドが広い。これ以上からかったり、 さすがにIS学園の寮、二人部屋だというのに、 必要以上に密着す ちょっといいホ

ることができる。 ぶっちゃけ殺されそうなので、箒さんとは適当に距離をとって寝

ま、しかしあれだね一夏は鈍感だねぇ。

箒さんもこりゃぁ苦労しそうだ。

消灯時間にはなったが、 まだ早い時間だ。 小学生じゃあるまい

こんな時間には眠れない。

そんなわけでつらつらと世間話をする。

極力発言を控え、 数年振りに再開した幼馴染の会話の邪魔をするの野暮だし、 話を振られた時だけ、 返事をする。 私は

へえ馨は、 研究者志望なのか」

い、特に一夏は専用機、 「うん、進級したら整備科にいくよ、 配備されるんでしょ?」 二人とも是非頼ってちょ だ

「ああ、 そうらしいな」

おい、 ちょっと近いぞ馨」

いいじゃん...女同士なんだから」

お前、 心は男だと、言っていたではないか」

はあはあ、 第タン良い

匂いだよいち ごふっ!」

みぞおちを!みぞおちをぉ

男が横で寝てんのに、慎みがたんねぇぞ馨」

「このおっぱいがいけ ぐぅぇ」

あ、そこはらめええええ おにんにん無くても股間どつかれるとのは痛いのよ箒たーん。

暗転

(, 口() (/口,) /

SIDE:箒

まったくなんだこの生き物は!

こうなったら私が慎み深い女性というものをきっちり教え込む必

要が有るな!

:

...む、それは何かまずい気もするな。

...気のせい、気のせいだ

なんか色々有りすぎて疲れた一日だったけど。

箒にも再開した

ちょっと変な奴だけど、友達も出来た。

たしかに女だらけの中に、男心を知ってくれて奴が居るのはあり

がたいな。

組が違うのが残念だけど。

二組なら合同演習も多いらしいし、 問題ないだろ。

.. ふぁ、寝るか

ルームメイトが・・・(後書き)

このオリキャラはあくまで二次元の生き物ということでご理解下さ 現実ではいろいろと大変でありますが ISに対しなんら含むものはございません。

クラス代表決定戦にまつわるアレコレ・前編

聞いたよ一夏、 オルコット嬢にケンカ売ったんだって?」

人の世界だな。 おやおや見せ付けちゃって、周囲の視線が集まってるが...ありゃ、 なにやら箒さんと手を握りながら一夏がやってきた。 昼食を摂る生徒で賑わうというよりはもはや混雑する学園の食堂。

で開口一番がさっきのセリフだ。 空いている席を探してきょろつく二人を手招きする。

「もう知れ渡ってんのか」

んだい?」 学園中にね。 でなんだって一夏は箒さんの手を握ってご飯に来た

「それはな…」

と、一夏がコトの次第を説明する...ふぅん。

「気持ちはわかんないでもないけど、 ちょっとお節介じゃないかな

?

「それは!」

だいたい、 友達ならもう一人いるじゃない?ねー箒さん

誰のことだ」

うわっ、ひどっ-

酷いや箒さん..昨日は」

緒に寝た仲なのに...と続けようとしたら、 ものすごい勢いで睨

まれた、 漫画なら「ぎんっ!」とかいう擬音が付きそうなレベルで

それよりさぁ、 ISのこと教えてくれないか?このままだと来週

下らない挑発に乗るからだ、馬鹿め」 何も出来ずにコテンパンにやられるだろうねぇ、 相手が悪いよ」

それいったらおしまいでしょ... 箒さん

. 私は手伝うよー夏」

「おお!いいのか?」

「友達だろ?僕たち」

ま、待て!ここは幼馴染である私が!」

あ あっさり食いついた、 ちょろいなぁ箒さん。

「二人ともありがとう!助かる!」

「…くっ」

怖いから睨まないで下さい。

「今日の放課後」

ん?

剣道場にこい、 まず腕がなまっていないか確かめる」

「いや俺は」

いいんじゃない、 フィジカルの方は箒さんにお任せするよ」

、よし、決まりだな」

'いや、俺の意見は...」

しーらないっと

ふっ

おかえり」

た ただいま...」

なんて格好をしてるんだお前」

散々箒に竹刀でぶったたかれ、ふらふらしながら部屋に戻ると、

馨がカロリー 格好は肌襦袢一枚だが、さっぱり色気がない。 イトを咥えながら、端末を弄っていた。

まぁ仕方ないんだろうけど。

そんな馨に、 箒がわなわなと震えている。

昨日箒さんが着てるのみてまねっこ、どう似合ってる?」

カオルはカオルでも由 かおるだったら良かったのにな」

・・親父ギャグとか最低」

死ね馬鹿」

場を和ませるジョー クのつもりだっ たんだよお

で一夏の腕前はどうだったの?箒さん」

「話にならん」

訓練機の貸し出し申請出しても月曜には間に合わないし」 あらまー、とにかくそっちの特訓は箒さんにお任せだね、

「そうなのか?」

間でも多くISに乗ったほうがいいけど、 「金土日と自主練したい先輩方の予約で一 杯だったよ、本当は一時 しょうがないね」

輩は余念がないよ」 馨曰く「五月にはクラス代表同士の交流戦あるしね、 さすがに先

र :

なクセでもつけるとまずいかもしれないし、 一夏は専用機持ちになるんだし、下手に量産機に乗って、 いいんじゃない」 変

「そんなもんか?」

議といこう」 「そんなもんじゃない?とにかくご飯食べて、 お風呂までは作戦会

まぁ、 半纏を羽織った馨はそう言って寮の食堂へと向かう。 お任せするか... 俺達三人の中では、 明らかにコイツが一番頭良いみたいだ

現時点での一夏の勝率は1%未満、 そこはいいかな?」

「 はっきりいうな...」

った一般人。 君はIS稼働時間一時間未満の上に、 つい先日はただの中学生だ

補生、下手な自衛隊員よりも訓練をしてる。 対してオルコット嬢は、 専用機のテストパイロットである代表候

君が負けて、当たり前じゃない、普通な0%だよ」

「ぐっ…」

「君に僅かながら勝機があるのは、まず君の専用機がまだ完成して

いない未知の機体であること。

ゆえの予想にもつかない行動がラッキーヒットをかます場合。 たとえば開始と同時につっこんで、まずオルコット嬢のおっぱい 君が素人であるがゆえの、ビギナー ズラック・・ ひでぶっ!」 ・というか素人

と思うぞ。 馨は俺ほど頑丈じゃないから竹刀で叩くのは止めた方がい 11

イタタタ... 結構有効な策だと思うんだけどね」

「真面目にやれ」

して、 するよ」 はい... さてフィジカル面でのトレーニングは箒さんに一任すると 私の方はどうやってオルコット嬢と戦うか、 そのお手伝いを

ることから、孫子曰く まずはオルコット嬢とその専用IS【ブルーティ アーズ】 に関す

『敵を知り、己を知らば、 百戦危うからず』 か

るデータを殆ど集められないからね、 そゆこと、さっきもいったけど、逆にオルコット嬢は一 その点では有利だ」 夏に関す

「ふむ、利に適っているな」

ど、現状で一夏の取れる戦法はあまり多くない、 近接戦闘を取るしかない。 や面制圧ができるなら兎も角、点射や狙撃は素人には無理、だから 「次は『己を知る』だね、まだ一夏のISは届いてないみたいだけ 射撃兵装は.. 牽制

かもね」 そういう意味では箒さんに剣の稽古をつけてもらうのはいいこと

出す。 馨は一枚のデータディスクを端末に差し込み、 動画を画面に呼び

そこに映し出されたのは・・・

これは!」

暮桜】の兵装はたった一本のブレードだけ。 第一回モンドグロッソ。 織斑先生の戦闘映像だよ、 色々参考になるよ」 先生のIS【

「このデータディスク山は」

あとオルコット嬢のデータだね」 半分は織斑先生の、残りはISの空戦機動の戦技教本デー

`どんだけあるんだよ...」

夜は寝かさない 「実際に動いて覚えられないんだ、 ひでぶっ ! 見て』 覚えるんだよ。 ふふ今

精一杯色っぽい感じで俺に迫ってきた馨に箒のつっこみが入る。 だから竹刀はやめとけって

当たり所が悪かったのか、 馨がふらふらと殴った箒に寄りかかる。

ちょっ!どこに触ってるんだ!離せ!離さんか!」

ふかふかおっぱい...」

おい一夏!こいつを引き剥がせ!」

お前が殴ったんだろう、介抱してやれよ」

千冬姉の映像に心奪われている俺はそちらも見ずに適当に答える。

「くっ離せ!というか触るな!顔を押し付けるな!動かすなぁぁぁ

何か破滅的な音がしたが俺は気にしないことにした。

クラス代表決定戦にまつわるアレコレ・ 中編 (前書き)

巻頭付録

オリキャラのスペック

·嶋野馨

名 前

年齡 :16 (実はダブリ)

性別:女性(IS・男性として1 0年以上生活)

身長:175cm

体重:ないしょ!

3サイズ (推定) B : 8 1 (AA) W 6 7 H 8 6

一人称:私(普段、 女性を意識した場合)僕(男性を意識した場合)

が混在

IS適正:C

特記事項:IS、精神的には男性の意識が強く、専用IS:なし 変態的な言動(特

に乳への感心が大)が多い

IS操縦者としては並み (よりやや下) 研究者志望であ

ıΣ 二年次には整備科へと進む予定

家族構成は両親、 祖母(兄(ただし養子のため義理の関

係)

クラス代表決定戦にまつわるアレコレ・中編

まだ首が痛い、もう箒たんたら照れ屋さん

「いい加減にしないとホントに殺されるぞ」

はは、 良くないけどね あのおっぱいを堪能できたのだから、 もう死んでもいいよ

アーズ】のスペック」 「それはさておき、これがオルコット嬢の専用IS【ブルー ティ

箒さんは入浴のため大浴場へ赴いて不在。

できれば私も男子禁制のパライソへと赴きたいけど...

端末を操作し、 時間も惜しい(箒さんが怖い)ので早速勉強に移ることにする。 モニター にブルー・ティアー ズのデータを映す。

すげぇな、どうやって手に入れたんだ?」

しているアリーナに偵察にいって、私が修正したモノだよん」 公開されてるデータを下に、 アングルが変なのはそのせいか...」 本日の放課後、 オルコット嬢が訓練

夏が白い視線を向けてくる。 私が撮影した、 訓練飛行しているオルコット嬢の映像を見て、

いいお尻だよね、 白人さんとしてはおっぱいは控えめだけ

ど、 いねえ」 スタイルが凄く良いんだよねえ、 セシリアたんは、 うらやまし

たん言うな...お前はそれしか頭に無いのか」

十代男子なんてそんなもんだよ、 一夏がおかしいんだって」

ゃ ないよね。 あんな美人のお姉さんと二人暮し、そりゃ十代の小娘なんて目じ やっぱり織斑先生と二人暮しだった、てのがいけないのかな? お前体は女だろうって、まぁそうだけどさ、 一夏は淡白だねえ

で止めて置くことにする。 織斑先生ではぁはぁするのは、 まじで生命の危機に直結してるの

く僕が連れ出してあげるからいつでも言ってね」 おかずが必要なら秘蔵のデータを提供するよ、 箒さんは上手

「真面目に頼む」

はいい

あんまり溜め込むと体に悪いよ?

こほん

導兵器「ブルー・ティアーズ」 イルは中距離射撃型。 英国製第三世代IS【ブルー を運用するための機体で、 ・ティアー ヹ 専用装備である誘 戦闘スタ

いはファン でこのブルー ルである。 ・ティアー ズというのは、 ようするにビ Ļ ある

· ぶっちゃけたな、おい」

「この手の兵器はそう呼ばれる宿命にあるのさ」

1 マンでも当然強い。 基本的には「 一体で多数の敵を相手取る」 機体ではあるけど、 タ

かなぁ むしろチームを組んで一体の敵と相対するのが苦手なんじゃない

体だ。 欧州では唯一の島国でハブ気味の英国製らしい、 っちゃらしい機

ようか」 「とりえず今日は撮って来た映像と、 公開されてる映像の検証をし

タが有る、検証には十分だろう。 ちょいとやばい橋を渡ってゲット した映像を含め、 結構な量のデ

を、 しか見えないのが逆にそそる太もも、 私は主に揺れるおっぱいとか、ほぼ丸出しのお尻とか、 一夏は真剣な表情で、オルコット嬢の動きを。 愛でることにした。 つまり「シリチチフトモモ」 ちょ っと

(, 口() (/ 口,) /

おっぱいかんしょ ぎゃー!何をしてるんだ貴様らは...」

目が!目に!指が!

「おう箒お帰り」

、なんだ、対戦相手の研究か」

目への激痛でのた打ち回る私をよそに幼馴染二人は和気藹々と会

話している!

なにこれ!ひどくない?

・ 幾つか分かったことがあるぜ」

「ほう」

゙ おそらくバストサイズは ぎゃー!」

目があ!目があ!

ムスカ大佐の真似してる場合じゃないレベルで目がぁ

パターンだな」 ... まずこのブルー・ティアーズ、 基本的に死角から攻撃するのが

「ISに死角は無いだろう」

てるけど、 たしかにISはハイパー・センサーのお陰で360度視界を持っ 人間の方がそれを処理する上では死角はあるよ」

「ああ、 模擬戦の映像を見ると、そんな感じだ」

ふむ

あと、 セシリアはこのブルー・ティアーズを誘導している時は、

それに集中しているみたいだな、 明らかに動きが鈍い」

目がいいね一夏は、 ないと思わない?」 所でこの腰のくびれからお尻のラインがたま

とうとう無視された...それが一番キツイですっ

/ (゚ロ/) (/ロ゚)/

そんなこんなで日曜日。

いよいよ明日は対戦である。

「今日は休養日にしよう、 一日かけて一夏は今日までの知識を脳に

染み付かせて」

「やってみる...」

ほぼちんぷんかんぷんだろう授業に。

動物園のパンダ並みに女子に騒がれるストレス。

箒さんの地獄の特訓

そして深夜まで続く私との勉強会 寝不足

以上のせいで一夏はもうぼろぼろだった、さすがにこれでは試合

以前の問題だ。

「でいいかな?箒さん」

「構わん、大分マシになってきたしな」

「た、助かった...」

べとりとベッドに倒れこむ一夏、あははキツそうだなぁ

「そうだ、い いものがあるんだ、三人でいこうか?」

「なんだ?」

「じゃーん!」

ルが映っている。 ドラ(もんのように差し出した、携帯端末の画面にはクーポンメ

「スーパー銭湯の割引クーポンか」

. 一夏もでかい風呂に入りた言ってたしね」

「おお...いいな」

「午前中はゆっくり休んで、午後から出よう、昼ごはんも私がいい

店知ってるから」

?」と小声でぶつぶつ言っている。 半ば思考放棄の一夏はただ頷き、 箒さんも「これはデ、デー

あー私ってば空気扱いですかー?

/(。 口/)(/口。)/

だろ 「旨かったけど、 いいのか本当におごりで?さっきの店かなり高い

をいただきました。 まずは昼ごはんということで、 知り合いのてんぷら屋さんで昼食

やー あいかわらずあそこのアイスのてんぷらは絶品だね

夏さん」 「こう見えて私お金持ちなの、お気になさらないでよくってよ?」

「それセシリアの真似か?」

ちがいます。

だ貯金が結構有るんだよね。 実は女性化手術で入院してた時に、 暇つぶしでやったFXで稼い

屋で立ち読みでもしてて」 「さて、私と箒さんはちょっと買い物があるから、 一夏はそこの本

「なんだよそれ、仲間はずれか」

「お、おいそんな話は聞いて無いぞ」

「だって聞かれなかったし~。 しないで済むんだから、僕の配慮に感謝しなよ」 一夏も女性用の売り場で居心地の悪

ッピングモールのとある店へと飛び込む。 いぶかしむ一夏を置き去りにし、ぐずる箒さんの手を引いてショ

な!なんでこんな店に用事が」

「やっほー香月さーん、おひさー

いらっしゃい馨ちゃん、そちらがお友達?」

ルームメイトの篠ノ之箒さん、 昨日のメールの件よろしくっ

.!

「はいはい」

「馨!一体何が!」

ふふ、気にしない気にしない...げへへ

なんだここは」

立ち込める湯気、 柔らかな水の音、 何いってるのさ一夏

「スーパー銭湯だよ」

ここに来るのが目的でしょうが。

何故私は水着を買わされて、着させているのだ」

もじもじしながら箒さんが言う、 ちょっと声が怖い んですが

「 水着混浴スー パー 銭湯だから」

「聞いてないっ!」」

おおハモったね、でも・・

「言って無いも~ん」

クー ポンを用意したスパはファミリー 層をメインにしたレジャー

っぽいトコなんだよね。

けど。 水着着用で風呂ってのは日本人にはちょっと抵抗があるみたいだ

国家NIPPONだね。 こーゆーことに使われる男子のリビドーはさすがはHENTAI まぁ男子の大半が女子にこき使われるようになって数年だけど。 そのせいで居るのは若い子ばっかり!

ちなみに入り口は男女別で体を洗ってから、 水着を着てから浴場

に入りますので。

初見だとだまされるんだよねぇケケケケ

ひゃっ ほー 女の子イパー イ!オパー イ!オシー リーフトモーモー

男?ミエナーイ!

そうか何も見えないようにしてやろう」

え?

グリッ

目がぁ!目がぁ!このネタ三度目ぇ-

まぁ馨の馬鹿は置いといて、 風呂入ろうぜ、 電気風呂に炭酸風呂、

蒸気サウナ・・・色々あるんだな」

「う、うむ」

「なんだ箒もじもじして、ト いてぇ!」

思ってもソレを口にしちゃなんねぇよ... | 夏サン」

この子はデリカシーがなさ過ぎる。

へっへー可愛いでしょう?箒さんの水着、 私がチョイスしました」

「良く売ってたなこんな時期に」

兄貴の友人にブティックしてる女性がいてね、ツテで」

ちなみに箒さんはセパレート、トップスはスポブラみたいなハー

フトップのタンクトップ、アンダー もショートパンツ型。

正直もっとエロイにしたかったけど、ここはあんまりエロイの入

場拒否されちゃうんだよね。

まぁ十分エロイけどね!(。)o彡。おっぱい!おっぱい!

「おい」

「すみません」

すばやくDOGEZAする。 これ以上目潰しは勘弁してください、

ネタ的にも。

でも、良く似合ってるぜ」

うほっ、この女殺し!箒さん真っ赤!

かーわーいーいー

あっー!

小指が!足の小指が!ミシッって!

「馨は...狙ってんのか?」

旧型スク水とかIS学園の指定は軽く逝っちゃってるよね」

指イタイ (;;;) ちゃんと「いちねんにくみ しまの」と書いた名札もあるぜ...小

ちなみにパレオをオプションで着用しています。

脚に自信が無いので。

「ふふっ邪魔はしないから二人で楽しんだらいいじゃない」

てゆうかこれひびはいって無い?すごく痛いんですけど

· お、おいっ!」

スススススと忍者のようにフェードアウト、 がんばれ箒さん、 そ

もちろん離れたとこから見守りますの鈍感男には過剰なアピー ルが大事だよ!

まぁ何にも無かったけどね!

(ちっあのヘタレ共が)

やはり水着に色気が足りなかったな、 夏の臨海学校でリベンジす

るか..

さっそく色々と手配をしておこう。

ともあれ、たっぷりと英気を養い、月曜日を迎えたのです。

: は ?

.....もう一回お願いします、山田先生

.........一夏の専用機がまだ到着してないって?馬鹿な、おっぱい

もみますよ?

あー、どうしよう。

クラス代表決定戦にまつわるアレコレ・後編

「おっぱい揉んじゃダメですよ!」

山田先生。 両手でおっぱいをガードしながら、 開口一番何言ってるんですか

まぁ言わせたのは私だけど。

で、一夏の専用ISはまだ到着しないんですか?」

. はい、もう三日待ってくれと」

はい却下。 『すぐに持って来いこのクズ』と、織斑先生言ってや

って下さい」

断る」

ないでおこう。 うほっ!即答されたよ。こえぇぇぇ、 やっぱ先生は危険だ。 構わ

納期は今日の昼休みまでって話でしたよね?山田先生」

「はい」

「なんでこうなるんです?」

·... なんででしょう?」

質問に質問で返さないで下さい。

馨、 無いもんは仕方ないだろ、最悪放課後の試合までに間に合え

ば

ょ かけなきゃ、 「あのねえ一夏、 タダでさえドン底の勝率が、 初期化と最適化、あと微調整で最低でも一 ド底辺まで下がっちゃう

· そうだな」

ですって! 感心してる場合じゃないですよ先生!貴方の弟のデビュー 戦なん

:

結局昼休み中に一夏のISは届かなかった...

ソレカラヽ(゜ロヽ) (ノロ゜) ノドン

ドコショー

『どうにもならんな』 『どどどど、どうしましょう?』 「こないな」 うむ、こないな」 一夏さん人事みたいに言うのはやめましょう 箒さん納得してる場合じゃありませんよ? 織斑先生は落ち着きすぎです 山田先生はもちついて

なんでボケ役の私がつっこんでるのか?おかしくない?

- はぁ... まさかこのセリフを吐くことになるとはね」
- 「どうしたんだ馨」
- 「こんなこともあろうかと!」

真 さん風に言ってみた。

よ!」 訓練機の貸し出し申請を今日の放課後に合わせてしておいたんだ

ばばーん

ピットのハッチが開き、 IS(訓練機)が登場する。

おおっ

先輩方も今日の一夏VSオルコット嬢に興味があったのか、 予約

で埋まっているということはなかったのだ。

かんぺきぃ! 暇そうな三年の先輩を捕まえて整備もしておいて貰いました。

カオルちゃんたらエクセランッ! (何でフランス語なの?調子に

乗ってるの?)

『手回しがいいな嶋野』

こうゆうことって先生方がやっとくことですよね?ピキピキ

П なんだ?その顔は?』

ない。 管制室にいるからいいけど、 なんでもありまっしぇー ん ! 隣に居たら非常に危険だったに違い ガクガクブルブル

さ 夏は準備して」

お おう

身持ちが固い大和撫子な機体だ、ただその分機動性にやや難があサート借りた機体は純国産第二世代量産機『打鉄』

つ て、この対戦に限って言えば微妙。

他にもおフランス製の『ラファール・リヴァイブ』アメちゃん製

の『ファントム・イーグル』があったけど...

リヴァイヴは、汎用性の高く扱いやすい、できる子だが、今の一

夏は一芸特化なのでやや宝の持ち腐れ。

ファントム・イーグルは、アメちゃんの「白兵ってサムライ (笑)

かよ」思想による火力型だから論外、機動性はグンバツなんだが...

結局白兵戦闘能力が第二世代では群を抜いて高い、 打鉄一択。

在の一夏の実力を考えてコレしかなかった。

そんなご高説を垂れていると、 山田先生の声がピットに響く。

そうですー 『え!着いた?皆さん、 やりました!一夏さんの専用ISが着いた

気まずい沈黙がピッ トを支配した。

O Ζ

『そうです、 一夏さんの専用IS【白式】です』

ピカMSみたいな名前は。 なんですかその某グラサンの大尉(中身は大佐)が乗ってたキン

『織斑、時間が無いさっさと準備しろ』

織斑先生に促され、一夏が白式に乗り込む。

「あれ?」

うんともすんともいわねぇぞ?」

あれほんとだ、待機状態のままだ。 おかしい

ぱってきて早く速く!」 「ってエネルギーがからぁぁぁぁぁ!箒さん!そこのケーブルひっ

「お、おう!」

『あれー?』

あれーじゃない!どうなってるんですか!

あわててエネルギーの充填を開始すると、 ようやく白式の初期起

動が始まった。

あれ... エラーメッセージしかでないんだけど」

は?

なにこれ!パラメータがぐちゃぐちゃ なんですけどー

責任者でてこーい!

『はわわわ』

『ふむ、急がせすぎたか』

何を呑気な!

「AIC値再取得、 CN... だめだ応答なし、スラスタ出力... 爆発さ

せる気か!」

「おお... なんかすごいな」

とにかく初期化すら始まらないのは大問題だ、手動で修正してや

るしかない。

OSをいじくる。 空中投影ディスプレイとキーボードを呼び出し、 超特急で白式の

゚はわわ、うわ嶋野さんすごいですねぇ。

「はわはわ言ってないで山田先生も手伝ってください、 セクハラし

ますよ」

『はひっ!』

だいてやるー くそっ !絶対どさくさに紛れて、 あのけしからんおっぱい揉みし

よ!』 『どうなっていますの!?とっくに試合の開始時間は過ぎてますわ

きっ !やかましい!オートミールでも食ってろ!

 \neg 私の不戦勝ということでよろしいのかしら!?』

マンスってものを知ってるな。 まずい見物人達がざわついている、 さすがに代表候補生、 パフォ

これでは一夏が臆して逃げたという印象が付いてしまう。

あとどれくらいかかる?」

ごめん、どんなに頑張っても10分はかかる」

パーだ。 一夏の表情にも焦りが浮かぶ、 このままじゃこの一週間の努力が

私が...時間を稼ごう」

なっ

第?」

うとしている。 いつのまにかISスーツに着替えてきた箒さんが打鉄に乗りこも

無茶だ箒さん、 そいつは一夏用に微調整してある」

ど人間が出来ていないんだ」 問題ない...私は幼馴染を侮辱されて、 平気な顔をしていられるほ

第:

一夏の表情が歪む。

前でクラス代表決定戦だ」 「なんて顔をしてるんだー 夏。 あの女など軽く捻ってやる、 私とお

:

静かに、見詰め合う二人の視線が、絡む。

・ 頼 む」

万感の思いを込めて一夏が言った。

箒さんは笑って応えた。

まぶしいまでの

今まで見た中で最高の笑顔だった。

任せろ」

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

「えーと、いいんでしょうか?織斑先生」

一番強い奴がクラス代表、 わかりやすくていいではないか。 それ

ガキが一人前に"女"の顔をしおって、生意気な。

クラス代表決定戦にまつわるアレコレ・後編 (後書き)

次回「クラス代表決定戦!」に続く (ちょっと短いのですが、キリが良かったので、ここで続く)

火力型という設定は某オルタの米国製戦術機の設計思想からアイデ 名前はF・4とF・15のペットネームから。 ィアを拝借しました アメちゃん製IS【ファントム・イーグル】は作者の妄想です

クラス代表決定戦・完結編

一夏とセシリアのクラス代表の座を賭けた決闘。

当事者である一組はおろか、 上級生までもが見物に集まったアリ

ーナはざわついていた。

試合開始時間になっても一夏が現れないのだ。

そこに目をつけたセシリアが煽る、 たいした女優ぶりだ。

そして決定的な崩壊の直前、ピットから一機のISが飛び出して

きた。

だがそのISを纏っていたのは一夏ではなく...

あら、篠ノ之さん、何の用ですの?」

この状況で説明が必要か?」

箒のセリフを如何にとったのか?

セシリアはひどく冷めた表情を浮かべて、 言い放った。

・最低ですわね」

「誰がだ…」

. 言わなくては判りませんの?」

いい度胸だ」

公然と想い人を侮辱された箒が、 静かな怒りを押し殺し、 獲物を

解放する。

IS用の近接刀、 打鉄に標準インストー ルされているそれは、 日

本刀を模したものだ。

もちろん通常の日本刀の製法、 素材で造ったのではなく、 あくま

で模したものではあるが、 それは箒の手によく馴染んだ。

武器の相性というものもご存知ないのかしら!」

一方のセシリアが手にする長大なレーザーライフルが火を吹く。

「ぐっ!」

装甲の一部が吹き飛ぶ。 とっさに回避行動を取ったものの、 左肩の装甲を掠めた一撃で、

さすがにガードに定評のある打鉄、 ものともせずに、 箒が前に出

譲れない女同士の、 壮絶なバトルの火蓋は切って落とされた。

ナンカシリアスジャネ?(゜ロヽ)(/ロ゜)

オレラバチガイダナ

・ 馨まだか」

シリアに一太刀として浴びせる事はできないでいた。 あれから約10分、 箒はよく攻撃をしのぎ、善戦していたが、 セ

武装の相性以上に、打鉄の動きが鈍いのだ。

それが裏目に出てしまっているのだ。 た一夏のデータに合わせて、 馨にしてみれば予想通りの結果だ、 あの打鉄は微調整して"しまった"、 事前に取らせておいてもらっ

芸者なのかもしれないが、それは一概にISでの強さには直結しな さらに言えば、 箒は生身ならば、全国大会で優勝するレ ベルの武

とはいえ当の馨はそれどころではない。

「…どうしてここでエラーが!」

のに、一向に白式の初期化が始まらないのだ。 超特急とはいえ、 ほぼ問題無いレベルでOSは調整できたはずな

馨は床をガンガン蹴りつける、 地団駄を踏むという奴だ。

「全パラメータは正常値に書き換えた、 のにいいい」 もうエラーを返す理由は無

頭にきたのか、 白式を思い切り殴りつけ始める馨。

お、おい!古いテレビじゃないんだぞ!」

どこか! 接触が悪い!ということも!有るには!有るんだよっ!

P i

· · ·

「よしっ!」

会心の一撃!とばかりにガッツポーズを取る馨。

さぁ一夏!颯爽登場で箒さんを助けに言って!」

「…おう!」

に送られてきていた。 正常起動を果たした白式からはアリー 色々と釈然としないものが有るが、 一夏がピットの先へと進む。 ナでの戦闘データがつぶさ

もう箒は限界のようだ。

「ああ、行って来る!」「いいから早く!」「サンキューな馨!」

んだ。 アリー ナへと一夏の姿が消えると同時に、 馨はその場にヘタリ込

「つ、疲れた…」

ご苦労だったな嶋野、 戻った篠ノ之を連れてお前も管制室に来い。

NOと言わせない口調で織斑千冬は馨を呼びつけた...

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

「口だけですわね!篠ノ之さん」

くう...」

りを破壊されたため、 シールドエネルギー残り21、 まともに飛べないことだ。 実体ダメージは中破、 問題は足回

「ではサヨナラですわ!」

ザー・ライフル、五門の銃火が容赦なく箒を襲う。 セシリアの周囲に集まった四機の「ブルー・ティアーズ」とレー

も地面に叩きつけられた。 四発目は右肩のアーマー を完全に破壊する、その衝撃で箒は無様に ままならぬ打鉄を駆り、一発、二発と回避するが、三発目が掠め、

シールドエネルギー残7、そして回避不能を告げる、 無情の警告

つ!

だが

その一撃が箒を貫くことはなかった。

· ふぅ、ギリギリセーフ」

い、一夏!」

・ 大丈夫か?箒、遅れてすまねぇ」

射線に割り込んだ一夏が箒を庇ったのだ。

その代償として、 白式はかなりのシー ルドエネルギーを消耗した

が、一夏は気にしていなかった。

劇的な登場にアリーナの観衆から黄色い声援が上がる。

なにせ皆が夢見る十代の乙女達だ、 ヒロインのピンチに颯爽と登

場する王子様、にしか今の一夏は見えない。

そんな観衆の声も聞こえない者が約二名。 そしてもう一人はセシリアだった。 一人は助けられた箒。 まぁこれはいわずものがでろう。

(接近をまったく感知できませんでしたわ...今のは 『瞬時加速』

そんな馬鹿な... ISの搭乗時間が一時間未満のド素人が?

ちょ いとマシントラブルで遅くなった、スマン」

:

一夏の言葉に、セシリアは無言、 その瞳に憎悪を込めて、 一夏を

睨む。

セシリアは男が嫌いだ。

それは婿養子であった父の情け無い姿が、強烈なトラウマとなっ

ζ セシリアの精神を形成しているからに他ならない。

ISの普及とあいまって、世界を蔓延し始めた、女尊男卑の傾向

が、それを決定的にしてしまっていた。

れない。 セシリアが成長し、 大人となれば、 あるいは何か違ったのかもし

だがセシリアの成長を待たず、 両親は事故で逝った。

゙認めませんわ...」

小声で呟いた、 セシリアは箒戦では使わないで居た、 もう二基の

「ブルー・ティアーズ」を分離させる。

全力で叩き潰す。

男など、 弱くて、 情けなくて、 格好の悪い生き物で良い。

専用機を纏い、素人に有らざる才能の片鱗を見せ付ける。 今眼前にいる男は違う、 幼馴染の少女を庇い、なんの努力も無く

シナクテハナラナイ。 コンナコトハミトメラレナイ、 ゼンリョクデコノオトコヲヒテイ

セシリアは無言でトリガーを引いた。

オイシリアスマダツヅイテッゾへ _ \)

П **ノダイダイナンデサンニンショウヨ?**

すか?」 「えーと、 一年二組、 嶋野馨、 参上しました、 もう帰ってもいいで

「 座 れ」

はいこ

じっとモニターを凝視している。 箒さんの方は疲労困憊しているのと、 モニターを見れば、 なんですかコレ。 一夏とオルコット嬢が激戦を繰り広げている。 一夏が心配なのか無言。

「まぁご苦労だった、これでも飲め」

すが、 おおコーラですか、 炭酸はちょっと。 確かに頭脳労働直後で脳は糖分を欲していま

「安心しろ、ちゃんと炭酸は抜いてある」

どこのグラップラー ですかあなたは? この人は読心能力でもあるのだろうか? いえ何でもありません。睨まないで下さい。

るとか、 「...まぁよかろう。さて嶋野、 作戦を考えたのは私ですけど、 『瞬時加速』...入れ知恵したのは貴様か?」 一夏は本番に強いタイプなんですねぇ」 個人端末を出せ、よこせ、 まさかぶっつけ本番で一発成功す

た白式のデータは没収する」

従わねば殺す、そんな感じの口調で宣告された。

好奇心は猫を殺すぞ」 白式のアレは立派な妨害行為ですよ?手口から犯人を

先生に殺されそうです。

「はい…」

しぶしぶ、端末を先生に差し出す。

ちえー。

`...ついでにコレも消しておくか」

データ! それは!先生が現役だったころの、 ちょっとエロいグラビア

らめぇ!消しちゃらめぇ!複製制限付きのプレミアデータなのぉ! あっー... Orz

先生酷いわ!横暴!」

山田先生の分も消そうか」

先生の下僕になります、だからそれは勘弁してください」

ジャピングDOGEZA!

 \neg 何処で手に入れたんですかぁ!織斑先生、消して!消してくださ

あっ !あぁん..Orz

山田先生まで、だめぇ!それは貴重な水着のデータなのぉ

ぁ

がコレなんてぇ (血涙) 酷い、酷すぎる...一夏のためにあんなに頑張ったのに!その報い

お前はその情熱をもっと別のことに使え」

だが断る

バシン!

うぉぉぉ!これが噂の出席簿アタック!ていうかそれ端末!金属

製の端末!

いてえええ!

なんでしょう箒さん」

慰めてくれるの?

うるさい、静かにしろ」

酷い...でも口答えすると殺されそうだ、 素直に従おう。

はいこ

けたコーラを啜る。 管制室の隅っこに体育座りで、 床にのの字を書きながら、 気の抜

なんかこのコーラ、 しょっぱいな...」

試合中に無事一次移行を終了させた白式。結果だけ言えば、試合は引き分けだった。

そして、そのワンオフアビリティー『零落白夜』による攻撃がブ ・ティアー ズのエネルギー を0にするのと同時に.

白式のエネルギーも『零落白夜』の使用で0になっちゃったから

だ。

バカス、 燃費悪いにも程が有るわ!

夕食はしめやかに三人で残念会。

戻って寮で反省会、私は白式のデータを見せてもらって、 ちょろ

しかし前倒れな上に燃費悪いなぁこの機体、ちょろと調整させてもらっている。

じだ。 まさに試作機って感

さてデータを端末に保存して...あれ?

ああああああああ!!

ナンダ?ヽ (/ _ _

しかし、 しまらねぇ結果になっちまったなぁ」

ぐすっ、

私は悔しいな、)いな、あの女に手も足も出なかった」僕のお宝データが」

ぎる」 ハッキングしてバックアップまで根こそぎ消去するなんて...酷す

おのれ山田先生、 この代償はその体で払っていただきますぞ・

俺と違って箒はセシリアのデータを殆ど見てなかったんだろ?初

見であれだけ粘ったんだから、 全部市場に出てた健全なデータだったのにい」 大したもんだよ」

幾ら分くらいデータ飛んだんだろう・・・

馨」

何?慰めてくれるの?特に箒たんはその胸で泣かせてくれる?

「鬱陶しい」」

ひどいいいい

「泣きたいなら、存分に手伝うぞ」

なんで竹刀を出すの?もっと優しくして?

おい馨、千冬姉のデータはもう無いだろうな?有るなら没収な」

微妙に欲望が透けて見えてますけど一夏さん!! やっぱシスコンだったのか...

「いや、それは別に、弟してゴニョゴニョ」「おい、一夏。没収してどうする気だ」

コレハハンゲキノチャンス

「なっ、何を馬鹿なことを!」「Hなことに使うに決まってるよ!!

だって男の子だもん!

「「ほぉ…」」

は はわわわ あれ?なんで入り口に織斑先生が立ってるんでしょう?

前門に虎 (織斑先生)後門に狼 (箒さん)

思わず抱き合い、子羊のように震える僕と一夏

待って!話し合いましょう!暴力は何も生みません!

ラブアンドピース!

あ

「 in やああああああ!」 _

025号室には血の雨が降ったのだった。

· S

翌日何故かオルコット嬢がデレていた。 チョロすぎやしませんかセ

シリアさん?

しかし恐るべし織斑一夏。

君に【一級フラグ建築士】の称号を授けよう。

なんかフェロモンでも出してるんだろうか...

クラス代表決定戦・完結編 (後書き)

先頭描写が上手く書けず七点八倒。

あげく全削除。

隙を見て加筆修正したいです・・・

転校生がやってきた!

「大丈夫か!?箒」

一夏!」

んだ、純白のIS、 間一髪、ブルー・ティアーズの放ったレーザーと己の間に割り込 その操縦者、 一夏。

六年ぶりに再会した幼馴染。

初恋の少年は、見違えるような青年になって劇的に箒の前に現れ

た。

一夏」

箒

ああ、なぜ一夏は服を着ていないのだろう?

今はクラス代表を決める戦いの最中のはず。

だが、そんなことはどうでもいい。

何故か全裸の一夏に抱き寄せられる自分。

ああ夢のようだ...

夢 ?

おかしい、この男は、 ドの付く鈍感のトウヘンボク。

こんな、馬鹿なことは・・・!

「 夢 か」

眼が覚めれば、冷めた現実が待っていた。

ああ、 何故あんな淫らな夢を見てしまったのか、 隣のベッドでは

夏が寝ているというのに..

いや原因はわかっている。

またか...」

奇妙な同居生活の片割れ、 本来のルームメイト、 嶋野馨。

肉体は正真正銘、 女子。

だがその精神はおおよそ十代の男子、 しかも変態。

心 女子であるので一夏と同衾させるわけには行かない。

当然、 わたしと寝ることになる。

万が一破廉恥な行為に及んだ場合は切ると宣告してある。

だが..

わたしは馨の腕に抱かれていた。

おおよそ女性らしい柔らかさに欠けた、 まるで男のようなゴツゴ

した肢体。

男でも女でもなく生まれついた者。 馨はそのISである、 長身

も男性らしい体つきもそのせいだ。

夜間にわたしを抱き寄せたのだろう、 あのい、 淫夢はこいつが原

因 か :

はぁ

溜息を吐き、 わたしはそっと馨の腕から抜け出す。

ん...となにやら艶かしい声を挙げる馨に少しどきっとする。

まったく..

伴うような強いの雨の日だ。 ある、 だが、 これが馨の方から、箒に抱きつき、 胸にでも顔をうずめていたら、 この馨の抱き癖が出るのは決まって、 宣言通り容赦はしなかった。 例えばコンプレックスの塊で 大雨の夜、 特に雷を

最初に馨に抱きつかれているのに気が付いた夜。

を蹴りだそうとした。 思わず悲鳴を上げそうになり、 すぐさま怒りを覚えたわたしは馨

に誰かを呼んでいる。 だが、ふと冷静になっ てみれば、 馨は魘され、 体は震え、 うわ言

『両親は事故でね』

そう言い寂しそうに笑う馨の顔を思い出した。

事故

そして大雨

容易に想像が付いた。

そういえば昨夜は少し強めの雨が降っていたな。

顔が健やかだった。 止んだようだ... だからか、 カーテンの隙間から差し込む日光を見る分には、 あまり魘されずには済んだ様で、 雨は夜中の内に 馨の寝

と子供のように振舞っていることも多いが、 いか基本的に大人びた表情をしている。 女性化手術のせいでわたし達よりも一つ年上だという馨は、 色々と苦労してい るせ わざ

だが、 この無防備な寝顔は歳相応な可愛らしい寝顔だ。

なんとなく馨の頭を撫でてやるとくすぐったそうに笑う。 む: こ

れは

あり、 色々と問題の有る奴だが、 ルームメイトだった。 わたしと一夏にとっては得難い友人で

こいつが居なければ一夏と打ち解けるにも、 もっと時間が掛かっ

ただろうし。

場面が必ず発生するが、そこも上手くフォローしてくれた。 年頃の男女が同居(断じて同棲ではない!)する上で、 気まずい

そっとベッドを抜け出す、朝の鍛錬に向かう時間だからだ。

正直この抱き癖は、精神衛生上よろしくない。

だがけして不快ではなかった。

わたしも幼少時に両親の温もりを失った。
ナガローアルではなが、ナ

たような気分になるのだ。 馨に抱きつかれていると、 まるで父親か母親に抱かれて眠ってい

だが... あれは無い」

しかし今日の夢は無い、 やはりライバル《セシリア》 の出現のせ

いだろうか?

いや...これは精神の鍛錬が足りないのだ。

まだまだ精進が足りない...」

胴着に着替え、朝の鍛錬にむかうことにした。

ひっ!」

全身に怖気が走る。

原因は布団にもぐりこんで来た。 何 か " のせいだ。

脛毛がじょりって!

「おいっ馨!」

「ふにや?」

ああああ、またか!

嶋野馨。

肉体は正真正銘女子らしいが、その身長は俺に匹敵する175s

mの長身。

ほとんど女性らしさを感じさせない丸みに欠けた肢体。

それほど濃いわけではないが、脛毛もまぁ濃い(こまめに処理は

してるようだが)

それがベッドに侵入にしてきたあげく、 抱きついてきたのだ。

想像してみてくれ、 修学旅行で同部屋の男子が布団に入り込んで

きたようなもんだ。

たまったものじゃない。

箒は朝練でいないからいいが、 知れたらコトだぞ、 おい

' あにゃ_」

「おい、起きろ!」

全力でホールドしてきやがった!

痛い!気色悪い-

やめろどこに触ってるんだ!

おひりぃ 起きろおおおお1」

ガチャリとドアが開く、 そして俺の幼馴染の姿をした死神が姿を現した。 そろそろ箒が...ひっ 終わった。 破滅の音が聞えた。

箒!これは!誤解だ!」 なななななななななななない

一夏... きさまぁぁぁぁぁ あああ

誤解なんだああああああ

俺は被害者だぁぁぁぁ

最近やたらと絡んでくるセシリアも既に登校したようだ。 箒は俺達を散々叩きのめした後、 朝の騒ぎのせいで出遅れたので、 さっさと出て行ってしまった。 ほとんど誰も居ない。

寮の食堂、

入るのは... ああ、

のほほんさんくらいか、

相変わらず眠そうだな。

「ごめんねぇ一夏、どうも朝はダメでさぁ」

低血圧なのは、 わかったよ。そんなとこは女子っぽいんだなお前」

きたことがあった。 朝が非常に弱い馨は、 前にも一度、 ああやって布団に潜りこんで

まったく。

こんな風に色々と困った奴では有るけど。

男心を理解してくれる友人は貴重だ。

女子に囲まれていると、さりげなくフォローしてくれるし。

箒やセシリアの理不尽な攻撃からも、やんわり庇ってくれる。

お陰で大分ましだ。 部屋で箒が着替えているあの気まずい瞬間も馨が茶化してくれる

替えないんだ..

しかしなんであいつは俺がシャワー

ルー

ムにいる内に寝巻きに着

たぶんそろそろ来るんだろうなぁ」

「何がだよ」

「メンス」

「ぶっ」

味噌汁を吹きそうになった。

「お前なぁ!」

あ、ごめんごめん。食事中だったね」

そういう問題じゃねぇだろ!

無いように、 箒さんが来たら、 気をつけてね」 こそっと教えるから、 デリカシー の無い発言は

ぁ それは助かる。

後15分で予鈴だよ一夏、急ごうか」

朝がっつり食う派の俺を待っていてくれるのだ。 今日もサンドッチ二三切れで、とっくに食い終わっている。 こいつは低血圧のせいもあって朝飯はごく軽い。

おう、 ちょっと待ってくれ」

Ь

いい奴なんだけどなぁ

ふよふよと水中を漂うクラゲのように、 SHR前の教室を通り抜

け自分の席に向かう。

ここはIS学園一年二組の教室。

そんでもって私は嶋野馨、 十数年男だと思って育ってきたけど、

TSでもなければTJでもなくIS、今は手術したから正真正銘トッシス・セクシャル トッシス・ションター ィンターセクシャル実は女だったという。

女の子、 赤ちゃんも産めると、 手術したDr のお墨付き。

セクハラだよねっ!?

そんな僕も心は男の子

れらたけど、死んだ両親はちゃんと考えていてくれたんだなぁ 子供のころはカオルなんていう女っぽい名前のせい で、よく苛め

ありがたい。

職をする。 席に着き、 まだ時間も有るので端末を操作し、 ペしょぺしょと内

「カオちゃん...」

「うん?何?」

「何してるの?」

ギアの原型《3Dデータ》を作成中です」 /16【ブルー・ ティアーズ&セシリア・ オルコット嬢】

も有るよ? 夏のワンフェスに出展します、1) b サムズアップ 1 6 打鉄&篠ノ之箒たん】

. は ぁ...」

隣の席に座る杉浦丹ちゃんが溜息を吐く。

息だ。 感心しているわけでもなく...私が残念なことにな対する、 それは私の中性的な美貌にまいったわけでも、 フィギアの出来に 諦めの吐

に5CPくらいは使ってるレベルで整っては居る。 顔の造作も、美貌というとい ISである私は、 背も高い いすぎだけど、 容貌は中性的というか男っぽ GURPSなら容貌

(そこに行くと箒たんや千冬お姉さまは150Pから250P は使っているだろう、 もちろん乳のサイズも含めて)

GURPSって何よ?ってググルといいよ?

ただ、 私の親しい人達の評価は「中性的で大人っぽい美人さん」

ではなく

である。 「中性的で大人っぽいけど、 色々残念な (変態という名の)淑女」

ないって。 まぁしかたないよねぇ、女の子二年生だし、 ぼろが出るのは仕方

ので、 ぁ いっそ年下キャラの方がいろいろ受けたと思うんだけどなぁ 実は皆より一歳年上なんだよね、 大人っぽいというのは、手術やらなんやらで一回ダブってる 私

子だし」 「カオちゃんは黙ってれば女子高の王子様なのに、中身はスケベ男 やだマコトちゃ ん、スケベなんて女の子がいちゃらめえ

:. は あ 」

ろえて嘆息する。 会話を漏れ聞いた数名のクラスメイトまでマコトちゃんと息をそ

なんか...ごめん

その時だった、スパーン!鋭い音が教室に響く。

音の原因は勢い良く...というか破壊されそうなレベルで開け放た

れたドア。

教室中の視線がドアに集中する。

そこにいたのは見慣れない生徒だった。

小柄で華奢だけど敏捷そうな体躯。

活発そうな印象とはうらはらに、 髪型は長めの黒髪をツインテー

ル

乳は控えめだけど、とにかく美少女だった。

ハコッチニヽ(。

「あたしは凰鈴音、今日かった」と、どちらさま?」 今日からこの二組のクラス代表になる、

中国の

その宣言に教室がざわめく。

代表候補生よ!」

ふむ転校生、それも中国の代表候補生か。

は欧米人としては控えめだが美乳、 さん(英国、一夏にツンだったが、 現在一年生で代表候補生というと、一組のセシリア・オルコット 試合後速攻でデレた、 パツキン縦ロールのお嬢様だ、 おっぱい

と四組の更識簪さん(日本、今期の生徒会長の妹、ジャンルは金髪美乳) っぱいは姉に比べると控えめだが、 おりで専用機が未完成で放置プレイ中という不遇のメガネっ娘、 な事なので二回言いました) メガネつ娘!メガネつ娘!大事 一夏の白式のあ

の二人が有名だけど。

原則転入のないIS学園に転校生というのは、 国の思惑」 が当

然バックにあるわけだ。

斑一夏 のまとこのそうじゅうしゃ おそらく中国が彼女を送り込んできた原因は... 言うまでもなく織い

いやだねえ

したくなる系 それにしても鈴音ちゃ んはかわいいわぁ、 抱きしめてぎゅー って

しかし貧乳ロリ系は、 この学園では貴重なタイプね。

`で。どちらがクラス代表さんかしら」

な? ツインテールもいいけど、 ああツー サイドアップにしたらどうか

リ・ズ・ム。 普段は丸出しのうなじが、 何かの拍子に垣間見えるあのチ・ラ・

やだ鼻血でそう、 私の心のおにんにんがおっきした

力才ちゃ ふえ?」 hį 御指名よ...って、また変態妄想してるしこの子は」

鼻を押さえていると、 いやんくすぐったい。 マコトちゃんがなにやら囁いてくる。

「あんたが二組のクラス代表?」

ええ、 私がクラス代表の嶋野馨よん。 よろしくね

で、 小柄な鈴音ちゃんとひょろ長い私の伸張差は20 自然鈴音ちゃんがこちらを見上げる形になる。 cm以上あるの

あれーなんだろう?なんで私のおっぱい凝視してるの!?

勝ち誇った顔、 ひっどーい、確かに私は貧乳ですけど、

うがないじゃない!元男の子なんだから!

. 早速だけど、替わって」

「何を?」

クラス代表。嫌なら...」

「別にいいわよ」

代表に選んだ。 私は即答した、 隣の一組程ではないが、二組もノリで私をクラス

笑)」だったからなぁ 何せ専用機持ちもいないし、留学生はいるが、 入学当初は私もネコ被ってたし、傍目には「女子高の王子さま (代表候補も居ない。

IS適正【C】の私をクラス代表って (笑)

学級委員も兼ねてるし、正直めんどくさいし、 全然おkだよ?

あ、そう

あっさりと承諾した私に鈴音ちゃんが拍子抜けした調子で答える。

その代わりだけど、まず名前で呼んでいいかしら?」

「いいわよ、それくらい」

えへへ、鈴ちゃんでいいかしらね?私も好きに呼んで頂戴、

って…抱っこさせて!」

え!ちょ、何よ!放しなさいよ!」

うはー、やらかーい!

· やだ!くすぐったいって!」

「おっとごめんごめん」

はぁと)」 このレベルならまだ「ちょっと過激な女の子同士のスキンシップ これ以上はまずい、まだネコ被っとかないと警戒されてしまう。 のはずだ。

勝手にクラス代表を交代するな嶋野」

- 織斑先生の出席簿程では無いが、おや先生、何時からそちらに?」
- 私のチョー ク 《ジャベリン》 も

中々痛いぞ」

うはー、 すみませー

二組の担任のジェニー先生。

アが載ったナイスバディの美女さんだ。 元アメリカ代表候補生で、現役時代はプレ ボ ー イ誌にもグラビ

いやー眼福眼福。

教卓の一番前という普通は皆嫌がる席を率先してGet!し たの

とはいえ戦乙女の投槍ならぬ投げチョークが眉間にめり込むのはは言うまでも無いよ?

回だけで勘弁ですから、 大人しく席に着きます。

「さて、 貴様ら、 紹介前に勝手に自己紹介した、 中国代表候補生の

凰だ、 仲良くしろ」

_ e s , M а m

どうした!声が小さいぞ!」

e s , M a m !

よろしい、 凰も地元ではどうだか知らんが、 私のクラスの配属さ

れた以上、 軍隊方式でいくからな、 覚悟しておけ」

: Y e s , M a m

声が小さい!タ 落としたか!」

付いてません!元々!」

はうっ !鈴ちゃ ん顔真っ赤にして可愛い! ·激写!

嶋野お 無断撮影は禁止だといっ ただろう!」

はうう !眉間に ! 眉間にチョー

\(゜ロ\) (ノロ゜) /

「で、私が気絶してる間に鈴ちゃんはクラス代表になって、 隣に宣

戦布告にいったわけだ」

も全力で勝ちに行くって」 「ジェニー先生は負けず嫌いだからね、 来月のクラス代表の交流戦

一組は専用機持ちだけど素人の一夏まぁ折角の代表候補生で専用機持ちだもんね。

三組は専用機持ち無し

四組の専用機は未完成

勝った!これは勝った!

うはー パス券Getだぜ!

ぁ 半泣きの鈴ちゃんが帰ってきた、 あれは織斑先生に撃退され

たな。

さっそく慰めてあげなくっちゃ!

私の胸でお泣きよ~

転校生がやってきた! (後書き)

本分から考察するに

IS学園は一学年約120名

一クラス約20名で計6クラスなのでしょうか?

ソースは2巻の1組2組の合同演習での千冬の発言から

この時点での専用機持ちは五名、 「専用機持ちは、織斑(中略)だな。 八人グループということは5×8 では八人グループになって」

4

よって一組と二組の合計は40 一クラスは20名 単純計算では

6クラス?

なのか?

でも6クラスだとクラス交流戦がトー ナメントだとあれ?

総当り戦だと6は多いよ・・・だしなぁ

設定資料集とかでないかなぁ・・・

鈍感な友人を持つと楽じゃない件

キンコーンカーンコーンと終業のベルが鳴る。

おおようやく午前の授業が終わっ た。

朝まともに食べられないせいで、 可及的速やかに栄養を補給せねば! もはや体内のカロリー は枯渇寸前。

鈴ちゃんお昼は学食?場所は?一緒に行こうか?」

場所なんてとっくに覚えたわよ、つ・い・て・く・ ん・な!」

いいじゃんかよう、 お姉さん、ずっと妹が欲しかったんだよぅ

同級生じゃない!」

私ダブリだから、 もう結婚できる歳なのよ?」

結婚!」

とまぁこんな感じで、半日で鈴ちゃ んはクラスの愛玩動..ゲフン

ゲフン、 妹的ポジションに納まった。

た然りだ。 ジャンルはツンデレ妹、 これに萌えない男子はいない、 女子もま

そのカオちゃ ん流の思考をクラスの皆に押し付けない」

むぎゅ、 マコトちゃん、 イタイです。

もうまんざらじゃないくせにぃ...イタタタタター

耳!耳が千切れます!

いたっ おじさまのメールの件、 いたいって!やめて新しい私が生まれ 今日中になんとかする約束だったわよね」 ぎゃ

ぐらい仲が良い。 いで、お互いに「子供が男女だったら結婚させよう」とか言い出す 杉浦家と嶋野家は先々代、つまり曾お祖父さんの代からの付き合 マコトちゃんの言う「おじさま」というのは嶋野の義父のことだ。

かみ合わず、それは果たされないでいた。 ところがぎっちょん、祖父の代も義父の代もうまく性別、 年齢が

の婚約者で、将来の義姉さんってわけなの。 まぁ何がいいたいかっていうと、マコトちゃんは幼馴染で、

つまり「絶対に頭が上がらない人物」なのね。これがな。

昼ごはんくらいは食べさせてよぉ、 空腹で死んじゃう」

「はい、お弁当」

「...ありがとうございます」

ちっ、手回しのいいことで!

れて...なんか言い回しがエロイなぁ...しまったのですよ! そんなわけで、 その日の昼休みも放課後もマコトちゃんに拘束さ

/ (。ロ/) (ノロ。) /

|別にそんなに急がなくてもいいのに...|

すぎ。 放課後が終わり、 寮に引き上げてからも拘束され既に時刻は八時

きたのだ。 四月も半ばになり、 ぶつくさ文句を言いながら寮の廊下を歩けば、 少し暖かくなったせいか、 薄着の娘が増えて そこはパラダイス。

よー? 一応一夏っていう男もいるんだから、 少しは意識しないとだめだ

ないから、 まぁ一夏の視線に気が付いて恥らう女子の可愛いことといったら 口にはしないけど。

「きゃっ!」「わぁ!」

らも前を見ていなかったのか、 これはいかん! ウェイトの関係上、 すわっ!これは出会いの予感!と言いたいところだけど・ とキョロキョロしていたら、 その女子は弾き飛ばされ、 私に追突してきた。 凄い勢いで走ってきた女子が、 転びそうになる。 あち

「おっと危ない!」

むこのすっぽりと収まる感覚は... 素早くその女子の手を取り、抱きよせて、 ぎゅっ、 役得役得。

見覚えのあるツインテール、 やはり鈴ちゃ んだ。

あれ?

離しなさいよ!痛っ!」

私はひょ あーさっきので足首痛めた? いっと鈴ちゃんを抱っこする。

だーめ、 ちょっと!止めなさいよ!恥ずかしいじゃ 足診てからね」

61 いねえ。 鈴ちや 道行く見物人がざわざわするが、 所謂「お姫様抱っこ」で寮内の医務室を目指す。 んは恥ずかしいのだろう、 顔を隠すようにしている、 気にしなーいっと。 可愛

はし あぁ?なんだヅカごっこは他所でやれ、 い先生、急患ですよー」 あたしは野球観戦中だ」

応援しているチームが開幕から十連敗中だそうだ。 医務室に隣接する、宿直室から出る気が無いらしい。 と校医も兼ねてる先生はのたまう。

まったく」

ベッドに鈴ちゃんをそっと降ろすと、 靴を脱がし、 靴下を脱がす。

夫かな?痛くない?」 やっぱりちょっと熱持ってるね、 でも腫れて無いから、

だから、平気だっていったでしょ

足はそうみたいね。 でも、 なんで泣いてたの?」

泣いて無いわよ!目え悪いんじゃない?」

一夏のせい?」

図星か..

がら前も見ずに走る、 かる簡単な推理だ。 転校したばかりで人間関係が希薄な鈴ちゃんが、 既に鈴ちゃんが一夏の幼馴染だというのは情報は掴んでいたが... その原因は、 一夏しかいない。 廊下を涙ぐみな 小学生でもわ

ご覧?」 「誰かに愚痴をぶちまけると、 結構楽になるよ?お姉さんに話して

念のため、足首に湿布を貼り、包帯を巻く。

その間、鈴ちゃんは無言。

隣室から漏れてくるTVの場違いな音と、先生の悪態だけが響く。

「さ、これでよし、 あの馬鹿がいけないのよ...」 部屋まで送るよ。今度はおんぶがいいかな?」

ぽつりぽつり、 と鈴ちゃんは事情を話してくれた。

\(゜ロ\)(\ロ゜) /マ

タシリアスカ

は男の方だし、 あの鈍感には通じないでしょう」 「ふむ、普通『僕のために一生味噌汁を作ってくれ』 ちょっと古いよ、 さらに中華風にアレンジしたら、 と言い出すの

「う…」

だね?」 「付き合いの短い私でもわかる理屈なんだけど、 恋する乙女は複雑

「うっ、うっさい!」

「ふぅ...で、鈴ちゃんとしては、 どうするの?」

「一夏が謝るまで許さない」

それだと一生二人は仲たがいしたままじゃないかなぁ...

しないと」 「まぁ一夏が謝罪するのはOKとして、鈴ちゃんの方も少しは譲歩

:

良い友達を持ったぞ貴公ら(笑)ここは人肌じゃなかった、一肌脱ぎますかね。おーおーこれは意固地になってますな。

あー、でもお節介かな?

でも、面白そうだし、いいよね、アハ

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

あ、鈴

:

さっき部屋を飛び出していった鈴が、何故か馨におんぶされて戻 気まずい沈黙にも耐え切れず、さっさと寝ようかと準備していたら ひっぱたかれ、 罵られ、さらには箒にまで罵られ。

ってきた。

なんだ?何事だ?

今日は鈴ちゃんはこの部屋にお泊りなのよん」

· はあ!?」

一度でいいからやってみたかったのよねえ『深夜のお茶会』」

な、何を言ってるんだコイツは...

嫌なら一夏は廊下で寝る?」

· なっ!」

女の子泣かせる馬鹿は、 牛に轢かれて死ぬといいよ?」

お前までかよ!

「箒さんもそれでいいかな?」

「...お前のことだ、もう決めているのだろう?」

「モチコース」

それはモチロンとオフコースの造語なのか?

「 馨.. あんたもこの部屋なの?」

無いから、 「そーよー、ここは本当は箒さんと私の部屋なのに、 同居させてあげてるの」 一夏の部屋が

おいおい、 無理矢理三人部屋にしたのはお前だろう!

ふん

一夏さん!」

うわっセシリア!

たわ」 「お茶会と聞いて、 本場英国の代表候補生である私が参上致しまし

か~お~る~

最高の茶葉をお持ちしましたわよ!」

ありがとうセシリアさん (チョロいなこの子)」

「いえ、これくらい当然ですわ!」

「中国茶だって美味しいわよ...」

ほうじ茶はカフェインも少なく、 良いと思うが、 どうだ」

いきましょう」 はいはい、 女の子がする深夜のお茶会だからね、 ここは英国式に

なんなんだろうな、この疎外感は..

「でしょう?」

俺は夜は食べない派なのだが、眼前には、スコーン、クッキー、 一口飲んだそれは、 普段呑んでいる紅茶とは別物の味がした。

そしてロイヤルミルクティーが並べられ、深夜というには大げさだ

が夜中のお茶会が開かれていた。

女子は皆寝巻きだ、箒は浴衣、馨は肌襦袢、セシリアはネ、ネグ

リジェかよ、鈴は普通にパジャマだ。

げさだし、女子は皆上に一枚羽織っていてくれてよかった、 なり気恥ずかしい。 暖かくなってきたといえさすがに夜は寒い、 暖房をつけるのも大 正直か

ちなみにスコーンは俺が焼かされた。 ひでえよな

クッキーは馨が用意しておいたモノらしい。

お茶は、ネットで淹れ方を見ながら淹れたが、上手に淹れられた

ようだ。

お湯を沸かすコンロは、 馨の私物の携帯カセットコンロ、 なぜこ

んなものを持ち込んでるんだお前は。

ティーセットはセシリアの私物。

これ高くね?

「普段使う物ですから気になさらないで」

そうなのか?

構ですわよ!馨さん)」 会らしくていいね。セシリアさんはセンスがあるねぇ」 「そんな、こんなの英国人ならば当たり前ですわ(もっと褒めて結 ロイヤル・アルバートのムーンライト・ローズかぁ、 深夜のお茶

なんか凄いらしいな。

「おい、馨、これ高いのか?」

.無粋なこと言わないの!」

スコー ンにジャム とクロステッドクリー ムを塗りたくながら馨が

言う。

太るぞ!

いてえ!

女子全員が一斉に攻撃してきやがった!

しかしさっきから、やけに馨が冷たい。

あとやたら鈴にべたべたしてる、くそっ、 なんなんだよ。

まぁこいつお陰で、ぽつぽつ鈴とも会話できているし、 箒と鈴も

少し打ち解けてくれているようだ。

というか... あぁセシリアはなんか空回りしてる、 上手く馨に乗せられている

. 折角だし映画でも流そうか」

おいおい、 もう九時だぞ、 終わるころには明日に...うえ恋愛物か

ラブロマンスですの?」

そのようですなセシリアさん

、ふん、軽薄な」

といいつつガン見してますね?箒さん

· うわベタベタ」

といいつつ身を乗り出すのは何故ですか?鈴さん

んだけど、正直どうなんだろう?」 「ハーレクインに出てくるイケメンって、 大抵胸毛有りと割れ顎な

うえ、そうなのか?

あらワイルドでいいじゃありませんか」

一欧米人の考える事はわからん」

「割れ顎って何よ?」

ジョン・トラボルタの顎みたいの」

なぜ全員で俺の胸元と顎を見ながら会話してんだ!映画観ろよ!

:

「おい馨」

「 何

「不健全なシーンのある映画をチョイスするな」

キスシーンくらいで何言ってのさ、 ベッドシーン無しなんだから

いいじゃん」

見ろよお前以外の女子の様子を! お前はこの微妙な空気が平気だからいいだろうよ!

空気がピンク色に見えてきた...

するシーンだ。 ようやく映画はクライマックス、主人公がヒロインにプロポーズ

むぅ、 女子は全員うっとりしてる、 俺は気まずい、馨はにやにや

してる。

あの一夏さん」

なんだセシリア」

辱ですわ」 なぜ一生味噌汁を作って欲しい、がプロポーズですの?夫婦はパ トナーであってメイドではありませんのよ?女性に対する酷い侮

こえるのか。 ああそうね、 普通にメイドの居る世界の人にはそんな風に聞

まぁちょっと遠回しだよな」

大体今時、 味噌汁って...あ、 れ?

毎日食べてくれる?』 あたしがもっと料理が上手くなったら...あたしの作った酢豚、 ŧ

フラッシュバックする記憶。

夕焼けの教室で、 恥ずかしそうに言う鈴の姿を、 思い出す。

ギギギとさび付いたブリキのロボッ トのように鈴の方を見る。

馨にだっこされている鈴と目が合った。

顔が真っ赤だ。

やべえ

どつかれるのも嫌だし」 「さて、 さすがにそろそろお開きにしましょうか、遅刻して先生に

ら...その私は、 「あの、 私も泊まってよろしいのかしら?ベッドが狭いようでした ιí いち

、大丈夫、 補助ベッド用意してあるから、 一夏は補助ベッドで寝て

あ、ああ

おいセシリア、 今何を提案するつもりだったんだ?」

さて誰が普段一夏が使ってるベッドで寝るか決めようか?」

「「つ!」」

「(チョロイ...)」

く耳に入ってこない。 なにやら箒とセシリアがギャーギャー 言い合っているが、 まった

俺と鈴だけが、 固まったように、 動けずに居た。

どっくん、どっくんと心臓の音がうるさい。

あれは... プロポー ズなのか?

生だぞっ 今日日、 女子からプロポーズというのは珍しくも無いけど...中学

もし、仮にそうだとしたらだ...俺は

「ちょっ!やだ、やめてよ」「ごめん!」「な、何よ」

土下座しようとする俺を鈴が押しとどめる。

hんと覚えていてくれなかったのは...許さないけど、はたいて...ごめ 「子供同士のおふざけでしょ、 そんなにマジにならないでよ!ちゃ

:

俺はダメな奴だな...

SIDE:鈴

ベッドで寝るかでもめていたので気が付かなかったみたいだ。 しょうがないじゃない! さっきのやり取りは小声だったのと、あの二人はどっちが一夏の 馨の奴が声に出さず「ヘ・タ・レ」と言うのが判ったが、 だって

鈍感な友人を持つと楽じゃない件 (後書き)

鈴が可愛く書けない・・・

スポンサー は無理難題をおっしゃる

鈴ちゃんと一夏が無事仲直りした翌日。

我ながら中々の手際と自己満足して眠りに就いた訳ですよ。 ちなみにごちゃごちゃうるさかった二人はまとめて一夏のベッド

ار

呆然自失気味の一夏を補助ベッドに。

そしてちゃっかり屋さんの私は、 鈴ちゃんと同衾 (笑)

まぁなんにもしないけどね?

^^^^ 小声で「あ、 ありがとう」とか言われただけで萌え死にました、

というわけで私は恋のキューピッドだったのですよ」

そうか」

うわ興味なさそうですね織斑先生

へえ嶋野さんって意外に気配り屋さんなんですねぇ」

意外って...

お前にそんなセンシティブな神経があったことに驚いてる」

ないですよ? ジェニー先生。 ガラスのハートを持つ十代の子供に掛ける言葉じ

ゃ

山田先生はもっと褒めて!残りの二人はまず褒めて!

所で・・ なぜ私は先生達に呼び出されてるのでしょうか?

Why?

朝から生徒【ばかども】の抗議で我々は手一杯だ」 「簡単なことだ、織斑の居る部屋に女子を二人も泊めよって、 見 ろ

「さすがにちょっと...」

つまりだな、見せしめが必要なのだ、 わかるな嶋野」

さっぱり理解したくありません。

(, 口() (/ 口,) /

ざわざわいしんが集まっている。

下記の者、寮内の風紀を乱した罰則として、 当面の反省室行きを命ず

一年二組 嶋野 馨

以上

「当面って期限切られて無いわよ」

...あの反省室に?」

三日で精神崩壊すると評判の?」

「「「恐ろしい…」」」

/(゚゚゚゚)(/ロ゚)/

「その色々とすまんな馨」

例によって日替わり定食の一夏と焼き魚定食の私。

いいよ、 別に。 それより一夏こそ箒さんと二人きりだからって、

Hなことしちゃ駄目だよ?」

「しねぇよ!」

「し、しないぞ!」

どもってましてよ? (ニヤリ) まぁ一夏からは無いよね、 さてさて箒さんからどうかなぁ?声が

からね、 「 それは兎も角として、 これからしばらくは僕らもライバル同士だ 馴れ合いは無しだよ?」

五月のクラス対抗戦のスケジュ ルが発表になったのだ。

(リーグ戦なので、総当りだ)

一回戦第一試合は一組対二組

優勝クラスには「学食のデザー トフリーパス券」半年分が賞品と

して送られるため。

皆気合が入っている。

「臨む所だよ」

まぁ下馬評では二組が圧倒的だけどね」

む

条件は四組さんも一緒だが、 専用機持ちの代表候補生がクラス代表なのは二組のみ。 あちらは専用機が未完成とのことな

ので、 問題無し。

目の上のたんこぶだった、 一組の英国代表候補生はクラス代表じ

ゃ ないしね。

三組?眼中に無いね。

っぽど急成長しないかぎり、二組の勝ちは揺るがない。 一夏のデータは、たっぷりと取らせて貰てるし、 この数週間でよ

そう大した進歩もないだろうしね、うふふふぅ (ドラ まぁコーチが箒さんとセシリアでは (お互い張り合ってしまって) もん風の笑

まさか... 謀ったな!馨《シ

恨むなら君の生まれを恨むんだね、 一夏《ガ ₹

ぺこん

いて

何 「鈴ちゃん」キシリアさま

ガツン!

食器トレイで殴らないで!

ないわよ」 練習付き合ってくれるんでしょう、 敵とじゃれてる場合じゃ

はしい

あ 一夏が面白くなさそうな顔してる。

オウ!ジェラスィ?

ふふふふ、教育の成果が出てきましたな?

鈴ちゃんにも「私と仲良くしとくと、 色々と一夏が面白いよ」 لح

アドバイスした甲斐があったね、 さてさて、 箒さんとセシリアさんはどうでるかな? 効いてる効いてる。

/(゚ □/)(/□゚)/

つ、疲れた..

箒とセシリアも異常なくらい熱心にコーチしてくれるんだが。

箒「ギューンでドーンでガーンだ」

どこの終身名誉監督だお前は

セシリア「回避は右斜め(以下略)」

長い、判りづらい...

いつもなら通訳してくれる馨が敵に回ってしまったのが痛い。

諜報員は既に対策済みなのか、 れてしまい... 手の内は知られているし、 白式のスペックもバレバレ、 二組の防諜員によって悉く捕らえら こちらの

鈴の専用機のデータも、鈴の実力も不明。

・最悪だな、おい」

クラス代表を決める試合後の、 あんにゃろう、ここまで読んでいたのか? セシリアの辞退もまさか?

(どっ かの馨「いやそれは私のせいじゃないよ?あれはマジでイミ

嶋野馨..恐ろしい奴だ。

、(゜ロ人) (ノロ゜) /

これが反省室かぁ... ただの殺風景な部屋ですよね?」

当面の着替えと教科書類が詰まった鞄は非常に重たかった。 改めて反省室とやらを眺めてみる。 よいせーと荷物を降ろす。

広さは4畳の和室。

壁紙は白一色。

なデータだけということだ。 ちろん、 アクセスはフィルタによって遮断されているので、 有害サイトはも 家具は、勉強用の机のみで、学習専用の端末は有るが、 普通のサイトも見れない、見れるのはあくまで勉強に必要 外部への

持ち込んだものにしても娯楽品の類は一切許可されない。

差し入れも無い。

これは十代の乙女には拷問かもしれない。 寝具はぺらぺらの布団だ、 ちょっと黴臭い気もする。 いや拷問だ。

「(まぁ、丁度いいかな?)」

鞄からどでかいクリップで止められた紙束を取り出す。

これはとあるISの仕様書だ。

先日送られてきたデータをプリントアウトしたもので、 それをペ

ラペラと読み始める。

メなときは端末を使う。 どうにも理解出来ないところは、 別の参考書を開き、それでもダ

はぁ (義父さんたら親馬鹿なんだから...)」

ことの起こりは数週間前まで遡る。

馳走になってご満悦だった。 週末、 実家に里帰りした僕は、 祖母にたっぷり甘え、 手料理をご

や義兄の世話を焼いてくれたのは祖母だったので、 義父も義母も昔から仕事人間で、 ほとんど家には帰ってこず、 私達は典型的な

「お祖母ちゃんっ子」である。

助けてくれたのは祖母だった。 自分の体がISであると知れ、 かなり精神的にまいっていた時も、

て目標といえるくらい「強く逞しい」女性だ。 さすがに戦後の混乱期を生き抜いただけあっ ζ 祖母は私にとっ

すぎると思うんだ。 でも愛読書が「菊 秀行」というのは、 ちょっとハードボイ

久々に娘が帰宅するので、 まぁそれはともかくとして、 早めに切り上げてきたらしい。 珍しく両親はその日帰りが早かった。

と良く言う) ... 女の子だとわかった時から、 義母はそれほどでも無いが(それでも「やっぱり娘はいいわねぇ」 僕が男の子だったころは、 あまり接点のなかった両親だが、 かなりの「親馬鹿」になってしまった。

義父は酷かった。

やはり特別な物だから。 女の子が欲しかったんだろうねぇ、 頭のネジが飛んでしまったのかと思う豹変ぶりで、 男親にとって「娘」というのは まぁやっぱ 1)

無い 正直かなり引いたけど、元男として義父の気持ちも判らないでも ので、 なるべく優しくしてあげることにしたんだ。

ですよ。 で、遅めの夕食に付き合いながら、 学校生活の話などをするわけ

きます、はい) (一夏と一緒に住んでるとか、言うと義父が発狂するので黙っ てお

でもある。 義父はIS関連の会社を経営しており、 義母は開発主任兼副社長

とはいえ社員全員で50人にも満たない 小さな会社なんだけどね。

へぇクラス代表になったのね、やるじゃない」

「馨は男前だすけ、顔で選ばれたんじゃろ」

・まぁお祖母ちゃんの言う通りかな」

女学校なんてのは、そんなもんだぁ、 おめえ 気をつけろよぉ

けない、そんな祖母に育てられたので私も幾つかの方言を標準語だ と思っていたりする。 祖母は都会に出てかなり長いはずだが、 地元の訛りがまったく抜

あれは気が付くと猛烈に恥ずかしいものだ。

あの顔はろくでもない事を言い出す前兆だ。 でまぁそんな話をしていると、義父がぽとりと箸を落とした。

馨ちゃん...と言う事はだ、 五月のクラス対抗戦に出るんだね?」

出ますよ?クラス代表ですから」

...そんなのお父さんは許しませんよ!」

いきなり何を言ってるんでしょうか、 この人は。

あ、端末に飛びついた。

しい! 「杉浦く !緊急事態だ、 馨ちゃ んがクラス代表になっちゃっ たら

戦では、 『ええ!個人トーナメントには滑り込めそうでしたが、 とてもスケジュールが!』 クラス対抗

取締役兼工場長さんだ。 今端末に映ってる杉浦さんは、 マコトちゃんのお父さんで、 専務

義父の幼馴染で、 親友というか、 悪友というか.

てか何の話ですか?

このままじゃ 馨ちゃ 如きの量産機にウチの娘が乗るってだけでも我慢できない んのデヴュー戦が量産機だよ!倉持だのデュ のに

デュノア社は名機「ラファール・リヴァイブ」を開発したフラン 倉持技研は「打鉄」を開発した、 日本でもトップクラスの企業だし

スの企業だ、国際的大企業だと思いますが?

あ、義父さん?やば

すぐにメンバーを総動員して、 スケジュー ルをつめ

あー!」

義母のアイアンクローが義父の眼球を抉る、 あれは痛そうだ...

てか義父がびくんびくんと断続的に痙攣してますわ!

お義母さま!やめて、 お義父さまのライフはもう0よ!

「さっきから...何の話をしてるのかしらねぇ...あ・な・た」

『ふ、副社長..』

この一件、工場長が噛んでるということは...ウチの男共の大半が

関与しているのかしらね?」

:

蛇に睨まれた蛙って奴ですね、わかります。

「だってお前!」

「問答無用!」

「ごばぁ!」

ああ、 お義母さまのシャイニングウィザー ドが!

『お呼びですか?副社長』

ごめんね絹子ちゃん、 すぐに監査してもらわないといけない

事態が発生してね」

りが行なわれるよ! これは...魔女狩りだよ!ウチの会社で内部監査と言う名の魔女狩

ガクガクブルブル

ほんに、夜子さんは良く出来た嫁じゃぁ」

お祖母ちゃん、貴方の息子が今にも死にそうなんですが...

7 0

「まったく、 確かに馨は可愛いけど、 ウチの男共は馬鹿ばっかり!」

「えーと」

「あんたもねぇ、 男だったころのつもりで接するのは大概にしなさ

「申し訳ございません」

DOGEZA!

?興味があります』 ですが主任、 倉持が投げて、 篠ノ之博士が完成させた機体ですか

とか想像できない。 正直あのぽややんと、 元日本の代表候補生、 この人は大塚さん、義母の直属の部下さん。 山田先生とは同期でライバルだったらしい。 できる女!って感じの大塚さんがライバル

まぁ結局二人の親友だった、もう一人の代表候補生が代表になっ

じゃぁあれを調整して使おう。 術力のアピールに一つ馨さんに尽力いただくというのは』 「ふむ、さすがに男共の計画は許可できないけど、それなら有りか、 お前も好きだろ?」 104

『ちょうど新型のテストもしたいですし、どうでしょう?当社の技

たらしいけど。

私に拒否権が無い上で聞いて来るんだから、

もりなんだろう」 しかし義父さんも、 ブルーティアー ズのデータなんてどうするつ

ティアーズ。通称ファネルの所見である。 昨日マコトちゃんに急かされて纏めたのは、 セシリアさんのブル

た武装に関するデータは必要ないと思うんだけどねぇ? ウチの会社は確かにIS関連企業ではあるけど、あんなとんがっ

夕渡しちゃったなぁ。 できるとか言ってたっけ?その線かなぁ...ちょっと見当違いなデー あ、でもたしかあのファーネル、高機動ブースターとしても流用

まぁ いいか、どうせ義母さんに見つかって、 しばかれるだけだろ

らされちゃうしなぁ... チクるのは可哀想だけど、 関与してるのがばれると、 お小遣い 減

うーん、しかし何度見てもかっこいいよなぁ」

端末に映し出された、 例のISの姿に思わず嘆息してしまう。

・嶋野、飯だぞ」

「あ、すみません織斑先生」

「ほら食え」

糊化している...) 汁(具がわかめ、 めざし一尾(一 部炭化)、 明らかに増えるわかめ) 沢庵二切れ (しかも切れてない)味 ご飯 (水加減を間違えて、

「苛めですか?」

これが反省室の特別メニューだ、 よろこべ、 私のお手製だ」

「一夏の料理が上手い理由がよく判りました」

うるさい、食え」

というか先生もここで食べるのですか?

これは拷問だな...

いか、ずるっ! うわ!向こうは普通に寮の食堂のおばちゃんが作った定食じゃな

は特別処置だ勘弁してやる、泣いて喜べ」 「本来なら、 色々と説教をかますのが反省室のメニューだが、 今回

:

もちゃもちゃするご飯をほおばりながら、 心で涙しました。

「そのISは...」

憎鈴ちゃんが来たので不要になってしまいました」 はぁ、 義母がテストとデモをやれと送り込んできたんですが、 生

それで納得するような夜子さんでは無いだろう」

ニックとして参加したって、言ってからな、 やっぱり顔見知りですか、まぁ義母は昔日本の代表団にメカ さもありなん。

先生と義母って性格似てますよね」

私はあんなに乱暴...スパナで人を殴るほど人非人ではないぞ」

の人は いや対して変わらないかと?どの口でそーゆーこというかな?こ

「なんだ」

しえ

売ったんだろう?」 凰に代わって貰えばいいだろう、 一回戦程度なら、 恩もたっぷり

「なんですか、いきなり」

見た時は思ったよ、 「私は現役を引退したことに後悔はそれほど無いがな、その機体を ああこの機体と戦い【やり】たいとな」

つの戦闘を見たいと?」 「それで、『暮桜』と同じワンオフアビリティを持つ白式と、 こい

「ただの独り言だ」

アビリティもです」 「私ではこの子の性能を引き出す事はできませんよ、当然ワンオフ

の復習して寝ろ」 「だから独り言だといったろう、食ったか?では明日の予習と今日

はいい

なんだ反省室なんて楽しいだけじゃないか...

まぁこの子のお陰で鈴ちゃんの練習にも付き合えるし、 しかし義父さんは何を考えてるのかなぁ... l1 がか。

暗号化します」 おお、 鎌田 噂のファ hį 馨ちや ネル兵器ですな、 んから英国のBT兵器のデータが来たぞ」 社長すぐにデータをこちらに、

「これでまた一歩『サービー』に近づいたな」

っ は い、 百 は倉持にやられましたが、これは譲れませんな

「ああ、あんな名前が似ているだけの機体に遅れは取れん、

すも馨ちゃんの専用機計画が夜子さんにばれたのが痛い」

「はぁ (社長のせいですけどね...)」

「だが、 秋のキャノンボール・ファストまでにはなんとしても!」

闘士』をインストールすれば」「最悪サービーが無理でも例の機体に、 強襲高機動パッケージ…『

「ああ、 とりあえずは何とかして" あれ" を馨ちゃ んの専用機に

る、今根回しをしていることろだ」

「さすがは社長」

うむ、 くれぐれも夜子さん以下、 女子社員には内緒だ」

分かっています」

ているため、女子は皆、 特にこの会社の場合、 今日日、男に優しく笑いかけてくれる女子は稀少だ。 夜子が実質のトップとして恐怖政治を布い

(まぁ社長以下オタク・ 男を見下している。 ・特にガノ タ が多すぎるのがい

だろう)

そこに現れた可憐な一輪の花。

元男?

それがどうした。

むしろ萌える。

た。 悲しい理系男子達にモテモテとは気が付きもしない馨であっ

ラだし...ううう箒たんのベッドに帰りたい」 「ひぅ...なんか寒気が、この部屋暖房がしょぼいよ、布団はペラペ

結局、あっという間に試合当日じゃねぇか」

うむ、 今日までの私の指導を思い出せ、 勝てるはずだ」

私"の"指導を思い出して下さいね、 一夏さん」

もういいよそれは..

てか八割は二人掛かりで俺を攻撃していた。 だけ"だよな?

まぁ回避は上手くなった気がするけど...

初回に比べれば大分体に馴染んできた白式を呼び出し身に纏う。

武器は当然「雪片弐型」のみ。

まぁなるようになるしかないか。

これはリーグ戦だ、最悪鈴に負けたとしても、残り二クラスに

つ まぁ馨が参謀についてる以上、あんま考えられねぇけど。 て、どこかで二組に土が付けばプレーオフということも有りうる。

つまり最低でも引き分け、 できれば勝っておきたい試合だ。

「じゃ、行って来る」

ヒットから飛び出し、アリーナに立つ。

まだ鈴は来てないのか?そろそろ開始時間だけど。

゚お、来た来た…え?」

向こうのピッ トから飛び出してきたISに俺はおもわず間抜けな

声を上げた。

取っ た_" どうにも情報が集まらず、 情報:写真に写っていた鈴の専用IS【甲龍】じゃ やむなく二年生の新聞部員から。 買い ?

観衆もそのISの登場にざわめく。

ISに疎い俺にもそのISには見覚えが有った。

今から数年前。

第二世代ISの黎明期。

全世界の男子を熱狂させた一機のISがあった。

とあるISメーカー が自社の技術のデモンストレーションとして

開発したIS。

性らしいフォルムをあえて無視。 第一世代の名残を残す全身装甲は丸みこそ帯びているものの、 女

右肩の物理シールド

左肩のスパイクアーマー

なぜかモノアイを模した頭部センサー 角の用なブレー ドアン

テナ

鮮やかな赤とピンクと黒の配色。

当時としては破格の機動性能は「通常の三倍のスピード」 と称さ

そのISの名を...【箒星】と言う。

ルの登場機を意識したものだ。 もちろんそれは伝説的なテレビアニメに登場する、 主人公のライ

なにせ赤いカラーの「箒星 (彗星の和名)」だ。

幾つかの国際大会に出場し、 そのネタ性とは裏腹に、 圧倒的な性

たが:: 能で勝利を重ね、 当然のように「緑色の機体を量産してくれ」という要望が殺到し 話題を攫い、全世界のガノタ達を熱狂させた。

コストパフォーマンスの問題で実現はしなかったそうだ。

というか、脅迫というか・・・」 「ごめんね一夏、色々と事情が有るんだよ... スポンサーからの圧力 「な、なんだって箒星がここに!鈴はどうしたんだ!」

頭部の装甲が開き...そこに見慣れた顔が見えた。

え・・・馨!?

色々と納得がいかなかったので改稿しました。

即下

いや却下とか言われても困るんです、お義母さま。

中国代表候補生だかなんだか知らないけど、 一度送り出した以上

はある程度データをとらなきゃ話にならないわ。

それがテストパイロットとして...いいえ人間として、 最低限のラ

むちゃくちゃな...

いつから僕」

私

か?あと前から思ってたけどISはパワードスーツだから、パイロ 「すみません、 トって、おかし いつから私はテストパイッロトになったのでしょう

口答え禁止』

横暴ですう

だったじゃないか』 7 『そうだったね、 してあるよ、コード送るから、箒星を専用機にしても構わないよ』 いえ、 その件なら、 結構です、 正式にあんたをウチのテストパイロットとして登録 でも絵里ちゃんは、 ぼ..私は整備科志望だっていいましたよね?」 整備科で操縦者で代表候補生

絵里ちゃんというのは、 あんな才媛さんと一緒にしないで下さい。 先日も話しに出た大塚さんのことである。

不器用ですから」

古いよ。

日本の誇る名優さんですよ!

『とにかく、 模擬戦程度のデータじゃ勘弁しないよ、 いいね

義母様は無理難題をおっしゃる・

クワ 口大尉の気持ちがしみじみとわかったよ...

\ \)

知らないわよ、 抱っこしようとするな!あたしは子供じゃない!」

ちえー。

「一夏との試合だけでいいから代わって?」

-嫌

「量産機の三組や、未完成機の四組との対戦デー ・夕じゃ、 あの人納

得してくれないんだよぉ」

「知らないわよ!あんたの母親でしょう!」

うん、義理だけどね。

゙…ごめん」

あ、しゅんとしちゃった、誤解されたかな?

あら、やだ気にしないで、 結構仲良いのよ?ウチ」

「…いいわ、一夏の件の借りはこれでチャラよ」

んて。 借りを作るのはあたしの趣味じゃないからって、 男前だよね鈴ち

いいの?」

街に行くんだ」 一夏を直接ぶちのめす必要も無くなったしね。 ... 次の週末 | 緒に

トですね?デートですか・ 悪巧み中・

' へぇ、じゃぁここ行くと良いよ」

スーパー銭湯?」

から」 夏、 寮の大浴場が使えないでしょう?それでよくぼやいている

て相変わらずなのね」 「あいつデカイ風呂が好きだもんね・ こ 混浴水着スパ...日本

うん、むしろ悪化してる気がするね。

水着の用意は...無いよね?ここか、ここで調達したらいいよ」 ありがと...」

ヒドイ) 一緒に行けないのが残念(反省室に入室中は週末の外出も禁止だ、

さてさて、鈴ちゃん一歩も二歩もリード。

箒さんとセシリアさんはどう出るかな?

可哀想で鈴ちゃんの手助けしたし、今度は二人の手助けもしない

となぁ (ニヤリ)

ιζį しかし一夏の周りは下手なラブコメマンガより面白いな...うふふ

·(° □/) (/□°) /

゚鈴ちゃんは急病...ということになってるよ?』、おまっ、それっ!鈴はどうしたんだよ!」

か千冬がノリノリで協力してくれたことも告げる。 馨はプライベートチャンネルで一夏に事情を話し、 ついでになぜ

お互いに頭の上がらない肉親(女性)がいることに、 一夏は脱力したように納得、 いや諦めたようだった。 苦笑する。

「箒星の製造メーカーは確か...」

手作りによる、超高精度のパーツが絶大な評価を得ていて、全世界 のISでこのメーカーのパーツを一つも使ってないISは存在しな いとかいうヨタ話もあるね』 駆動系とかISの内部パーツ専門のメーカーだけど、 職人さん 0

ロン単位の工作とかしちゃうんだ』 『うん、所帯は小さいんだけどね、 「SHIMANOだっけか、そっかお前の実家なんだな」 皆凄腕ばっかり、 手作業でミク

代表が急遽出場することを告げたことにより、 夏が一人でしゃべくっているようにも見える。 一夏がプライベートチャンネルの通話が苦手らしく、 そんな中、麻耶が二組の代表の急病を告げ、 代理として交代前の 会場のざわつきも少 傍目には一

し落ち着いてきた。

牙にもかけずにね』 7 これ なんだよ、 から先一夏はどんどん強くなると思う、 それ」 それこそ僕なんて歯

心外だと言わんばかりの一夏の表情に馨が薄く笑う。

と一度全力で戦ってみたかったんだよ』 『義母さんのことはもちろんだけど、 やっぱり男の子だからね、 君

「お前、女だろう...」

『心は漢よ?』

いつまでしゃべくっている、とっと試合を開始しる』

思わず顔を顰めた二人だが、とにかく開位置へと付く。 千冬が二人当てに大音量で通信を送ってくる。

パーツに変わってるから、第三世代機にだって遅れは取らないよ?』 『予め言っておくけど一夏、外見はほぼ同じだけど、中身は最新 臨む所だよ!」 の

一夏の返事と同時に、 試合開始を告げるブザー が鳴り響いた。

(距離を取られたら勝てない!)」

そして一夏はそのことを良く里解していた。馨は白式と一夏のことを良く知っている。

それゆえの試合開始と同時の瞬時加速。そして一夏はそのことを良く理解していた。

れば の攻撃力は、 一の武装なのだから、そうでなくては困るというのもあるが、 一気に自分の距離に持ち込み、喰らい付き、 「零落白夜」抜きにしても、過剰といえる程高い、 離れない、 雪片弐型

「なっ」

そう簡単にゲームセットにはさせないよ、 一夏』

取っていたのだ。 瞬時加速にこそ劣るものの、 瞬時加速での急接近し必殺一 撃を加える、 箒星もまた爆発的な加速力で距離を それは果たせなかった。

『通常の三倍と称された箒星のスピード、 舐めてもらっては困るね

.!

馨は左手に構えたライフルのトリガーを引いた。

H&K IS4、通称『ブリッツ』

サルトライフル、 ドイツの名門銃器メーカーH&K社がIS用に開発した、 箒星の初期装備である。 傑作ア

の武装は至ってリアルである(苦笑) 開発チームとしては武装もザ いかんせんノウハウも無ければ、 を模した物を造りたかったようだ 現実的でもない、 よって箒星

口径と、 IS用の実銃としてはそれ程大口径ではないが、 そ

の分恐ろしく"速い"

速度から取られたものだ。 ブリッツ...雷の二つ名は、 その凄まじいまでの発射速度と銃弾の

そして小口径であるが故に、

口の悪い兵士がつけたあだ名は「一人弾幕精製銃」だ。 弾数が多い。

9 左舷の弾幕が薄いよ!一夏!』

分厚すぎるわ!ふざけんな!」

けさせれらた、 暴力的な銃弾のシャワーを一夏はなんとか、 IS機動制御で回避し続ける。 この数週間で身につ

やるね一夏「当たらなければばどうということは無い!」 と言っ

いい加減にしろっ

多少の被害は無視して、 一気に距離を詰める。

一夏は戦法を切りかえることにした。

セシリアのレーザー に比べれば、 実銃のダメージは低い、

んだ。

再びの 瞬時加速」

だが:

なっ!」

一夏の飛び込む、 どんぴしゃの機動に、 まるで未来が見えている

かのように、 馨がグレネードを放る。

回避は間に合わない、というかグレネードは時限信管によっ 内部に詰まっていたベアリング弾をばら撒く。

そのベアリング弾の雲に一夏は突っ込んでしまう。

機動予測はそう難しく無いよ?』 『まず通常機動で死角を取ることだね一夏、普通に突っ込むじゃ、

「つるせぇ!」

『箒さんふうにいうと、 キュとしてガっといって、ボーンってとこ

かな?』

「…そんな感じだ」

くしゅん!」

あら、風邪ですの箒さん」

いや、 恐らく一夏か馨が私の悪口を言ったに違いない」

だいたいあってます

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()
 ()

 ()

動きの止まるセシリアよりやりづらい)」 「(くそう、距離が詰められない、正直ブルーティアーズの制御で

せてくる。 **箒星は十分な機動性でアリーナを飛びまわり、** 強烈な銃撃を浴び

既に穿たれた無数の弾痕で見るも無惨なことになっている。 シールドエネルギー自体はそれ程減っていないが、白式の装甲は 少しでも近づけば、 散弾グレネードで制圧しに掛かってくる。

ネルギーを一気に持っていかれることになる...)」 (このままじゃ、 いきなり「絶対防御」 が発動して、 シー ルドエ

下手な突撃は...悔しいが馨には通用しないのだから。 焦るな、 冷静になれと一夏は己に必死に言い聞かせる。

(/□,)/

の試合を見守っていた。 管制室では、 千冬、 麻耶、 箒、 セシリアが固唾を飲んで一夏と馨

゙まさか馨があんなに強いとは...」

ない姿だった。 普段のふざけた姿が脳裏に焼きついている箒には、 到底想像でき

自分が打鉄に乗って、 あそこいたとして、 果たして勝てるか

あんなのは、 箒星の性能と、 白式との相性が良いだけですわ、 私

「山田先生、箒星のスペックを出せますか?」

゙あ、はい、モニターに出します」

「うっ…」

見事なものだ、さすがは夜子さんだな」

枯れた技術を限界まで詰め込んでみた。

そう言わんばかりのデータがモニターに映し出される。

内装は最新の物に置き換わっているが、 フレームも設計思想も、

第二世代機、それも黎明期の物でしかない。

おそらく総合性能は最後期の第二世代量産機「ラファール リヴ

ァイブ」よりややマシと行った所か。

ヴァイブと違い、箒星は単体で万能機として完成してしまっている。 の腕を要求するピーキー な機体になっている。 その分、射撃にしる、 だが操作性が良く、セッティングによってタイプを変更できる 防御にしろ、白兵にしろ、 恐ろしく乗り手

引き出している、 搭乗時間も大した時間でも無いだろうに、 あのISを良く理解している証拠だな。 嶋野の奴も良く性能を

より、良い手本になるな」 戦術も手堅く、 射撃も基本に忠実、 下手な専用機持ちの規格外共

「ううう」

タイプはイレギュラー には弱いのだが... しかも織斑の規格外の動きにも良く対応している、 嶋野のような

それだけ良く、あの馬鹿のことを理解している、 お前ら、 うかうかしていると穴馬に掻っ攫われるぞ」 と言うことか...

それはありえません!」 「断じてありえませんわ

夜子さんと親戚になるのも気が進まない」 そうしてくれ、 私もあんな訳のわからん妹はごめんこうむるし、

やば、 弾切れだ』

ぽそりと香るが呟く。

一夏はそれ、聞き逃さなかった。

実弾兵器である以上、 いつかは必ず弾切れが発生する、 リロード

の瞬間は

うっそよー

隙を付こうとし、 逆に動きが雑になった一夏に、 馨の刺すような

銃撃が突き刺さる。

だああああ!馨てめえええ!」

やだなぁ一夏、 敵の言うこと間に受けてどうするの?』

男の純情を弄びやがって!」

やだ弄ぶなんて、 一夏のムッツリスケベ』

ツリ」と言われるほうが腹立たしい、 世の男には、面と向かって「スケベ」 なにかトラウマでもあるのだろうか? 一夏はまさにそのタイプだった。 そういう性格の人間が居る。 と言われるよりも。

死ねエエエエ

 \Box えつ?』

怒りを爆発させた一夏が「瞬時加速」 中に方向転換という荒業を

やってのけ、 それに慌てた馨は近接武装をコール。ってのけ、一気に箒星へと肉薄する。

雪片弐型の斬撃を受け止める。

(ちなみにこのヒート・ホーク。 形はそっくりだが、 至って普通の

合金製のアックスでしかない。

ようやく俺の距離だぜ!馨」

はいはい、少しは一夏にも見せ場を作ってあげないとね』

なにおおお!」

見せて貰おうじゃ

ない!白式の近接戦闘能力とやらをね!』

シ アかよ!」

君の乗ってるのだって、 名前は似てるじゃない?』

しらねェよ!」

白兵戦闘の間合いから、 離脱しようとする馨、 させじと食い付く

雪片弐型とヒートホークが火花を散らす。

いいねえ、 射撃戦もい いけど、 やっぱチャンバラが無いと、 ロ ボ

ツ ト物は華が無いよねっ

負け惜しみはみっともないぜ!このまま一気に押し切らせてもら

1) うつ、 鍔迫り合いを繰り広げる。 対照的なカラー の二機は、 アリ ナ内を所狭しと飛び回

だが近接は一夏に分が有る様だった。

白式に軍配が上がる。 箒星は万能機として一定以上の白兵戦闘能力を持つが、 特化型の

だが馨は不敵に笑った、今ならば言える!あのセリフが!

ISの性能が、 またパクリか!微妙にアレンジすな!」 戦力の決定的な差で無いことを見せてやんよ!』

(/ 🖟) /

「さっきから、 一夏さんだけやたら叫んでますわね」

奴はあれが苦手だからな」 馨がプラベートチャンネルで話しかけているんだろうが、 夏の

再びの管制室。

オープンチャンネルでひたすら独り言を言ってるようにしか見え

ない一夏が痛々しい。

た。 状況は一夏が押し気味ではあるが、 馨はよく攻撃を受け流してい

やるな...あいつ」

甲龍は近接パワー型だからな.. 凰の練習に付き合っていたのだろう?自然と上手くなるだろうよ、

な それと、 嶋野のおしゃべり、 あれだな『口プロレス』 という奴だ

「なんですの、それ?」

監督のぼやきみたいなものですよ、 オルコットさん」

「ボヤキ…?」

山田先生、 その例えは英国人の少女には通用しないと思います。

神攻撃だな」 要するに、 戦闘中に会話で揺さぶりをかけてくるのさ、 一種の精

「まぁ卑怯な!」

「(お前も良く喋っているではないか..)」

ą 箒がジト目でセシリアを見る、 という意味では立派な精神攻撃である。 セシリアのア レはまぁうんざりす

なんだオルコット、お前の先輩の得意技だぞ」

「 は ?」

英国の代表..メイルシュトロームの奴のだ」

「え?」

に張り合ったのは、 したものだ。 あの出来損ないのIS... メイルシュ あいつの『 撃 トロー による所が大きい、 ムが各国のISと五分 私も辟易

だ るので、 英国代表候補生が、 あれは英国では標準の、 どいつもこいつも、 戦闘オプションかと思ったくらい やたら戦闘中にしゃ

「断じて違いますわ!!!!」

(注:作者の妄想です)

(/ 🗓) /

だね?』 『ごめんムッツリは訂正するよ、 オープンスケベってことでいいん

「スケベから離れろ!!」

『認めたくないものだな、 若さ故の過ちというものは』

「やかましいいぃ!」

その隙を突いて、箒星が急速離脱を試みる。 絶え間ない馨の「口撃」に一夏のMPは確実に削れらていた。 イライラと焦燥は、 動きの雑さを招く。

「(しまった!)」

慌てて箒星へと突撃をかける、一撃当てれば!

必殺型はね...チェーンマイン!』 П 一夏はカウンターってのを覚えるといいよ、 特に君みたいな一撃

を叫ぶ! 量子変換されている武装を素早く呼び出すために、ィンスヒール 大声で武器名

としては恥ずかしいことだとされている。 と言うのは、素早く展開できない、という証拠で有り、 IS乗り

何より元々有る程度のスピードで展開できるなら、 むしろカッ コイイ だが馨はこう考える「男の子だから恥ずかしく無いもん!」 武器名を叫べ

――突っ込んできた白式にカウンターで連装吸着地雷が絡みつく。ばさらに速く展開できる、という事・・・ どこぞの強襲用MSが装備していたアレだ、 現在箒星に量子変換

されている武装では、最大の威力を持つ武装。

まれるが、損害は軽微だ。 それは即座に大爆発、箒星も離脱しこそねたので、爆風に巻き込

『勝った!第三部完!』

何が完だ!」

やっぱ生きてたか...さて仕切り直しだよ...え?』

センサーが捕らえた異常熱源。

ほぼ同時に、 アリーナに、先ほどとは比べ物にならない、

鳴り響いた。

降臨 (アバン+Aパート) (前書き)

アニメ風に切ってみました。ちょっと短いです。

なんか、 むかつくくらい楽しそうね、 あの馬鹿達」

夏と馨のやり取りは

た。 夏が、親友にして悪友の弾と一緒に騒いでいる時に良く似てい

込めない領域だ。 あの男子達が馬鹿をやっている雰囲気は、どうにも女子には踏み

の女子に比べれば、ずっと踏み込んではいるが、 いう埋められない溝が有る。 それは二人の共通の知人である鈴にとっても、 それでも、 その性分から、 性差と

だというのにだ。

に見える。 馨はあっさりと、 越えられない壁を乗り越えてしまっているよう

馨の馬鹿...」

鈴は二組側のピット... BピットでIS『甲龍』を展開。

ハイパーセンサーを駆使して二人の戦闘を観戦していた。

一応急病、ということになっているので、その辺をうろうろする

わけには行かないが、試合は見たい。

所は無いということを。 そこで閃いた、 試合中のピット程、隠れているのに適してい

るより、 近いのでISを展開しハイパーセンサーを使えば、モニターで見 つぶさに戦闘の観察ができる。

そして、 それゆえに、 誰もよりも速く、 鈴は異常に気が付い

「つ!」

込み、 センサーが捕らえた異常な熱量、 叫んだ。 本能的に鈴はアリーナへと飛び

『一夏!馨!直ぐに逃げて!』

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

だが馨は、 鈴の警告とセンサーの告げる、 まず呆然とする一夏へと箒星を寄せる。 緊急事態。

「一夏!まずい、逃げよう」

「逃げるって」

に熱源を探知すると同時に、そのISからロックオンされたことを 状況を理解していない一夏だが、 白式がアリーナ中央の土煙の中

「なんだ?」

「一夏、馨、なにしてんのよ、速く!」

鈴!?」

「ダメだ鈴ちゃん、逃げ場を奪われた」

... 最悪、もうこのグズッ!馬鹿ッ!」

どういうことだよ、馨」

「遮断シールドがレベル4でロックされてる、 応援も来ないし、 逃

げ場も無い」

馨の説明と同時に三人は散開した、 強烈なビー ム砲撃が、 寸前ま

で三人が居た空間を焦がす。

よろしく、破ったのはあれだね...』 『プラズマキャノン...?大気の減衰を物ともしないとか反則。 出力は軍用ISクラスだよ、アリーナのバリヤを、 光 力バリヤ

『止めなさいよ、 あんなパリンって破れるバリヤの話は』

まったくである。

そして土煙が晴れ、謎のISが姿を現した。

『なん...だと!』

馨が思わず叫ぶ。

白を基調に、 青のラインと赤のワンポイントで塗装された、 I S

だった。

鮮烈なトリコロール。

箒星も全身装甲だが、 目を引くのは生身の露出がまったく無い「全身装甲」である。目を引くのは生身の露出がまったく無い「全身装甲」である。 間接部分を中心に装甲に覆われてない部分

も有る。

ないからだ。 り、装甲はシー 処にも無い、 そのISにはそれが無かった、 ISの防御力はバリヤーと絶対防御によって成ってお ルドエネルギー を節約するための副次的な物でしか そんなISは全世界を探しても何

美しいISだった。

腕部ユニット。 スカートにしか見えない腰部ユニット、 袖のようにしか見えない

模しているようにしか見えない。 放熱索だと信じたいそれは、髪の毛(片結びのサイドテール)を 胸部装甲の突起は...まるでリボンのような形状をして いる。

見える。 両椀で保持する荷電粒子砲は... 傍目には大型の実体剣のようにも

ラズマが噴射されるのだろう。 おそらく遠近両用。 剣として使う場合は、 インパクトの瞬間にプ

そしてISの周囲には数機の...ビットだろうか?

その姿はどう見ても...某魔法少女(2X歳時)にしか見えなかっ なにかファ 馨には。 ネルぽい物体とシールドっぽい物体が浮遊している。

管 局の白い悪魔

馨が絶望的な声で呟く。

連邦の白い悪魔じゃ ないの?だってガン ムカラー 《 トリコロー

ル》じゃない』

『むしろ性能的にはビグ なぁ、 何の話だ?」 ムに近いよ、 鉄壁の機動砲台だからね

今度BD貸して上げるから。 ままだ僕ら全員「頭冷やされて」しまう...』 てか今はそれどころじゃ ないよ、

人戦慄する馨を、 残りの二人は怪訝な目で見る。

このままじゃ観客席が危ない」 とにかく逃げ場が無い以上、 俺たちでなんとかするしかねえだろ、

『たく、馬鹿なんだから』

落白夜」切り裂けばいいのだから。 実の所逃げ場はあるのだ、 アリー ナの遮断シー ルドを一夏が

それを言い出さない一夏に、鈴は呆れながらも、 それを好ましく

思う。

それでこそ、自分の惚れた男だ。

OK・三人ならあれもできるしね』

`なんだよ、いい作戦があるのか?」

なんか嫌な予感がするけど、言って見なさいよ』

『ジェッ ストリームアタック』

死ね!』「踏み台になって潰されろ!」

二人は光の速さで馨に突っ込んだのだった。

"酷いなぁ...っ!』

stand by ready.

機械的な合成音がアリー ナに響く、 と同時に謎のISのセンサー

が不気味に光る。

の瞬間、 まさに暴力と言うべき火力が解き放たれた

ど、 撃」と称すべき、圧倒的な火力が、大気を焦がし、 アリーナのグランド内に含まれている、 それは銃撃、 あっさり蒸発している有様だった。 などという生易しいものではなかった、 比較的沸点の低いものな 大地を抉る。 まさに「 砲

『冗談抜きで戦艦の主砲並だよ!』

'ふざけてる場合じゃないわよ馨!』

さらには周囲に浮遊するビットからのレーザーが雨霰と降り注ぐ。

うあんまり無いんだよね』 『真面目な話、 鈴ちゃんが来てくれてよかった、 ぶっちゃけ弾がも

「どうすんだ!」

『一夏はいい加減、 プライベー トチャンネルを覚えて、向こうに作

戦ばれちゃうでしょうが』

『そうよ、馬鹿!』

『馬鹿馬鹿言うな!... おできた』

:

たいから、軽く仕掛けてみよう』 ... 結果オーライということで、 とにかく向こうの防御性能が知り

『三人とも!速く退避して』

管制室からの退避勧告を、馨が遮断する。

 \Box 一夏は、 白兵戦を仕掛ける振り、 僕は牽制射撃、 本命は鈴ちゃ Ь

のアレでどうかな?』

『俺は囮かよ』

相手の格闘性能も判んないのに、 白兵仕掛けてどうすんのよ』

『よし準備OK、いこうか』

ドにし、 のバレルをヘヴィバレルへと換装、 残弾を節約するためだろう、馨はプランを立てながら、ブリッツ ブリッツを簡易スナイパーライフル仕様へと変更していた。 セレクター を切り替え単射モー

" じゃぁ いくぜ』

『隙あれば、攻撃もOKだよ』

ウンの装甲の薄い部位を狙って狙撃を開始する。 後方へ回り込もうとする一夏、 それを援護するように馨はアンノ

『うえ!』

あっさりと、 弾丸がシールド型ビットに阻まれる。

硬い。

襲う。 馨など眼中に無しと言わんばかりに、 アンノウンの主砲が一夏を

『遅い!』

にタイムラグがあるせいで、 威力は高いが、 この砲撃、 タイミングが読みやすい。 その分スピードが遅い、 さらには発射

『一夏!当たらなければ』

『うるさいぞ馨!真面目にやれ...ってうわぁ・

だ。 誘導弾で追い込み、 慌てて回避運動に入った一夏目が賭けて、 アンノウンが大量の小型誘導弾を射出、 主砲で止めを刺す、 どこかで聞いたような話 斉に一夏を襲う。 主砲が火を吹く。

出来てるね!』 『あれはアクセル・ シュー ターを再現してんのか...まったく、 良く

を続ける。 シールドビッ 反撃のビッ 狙いを武器破壊に切り替え、 トと本体のバリヤに阻まれ、まったく届かない。 トからのレーザーを避けながらも、 主砲目掛けて、 銃撃を繰り返すが、 馨は粘り強く狙撃

『狙い撃つよ!ストラトスだけにね!』

『そのまま続けなさい馨』

用し、 それではない。 振り上げた青龍刀はシールドビットが阻むが、 砲撃が大地を穿って作り出した黒煙に紛れ、 至近距離の死角へと踊りだした鈴が攻撃を仕掛けた。 一夏と馨の牽制を利 甲龍の最大武装は

『喰え!』

まぁ見えないのだが。 甲龍の両肩ユニットに搭載された兵装が、 火を吹いた。

衝擊砲。

空間そのものに圧力をかけ、 打ち出す、第三世代兵装。

その特徴は砲弾も砲身も目には見えないこと、 極めて回避が困難

なその攻撃を。

『うそっ!』

とうよりも、 アンノウンがあっさりと回避していた。 白兵距離まで接近されたので、早々に離脱した、 ع

一見鈍重そうな外観からは想像できない、 爆発的な加速力。

いうべきか。

『これは...厄介ね』

『うーむ、今のはフラッシュ・ムーブもどきなのか』

『馨、あいつの取りそうな行動、直ぐにデータにして転送しなさい』

いえっさ

あくまで緊張感の無い馨だった。

(, 口() (/ 口,) /

『ええぃ、管 局のエースは化け物だ!』

ついに弾の切れたブリッツを収納、 あまり通用しない気もするが、

予備の銃器をコールする。

18というのはISという文字をもじったものらしい(さすがイ イタリア・フランキ社製、 IS用ショッ トカノン、 S P A S 18

タリア)

ベースは同社のSPAS・15。

らの噂だが、 マガジンを採用しているため、 セミオート・ポンプアクション両方が行なえ、なおかつボックス ほぼISサイズ用に大型化しただけ、 実際はきちんとIS用に再設計されている良銃である。 高速での再装填が可能。 と (イタリア製だけに) 専

るが、至近距離での取り回しも良い。 ストックも折りたたみ式で、傍目にはアサルトライフルにも見え

ドンしないとだめっぽい。 あの鉄壁砲台にダメージを与えるとなると、それこそゼロ距離でズ とはいえ、対一夏専用に普通の散弾しか用意してこなかったので、

Ļ もっともこれまでの攻撃がまともに通用していないことを考える 望み薄だ。

を見舞ってやったが...ピンピンしていた。 一度など、 一夏と馨二人で押さえ込み、 甲龍の衝撃砲の最大出力

S おい馨、 シールドエネルギーは後どれだけ残ってる』

『殆ど被弾して無いからほぼ満タン』

ない。 狙撃による牽制に努めているので当たり前だった。 しかも箒星は実弾兵装ばかりなの攻撃には殆どエネルギー ・を使わ

 \Box あたしは2 00ちょ いね...かなり厳しいわよ』

『こりゃ、あれだね、作戦を切り替えよう』

『どうすんのよ』

 \Box

あれにダメージ通せるのは、 夏の「雪片弐型」 だけだよ、 それ

でいこう』

それが当たらない無い、 から苦労してんだろ!』

砲撃を回避しながら、一夏が怒鳴る。

りと白兵距離から離脱してしまう。 なんとか接近しても、 アンノウンはあの暴力的な加速で、 あっさ

『...てかさ、あいつおかしいよね』

『たしかに... まるでロボッ か動かないというか。 トみたいな動きだよな、 ルー チン通りに

ビットとミサイルにより牽制で動きを制限し、 主砲の一撃。

それの繰り返しだ。

白兵を挑まれれば、

即座に離脱。

『まるで...人間が乗ってねぇみたいだ』

『ISは人間が乗らなきゃ動かないわよ』

『うん、 一部の研究者、特に男性至上主義者共にとっては悲願とも

言える研究なんだけどね』

遠隔・ユール 独立 ・ユール ・ユントロール スタンド・アロール

によって、日夜膨大な資金と時間が無駄に消費されていることを、 いずれも、 この女尊男卑の風潮を面白く思わない... 保守的な男共

研究者志望の馨は知っていた。

愛いものだ。 そこに行くと、 M モドキのISを開発したがる、 義父達など可

たぶん..

そういえば...さっきから、 会話中はあんまり攻撃してこないわね

鈴がひょいっと華麗な機動で砲撃を回避する。

戦会議をしていると、アンノウンは攻撃の手を緩めてくる。 まるで、 このようにまったくしないわけではないが、 こちらを観察するかのように... こうやって三人が作

 \neg まぁ やっぱりジェッ ストリー ムアタックだね』

おい

『いや、真面目な話ね、こんな感じで』

馨が作戦のイメージ図を二人に送信する。

近接を嫌って距離を取る、 というアンノウンのルーチンを逆手に

取る作戦。

れを繰り返し、 連続して接近戦を仕掛けることで、 破綻した所に、 一夏の「零落白夜」を叩き込む。 アンノウンの行動を制限、

ちゃんは無いの?』 7 あら、 なかなか良い作戦だけど...即席の連携じゃぁ成功率、 鈴ちゃん、 一夏の親友である私は自信あるよ?幼馴染の鈴 低そうよ?』

らないでよね!』 『有るに決まってるじゃない!あんたこそ、そんな旧型で足引っ張

かっ いつからお前は俺の親友に格上げされたんだ?と思わないでもな たが、 一夏にもこの作戦は中々良いように見えた。

いこうぜ』 7 確率がゼロじゃなきゃ、 いいだろ、 可能性が有るだけさ、 これで

... 男って、 本当に博打が好きよね、 馬鹿みたい。

 \Box 夏、 一夏「分の悪い賭けは嫌いじゃない...」 って言おうよ、 そ

こはさ』

『お前はアニメとゲームから離れろ』

ョンアタックだよ、センスは認めるけど、 で悪事をしようなんて...「頭冷やそうか?」ひゃっほー!』 『ははは、無理かな?さぁて、幼馴染と親友による、コンビネーシ な はさんを模した機体

『真面目にやれ!』』

に突っ込んだ馨の箒星を追い、 はさんて誰だよ、 というつっこみをいれつつ、 アンノウンに突っ込む。 一人は真っ先

(, 口) (/ 口,) /

即席の連携してはよくやった方か...」

冷静になってる場合じゃありませんよ!」

管制室。

馨提案のジェッ ストリ ムアタックは確かに効果はあった。

ビッ トを全機破壊し、 本体にもそれなりのダメージを与えた。

だが...

馨が遠近両用と踏んだ、 インパクトの瞬間、 側面に備えられた砲口から噴射されるプラズ ブラズマカノンが猛威を振るった。

される威力。 マで生成された刃は、 近接兵装でガードしても、 ガード毎吹き飛ば

しまう。 ほぼ無傷だった箒星もかなりのシールドエネルギーを減らされて

代表候補生の面目躍如である。 この攻防で殆どダメージを受けなかったのは、 鈴のみ、 さすがに

「システムクラックの方は?」

「ダメです」

の精鋭が攻略を続けていたが、芳しくないらしい。 観客席のロック、 アリーナの遮断シールドの解除、 いずれも三年

来ないで居た。 も入学したてのヒヨコ達の死闘をハラハラしながら見守るしか、 すでに教員による制圧チームは全員準備万端だが、 教え子...それ

·... チッ」

苛立つ千冬。

弟のピンチに、 やはり冷静ではいられないのだろう。

なぜか置いてあった塩をコーヒーに投入してしまい、 とんだ恥も

掻いた。

消えていたことに。 それゆにえ気が付かなかった、 いつの間にか箒とセシリアの姿が

(, 口 () (/ 口) /

"...作戦がある』

つ ている、これではエネルギー無効化攻撃はあと一回が関の山だ。 思いつめた表情で一夏が言う、白式の残エネルギーは100を切

『拝聴しましょう』

『言って見なさいよ』

『馬鹿なの?死ぬの?』

まぁ論理的には可能だけど、 『それはあれだね?幽 白書の、 一歩間違うとバラバラだよ?』 霊 発射桑 だね?え、 違う?..

イグニッション・ブースト】による突撃。 一夏の作戦、 鈴の衝撃砲のエネルギーを利用した「瞬時加速」

そも「瞬時加速」の原理はこうだ。

み スラスター 翼からエネルギーを放射、 圧縮、 再解放。 それを一度内部へと取り込

う。 その際に得られる慣性エネルギーを利用し、 爆発的な加速を行な

ならば、 スラスターに取り込むエネルギーは外部からでも良い。

鈴、何か良い案は有るか?』 『もうエネルギーが残り少ない、 これしか手が無いんだ、 それとも

『う…』

『ちなみに私は完全に弾切れ、 あとは淑女の嗜みだけね』

到底役に立ちそうに無い。 と肩を竦めて見せる馨。

『だから、壁と発射台になるよ』

『はあ?』

ラスター 群を後方に向ける。 箒星の両肩、 シールドとアー マーを前面に向けさせ、 なおかつス

なおかつ空気抵抗を低減してアシストするのさ、 ムって知ってる?』 『その作戦、ちょっとタイムラグがあるでしょ?だから攻撃を防ぎ、 スリップストリー

をアシストする者のことを「発射台」などという。 それをやろうと馨は言っているのだ。 ドレースではこうやってエースのゴール手前へのスプリント

くらいかな?』 9 燃えるシュチュエー ションになって来たねぇ、 アニメなら25分

『ああ、もうっ!馬鹿二匹!』

鈴がヤケになって叫ぶのとほぼ同時に、 アリー ナに声が響いた。

「一夏あつ!」

った。 ナのスピーカーがハウリングするほどの大音声、 箒の声だ

男なら... 男なら、 そのくらいの敵に勝てなくてなんとする!」

再びの大音声。

『そのくらいって...簡単に言うなぁ箒さん』

と馨が突っ込む。

ず箒がいるであろう、放送室に目を向ける。 一夏はそれどころではなかった、 何やってんだアイツは、 と思わ

『やばっ、一夏、あいつが』

『箒っ!逃げろ!』

そしてゆっくりと砲口を向ようとしている。 アンノウンが大音声の方向に興味を持ったのか、 センサーを向け、

『鈴!馨!』

『?まって一夏』

 \Box ああぁ、 もうっ!どうなってもしらないんだからねぇ!』

鈴は甲龍を最大砲撃モードに、 補佐用の力場展開翼を後方へ広げ、

両肩を押し出すように構える。

夏は腕への軋みに耐えながらも、 発射までコンマ5秒、馨がまずスタート、 後部スラスター翼を展開する。 その後に張り付いた

馨と一夏を襲う。 衝撃砲の発射とほぼ同時に、 攻撃を感知したアンノウンの副砲が

と降下していく。 全砲火を受け止めた箒星のシー ルドエネルギー があっさりと0へ

『こんなろぉぉぉぉ!』

の機動をずらす。 衝撃砲が白式の背部スラスター に着弾する寸前、 気合で馨は箒星

だけは力強く。 制御を失い、 ア IJ I ナのグランドに突っ込む箒星、 しかしその指

b サムズアップ。

を背中に受け止めた、 着弾、 トラックに追突されればこんな感じだろうか、 一夏は軋みを上げる体に耐えながら、 という衝撃

オオオオオオオッ!』

S

一夏の咆哮に応えるように雪片弐型の放つ光が強くなる。

通常に二倍近い大きさになったビーム刃。

「零落白夜」使用可能、 エネルギー 転換効率90%

そのシステムメッセージを聞くまでも無く、 夏は理解していた。

初めてISに触れたときに感じた、 ISとの一体感

がはっきりと見える感覚。 全能感ともいえる、 鋭敏化した五感、 異常なまでの集中力、

体から湧き上がるような、 そして何より、 激痛と疲労でとっくに限界を超えているはずの身 カ

その全てを込める様に、 一夏はアンノウンに突撃する。

驚異的な防御力で一夏の突撃を受けとめたアンノウン。 それでも一夏は加速を止めない。

残ったエネルギーを搾り出すように、 再度の「瞬時加速」。

『ウオオオオオオオオ!』

その ままアン ノウンを、 観客席のシー ルドまで押し込み、 叩きつ

ける。

゚これでっ!』

雪片弐型を振りかぶり、 両手に構え、 切り落とす、 上段からの袈

彩懸け。

ヤなど物ともせず、 その一撃は、 観客席のシールド毎、 本体へと直接ダメージを与えようとする。 アンノウンを切り伏せ、 バリ

ウンの左腕を切り飛ばしただけだ。 アンノウンの「絶対防御」 が発動すること、 その残撃は、

まだアンノウンは動ける。

が殴り飛ばす。 もはやエネルギー の枯渇し、 動けない白式を、 アンノウンの右腕

・『一夏つ!』」

た鈴がすかさずキャ 叫ぶ箒と鈴、 地面に叩きつけれそうになる一夏を、 ツ チ。 追撃してきて

『もう、しぶといのよ!』

はやエネルギーに余裕が無い。 襲撃砲を叩きつけたいところだが、 甲龍も先ほどの最大砲撃でも

白兵で片をつけるしか 馨はすでに起き上がれない、 なんとか一夏の安全を確保し、 後は

める。 追撃の為にふわりと浮かび上がったアンノウンに、 鈴が覚悟を決

だが一夏はふっと笑って言った「ちゃんと考えてあるんだぜ?」 怪訝な表情の鈴。

『完璧ですわ!』

既にISの展開が解けている一夏は大声で叫ぶ。 それに対し。 狙いは?

も有るが、 口擊」 こんな時は頼もしい。 などと言われてしまう様なおしゃべりは、うるさいとき 完璧なクイーンズ・ イングリッ シュ。

狙撃と、 観客席から躍り出た、青いビット、 二基の弾道型による追撃。 ブルー ティアー ズ四基の同時

と落ち、 まず狙撃によって、スラスタを打ち抜かれたアンノウンが地面へ そこへ容赦なく、 弾道型が着弾爆発を起こす。

そう、 一夏に残撃によってシールドは、 破られているのだ。

認識外の奇襲。

めていた。 人間の狡猾さを証明したそれは、 アンノウンの息の根を完全に止

セシリアならやれるって信じてたぜ?」ギリギリのタイミングでしたわ』

鈴の甲龍を通しての通信。

一夏の言葉に嘘やおべっかはなかった。

それは本気で戦ったがゆえに、 あるいは本人よりも、 理解してい

るのかもしれない。

だがそんな一夏らしからぬセリフに、 なにやら、 どもった様子で、わたわたと通信を返してくる。 セシリアは周章狼狽する。

ブチッ

鈴がキレて、通信を切る。

あ、おい何すんだよ」

うるさい!馬鹿ッ!」

思わず怒鳴る。そこへ

鈴ちゃん!そいつまだ生きてる!』

だが、 馨の警告、 怒りに任せた鈴の衝撃砲が、 アレだけ攻撃されてなお、 そんなアンノウンを容赦なく アンノウンは生きていた。

100%八つ当たりである。襲った。

'いい加減っ...消えて無くなれっ!』

け止めたのは、 エネルギーが切れて墜落しそうになった、 まさに奇跡だった。 二人をなんとか馨が受

そのスピードまさに【箒星】のごとし。

『 (赤い) 彗星は、伊達じゃない!』

と叫んだとか、叫ばなかったとか...

「身体中が痛いよ、一夏」

- 安心しろ俺もだ、馨」

鍛え方が足らんな、馬鹿者共が」

もっと優しくしてください、先生。

鈴はぴんぴんしてるもんなぁ、言い返せねぇ」

ここは医務室。

空中に放り出された鈴ちゃんと一夏を、 間一髪キャッチした後、

私と一夏は気絶。

ここに運ばれた。

診断の結果は一夏が「全身打撲」全治数日。

私は、軽い打撲と火傷、あと全身の筋肉痛、 気絶したのは疲労の

せいだって、とほほ恥ずかしいなぁ。

この騒ぎなのに、 クラス対抗戦は、 明日一日置いて明後日には再

開するそうだ、たくましいなぁ。

二組は正規の代表である鈴ちゃんに戻る。 とはいえ白式は損傷が激しいので、 一組はセシリアさんが代打、

うことになるらしい、 ちなみに僕と一夏の試合は、 やっほうー 一応51対49で僕の判定勝ちとい

まぁ「圧倒的じゃないか我が組は」 状態だったしね?

よくやった、 と言ってやりたいところだが、 とんだ独断専行をし

おって」

ひぇ頑張ったのに、お説教ですか!?

少しは褒めてあげなさいよ。千冬」

この聞きなれた声は..やっぱりお義母さま!

夜子さん」

はい千冬、お久しぶり...でもないけど」

義母さん?どうして学校に、いてて」

あんたには言ってなかったけど、私はここの理事の一人よ」

そうだったんですか...

理事会には良く欠席されてますが」

ぶっ

にもってるのよね...まったく度し難いわ」 打鉄の内装があそこのオリジナルじゃなくて、 「だって倉持から来てる理事がしつこいんだもん、 ウチ製になったの根 未だに量産型の

:

と千冬も先生の仮面が外せない ほら馨、 後は姉弟水入らずにしてあげましょうか、 しね あなたが居る

「よけいなお世話です夜子さん」

の功 にやにやする義母さん、 いえなんでもありません。 すげえ織斑先生を圧倒してる、 これが歳

'後私も話があるわ」

いあ、 お義母さま、 私全身が痛くて、 あし ! ひっぱっちゃだめー

「嶋野理事」

らないけど、「はいはい、 味じゃないのよ」 ウチみたいなパーツメーカーには関係ないし。 余計なことは詮索しないわよ、どんなISだったか知 第一趣

私は医務室から連れ出されたのだ、 硬い織斑先生の呼びかけにも、 軽く応じた義母さんに引っ張られ、 痛いですってば!

せめておんぶしてぇ!

「昔からだ、あの人は。正直私も頭があがらん」「なんかすげぇパワフルな人だったな」

千冬姉が、 頭が上がらないって...相当だな、 馨の奴大丈夫か?

...お前が無事でよかった」

そう言う千冬姉の表情は柔らかい。 家族に死なれては寝覚めが悪い、 なんて憎まれ口が続いたけど、

ける笑顔。 普段は絶対に見せない、世界中で俺だけに、二人だけの家族に向

馨には悪いが、馨の母さんに感謝。

心配かけて、ごめん」

俺の言葉に、千冬姉は小さく笑った。

心配などしていないさ、 お前はそう簡単には死なない」

なんだよそれ

なにせ、私の弟だからな」

すごい理屈だな...千冬姉なりの照れ隠しなんだろうけど...

では私は仕事に戻る、 少し休んだら、 部屋に戻れ」

そう言って千冬姉は医務室を出て行ってしまった。

でも馨帰ってこねぇな...大丈夫か?」

まぁその後箒や鈴がお見舞いに来てくれたので退屈はしなかった

が。

/ _ _ _ /

\ (\cdot \box \cdot \cdo

おごりだよ、といって飲み物を買ってくれたのは... 連れだされたのは、 自販機の並んでいるちょっとしたロビー。

げぇ!これは、伝説のデレロー飲料。

飲む牛タン塩味!

の味がするらしいのですが...なんでこんなの置いてるの

?誰が飲むの?

見れる気がするんです、 「義母さま、今ベッドに隠れていると、嬉し恥ずかしのイベントが だから部屋に戻りた

具体的には眠っている意中の男子にチュー

大胆になりきれなくてホッペかデコにちゅ !もまた良し

「前半の専用機との試合は悪くなかったね」

人の話、聞いてー!

相当だったみたいね」 まぁ後半を見れなかっ たのは残念だけど、 箒星の状態を見る限り、

「緘口令がしかれちゃっ てますんで、 詳しい事は」

って帰って修理だね」 「そのくらいは私も理事だからわかってるよ。 とりあえず箒星は持

゙う゛すみません...」

んじゃないかな... 盾になって突っ込んだとか言えねぇ...あでもログ取れば、 ばれる

てるからなぁ 山田先生が口グぶち抜いてくれてると良いんだけど、 あの人抜け

「欲しくなったかい?」

「何がですか」

「専用機だよ」

「なんでそんな話をするんです」

に 一夏君と一緒にいるなら、 中国と英国の代表候補、 専用機持ちの方がいいだろう、 ライバル多そうだし」 束の妹

ちょっ、いきなり何を。

一夏は友達ですよ?

男女の間に友情なんて成立しないよ、 友達ねぇ... 五十年生きてる人生の大先輩として言わせて貰うなら

それは私が見も心も女子ならそうでしょうよ。

やめて下さいよ、そういうこと言うの...

よ、養生しな」 「ふん、とりあえずは勘弁してあげるか、さて仕事があるんで帰る

痛くてうごけな... あのお義母さま、ここに置き去りにしないでください、僕身体が

あっ、あーいっちゃったよ...

偶々通りかかった山田先生に保護されるまで、ロビーでべそかい

てました。

まぁ山田先生のおっぱいどさくさに紛れてタッチできたし、 し し し し

やわらかかったぁ

ヽ(゜ロヽ) (ヽロ゜) ヽ

お引越しです」

主語が抜けてますよ先生?

三人一緒じゃまずいですよね?」 部屋割の調整がようやくできたので、 お引越しです、 何時までも

ということですね? おお、 つまりついに部屋からお邪魔無視【いちか】が居なくなる

やめて箒さん、 全身の筋肉に激痛が走り、 ひゃっほー !これで箒たんとただれた 経絡秘功のツボ点いてるっ 悶絶痙攣、びくんびくん。 たわばっ

今不埒な想像をしたな、馨」

箒さん...ひどいよ、もっと優しくして?

えっと、 お引越しするのは篠ノ之さんだけです」

つええええええ!?

. 何故わたしが!」

いや、 だって年頃の男女が一緒の部屋はまずいですし.

馨だって、 体は女でしょう!心はともかく!」

箒さんひどい!

アタシの繊細なオトメゴゴロ (ここまで棒読み) が傷ついたよ!

責任とってそのおぴっ!

伸ばした手を箒さんが掴む、ねじる。

また破廉恥な行動に出ようとしたな、馨

混じってますよね? それ以外の感情.. 具体的には嫉妬とかシットとかジェラシーとか

というか痛いです、それ以上ねじっちゃらめぇ!

くんと一緒にしておけ、 「嶋野さんを、女子と二人にするとろくなことをしないので、 と織斑先生とジェニー先生の指示です」

なん...だと?

あの二人ではどうすることもできないではないか!

神は死んだ!〇 r Z

いや殺すなよ」

納得がいきません!」

応援するわ! そうよ箒さん、 か弱い私に代わってあの二人に反抗して!

なぁ箒、 なんだってそんなに怒ってんだ?」

お前という奴は...」

ぁ 怒りの矛先が鈍感キングの方へ。

馨の面倒もするからさ」 「大丈夫だって、 箒がいなくてもちゃんと起きれるし、 歯も磨くし、

一夏の馬鹿チン!

ブチンと何かがキレタ擬音が聞こえる。

どうやら一夏にも聞こえたようだ。 ちょっと顔が引き攣ってる。

...すぐに部屋を移動します」

ひつ!」

山田先生が怯えてるよ...

あと箒さん、そんな怖い目で見なくても大丈夫です。

間違いなんて、 ないですから...絶対に...ね?一夏さん?

もう義母さんが変なこというから、 やり辛くなっちゃったな

(/ _□

ねえ一夏」

なんだ」

箒さんが居なくなり、寂しくなった部屋。

後で取りに来るとい言う、 箒さんの私物を整理してあげながら、

ぽつりと一夏に話しかける。

男女の間に友情は成立しない のかなぁ」

昔そんなドラマあったな」

あったねぇ」

大丈夫そうだね、 この鈍感キングなら。

男と恋愛って、それって精神的BLだよね、つまり、問題は私の方ってことかぁ... あっちはあんまり趣

味じゃ ないんだけどなぁ

そこにはある。

だった。 撃墜されたアンノウンはすぐさまここに運び込まれ、 現在解析中

「無人機か...」

コアは未登録の物が使われていました」

険しい表情の千冬と麻耶。

そのうち眉間の皺が取れなくなるよ千冬」

ける。 ドアを開けて、 部屋に入ってきた人物が、 親しげに千冬に話しか

· 夜子先生!?」

おや麻耶ちゃん、 久しぶり、 あいかわらずみたいだね」

どこ見て言ってるんですか!と思わず手で胸をガード。

なら兎も角今はレベル2の嶋野理事?」 「ここはレベル 4の権限がなければ立ち入りは禁止です。 教員時代

「十蔵さんに頼まれて来たんだよ」

実質的な学園の責任者の名を出し、 夜子はつかつかとアンノウン

に近寄る。

ひょいっとパーツの一つを拾い眺める。

-

「どこかで見たような造りだねぇ」

おやだんまりかい、 まぁ いいさ、 麻耶ちゃんコアは辛うじて無事

なんだって?」

はい。 他はもうメチャメチャにされてしまいましたが」

おかげでこの無人機を制御していた方法は不明のままだ。

じゃあ貰って行くから」

「えええつ!」

夜子の言葉に驚愕する麻耶、さらに険しくなる千冬の視線。

冬あんたの弟の出現で、また騒がしくなるよ?あの子を中心にね」 一度有る事は二度は有る。かろうじて平穏だったこの世界も、

その時、弟の周りには味方が一機でも多いほうがいいだろう?

そう言い捨て、去って行く夜子。

千冬にはその言葉を否定することはできなかった...

転校生がまた来た

六月に入ったが、 夏の焼け付くような太陽がそろそろ顔を出し始め、 一向に梅雨がやってくる気配もなく、 少し暑いアリ 今日も晴天。

ナのグランドに、 約60名の乙女がずらり整列。

本日は一組&二組の合同演習。

格闘と射撃を含む実戦演習を、 一日かけてみっちり仕込まれるの

だ。

織斑千冬先生に

そんなわけでややげっそりしながら、 私こと嶋野馨も列に並んで

いる。

下長袖。 せめて織斑先生もISスーツなら眼福だが、 ジャージ、

したまえ。

ああ太陽よ地面を焦がせ、 温度よ上昇しる、 織斑先生の上着脱がとできればズボンも

ちゃんと、ちょうど前の一組の列に居る、 にかくっちゃべっている。 詠唱、祈り、念じよ!とやっていると、 セシリアさん、 なにやら隣に並んでる鈴 一夏がな

ほうほう、 転校生に一夏がひっぱたかれた、ざまぁ **(笑)**

どれどれ、その転校生とやらを拝見しますか。

おおっ、見事までのロリキュー トなバディに、 あたしや鈴ちゃ

以下のちっぱい !

キタコレ!

銀髪!眼帯!

妖精さん系ロリ美少女キタコレ!これでかつる!

よし後は織斑先生が脱ぐだけだな

詠唱 ー折り !念じよ! **!降り注げSUN!サンサンと!**

「安心しろバカは私の目の前にも三名いる」

バシン!バシン!バシッひでぶっ やーい、一夏たち私語でまた叩かれてんのぉ なぜか私の頭にも出席簿が降って来た...Why?

「そのポーズのせいじゃねぇか?」

しまった祈りに力を込めすぎたか。

(/ □,) /

...... 一夏のせい一夏のせい一夏のせい......」

キック、 あ、 鈴ちゃんと一緒に一夏へ呪いを送る。 あの顔はろくでもないことを考えたな、 これは膝裏に決まりましたね、いい角度です。 おっと鈴選手のロー

そうだな、まず戦闘実演してもらうか、待ちきれないのだろう? 凰!嶋野!ついでにオルコットもだ!」

うえ!

- 「なぜわたくしまで!?」
- 「専用機持ちはすぐ始められるからだ」
- 「せんせーい、僕専用機ありませーん」

手を挙げて元気に発言する。

「貴様【箒星】はどうした」

昨日実家に帰りました、それにアレは僕の専用機じゃありません」

「今日から実習なのになぜ返す?」

びゅんびゅんと出席簿が唸る。こええええ

それは義母の命令ですので。直接義母に聞いて下さい、 先生が」

「ちっ、使えん奴だ。」

ふふべ やはり義母の名を出せば、さしもの織斑先生も怖くない

うわ!「後で山田先生に連絡させよう」とか言ってる、ひでぇ...

あ、でも、 涙目の山田先生を慰めてやると、 いいことあるかも!

わぁおGoodアイデーア!

嶋野ぉ!さっさと訓練機を装着してこんか!」

あ、やっぱり実演はやらされるんだ、ひど...

「何やってんのさ、二人とも」

されていた。 訓練機を装着して戻ってくると、 鈴ちゃんとセシリアさんが撃墜

あとおっぱい揉んだ一夏は死ね、 ハイパー センサー で見ていたけど、 (注:違います) あのおっぱいは私のもんだぞ。 やっぱ山田先生は強いねえ

で、まだやるんですか?」

あの様では、山田先生が強いのか、 この二人が弱いのかわからん」

「えー一対一じゃ僕だって勝てませんよー」

「なら好きな専用機持ちを指名しろ」

ほお、 それはまた太っ腹な!じゃぁラウラちゃんで是非!」

「 断 る」

即答です!ふむツン系か、ううむ興味深い...

え、じゃぁデュノア君、一択で」

おい!馨!自称親友じゃなかったのか!」

うるさいよー夏!あえて言おう!

「戦いは非情さ」(きまったっ...!)

またそれか!」

だって一夏じゃ勝てないし..

勝つ気か?訓練機で」

千冬先生が傲慢に笑う、 またこういう笑顔が良く似合うんだ、

デュノアくん次第では・ いけると思いますよ?」

「あの、僕は構いませんが...」

では始める」

۱) ! さてさて、フランスの代表候補生の実力、 見せてもらおうじゃな

オルコット名誉返上の機会をくれてやろうか?」 「さてさっきはデュノアが山田先生の機体の解説をしてくれたが..

「汚名を返上させていただきますわ!もうっバカにして!」

てるし。 珍しいな千冬姉があんな冗談言うなんて。 なんか怖い笑顔浮かべ

よしやれ」

発ですの。 「こほん...馨さんのISは米国製第二世代量産機『ファントム・イ グル』ですわ、 ロッキード&マーティン、 ボー イング社の共同開

高級量産機で、 量産機とは言うものの、 比較的初期の機体であるにも係わらず、 下手な専用機よりも高い、 と揶揄される 未だに現役、

「うっ にでも乗りこなせる、 化しいる点ですわ、 ちなみに制式採用してるのは米国のみで、 自分の故国との歴史的な軋轢を解説に差し挟むな」 ... その特徴は、 山田先生の『ラファ 白兵戦闘能力を度外視し、 いかにもフランス製らしい軽薄な ル・リヴァ あの金満国家的な 高機動火力型に特 イブ が、

あんまり人のことは言えないが。 学習能力ねぇな。 セシリアは頭おさえてぷるぷるしてる。振り下ろされた出席簿 バシン!

償として、量産機としては非情に扱い難い機体なのよ。 もういい、凰続けろ」 はい!...えと『ファントム・イーグル』 は その特化性の代

実質的な専用機状態となっているとか、 実際に美国でも『イーグル・ドライバー』と呼ばれるエー 意味無いじゃない量産機のさ」 何とか。

愛嬌のある言い回しに全員がどっと沸く。

ですか、 てかあれ基本軍用、 ちふ...織斑先生」 なんであんなのが訓練機としておいてあるん

. 三年にもなれば、あの程度乗りこなすものだ」

へえ、 あれ待てよ?じゃぁ、 そうなのか そのファントム・ イーグルを乗りこなして

る馨ってすげえ

のか?

てるだけじゃ てかさっきからシャ ねえか、 何 ルルばっかり攻撃してて、 してんだ?アイツ 響はふよふよ漂っ

幽霊【ゲシュペンスト】の名はF・4より付けたといいますが、そ の真意は でも火力でもなく、 「ボーデヴィッヒ、 はい教官、ゲシュペンスト・アードラーの最大の脅威は、機動性 _ ファ 極めて強力な電子戦能力を備えていることです。 ントム・イーグルの他の特徴はなんだ」

電子線?ってなんだ?

ゲシュペンストってファントムのドイツ語か?

ファントム・・・オペラ座の怪人?

いや確か本当の意味は・・・幽霊?

(/ 📮) /

いますね?』 『どうしたんですか先生?鈴ちゃんやセシリアさんの時とは随分違

ううううう

きましたからね、 入試の時は先生のそのおっぱいにしてやれましたが、 そうそう不覚はとりませんよ?』 大分慣れて

これが『口撃』 !そう言えばエミリーさん (わたしの同期の英国

代表候補生)も、すごくおしゃべりだった!

織斑先生の言ってたのホントなのね...

麻耶!そんなことに感心してる場合じゃない

冷静に

た大塚絵里さんです』 『さて、 次の麻耶ちゃ んの恥ずかしい話は... は い証言者は、 またま

『止めてください!このままじゃ私の教師としての威厳が!』

『いや、そんなの元々無いし。それはある日のことでした、 またま

たおっぱいの成長してしまった麻耶ちゃんですが』

『いやああああ!』

延々とこちらの恥ずかしい話を暴露し続ける嶋野さんを必死に探

す。

られた瞬間、 開始早々、 センサーから嶋野さんが消えていた。 まずデュノアさんが攻撃してきた、そ の対応に気を取

ファントム・イーグルの真骨頂とも言える電子戦、ISのハイパ

センサーをジャミングできるのは・・・同じISだけ。

整備科志望のせいか、機械には滅法強い嶋野さんは、 もうかなり

のレベルで電子戦を仕掛けてくる。

一対一なら、対抗電子戦をしつつ、処理できた。

たぶん今嶋野さんは電子戦に手一杯で、 まともに動けてないはず。

でも!でも!

デュノアくん、強い!

私が乗っているリヴァイヴをフルカスタムした専用機。

まず機体の地力で負けてる、しかも資料通り、 ラピッドスイッチ

で、手を換え品を換え攻撃してくる。

これをさばきながらでは、 とても対抗電子戦なんて無理。

しかもさっ きから、 嶋野さんの精神口撃が絶え間なく襲ってくる。

しかも話題が全部、胸!

生徒には聞こえて無いよね!プライベー チャンネルだし!

でも、デュノアくんには聞かれてる!

その証拠にデュノアくんが真っ赤!

うわぁぁぁぁん、 お母さぁぁん!

なんとぉ!ブラのホックが壊れてぇ

もうやだぁぁぁぁぁ! かえるううう!

(/ _□ ノカッタゼ

バシン!バシン!バシン!

三回も殴った!親父にも殴られたことないのにぃ

ちなみに義母にはけっこう叩かれてます。

暴力反対!

誰が電子戦をしろと言った」

(おっぱいの)神が」

バシン!バシン!

私の頭は木魚じゃないんですよ!ぽんぽん叩かないで!

貴様はそのままアリーナを延々とマラソンしていろ」

「私は戦闘の実演をしろ、と言ったのだ」

それならデュノアくんがしたからいいじゃないですか、 ねー?」

「え?う、うん...そうかな」

うわ、 一歩引かれた、まぁあんだけおっぱいおっぱい連呼すれば

「痴女」だと思われてもしかたないかぁ。

でも彼も結構可愛いよねぇ、女装させたら間違いなく私より可愛

男の娘か、イマイチ萌えなかったジャンルだけど、これは目覚め

そうね…おそるべし、シャルル・デュノア。 伊達じゃ

ない、ってわけね。 少女漫画界一の殺し屋をたらしこんだ男と同じ名前は、

(注:フランスでは良く有る名前です、 あとイミフの人はツーリ

ング・エクスプレスでググッてね?)

はつ!一夏がピンチ!?

そうか、そんなに死にたいのか」

え?

がしっ!ぎりっ-

い、痛い!

頭が割れるように痛い!

織斑先生のヘッドロック!

ロープ!ロォープッ!

頭蓋骨が!頭蓋骨が!ミシミシいってるぅ!

でもおっぱいちょっと当たってる (はぁと)

ギリリリッ

死ぬ!

(/ 📮) /

午前の授業は馨が身を持って千冬姉の恐ろしさを示してくれたお

陰で、粛々と進んだ。

馨 ?

アリーナの隅に投げ捨てられているな。

返事が無い、 ただの屍のようだ... くわばらくばら

転校生にまつわるアレコレ

この学園の屋上は生徒に解放されている。

ットだ。 なので天気の良い日などは、生徒がお昼ごはんを食べる定番スポ

に押しかけているらしく。 もっとも今は噂の転校生 (デュノア君の方)を見るために、 誰も居ない。

いえーい貸切~

「どうしてこうなる」

それは一夏が鈍感だからですよ箒さん。

昼休み、 実習中にお昼ご飯に誘った箒さんだが、余計なおまけが

四人。

鈴ちゃん、セシリアさん、デュノアくん、そんでもって私

どうしようもなかった。 リアさんの視線が「ダマレ、デナクバコロス!」と言っていたので、 一夏に誘われた時に、言おうかとも思ったけど、鈴ちゃんとセシ

見世物を見逃すバカは無いでの、のこのこ付いてきた。 本当は私くらいは遠慮するべきかとも思ったけど...こんな面白い

今度うまー く箒さんと一夏を二人きりにしてやるかなぁ

あーあー、三人の間に火花が散るのが見えるよ。

鈴ちゃんは酢豚、約束の酢豚だ、健気だねぇ。

そして箒さんは、 セシリアさんはサンドイッチ... まぁこれは一夏の冥福を祈ろう。 ごく普通のお弁当、 でもかなり手の込んでそう

なお弁当だねえ。

「この流れで、お前は無いのか?馨」

あるわけないじゃん、

朝ダメなんだからさぁ

豚汁、 私は学食の焼き魚弁当(定食を弁当箱に詰めてくれるサービスだ) サラダ、おやつのバナナー房まるごと。

あげないよ?昼は私の最大の栄養補給タイムなんだから。

取る。 っきゃうふふとじゃれあう四人を眺めながら、黙々と食事を

?あんまり興味ないんだけどなぁ)」 (箒星の回収は、 六月末の個人トー ナメントに絡んでのことかな

完璧にセッティングされてしまったISなんて、何にも面白くな

ファントム・イーグルのような、 学園の訓練機は、 実習用に扱い易いリヴァイヴや打鉄が多いが、 じゃじゃ馬も有る。

スな機体を自分色に染め上げ (ちょうせい) る快感は...まぁ理解し てもらえないか。 特に今日使ったファントム・イーグルは面白い、あのアンバラン

「そういえば馨、 部屋の件は、 やっぱりか?」

うん。 私が引っ越しで。 今日から一夏とデュノアくんが同棲」

どつ...不埒なことを言うな!」

でも怒りの矛先は一夏、いえーニ

男同士とか!変態!死ね!」

おとこどうし...いけませんわ!そんなの!」

あ、まんざらでもない人がいるw

「なんだよ、お前ら」

ſΪ ふーんどこぞの鈍感キングと違うんだねぇ、顔真っ赤ねぇ...興味深 おー皆して不埒な妄想しちゃって、おやデュノア顔真っ赤、

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

「じゃぁー夏、短い間だけど世話になったね」 どっちかというと俺が世話になった気もするがな」

選別は君のベッドの下に入れて置 」「持っていけ」

あーでもデュノアくんの横じゃし難いかな? ようやく男みたいだけど一応女、 な私が居なくなるのに?

「だが断る」

「いらんと言っている」

よって君に進呈する。 「僕はそれが無くても実物と同棲するからいらんのだ、 寧ろ邪魔だ、

え織斑親善大使」 ヤマトナデシコの魅力を理解してもらうためにな、 なんならお近づきの印にデュノアくんに差し上げたまえ、 では頑張りたま

シュタ!と手を挙げて部屋を颯爽と出る。

馨う!」

聞こえなーい!

荷物が多い ので、 台車を借りて、ごとごと押しながら引越し先に

向かう。

さて、誰の部屋かな?

たしか二人部屋をひとりで使ってるのは三人くらい。

できれば1055室のゾフィー ・クリティー ネさんと同室をキボ

ンヌ!

ンキュンボンのナイスバディ!でも可憐な美少女!守ってあげたく なる系の! アメリカからの留学生、身長155cm、 8 6 8 5 6 (

ですよ?」 山田先生!僕の新しい部屋はどこですかー?ここでもいい

と寮長部屋でのたまってみた。

「…これが新しい部屋のキーです」

なんですかそのマジックハンドとぶんむくれたツラは、 そんなに

午前中の演習で負けたのが気に入らないんですか? 先生が気をしっかりもって、 デュノアくんと戦えばもっとい

までいったでしょう?

弾一発撃ってないんですよ? 私はただステルスで隠れて、 貴方に精神攻撃しかけただけで、 銃

:: うぇ

今にもマジ泣きしそうなんで勘弁してあげることにしました。

(/ 📮) /

ゾフィー たんじゃ なかった...

ムキー の刻印は1002号室、 あれーここって使われて無い

部屋のはずじゃ..

鍵を開け、 中に入ってもやはり誰もいない... 荷物もない

まさか一人部屋?

えー つまんないなぁ

と思いつつ、荷解きと配置を開始する。

自分の分だけに留めて置く。 リア娘さんと同居生活が始まるかもしれないので、 イタリア辺りが、 専用機と候補生を送り込んできて、 一応スペースは 陽気なイタ

適度な妄想をしていると、 ガチャリとドアが開く。

おや同居人さん?

って織斑先生!何故ここに!

ここがお前の部屋だ、同居人と無用なトラブルを起こすなよ」

それは命令ですか教官」

先生だ、 いい加減覚える。 それと命令だと思っていい...嶋野!」

はい、なんでせう?」

問題を起こすな、 特に刺されたとか撃たれたは勘弁してくれ

なんですかソレ..

だぞ」 表候補生、ラウラ・ボーデウィッヒだ、 「貴様のことだからすでに情報は把握しているだろうが、 少々一般常識に疎い、 ドイツ代 頼ん

ラウラさんですね」

「ああ、

朝一で一夏をひっぱたき、

午前の実習で私のオファ

を0

1秒で断った、

私 嶋野馨、 よろしくねー」

先生コミュニュケーションが取れません

あいさつぐらいせんか」

ラウラ・ボー デウィッヒだ」

えーとなんて呼んだらいい?私は馨で構わないけど」

仲良くしろよ、 ご命令とあれば」 ボ | デウィッヒ。 そいつは中々面白い奴だぞ」

...先が思いやられるなぁ。

「でフロイラインの荷物はそれだけ?」

「フロイライン…?」

なんて呼んだら良いか言ってくれないのがいけないんだよ?」

装備は後日届く、今は最低限の装備だけだ、 貴様には関係無い。

あとフロイラインなどと呼ぶな、反吐が出る」

「えーじゃぁラウラさん?」

貴様に名で呼ばれる理由は無い」

小 了 でもあなた姓で呼ばれるのあんまり好きじゃないでしょ

う?

織斑先生がボーデウィッヒって呼んだ時の物欲しそうな顔。

気が付いてないのかな?

どうも織斑先生には懐いているみたいだけど...

装備って...まさかMP5とか417が送られてくるの?」

良く分かったな」

ハンドガンくらいなら兎も角、サブマシンガンやアサルトライフ

ルを何に使うのか教えてプリー ズ!

折角の憩い の空間が硝煙とガンオイル臭にまみれちゃうよ

先生にチクって止めさせないと...

「貴様織斑ー夏の親友だそうだな」

「そうだねぇ、少なくとも学園内では一夏が気を使わないで済む人

間の一人だと思うよ」

「あんな男のどこが良い」

として意識はしてないしね」 「友達になるのに、良いも悪いもないよ、 単に気が合うだけ、 異性

:

またまた沈黙。

とりあえず、色々試してみるかぁ

「 ご飯はどー する?あとお風呂は大浴場行く?」

貴様に心配される筋合いは無い」

いや、 だってルームメイトだし、織斑先生に頼まれてるから」

す) :

基本的に織斑先生の名前を上手く使えばコントロー ルできそうだ

「とりあえず、ご飯行こうか」

「いらん、レーションが有る」

それは非常用にしなよ、 寮のご飯美味しいよ?運が良ければ織斑

先生居るし」

...案内しろ」

ふむこれだな..

(/ [) /

「居ないな...」

イツからの留学生には及第点貰ってるらしいけど」 残念だね。ボーデウィッヒさん、 ザワークラフト食べる?一応ド

んだなぁ。 黙っ て盛ってる、 ドイツ人のソウルフードというのは本当な

「これはなんだ」

これは南蛮漬け、 から揚げを甘辛い酢のタレに軽く漬けた奴、 ま

ぁマリネみたいなものかな」

゙マリネか...ヴルストは無いのか?」

・ウィンナーの焼いたのだったら、あっちに」

盛ってる盛ってる、 ふむ意外に肉食なのね。

ラウラさんのチョイスは、パン、オニオンスープ、 ザワー クラフ

ト、ウィンナー。

私はご飯、 味噌汁、 南蛮漬け、キャベツ千切り、 白菜の漬物

「ドイツじゃ夜はあんまり食べないんだっけ」

· そうだな、昼食を沢山取る」

ボのが美味しかった。 も色々あるよ?なんだっけあの童話に出てきそうな名前のサクラン 学園の学食も美味しいよー、 明日ご馳走してあげるね」 デザートがね、 色々有って、 トルテ

組が全勝優勝! 因みに、 先月のクラス対抗戦は一回戦の判定勝ちが聞いて我が二

一敗が響いた一組は二位。

三組は善戦するも全敗でドベ。

四組は三組にのみ勝って三位。

よってデザートパス券半年分は二組のものとなりました。

「シュヴァルツヴェルダー キルシュトルテか」

· そうそれ」

黒い森のさくらんぼケーキ!

ココアスポンジベースで生クリームだっぷりで、 カロリー もたっ

ぷりです w

チェリーの甘酸っぱさアクセント。

ちなみにドイツでは、シュヴァルツヴェルダー産のキルシュ酒を

使うのが法律なんだって、すごいね!

周囲の女子が羨望と脅威の眼差しで見ている中、気にせず食べる、

あのか・い・か・ん。

ふふべ 甘いものの嫌いな女の子など (まぁ基本的には) 居ない

のだよ君。

...どの程度のものか確認する必要が有るな」

.. あれ?割とチョロイ?

(/ ロ゜) / マジウマ

ほいじゃ、シャワーお先」

妙な奴だ。

油断するとこちらの懐にするりと入り込んでくる。

教官をだしに私をコントロールしようとする狡猾さ。

食べ物で釣ろうとする、いやらしさ。

午前中の演習で見せた、判断力。

反面、 教官をおちょくり粛清されるような、 馬鹿さ加減。

まるで北欧神話のトリックスター、 口キの様だな。

織斑ー夏の友人だというが、 明らかに周囲の女子とは違う。

あれではまるで...

ボーデウィッヒだ、聞こえるか」

『はい、聞こえています隊長』

嶋野馨という人物の調査をしろ、 IS学園一年二組所属だ」

『了解です』

キモノ?のような寝巻きを来ている。 事務的に通信を終えた辺りで、 奴がシャ 7 ルー ムから出てきた。

大浴場も使えるけど、シャワーでよかったの?」

他人と風呂に入る習慣は無い」

かける情熱は古代ローマ人にも劣らないよ」 「ふぅん、まぁそのうち慣れたらいいんじゃ ない?日本人の風呂に

漫画読む?

ミックを見せる。 と何故か「タオルを持ったローマ風 の彫像」 が書かれた表紙のコ

無視してシャワーを使うことにした。

(/ ロ゜) / テルマエロマエ

. !

なんで全裸にバスタオルですかラウラさん?シャワールームから出てきたラウラさん。

親しき仲にも礼儀有りですぞ、あなた。

まぁしかし...ペタンとかロリンとかツルン、という擬音が良く似

合うボディですね?

どけ

「あ、はい」

あれが外人さんの感覚なのか...ぽんぽん冷やさないでね? そのまま寝るですか。

あと夜中トイレに起きて、 寝ぼけてそのまま出ないでね?

ううむ...

こうして悩ましい夜は更けていくのでした...

変態に技術を与えた結果がコレだよ!

暗幕が引かれ暗闇が支配する会議室。

灯りは、端末が投影するモニターの光のみ。

た。 出すのは...KKKよろしく、三角形の覆面を被った、 円卓状に配置されたシステムデスク、モニター の青白い光が映し 謎の集団だっ

げな集会。 おそらく誰かに見られば、 全員が社会的な死を招きそうな、 妖し

ボード(投影型)を叩き「チャット」でのみ会話している様は、 気味を通り越して、SANチェック物である。 言葉を話すことも禁じられているのか、 全員が猛烈な勢いでキー 不

議長:さて、 有意義な議論も一段落付いたので、 本題に入ろうか。

> ちりり

総員:異議なし!

議長:まずは長老のありがたいお言葉からだ。

ワシらが現役のころは「まずはATを」が合言葉であった長老:いい時代になった、こうしてM_を模した物が作れる時代に、 長老:いい時代になった、こうしてM

一同:むせる...

長老:先代のころは「 レイバーを」と息をまいた

直撃世代がまじ泣きしています、 しばしお待ち下さい...

長老:諸君らの健闘を期待する

一同:長老に敬礼!

議題は我らが希望の星、 議長:長老のありがたいお言葉をかみしめつつ、 日の魔女狩りでかなりのダメー 馨ちゃんの専用機計画につい ジを受けたが、 まだ諦めるような段 本日の議題に入る、 てである。

階でないことは、同志諸君の知っての通りだ

ンプ・ファ ネルのデータが手に入ったと聞い ていますが!

ガンテツ:落ち着け同志トンプ、 あくまで所見だ

ダルマ:英国のBT兵器適正の高い候補生がテストしてるそうだが

.. あまり芳しくないようだな?

なようだ ロートル・うむ、 制御中...とくに攻撃時はそれに集中しないとダメ

を浴びる可能性が有る

ガンテツ:まるで唐突にドラ ダルマ:となると馨ちゃ んでは扱いきれない可能性が高 ンを装備したスト リの如き酷評 ίĬ

一同:ざわ...ざわ..

トンプ:ぐぬぬ

議長:うむサ ビー への夢は膨らむが、 まだ現実的な所には至って

いないと言える。

ロートル:そもそも当社預かりのコアは2個、 両方とも開発室に占

有されていますからな

S Y S : > Y U D A さまがログインされました、 拍手でお出迎え下

さい

YUDA:それに関しましてご注進が

議長:おおYUDA君、大丈夫かね?

YUDA:大丈夫です、 ごく普通に仕事をしている振りをしてい ま

すので

ンプ: さすがは同志Y UDA、潜入工作中に会議に参加とは

UDA:いえそれ程でも、 実は彗星のパスコードを室長が馨さん

に送ったようです、 なし崩し的に彗星を専用機にして我々の計画を

潰す算段のようで

議長:ありうる手だ

ダルマ:なんて狡猾な...

ジをインスコすれば第三世代機にだって遅れはとらんぞ? :だが彗星とて、 当社の技術の結晶とも言える機体だ、 パ

議長:同志ロー 二世代機の枠を超えていないのは事実だ トルの気持ちは判るが、 やはり彗星は設計思想が第

ザンファ:そもそも現状彗星のパッケージはどこまで完成してい のです? る

ガンテツ:07、 ては1 6 ط 8も問題は無い 8 0 0 9 は 61 つでも使える状態だな、 プランと

ダルマ:見事に実弾兵装に偏ってますね

議長: されたなぁ 07と 0 8は前任の操縦者が白兵大好きっ娘で、 速攻で作ら

すか? トンプ:シャ 的には1 4は大事でしょう、 開発は遅れているので

ガンテツ:やはりビー てはどうだろう? ロートル:まずは彗星の14なり15のパッケー ム兵器が問題だ、 第二世代機の泣き所だな ジ完成を優先させ

ダルマ: いえやはりエネルギー 兵器を使うのでしたら、 発展性が 第三世代相

当の本体を用意するべきです、 ンプ:折角の新型で14とい うのは、 少し悲しいですよ、 やは

!せめて 1 00でな いと!

|

ザンファ 落ち着け同志トンプ、 1 0 0ではISとしては精々ビー

ムライフ ルくらい しか見所が無いぞ

ガンテツ ・可変機構搭載しようとしての失敗作だからなぁ

ザンファ : ファ ネルが難しい のでしたら、 シナ ジュでどうでし

よう?

議長:福 は好かん

口 トル:議長の原理主義には困っ たものだ...

トンプ:可変機というのはどうでしょうかね?

ダルマ:展開装甲か、 それでは第四世代機相当の機体になる、 到底

無理だ

のデー ザンファ 夕を見るに、 ・機動特化なら部分的な再現は けそうですよ? しし け るのでは?白式とやら

1)

どうせならガン ムを!

己連邦の犬め!

そもそもびゃくしきとかつける倉持がいけない、 IMEの第一 変

換は百式だぞ!

ATOKつかえよ

あーだこーだ、あーだこーだ

脱線しつつも議論は白熱し。 誰も一言も発していないのに、 部屋

に熱気が篭る。

その時だった

バン!とドアが開け放たれ、 光が部屋に差し込む。

すわ手入れ!と全員がまずチャットのログを消しに掛かるが。

だが..

なだれ込んだ女子社員が暗幕を開け放つと、 その場の全員が、 た

いしてまぶしくも無いくせに

「目がぁ!」

と悶絶する、悲しいオタクの性だ..

その隙に女子社員達が端末を押収する。

男達のキモイ悲鳴が部屋に響く。

はいはい、 しし い年こいた大人が馬鹿みたいなことしてないのよ」

|夜子さん!」「副社長!」「室長!」

「くええええ」

ちょ!長老!てか常務!しっかりしてください!あれは奥さんで

はありません!」

誰か救急車!担架を、いやAEDが先だ!

常務!常務!気を確かに!

などと阿鼻叫喚の地獄絵図が繰り広げられる。

誰も彼もが一流の技術者だというのに、 この馬鹿共は

男に歩み寄る。 と青筋をおっ たてつつ、夜子は議長と書かれた覆面を被っている

「ねぇあなた」

なんだね?私はただの議長であって社長ではないぞ」

ネクタイをぐいっとひっぱると議長がキュウと悲鳴を上げる。

大事な話があるから、ちょっとこい」

う兵士を見送るように、 ずるずると引きずられていく議長...というか社長を、 男共は最敬礼: 死地へ向か

おいおい。

... なるほど」

夏のハー 土曜の午後、 レム) アリーナでの自主練習、 に加わった新たな仲間、 シャ 夏と愉快な仲間達(別名 ルル ・デュノアくん

が、 よっぽど判りやすかったのだろう、 一夏にIS戦闘、 射撃についてレクチャーしている。 一夏がしきりに感心している。

私は、白式に取り付いて、 ペコペコとデータ取り、相変わらず燃

費が悪い子だなこの子は。

で面白くないのは自称"一夏の専属コーチ" のお三方。

箒さん、鈴ちゃん、セシリアさんである。

いずれも劣らぬ花の乙女。

うには少し色気が足りない。 身体はエッチィんだけどねぇ には棘が足りない気もする、まぁ華やかな美貌なのは事実だけんど。 箒さんは、凛としたたたずまいは、 セシリアさんは、自分でも薔薇といっていたが、正直薔薇という 紅梅を思わせる。 ただ梅とい

だろう。 うむこれは我ながら上手い例えだと思う。 んの溢れんばかりの生命力と陽性の魅力は、 やはり向日葵

とはいえ

isi hi 私のアドバイスをちゃんと聞かないからだ」

バイスですか?箒さん ずばー、がきん、どかっ!という感じだ』 のどこがアド

あんなにわかりやすく教えてやったのに、 なによ」

ないのよバカ』 なんとなくわかるでしょ?感覚よ感覚。 ... はぁ?なんでわかん

何一つ教えてませんよね?鈴ちゃん?

わたくしの理路整然とした説明の何が不満だというのかしら」

『防御の時は (長いので略)』

無理ですね。 私としてはセシリアさんの説明が一番理解できますが、 一夏には

ったはず」 〇K一夏、 調整終了、 多少は加速で使うエネルギー の効率良くな

「お、サンキュ馨」

嶋野さんは調整凄く上手だね、 本職の人みたい」

初期設定が、絶妙のバランスでね、 これでも整備科志望だからね、 これくらいはチョロイよ。 大幅にいじくれなて詰んない」 白式は

「 なにも し

「あ

いや僕は自分でするから」

「なにもしてないって、安心しなよ、 さてシャルル先生はどうする

あーやっぱ避けられてるねぇ。

まぁいいけどさ。

「さて、 ぁ セシリアさんのブルー ティアー ズを見てこようか

な!」

「結構です」

...鈴ちゃん?」

「間に合ってるわ」

「ほ、箒さぁん」

「私のは専用機ではない」

... なんか扱いが酷い。

いいもん、自分の機体いじるもん。

昨日の放課後帰ってきた箒星は、 まだコンテナの中だ、 別に急ぐ

でもないから、放置してあるんだよね。

さてどんなことになってるやら。

ちょっとキモイよ 義父さんの「いい仕事をしたと思う!」 っていう笑顔のメー

どんなトンでも機体になってるんだろ...

(/ 📮) /

ちょっと可哀想ですわね」

捨てられた子犬のような風情でとぼとぼとアリーナを去って行く

鼍

その様子にセシリアはちょっとバツが悪そうに言う。

しかし

を据えてやら無いと」 「だってあいつ一夏をひっぱたいた子と仲良くしてんのよ、 少し灸

「まったくだ」

シャルルと同時に転校してきたドイツの代表候補生、ラウラ・ボ

ーデウィッヒ。

おり、ラウラに構う生徒はいない。 初日に一夏をひっぱたいた、という話しは、 全校生徒に広まって

ラウラの世話を焼く姿が、 ただ一人、ルームメイトになったという馨が、 あちこちで目撃されている。 嬉々として

まったく、 ちょっと可愛い子だとすぐにチヤホヤするんだから!」

と絶対に認めたく無い鈴 なんとなく妹ポジションを奪われたようで悔しい、 けどそんなこ

あの不埒物め...」

馨が、 ある意味においては、 その一夏を殴った者と親しくしているのが気に入らない箒。 自分よりも一夏に親しい位置にいるはずの

゙ええ...まぁそうなんですけど」

セシリア。 実はあまり馨と接点が無い無いため、 そこまで感情的になれない

あれ?馨は?」

「知らないわよ」

'知らん」

「え、あの箒星の整備にいかれましたわ」

なんで二人とも機嫌悪い んだ?また馨がなんかしたのか?」

·「うるさい!バカ!」」

余計に怒りの炎に油を注ぐ一夏。 すごすご引き下がり、ああシャ ルルはいいなぁという顔をして、

むかつく... | 夏!模擬戦よ!模擬戦!」

うぇ!なんだよいきなり、今シャルルに射撃の訓練を...

お前は下手に鉄砲など覚えるより、 まず剣の道を究める努力をす

るべきだ!私が稽古をつけてやる!」

`いや、だからそのためにまず射撃の...」

たじたじになる一夏、 そこでいきなりアリー ナ内がざわつきはじ

める。

「ねえ、ちょっとアレ...」

「ウソッ!ドイツの第三世代型だ」

まだ本国でトライアル段階だってきいたけど...」

「エスコートしてる機体何?どこの専用機?」

そんな声につられ、一夏達もそちらに目を向ける。

そこに居たのは、もう一人の転校生、ドイツ代表候補生、 ラウラ・

ボーデウィッヒだった。

漆黒の機体を身に纏い、傲岸不遜を絵に描いたような表情で周囲

を睥睨している。

その横に付き従うようにもう一機ISが居た。

見たこともない機体だった。

学園の訓練機では無い、だがこの場にはいない残り数名の専用機

とも違う。

しかし一夏は、 その鮮やかな赤に見覚えがあった。

馨?」

『はぁい一夏、どうかな?箒星のニューボディは』

ガン ムじゃねぇか!」

一夏は全力でつっこんだ。

(ノロ゜) ノキャスバルセンヨウカ

箒星は様変わりしていた。

帯びたものから、 特徴的な全身装甲が一部オミットされ、 鋭角な物に代わっている。 装甲のほぼ全てが丸みを

そしてモノアイ型のバイザーはツインアイ型になり。

一本角はどこかで見たようなV字型になっている。

どう見てもR 78だった。

まぁカラーはトリコロールではなくレッドとブラックなのだが。

たね。 やぁ 僕もビックリしたよ、まさかこのパターンは予想できなかっ

「おい」

転校初日に自分を罵倒した声、 オープンチャンネルで一夏に呼びかけてくる声、 ラウラの声だ。 忘れもしない、

「...なんだよ」

「私と戦え」

ない。 唐突な申し出、 だが 一夏は困惑しながらも、 それを断る、 戦う理由が

貴様にはなくても私には有る」

一夏が渋い顔をする。

ようなものだ)。 第二回モンド・グロッ ソ (ISの世界大会... ワー ルド・ カップの

その決勝戦。

のだ。 大会二連覇を捨て、 優勝は確実と思われていた織斑千冬は決勝戦を棄権。 彼女は誘拐された弟... 一夏を助けに向かった

千冬は一年程ドイツ軍のIS部隊で教官をしていたのだ。 その際に情報提供を行なったドイツ軍への『借り』 それゆえに千冬の経歴に傷をつけた一夏が憎いのだ。 ラウラはその際の教え子であり、 個人的に千冬に心酔して を返すため、

「「「「馨!・・・・「いいじゃない、やろうよ一夏」「…また今度な」

が馨の名を呼ぶ。 重々しい雰囲気を一蹴する、 馨の能天気な提案に、 異口同音に皆

るタイプだから、 僕も箒星のテストしたいし、 いいと思うけど?」 一夏はどっちかというと実戦で伸び

『余計なマネをするな馨』

いからここはこの馨さんにお任せだよ、ラウラさん』

と返す。 プライベ トチャンネルで話しかけてきたラウラに馨はあっ さり

ラウラさんについーた、 タッグマッチかチー ム戦にしようか?その方が実践的だしね、 夏も好きな子指名しなよ」 僕

「あたしと組なさいよ!一夏」

「私が組もう、なぁ一夏」

「いえ、わたくしが!」

それを冷笑しラウラは言い放つ。我先にと名乗りを上げる、三人娘。

「全員で構わん、まとめて処理してやる」

という音が聞こえた。カッチーン

「いい度胸じゃない...覚悟しなさいよ!」

「コテンパンにしてやろう」

「これだからドイツ人は...」

「いやさすがに四対二は卑怯だろ...」

ねぇ一夏、僕らが勝ったら、学食のジャンボパフェ食べるの付き

合ってよ、さすがにあれは一人じゃ食べ切れそうに無いし」

「ああ...あのバケツに入ってるみたいな奴か、 別にいいぜ。 俺らが

勝ったらどうする?」

ふふふ、織斑先生の秘蔵ショットを進呈するよ」

「お前まだ持ってたのか...」

待て馨、 それは私にくれたものとは違うものか!」

うん

「絶対に負けん!」

馨がどうやってラウラを手なずけたのか、 理解し、 嘆息する一夏。

(なんていうか..案外可愛いところもあるんだな)

そんな風に思っていると

の名折れだ、 さすがに四対二というのは卑怯だな、 私が...」 うむ、 多勢に無勢など武士

ければそちらに移っても」 ちょ あのわたくしとしてもやはり、 っと箒!何さらっと抜け駆けしようとしてんのよ!」 四対二は少し卑怯なので、 よろし

セシリアまで!!あたしも!」

夏はシャルルの手を取った。 まったくチー その証拠に馨が悪魔のような哄笑を浮かべている「チョ 明らかに「 なぜか競ってラウラチームに行こうしケンカを始める三人娘。 一緒にパフェ」の一言が原因である。 ムワークの期待できそうに無い女子に見切りをつけ、 ロイ…」と

頼むはシャ

うんいいよ」

やっぱ男同士っていいな」

なぜか少し赤くなるシャルル。

な?」 ぁアップロードお願いね、 大友さん、 いまの録音データどう?うんモチ肉声だよ。 うん料金はいつもと同じくらいでい じゃ

「おい馨..

ぼろい商売だなぁ」 おお、 すごいすごい、 見る間にダウンロー ド数が上がってるよ、

「何してんだてめえはよぉぉぉぉ

所無く録音&撮影してうpしてるからb゜゜ー夏のBL的発言とシャルルくんとの妖しいツー ショッ トは余す

あ 謝礼はまとめて振り込むから口座番号を教え

ねえつえええ!」

チ切れた一夏の特攻が合図で試合は始まった。

もっと優しくして?【特に織村先生】

この野郎

自分だけなら兎も角(この辺に一夏の諦観が垣間見える)シャル

ルまで!

頭に来て馨目掛けて「瞬時加速」を使おうとした瞬間。

 \neg 一夏!ダメだ!』

飛び込んできたシャルルからの秘匿回線

【敵性ISよりロックされています、 脅威度:

白式が告げるロックオン警報。

そして背筋に走った悪寒に任せるまま、 大地を蹴りスラスタを点

火、真上と回避する。

す。 刹那、 俺が居た地点の地面に高エネルギー弾が着弾、 爆発を起こ

「へえよく避けたね、 少しはシャルル先生の授業を覚えていたかな

?

『落ち着いて、さっきのはブラフだよ。 嶋野さんの作戦..挑発だよ』

... くそっ馨の奴』

のメンタルを攻撃してくる。 例によっての精神攻撃...とにかく馨はあの手のこの手で、 対戦者

しょう?アー はいはい、 ユーアンダスタン?」 一夏高度上げてね、 練習してる皆さんの邪魔になるで

イラッ

このヘタクソな発音の英語が妙に神経に障る。

一夏!』

OK大丈夫だシャルル、 俺は冷静だぜ」

流れ弾が危ないから、全員射撃兵装は考えて撃つようにね」

それだと格闘中心でこっちに有利だぜ、いいのか?」

あんまり派手にやると担当の先生に怒られて終わっちゃうしね。

ラウラさんもいいね」

構わん、このシュヴァルツェア・レーゲンは、 何処ぞの機体と違

ちゃんと近接戦闘にも対応している」

暗に白式を皮肉るラウラ。

... 千冬姉の 【暮桜】だって、 武装は雪片だけだったけどな」

... 貴様如きと、 教官を一緒にするな」

バチバチと俺とラウラの間に火花が散る。

やれやれと馨が肩を竦めている、 イラッ

:. ふうん、 それも挑発?」

射撃一切禁止だとデュノアくんが不利だしねぇ」

おやおや、 どうしたんですか?王子様?何かお気に召さない点で

も

だな...覚えておこう。 浮かべるシャルルと、ニィっと口の端を吊り上げ不敵に笑う馨 うわ、 白熱する俺とラウラとは逆に、 なんか背筋がぞわっと来た、 目がまったく笑っていない笑顔を シャルルって怒らすと怖い h

中心のシャルルが実力を出し切れないじゃないか。 とりあえず高度を取らないと周囲に流れ弾で被害が出るし、

「馨手出しは無用だ、奴は...私の獲物だ」

はいはい、サポートは任せてね」

をフォローするように馨が動いているのだろう。 こちらを挟撃しようとする...というよりは突っ込んでくるラウラ

そういえば馨が使っている武器、 新型...エネルギー兵器?

精度A】 【三菱重工製、 荷電粒子砲〈ビー ムライフル > :火力A 連射 A

に匹敵する性能だ。 白式告げる武器の性能に驚愕する、 セシリアのレー ザー ライフル

さすが国産!っと

ン ^ 詳細不明】 【接近警報 > > ドイツ製第三世代IS<シュヴァルツェア

「どうした!ご自慢の武器は使わんのか!」

「余計なお世話だよ!」

「一夏!」

おっと王子様のダンスの相手はわ た・ し ですよ!」

線に躍り出た馨が受け止める。 ラウラ目掛けて放たれたシャ ルルの銃弾を、 滑るような動きで射

合金使用、 S H I M 強度AA】 A N 〇製積層装甲シー ルド〈三井・住友金属工業製特殊

げっ全然効いてねぇ

つ たのか! これ見よがしにシャ くそっ見た目はまるきりガ マーク入れやがって!サン ダムシー ルドじゃねえ か! イズに許可取

それなら!」 取ってるよ?ふふ五十一口径程度じゃ 無駄無駄ァ

かなかった、 シャ 呼び出された、 ルルが素早く武器を持ち替える、 あれ? 六十一口径アサルトカノン〈ガルム〉が火を...吹 速い!あれが高速切替か。

卑怯だよ!嶋野さん」

に回避機動を取ったのか、それじゃぁ下に流れ弾が行ってしまう。 なんだってシャ ルルは...そうか!あの野郎、 下方に回りこむよう

ふふふふ。ありがとう最高の褒め言葉だよ!』 はっはっはっは!」

そうに馨が笑う。 わざとだろう、 こちらの神経を逆なでするような哄笑...心底楽し

くっそーイライラする奴だな!いちいち!

何処を見ている?貴様の相手は私だといったぞ!」

現れる、 れる、これは...瞬時加速か! 大口径のレールカノンで俺を翻弄していたラウラが唐突に眼前に

漆黒の装甲のIS。 シュヴァルツェア ゲン、 黒い雨を意味するその名の通り、

ラウラは腕部に装備されているプラズマクローを振るった。 一気にこちらの間合いに...いや一歩その内側に踏み込みんできた

元で受け止める。 接近されすぎて回避は間に合わない、 滑りこませた雪片弐型の鍔

11 のか?回避しなければ勝手に自滅するだけだぞ!」

ウラの右腕のプラズマクローは掻き消えた、 ローが容赦なくこちらを抉りに来る。 かにそうだ、 エネルギーを消滅させる「 だが左腕のプラズマク 零落白夜」 の効果でラ

空中で何度も激突しながら、切結ぶ。

そんな中

【警告!ロックオン警報^^敵性ISよりロックオンされています】

ながら! 白式が再度のロックオン警報を発する、 馬鹿なシャルルと戦闘し

別にロックオンするだけなら、 そんなに手間じゃ ないんだよ?』

 \Box

あざ笑うような馨からの秘匿回線

『一夏避けて!』

シャ ルルからの警告、 ロックオン警報に気を取られた、 意識の空

隙

られる。 装甲に覆われていない部分を守る為、 おかげで軽 ラウラのプラズマクロー が白式の装甲の無い部分に突き刺さる。 い衝撃だけで済が、 シー ルドエネルギー ISの絶対防御が発動。 がごっそり削

ことも意味している。 それはHPが減るのと同時に、 俺にとっては攻撃用の M Pが減る

しまっている。 くそっ!白式にとっては得意なはずのレンジなのに、 圧倒されて

【警告!ロックオン警報 > >敵性ISよりロックオンされています】

同じ手を何度もってうわぁ!

上手な嘘の付き方、少し本当を混ぜる、 だよ一夏... おっとと』

ぎりぎりで回避した荷電粒子砲。あの野郎ぉ...

シャルルが降らす弾丸の雨も、 あのシールドと持ち前の機動性で

凌いでいる。

わかっちゃいたが、馨を敵に回すとやり辛いことこの上ない。

...よし逆にちょっと冷静に成って来た。

神経を集中させ、ラウラの動きを良く観察する、 攻撃を回避、 防

御しながら、その癖を探る。

:

ここだ!

先月のクラス対抗戦で言い放った馨のセリフ「カウンター を覚え

なよ」

攻撃の瞬間とは、ある意味最大の隙だ。

たとえ一撃受けたとしても、 まだゲームセットになる程エネルギ

- は減っちゃいない。

だが「零落白夜」の特性で、相手はこのカウンターを喰らえば、

甚大な被害が出る。

ラウラの右の攻撃に合わせる形で、 雪片弐型を突き出す。

余裕の表情だったラウラの目が見開かれる、 このタイミングじゃ

防御も回避も間に合い

刹那、ラウラが笑った。

俺の腕が動かないのだ。 そして雪片弐型がぴたりと止まる、 いや正確にはそれを突き出す

腕が、 足が、 胴が、全身が見えない何かに拘束されてい

ンには通用しない」 ふつ、 俄覚えのカウンターなぞ、 このシュヴァルツェア・

で放たれた.. まったく動けない俺目がけて、 大口径のレー ルカノンがゼロ距離

「ちいっ!」

アのブルー・ティアーズ!? ラウラが居た空間を四条のレーザーが切り裂く、 いや放たれそうな瞬間、ラウラが何故か回避運動に入る。 これは... セシリ

セシリア、 援護はありがたいんだが..ってうわぁ!」

謎の拘束から開放された俺だが、 白式の警告が画面を埋め尽くす。

【ロッ クオン警報 > > 甲龍よりロックオンされています】

ます】 【ロッ クオン警報 ^ ^ ブルー・ ティアー ズよりロッ クオンされてい

されています】 【ロックオン警報 > >シュヴァルツェア・ レーゲンよりロックオン

えない、 慌てて回避運動に入る、 てかなんで俺が狙われてるんだ!? うかうかしているといい的だ。 特に鈴のIS「 甲龍」 の衝撃砲は眼に見

(, 口) (/ 口) /

よくも一杯食わしてくれたわね!馨、覚悟しなさいよ」 要するに、お前ら全員倒せば、一夏とパフェということだろう?」 コホン、箒さん、 順番ですわよ順番」

酷い理論だった。

ラウラ&馨VS一夏&シャルルのタッグマッチに割り込みをかけ

たのは。

リアである。 言うまでもなく、 馨の離間の索に踊らされた三人、 箒 鈴 セシ

に襲いかかることにしたのだ。 喧嘩の末、 のような理論に至り、 一致団結、三人がかりで一夏

ある。 参っ たのは、 双方のパー トナーを援護していた、 馨とシャ ルルで

「...なんか凄く冷めちゃった」

んは眼中に無しか、 なんとなくこうなるかなぁって思ってけどねぇ... きっついなぁ あー あラウラさ

「勝負は無効でいいかな?」

ルが言う。 連装ショッ 右腕に五十五口径アサルトカノン「ヴェント」左腕に六十二口径 トガン「レイン・ オブ・サタディ」 をコールしたシャル

ごらんよ」 「まぁ、 の調子じゃねぇ、 てかさ...下の訓練機組の会話傍聴し

「え?」

ってるの?」 ホント?」「 なんか勝ったら織村君とパフェが食べられるんだって!」 え、 言う事聞いてもらえる?」 「デュノア君はどうな

「二人に勝ったら、 さん達が...」 一日自由にできるらしいよ」 「さっきオルコッ

何か間違った情報が伝言ゲー ムによって拡大している。

「なんか怖いよ!嶋野さん!」

゙あー 最悪、これやっぱ私が怒られるのかな」

「ちょっと馨聞いてるの!」

「あ、鈴ちゃん、それどころじゃないよ」

訓練機組の銃器が一斉に上空を向いた。

リヴァ 対空砲火開始 !打鉄の突撃を援護しろっ

「「了解!」」」

「「「ええつ!」」」

る訓練機組をまず何とかしないと、 鈴 セシリアが叫ぶが、 もはや遅い、 一夏どころの話ではない。 雲霞のように襲っ て来

「 \ (^ o ^) /オワタ」

「ふふふ、デュノア君、こーゆー 時はね『三十六計逃げるに如かず』 なんでバンザイしてるの!?嶋野さん!なんとかしな いと!」

_

「ちょっ!ずるいよ!」

「バイバイキーン!」

馨は逃げ出した。

(/ ロ゜) / イェイ

五分後:

担当教師の報告で、バカ騒ぎ聞きつけた教師陣のISが突入、 既

に満身創痍の参加者達を次々と制圧。

えんまさま】に捕捉され、 上手く逃亡したち思われた嶋野馨だったが、 あえなく御用となった。 逃亡中に織斑千冬【

に引っ立てられた。 騒ぎの元凶となった一夏と愉快な仲間たち (笑) は全員千冬の前

全員まず反省文からだ...その後の覚悟はできているな?特に嶋野」 なんでいつも僕だけ!」

騒ぎの元凶はお前が言い出したことだろうが...お前には学習能力

な という物は無いのか?」 ついカッとなってやった、 今は後悔している。 だが反省はしてい

ゴキン

される六名。 何か危険な音と共に一撃で気絶し、 引きずらていく馨、 及び連行

その背中は煤けていたと言う...

、(。ロ^) (/ロ。) /

って着替えることになった。 ISスーツのまま連行されたので、 俺達はアリーナの更衣室に戻

あーひでえ目にあったな、 ちょっと痺れてるけど、 シャルル足大丈夫か」 なんとか」

全員が正座の上、 延々と反省文を書かされた、 因みに騒ぎを拡大

させた馨は実に二十枚。

最初に一夏につっかかったラウラは十枚。

他のメンツは巻き込まれた形の俺とシャルルですら同罪というこ

とで五枚。

当然四百字詰めの原稿用紙に手書きである。

ひでえよ千冬姉

目の前には竹刀をもった千冬姉が延々と説教を続けてくれており、

当然一切の不正は不可能だ。

ラウラは正座が出来ないのか、当初からぶるぶる震えており、 後

半は虚ろな目をしてビクンビクンと痙攣していた。

鈴は千冬姉が苦手なのでもう借りてきた猫みたいに縮こまっていた) (余談だが、セシリアもぶるぶるしていた、 妙に色っぽかった

ごめんなさい...と念仏のようにうわ言を呟きながら、原稿用紙には すみませんすみませんすみません...と書き続けていた。 一方、二十枚も書くことの無い馨は、ごめんなさいごめんなさい

軽く魂が抜け出かけてな...

明日は日曜だが、外出許可も出ないらしい..

なおバカ騒ぎの参加した全員に反省文が命じられたのは言うまで

もない。

恐るべし千冬姉の

あーでもあのままだったら負けてたな」

· そうなの?」

いつなんか変な技を使うんだ、 こっちの動きを止める、 あれが

あいつのISの兵装なのかね」

「…たぶんAICだね」

AIC?

アクティブ ・イナー シャ ル・キャンセラー。 慣性停止能力だね」

· ごめん、わからん」

簡単には説明はできないや、 部屋に帰ってからね...あと

僕少し機体の整備をしたいからちょっと先にピットによってくね」 「そうなのか?じゃぁ先に着替えてるな」

ルが戻ってきて... その後更衣室にやってきた山田先生と話しているこ所に、 シャル

なぜか急に不機嫌になった。

なぜだ?

ルには先に部屋に戻ってもらうことになったんだよ。 とにかく書類にサインをしないといけないということで、 シャル

なぜあんな事になったんだろうな?

、(゜ロ人) (ノロ゜) /

なんか罰として寮の食堂は禁止らしい、

そして替りに用意されたのは...

さぁ食え、今日の飯だ」

これはもはや料理と呼ぶレベルではない。 ご飯 (根っこ飯という奴だ) 味噌汁 (具なし) きゅうり (生一本)

「なんですか!このてぬ」

また織斑先生謹製の夕飯ですか...しかしこれは酷い」

きょ、 教官が手ずから作ってくれた夕食だぞ!何を言うんだ馨!」

ラウラさん今手抜きって

黙って食え」

る前に取り上げられていて良かった... ラウラさんがワキワキと愛用のナイフを探っている、 反省室に入

`はい(刺されちゃう!)」

ラウラさんは何か神聖な物のようにおずおずと味噌汁に口をつけ せめて塩を...と呟きながら生のキュウリをゴリゴリと齧る。

る

僕も啜ってみた、これは

. !

「うっ、薄い」

馬鹿者!塩分控えめで優しい味と言え!」

いやいや汗かく職業なんですよ僕らは 優しい味ですね」

に沈黙する馨 今にも愛用のナイフを手の甲に突き立てそうなラウラさんの視線

先生せめてお替りを要求します」

無い

ひどい

「これは罰だ、わかっているのか?馬鹿共」

ちょっと楽しく騒いだだけじゃないですか、 怪我人だっていない

L

「まぁ良いデータが取れたようだな」

乱戦のデータなんて滅多に取れませんから はっ

·お前わざとやってるだろ?」

「芸人の悲しいサガといいましょうか...」

(/ p) /

ぽんぽんと会話のキャッチボールをする千冬と馨を、羨ましそう

に、じっと見詰めるラウラ。

たら可愛く見え、 小柄なせいで幼く見えるラウラだが、 内心で千冬は微笑する。 普段の鉄面皮とちがい、 #

その馬鹿な所をなんとかしてくれればな...」 変えるとは、さすがは夜子さんのむす...子供だな)お前ももう少し 「 (しかしまぁ、 あのボー デウィッヒを一週間も立たずにこうまで

実は結構馨のことを評価している千冬だが、 素直に褒めるには、

馨は少々性格に問題がある。

(あと褒めるとつけ上がりそうだった)

酷いですよ !織村先生!もっと優しくして!もっと褒めて!プリ

「うるさいぞ馨、お前ごときが教官に優しされたり、褒められる必

要はない」

「ラウラさんももっと優しくして?」

嫉妬モードのラウラさんには聞き入られなかったそうです。

馨さんの日常

いちねんにくみ しまのかおるラウラさん観察日記

6月某日 (月曜日)

の男の操縦者」 何故かって?その転校生のひとりが、業界で最近話題の「もう一人 一組に転校生がやってきて、 一夏の部屋から追い出された。

デュノア社の御曹司 (? シャルル・デュノア君だったからだ。 どうも婚外子らしく、 この表現は微妙)、

げく 授業中にちょっと変わったことをしたら織斑先生に散々怒られたあ ヘッドロックで気絶させられた、ひどい

でもちょっとおっぱいあたって幸せ。

そして私の新たなルームメイトはもう一人の転校生。 うむとりあえず可愛い。 ドイツ代表候補生、ラウラ・ボーデウィッヒさんだ。

(/ □,) /

6月某日 (火曜日)

朝からラウラさんは嬉しそうだ、ああ可愛い。朝の寮の食堂で、ばったり織斑先生に遭遇。

るラウラさんがひどく可愛い。 先生と同じメニュー にこっそり挑戦するも… 箸が使えず四苦八苦す

その様子を愛でていたら織斑先生にぶたれた、 ひどい。

えた。 ラウラさんは先生の鶴の一声でスプーンに切り替え、 無事朝食を終

同日昼食

一組に赴き、 完全にぼっち状態のラウラさんを連れ出す。

約束通り昼食を一緒に取る。

箸の訓練をするラウラさんがやっぱり可愛い。糸豆乳-昼食で「糸-耳る

昼は沢山取るというドイツ流らしく、 かなりの量。

私も昼はかなり食べるので周囲の女子が恐怖の目付きでこちらを見

ているが、気にしない。

本日の焼き魚定食は鯵の開き、実に美味。

食後に宣言通り、 黒い森のさくらんぼケー キを食す。

「まぁまぁだ」などといいながら二切れも平らげるラウラさんがと

ても可愛い。

二人合わせて1ホー ル食べ、 周囲の女子が (以下略)

ひどい 午後の授業、 満腹で居眠りしかけ、 眉間にチョ クがめり込んだ。

6月某日 (水曜日)

すっかり忘れていた。

ラウラさんが言っていた「装備」が届く。

本物のMP5KやG36にちょっと興奮する。

触らせてはくれなかったので、 ひと通り視姦目で堪能したところで

織斑先生にチクる。

一生懸命装備の必要性を説くが、 先生に怒られしゅ んとするラウラ

さんがやたら可愛い。

帰りしな先生に叩かれる「なぜ事前に報告しなかった」とのことだ。

ひどい

そもそも持ち込まれる荷物の検査体制が甘い気がします。

チクったことがばれてラウラさんに、 恨みがましい目で見られる、

そんな様子すら可愛い

(/ 🗓) /

6月某日 (木曜日)

にべもなく断れるが「時々織斑先生も(以下略) たまには大浴場もよかろうという気分なので、 ラウラさんも誘う。 ᆫ であっさり釣れ

ಶ್ಠ

いそいそと準備するラウラさんが可愛

いせいと判明 いつも裸で寝ているのは、 制服と野戦服とISスー ツ以外の服が無

とりあえず肌襦袢を貸すことにする。

風呂でも眼帯は付けたままらしいが、 る野暮はしない。 いちいち他人の事情を詮索す

大浴場はまさにパラダイス

身も心も洗われ

さらには良い目の保養である。

箒たんの生おっぱいはやはりすごい、 思わず拝んだ。

他の生徒が真似し始め、 箒さんに殴られた、 ひどい。

先生が来るまで粘ろうとし、 のぼせるラウラさん、 普段の姿からは

想像できない痴態に萌える、 これがギャップ萌えか。

またブカブカの肌襦袢を着るラウラたんが可愛い。

のぼせてフラフラなのと裾を引きずってしまうので、 持ち帰り抱っ

こして帰る。

「ええい離せ」とだだったこぱんちするがのぼせているので痛くな

ああ可愛い

今日はいい一日だった。

と思ったら、 のぼせるまで放っておく馬鹿があるかと織斑先生に呼

び出され説教を食らう。

可愛くてつい...てへっ」 とか言ったら叩かれた。

6月某日 (金曜日)

朝から雷を伴う大雨。

梅雨入りしたらしい。

欝だ。

昼になってもやまない。

欝だ。

放課後になってもやまない

欝だ。

夜になってもやまない、むしろひどくなってきた。

ふとんをかぶってがたがた震えていると、 ラウラさんが

「なんだ雷が怖いのかガキめ」

と散々いじくった仕返しをしてきた。

反論する気力もわかない。

至近距離に雷が落ちた、 我慢できずラウラさんに抱きつきがたがた

震える。

殴られるかともおもったけど、 結局ラウラさんは一緒に寝てくれて、

朝まで手を握っていてくれた。

正直すごく助かった。

まったくこれは謎の生き物だな。

嶋野馨

IS用パー ツメーカーSHIMANO所属テストパイロット。

年齢16歳(中学一年を病気で休学

留年)

同社社長夫妻の養子。

中学校時代、学園の入試成績ともに優秀。こと知識面では学年で

もトップ10に入り、上級生にもひけを取らず。

実技では、ISの適正自体はそれほど高くは無いが。 先日の演習、

及び先月のクラス対抗戦での戦闘記録を見る限りでは、 一学年の中

でも優秀な部類に分類される。

本国の分析官によればISの特性を引き出すのが得意なタイプ

カ

ただし、 三年前 (丁度入院した時期) より以前の経歴に細工の形

跡が見られる、とのこと。

詳細は人員を現地に投入する必要有、 何を大げさな・

の生き物。 今私のベッドに潜り込み、 私の手を握ってぶるぶる震えている謎

調査によると、 実の両親は大雨が原因の土砂崩れで死亡・

いない。 上気した肌にうっすら浮かび上がってきた、 先日大浴場に案内してくれた際、遠目にはわからないだろうが、 あれから私は大浴場に毎日行っているが、 こいつは一度も入って 腹部の大きな傷痕。

トラウマか・・・難儀な話だな。アレを見られるのが嫌なのだろう。

\(゜ロ\) (ノロ゜) /

今ありのままに起こったことを話すぜ。

ているから持って行ってあげたんだ・・・ ムメイトがシャワーに入っていて、ボディシャンプーが切れ

同時にルームメイトがシャワールームを出て、 洗面所でばっ たり

顔があったんだよ。

まぁ普通なら男同士だし、笑って済ますよな?な?

でもよ、そしたらルームメイトが「きゃっ」 って言って。

しかもなお・・・胸があったんだよ

いやそのバスト的な意味でな?

おかしいよな?

俺のルームメイトは男だった・ はずだよな?

シャワールームから出てきたルームメイト シャ ルル・デュ

ノアは今どう見ても女の子にしか見えない。

ジャージの上から、その・・ ・膨らみが自己主張してるんだ

当然、会話は一切無し。

あれから十五分、 嫌な沈黙が部屋を支配している。

「ひっ!」

唐突にシャルル・・ 女の子なのにシャルルっていうのも変だが

・・が悲鳴を上げる。

何事!とシャルルの視線の方向に顔を向けると

何やってんだ!お前はよぉぉぉぉぉぉぉ!!」

俺のベッドの下から顔を半分出した馨がこちらをじーっと見てい

た。

どこの隙間女だお前は!こえーよ!

ベッドの下にいるのは斧を持った男の方だよ一夏」

んなこたぁどーでもいいわぁ!

「し、嶋野さん、いったいいつから・・・」

「あなたが部屋に帰ってくる前から」

まて、まず鍵はどーした。

ここ元僕の部屋じゃん、 キー は持ってるよ?」

返せよ!」

色々便利だからヤダ」

ヤダじゃねええええ!

だいたい何で俺のベッドの下にいるんだよお前はよぉぉぉぉぉぉ

お

まぁそれはともかくとして」

ともかくじゃ ねええぇ !大事なことだぁぁ あ

「うるさいよー夏、 しかしよりにもよって一夏にバレちゃっ たねぇ

デュノアさん」

嶋野さん、まさか・

うん気がついてたよ」

な なんだと・

いつから!」

の放課後には確信したよん」 まず君の転校前から疑っていたこと、 実際に会ってみて、 一日目

そう言って、 馨は端末を起動、 あるサイトを俺たちに見せる。

話は結構話題だったんだよ、 「ネットのアングラ界隈ではね、 ひっ 二人目の男のパイロットってことでね」 デュノア社のテストパイロットの

シャ ルルが息を飲む。

アップされている。 無理もない、 ISスー ツに身を包んだシャ ルルの画像がいくつも

うコアな層と、 まー大別すると『こんな可愛い子が女の子のハズがない』 つ てい

せていた訳のよ」 こんな可愛い子は男の娘に決まっている』 いやどう見ても男装女子だろ」K』という層が、 というアレな層、 意見を日夜戦わ

「...なにそれ怖い」

気持ちはわかるぞシャルル。

もうやだこの国...

ちなみに僕は『女子だろ」K』派ね」

ああ、それはなんとなくわかるわ。

でまぁ会ってみてすぐわかったよ」

· な、なんで?」

「 匂 い

つひい!

ちょ 馨の変態的な告白にシャルルが恐怖のあまり俺にひっつく !気持ちはわかるがシャルルさん・ • その胸が当たってい

るのですが・・・

う たしかにこれは女子の匂いだ、 甘いというか、 なんというか

そのことに気がついたシャルルが非難を込めた視線で俺を見る

`...一夏のえっち」

え?俺が悪いの?

女子が良く言う事)言わないのに・・ おかしい、シャルルはこんな不条理で理不尽なこと (俺の周囲の

一夏のえっち! ί1 ί1 ね!今のセリフ、 めっちゃ萌えたよ!」

「うはぁ!」

嶋野さんの変態...」

ルのベッドだぞ、 なぜか悶絶してベッドでごろごろ転がる馨、 やめろ おいそっちはシャル

いいもの聞けたし (録音もしたし)、 帰るね」

「し、嶋野さん!」

別に誰かに言いふらしたりはしないから」

こともなげにそう言う馨に、 シャルルは納得がいないようだ。

「どうして?」

「僕が一夏の友達だからかな、じゃぁねー」

そう言って馨は帰っていった。

まぁ確かにあいつはそんなことしないだろうな・

あいつもちょっと事情が有るんだよ、 俺からは言えないけど」

「そう・・・なんだ」

シャ その後、 ルルは事情を話し始めてくれた... 馨のおかげか、 すこしあの気まずい空気は消え。

/(。 口/)(/口。)/

「いやはや、一 夏のラッキースケベ力を考えると、そう遠くはない

「馨ちゃん?」

と思ったけど、

やはりか」

知り合いの子に声をかけられた。 この後の展開を想像してにやにやしながら自室へ戻る途中。

「おや簪たん」

「たんはやめて...恥ずかしい」

はは、 ごめんごめん、ついね。 どうだった最新話?」

面白かった...いつも録画データ...ありがとう」

返す、 といって差し出されたディスクを受け取る。 第四話 というラベルが貼ってある。

気にしないでい いよー

四組の更識簪ちゃん、 日本の代表候補生。

にして同好の士である。

寮内では見れない番組(有料チャンネル)で放送している番組を

中心にシェアしてるのだ。

まぁ録画と編集は実家の兄貴に任せているのだが。

簪たんのおうちはお固いから、 無理なんだとか、 やれやれ前時代

的な。

馨ちゃんが見た後でも... いいのに...」

自分は二話纏めて見る派だから気にしないでいいよ。 それより例

の話、考えなおしてみる気は?」

う、すごく参考になる」 「ううん...自分で完成させたいから、 でもデータは...そのありがと

らしい。 現在は一夏の【白式】に人員を割いて、未完成のまま放置なのだ。 酷い話だ、 彼女の専用機【打鉄二弐式】の開発を担当していた倉持技研だが、 技術者としてあり得ない話だが、 どうも上からの命令

あそこの経営陣はロクでもないことで有名だからなぁ。

この話を義母さんにしたところ、是非うち《シマノ》で面倒を見

たい、と言い出した。

だが、 簪ちゃんは色々思うところがあるのか、 自分で機体を完成

させたい、とこのオファーを断っている。

そうだ) と色々支援しているのだ。 (無断で)簪ちゃんにあげたり (同じ開発室だから色々参考になる 多少でも助けになるだろうということで、 一夏の白式のデー

なにせ貴重な同好の土ですからね。

大事だよ? まぁ無理強いはしないけど、 やっぱりプロに一度見てもらうのは

しなくても大丈夫だから」 未完成機をほっぽって、 モルモットに夢中な会社のことなら気に

うちの副社長が嬉々として手を回してくれるはずだ。

「うん、でも...」

Ŏ K 必要な時は何時でも言って、怪我しないようにね」

固だなぁ。 そう言って別れる、アニメの話題だと素直なのに、 ISの事は頑

海学校も欠席しそうだな... でもこのままじゃ月末のトーナメント参加は覚束無いし、 夏の臨

Ś うー む簪たんの水着姿をファ 色々手を回しますかね。 インダー に収めるためにも... ここは

くっくっく

悪く思わないでね簪たん、 素直にうんと言わない貴方が悪いのよ?

あら、嶋野さん.

む、簪ちゃんが頑固な元凶だ。

 \neg これは生徒会長、ご機嫌麗しく、 君は本当にブレないね、 ありがとうございます、 人間としての軸はブレブレだけど」 最高の褒め言葉ですわ、 今日も素敵なおっぱいですね」 おほほほほ

ばちばちと僕と生徒会長...簪ちゃ んのお姉さんの間に火花が散る。

る同属嫌悪って奴? 簪ちゃんのこともあるが、 若干キャラかぶってんだよね、 いわゆ

合意の上でしたら問題はないはずですわ、 ... あの子に妙なことしたら、 ただじゃ済まないよ?」 お・ね・え・さ・ま」

ろに見える。 というし J (伏字になってないぞ?) バリの擬音が会長の後

負けん!

見える!僕にもスタードが

寮の廊下で殺気を飛ばすな馬鹿共!」

バシン!バシン!

先生...私にも会長としての威厳が」

知るか、 下級生をいじめている暇があったら仕事をしろ」

ううう、 最近毎日のように先生に叩かれる気がする」

お前が何かと問題を起こすからだ、見ろ」

おお遠巻きに寮の皆がこっちを見て怯えている。

会長の殺気のせいですね、わかります。

さすがに織斑先生相手ではさしもの会長も分が悪いのか、 すごす

ごと退散する

やーい!ざま バシン

いちいち挑発するな」

これはあれですか?好きな子程苛めちゃうって奴で

ギリッ!

ああ!アイアンクロー

先生!せめてヘッドロックで!

それならおっぱいが当たってしあわ

あー !頭蓋骨が!

頭蓋骨がミシミシいってます!

もうこのネタ二度目ぇ!

/(。口/)(/口。)

意識が戻った後もラウラさんに気絶したまま自室へ放りこまれ。

教官の手を煩わせるな馬鹿者」

るだし。 鈴ちゃんはラウラさんと仲良くしているせいで最近いつもいじわ と罵られる...ううっ酷い。

箒さんも以下同文 というか意地悪通り越してる気がする。

セシリアさんはなんか接点がない

シャルルさんには完全に変態扱いだし。

嗚 呼

もう僕には簪たんしか優しくしてくれる女子がいないよ...

(注:50%くらいは自業自得です)

馨さんの日常(後書き)

前半のラウラさんネタは

ージュです。 今月号 (6月号) のコミックアライブへのリスペクトからくるオマ

けしてパクリでは・・・ないよ?

あの四コマは秀逸すぎる・・・ええい単行本はまだか!

お節介はトラブルの素

日曜日

しながら論文でも読もうと思っていたのですよ。 昨日の騒ぎのせいで外出禁止を言い渡されたので、 部屋でゴロ寝

馨、アリーナに行く、付き合え」

えー、自主練ですか?ラウラさん

めんどくさ...

うっ、 なんですかその可愛く不貞腐れたような表情は

はあんな表情でも可愛いって得だよねっ! 本人はただジトーっと睨んでるつもりかもしれないけど、 美少女

仕方ないのでお供することにした。

今日は邪魔をするなよ」

、なんのことです」

アリーナへ向かう道すがら、唐突にそう言う、ラウラさん。

とりあえずすっとぼけて見る。

昨日の、 織斑一夏と戦おうとした私へのお節介のことだ」

ありゃ、ばれてるんだ。

織斑先生からラウラさんのこと頼まれてますからね」

あの場には鈴ちゃん、 箒さん、 セシリアさん、 さらにシャルルさ

んが居た。

んだもん。 一夏にケンカをふっかければ、 大騒ぎになるのは目に見えていた

なんだってラウラさんはそんなに一夏のこと目の敵にするんです

「奴の存在が許せんからだ」

全否定ですか。

だから理由は?」

奴が教官の経歴に傷をつけたからだ」

経歴に傷?

圧倒的な強さで決勝に駒を進め、 .. ああ第二回モンド・グロッソ、 大会二連覇は確実、と言われて 決勝戦棄権のことか。

いた日本代表の不戦敗。

あれには一夏が関係してるんだ、ヘー。

やっぱり織斑先生はすごいねぇ」

「話が繋がらんぞ」

詳しい事情は知らないけど、先生は一夏の為に国家を代表して出

ていた試合を蹴ったわけでしょ?

ラウラさんは軍人さんだから余計かもしれないけど...できる?」

ラウラさんがショックを受けた様子で黙りこむ。

まぁできないよね

第二回モンド・グロッソともなれば、 ISも世間にすっかり浸透

夏がどう関わったのかは知らないけど、 国民の期待 (と国の威信)が掛かっている。 普通棄権などできない。

実際直後の世論は大荒れだった。

新聞、雑誌、テレビによる連日の偏向報道。

めちゃめちゃ怖かったな... そういえば (事情を知っていただろう) 義母さんの機嫌が悪くて、

お姉ちゃんが 「その一件で一 番辛かったのは、 一夏だよ?自分のせいで大好きな

「うるさい」

あらあら

るのかもね」 まぁ織斑先生の『勁さ』 って、 案外そー ゆーところが根っこに有

誰かを守る為の強さ。

先生の背中を見てそだったからなのかな? あのアンノウンとの戦闘で見せた一夏の力は、 やはりそんな織斑

:._

なんかラウラさんがフリーズしてる、 したみたいだ。 どうも思考がオーバー

案外ラウラさんと一夏は仲良くなれると思うよ」

゙ありえん」

そう?だって二人とも織斑先生のこと大好きじゃない」

「 ::

ず ちなみに、 日曜日は平和に過ぎて言った。 こっそり一夏に連絡したので、 無用なトラブルも起き

放課後、 いそいそと帰り支度をしていると、 鈴ちや んに捕まった。

鈴ちゃん、 耳がちぎれちゃう!ひっぱらないで!」

身長差の関係で非常に痛いのですが!

・チビで貧相で悪かったわね!」

そこまで言ってませんから!だから耳を引っ張らんでください!

あと自虐ネタは苦し、イタタタ!

ないんだから!」 「いいからア リーナで模擬戦するわよ!トーナメントまでもう時間

うう、 ようやく離してくれた、ちぎれるかとオモタ...

としての評価には興味がないのです」 前々から言っていますが、私は整備科志望なので、 あまり操縦者

あんたのことはどうでもいいわ!」

ひどい(;;)

あたしはどーしても!トーナメントで優勝する必要が有るのよ!」

違った情報として流通してるよ。 はいはい例の件ね...まったく誰が言いふらしたんだ、 すっ かり間

面白そうだから、 訂正の情報操作はしてないけど...

十分くらい遅れてもいい?」 はぁ…昼休みに量子変換したパッケージの調整してから行くから、

逃げたら承知ししないわよ、 わかってるわね!」

八つ裂きですか?

とほほ

今日中に読んでおきたい論文有ったのに、 徹夜かしら。

さえ鈴ちゃんは二組で色々不利なのですから」 「だいたい、模擬戦なら一夏を誘えば良いではないですか、ただで

べたして、男同士でもうっ!」 「それができたら苦労は無いわよ!最近はずーっとデュノアとべた

おっぱいも結構あったし... あはは、これはシャルルさんが女だとばれたら血の雨が降るな、

あれはコルセットか何かで絞めつけてるんだろうか?

苦しくないんだろうか?

あんまり体に良くないよね。

専用機ではない箒星は、 学園の格納庫の一角を専用のコンテナ(

三重ロック)ごと占領している。

かなり邪魔臭いですが、まぁ...ごめんなさい。

パスコードを入力しコンテナをオープン。

外部コンソールで箒星のロックを解除し、 状態をチェック、 よし

悪戯はされてないみたいだな。

あまり遅くなると鈴ちゃんのご機嫌が斜めなので、 急いで台車に

のせ、整備ルームへ。

. そぉ い!!」

普通女の子一人で運ぶもんじゃないんですけどね!

:

ていると、ばたばたと通路を女子の集団が走っていく。 微調整を終え、今度はピットへの搬入口に載せるのに四苦八苦し

皆さん通路を走ってはいけませんぞ。

第三アリー ナで代表候補生がガチバトルだって!」

「誰と誰?」

例のドイツの子に、 中国と英国の子がふるぼっこにされてるって

!

うえ::

とか言ってる場合じゃ無い、 急がないとまずそうだ

(/ ロ゜) /シリアス?

とセシリアさんにげてー! ハイパー センサー でアリーナを探れば、 なんとかピットへの搬入し、 急いで箒星を装着する。 うわまずいな、 鈴ちゃん

【システムオー ルグリー 「箒星」起動します】

うだ。 くそ、 試しに量子変換したパッケージ、ラウラさんとは相性悪そ

j

します】 【機動砲戦パッケージ「三連星」 稼働効率1 0 0 % 装甲色を変更

だろう?P いちいち仕事が細かいよね...これどうやって装甲色変更してるん 装甲?んなわけないか。

リーナへと飛び出す。 与太話へのセルフつっこみは置いておいて、スラスタをふかしア

火器によって灼かれた大気のオゾン臭が鼻をつく。

丁度セシリアさんが自爆寸前のゼロ距離ミサイル攻撃を敢行

駄目だ、やっぱり効いてない!

しとばかりに、 地面に転倒している鈴ちゃんを蹴り飛ばし、 ルカノンのゼロ距離砲撃。 セシリアさんにお返

吹き飛ばされた二人めがけて、 肩から有線サイ ミュ... ではなく

ワイヤーブレードが射出された。

ラウラさん、やり過ぎだよ!

スラスタに命令を送り込む。

一度放出したエネルギーを再度スラスタ内部へと飛び込み、 圧縮、

放射。

いわゆるひとつの瞬時加速

急加速でラウラさんに接近、 三連星のメインウェポンであるマル

チランチャー をぶっ 放す。

無駄だ」

砲弾は空中で、静止する。まぁそうでしょう。

それで止められるのは折込済みです。

「ブレイク!」

撃ち出したのは゛ただ゛の砲弾ではない。

ハイパー センサー 対応のスタングレネー ド弾だ。 (一発...すごく

高いです...)

によって増幅されている操縦者の感覚へと攻撃を行う特殊弾頭。 強烈なノイズを撒き散らし、ハイパーセンサーはもとより、それ

防護処理のされている三連星でさえ、 鋭い頭痛と軽いめまいを覚

える。

ラウラさんが悶絶している、 まぁつまりそれだけキツイということだ。 あるアメリカ人は言った「脳がフライにされたかと思ったぜ!」 そんなのをまともに至近距離で食らうとどうなるか。 今のうちに二人を安全な所へ...

うげ

うわー 思ったよりダメー ジがでかかったんだ、 スタングレネードで鈴ちゃんとセシリアさんも気絶してしまった、 やべー。

だからね!) リアさんのっぱいが当たるように抱えるのをもちろんだ、 慌てて、 ワイヤーを切り裂いて、気絶してる二人を抱えて (セシ 緊急事態

一路ピットへ向かう。

けど: 気絶したお陰でISが解除されたので、 機体ごと抱えるより楽だ

下三名がピットに向かってくれているはずだから 低速飛行で、ピットへ退散、予め途中で捕まえたのほほんさん以 あんまり加速すると生身の二人が持たない、あー ヤバ イヤバイ。

【警告:ロックオン〈シュヴァルツェア・

もう回復したの!?

ドイツの科学力は世界いちぃぃぃぃ!だから?

【レールカノン装填、回避してください】

無理です。

に食らう。 抱えている二人を庇うため、 飛来したレー ルカノンの砲弾をモロ

シールドエネルギーがごっそりと削られた。

す 【警告:ワイヤーブレードが接近しています、 着弾まであと2秒で

ごめんね二人とも。

瞬間的に3Gくらい入るかもだけど、 宇宙飛行士の大気圏突破と

か大気圏突入 (10G) に比べれば可愛いものだから!

加速開始。

クターン! ピットまであと10 やむなく二人をピッ 1 m へ向けて放り投げ、 **5** ḿ 放り投げ、全力加速、だめだ間に合わない。 華麗にクイ

· むぎゃー!」

ナイスクッション!のほほんさん!

ワイヤー ブレー ドをなんとか回避... ぎゃー足掴まれたー!

そのまま地面に叩きつけられ、 またまたシールドエネルギー

巻き上げられるワイヤー によって少しずつラウラさんの方へ

づらて いく。

必死にもがいて抵抗するが、 やば箒星の挙動がおかしい。

ここは口プロレスで!

あの、緊縛プレイはちょっと...」

場を和ませる軽いジョ クを、 まったく聞いていない、 怒り心頭

のラウラさんが居た。

来れば楽だろうに。 うわー涙ぼろぼろ流してる、 催涙効果もあるのか... いっ そ気絶出

よくもやってくれたなズビ... 馨、 覚悟は出来ているな?」

'鼻水出てますよ」

「 死 ね」

やべ、体が動かない!

A I C の射程こんなに長いの!?怒りのパァワァ?そんなバ

ラブアンドピー スーー あーラウラさん、 話し合いましょう?暴力は何も生みません。

却下だ」

うう こう だっぷ こう こう あわわわ

死刑宣告のように響く。 ガチャンとリボルバー 式の大型レールカノンが装填される音が、

それくらいにしとけよ」

おお!一夏さんが現れた!

純白の白式が天使のように見える日が来るなんて!

'大丈夫?馨さん」

に天使のように見える。 シャルル(結局本名は教えてくれなかった、 いけず) さんは本当

土曜の続き、するか?」

が強機体とはいえ、 平気な顔こそしているがスタングレネードの影響はまだあるはず。 ラウラさんが悔しそうな顔をする、 エネルギー には限りがあるし。 シュヴァルツェア・レーゲン

『その辺にしておけ馬鹿共、 アリー ナは専用機持ちの遊技場ではな

いぞ

ラウラさんが黙って踵を返す。放送が入る、織斑先生だ。

ただ秘匿回線で

『続きは寮に帰ってからだ…』

うわぁぁぁん!こわいよぉぉぉ!とメッセージが来た。

ねぇ一夏、今夜は部屋に帰りたくないんだ...

泊めて?

「却下」

友達じゃなかったのかよ!

ダメタコリャヽ(゜ロヽ) (ノロ゜)

/シリアスナシカw

医務室に担ぎ込まれた、鈴ちゃん、 セシリアさんは治療を受け、

まぁ命に別状は無いそうだ。

目が覚めてまずしょっぱなに二人に怒られました。

うからだと思うよ よりにもよってハイパー センサー 用のスタングレネード なんて使

シャルル先生のつっこみ!

うっ...

ら!まだ目がチカチカするのよ!」 「そうよ!あんたのとばっちりであたしもひどい目にあったんだか

今度なんか奢んなさいよね!と鈴ちゃんがのたまう。

そうですわ!私も怪我より、 頭痛の方が深刻でしてよ!馨さん」

番金持ちの癖に何言ってのさ! この埋め合わせは高くつきましてよ!ってあんたこんなかでは一

に遭わされたんだよ!」 酷い...酷過ぎる...僕が助けに行かなければ、 ラウラさんに酷い目

何よ!あそこから逆転するところだったんだから!」

いやいやいや

たわり 「そうですわ !あのまま続けていれば、 かならず私が勝っていまし

.. もう好きにして。

お前らなぁ ... まぁ怪我は無いんだろ?よかったな」

良くないわよ!バカ!」

そうですわ!何故わたくしたちが...一夏さんのおバカ!」

恋する乙女は大変だねぇ。

最悪だね」 でも真面目な話、 AICは厄介だよ、 特に鈴ちゃ んの甲龍は相性

しかだせないジャンケンみたいなものだ。

ことはできるんだよな」 「アクティブ ・イナーシャル・キャンセラーか...雪片なら切り裂く

きょう... ۱ ا

へえ一夏の癖に良く予習してるな、

シャルル先生の教育の賜物か。

金髪女教師のいけない授業...いかんエロイ

馨さん?」 若干目が怖いですシャルルさん

いえなんでもありませんよ?

なぜバレるんだ。

しかしこの子あれだ静かに深く怒るタイプだ、 こーゆーのが一番

ヤバイんだよ、 で貴方を殺 して私も死ぬー いきなりナイフでズドッって刺すタイプね。 !的な

馨さん」

ひっ

すみません」

なんで僕の考えてること分かるんだろう?

「まぁエネルギーの一種だから零落白夜で無効化はできるだろうけ

9 一夏の場合はその雪片を振るう腕を停止させられたからねぇ、 一夏の攻撃は単純だからなぁ』 ま

聞こえてきた。 そんな話をしていると、 ドドドドドドと何か地鳴りような物が

なんだ!王 の暴走か!

うわ!

ドアが吹き飛んだ!マンガみたい

しかも生徒の大群が医務室になだれ込んできた!何事だ!

織斑君!」

デュノア君!」

る!こええええええ うわ!ゾンビ映画みたいに二人に女子生徒が群がってる群がって

騒ぎの元凶は学園が交付した今月の学年別トーナメントの試合形

式の変更だ。

何々…より実戦的な模擬戦闘を行うため二人組での参加、 二人組

一夏あ

一夏さぁん!」

や修羅場だー おおゾンビ の群れにより強力なゾンビが投入された、 これはもは

「ごめん!俺シャルルと組むから!」

斐性が一夏にあるとは... 一夏が叫んだ、 ほぉそれはやはりシャルルさんの為か、 こんな甲

ああ、100%友情ですね、だめだこりゃ。

のがいるよな... まぁ 押し寄せてきた女子は納得してくれたが、 二人説得の難しい

夏あ !あたしの組むのよ!幼なじみでしょ!」

夏さん!わたくしと組みましょう!クラスメイトですし

ぱしぱしと端末を叩き、二人の秘匿回線に通信を送る。一夏がたじたじだ...ここは一つフォローしとくか。

鈴ちゃんへは

アさんとか?AIC対策にはレーザー攻撃は有効だと思うよ』 『もっと強い人と組んだほうが優勝は近いじゃない?例えばセシリ

. !

セシリアさんへは

リアさんには分かってると思いますけど。 一夏と組んでもラウラさんには勝てないですよね?その辺はセシ

組んだ方が勝率は高くないですか?』 相性は悪くとも、 前線で粘り強く戦ってくれる...例えば鈴ちゃ

. !

どうしたんだ、二人とも?」

まぁ、 いわ そのかわり一緒に組まなかったことを後悔するく

らいけちょんけちょんにしてあげるからね!」

このセシリア・ オルコットの真の実力を魅せてあげますわ!

「お、おう…」

んだけど。 チョロイなぁ...この二人は特にチョロイわ。 そこらへんが可愛い

「まぁ頑張って」

'人事みたいに言うなよ馨」

機体の挙動がおかしかったから検査して、 参加は無しだな」 あんまり操縦者としての評価には興味が無いんだってば、 結果によっては箒星での それに

...なんでだ?」

IS基礎理論の蓄積経験についての注意事項三だよ、 夏」

シャルル先生は優秀だなぁ。

張ったね。 一夏が教科書の文面を思い出し、 噛みながら言い切った。 おお頑

まぁレベルこまでいった理由じゃないから、 そんなに深刻じゃな

いけどね。

それだと約数名泣いちゃう人が居るんだよねぇ」

でも訓練機で出ればいいんじゃない?」

主に義父とその周辺の人たちが。

あーあ。参ったなぁ

寂しいと死ぬうさぎはメガネっ娘の夢を見るのか?

泊めてくれとすがりついて懇願したというのに、 夏の奴う

まぁここで逃げても仕方ないしね

うん「逃げちゃダメだ」いい言葉だね。

覚悟を決めて、おそるおそる部屋のドアを開ける。

:

ラウラさんは、 黙々と拳銃の分解整備をしていた。

なんかもうムチとかもって待機してるかと思ってたので、 少し安

心して、とにかくまず謝罪する。

あの、放課後はごめんねラウラさん」

:.__

あれ?無反応

ラウラさん...?」

まったく返事もしてくれない。

放置プレイ?いやいや冗談抜きで無視?

誰!?ラウラさんに、これが一番キツイって教えたの誰!?

うさぎは寂しいと死んじゃうんですよ!!

:

駄目だ今日はもう寝よう。うう沈黙が痛い。

ぐすっ」

半ベソかきながら布団にもぐる。

んがこちらを向く。 メソメソと泣き言を言っていると、 拳銃の整備を終えたラウラさ

あれ... 笑ってる?

ふん、 少しは反省したか?」

日本海溝よりも深く反省しました。

私はちゃんと寸止めするつもりだった」

嘘ん

「他ならぬお前に信用されていないとはな、 頭にきたし、 がっかり

したぞ」

...返す言葉も有りません」

う~ずるい言い方だなぁ。

完璧に僕が悪いみたいじゃないですか。

んからな、 「まぁいい、 許してやろう」 いつまでもメソメソされると部屋が湿っぽくてかなわ

傲岸不遜

そんな四文字熟語が思い浮かぶ。

えっと、 ただし」 じゃぁ

なんでしょう?

お前とはペアは組まんぞ」

どぼじて?

ペアを組んだら、 貴様と戦えんだろうが」

...えーとこれは、ラウラさんなりの褒め言葉なんですか?

有象無象じゃなくて、戦う足る相手だと?

...そんな高度かつひん曲ったデレはいりません。

もっとストレートにデレてください。

「辞退するなよ、あと私と当たるまで負けるな。 それで今回の件は

手打ちにしてやる」

うう、 機体が直るかも微妙なのに...どうしよう、誰と出よう.

(__)

クラリッサに相談したのは正解だったな。

言った通りになったな。

任務では優秀な副官だったが...こういったことにも通じていたと

は 道理で部下に慕われているわけだ。

こんなことならもっと早く、 いろいろと話してみればよかったな。

戦闘では手加減しないが、普段は少しやさしくしてやるとしよう。 酔っ払っていたようでは無かったが... しかし、 悔しいがこうやってクラリッサと打ち解けたのも...奴のおかげか。 クラリッサは何故あんなに興奮していたんだ?

\(\tau_\)\(\J_\)\

翌日の放課後、 修理のため里帰りする箒星と一緒に、 私も呼び出

された。

うう、なんだろう事情聴取かな。

ペアはどうするか思案中だ。

こんなことなら鈴ちゃんとセシリアさんにあんなこと言うんじゃ

なかった。

嗚呼後悔は先に立たず。

悪いけど箒さんたマコトちゃ ちょっとなぁ

その気になれば、 とりあえず問題は無いね、 すぐに動かせるよ」 改修前のパー ツを保存してあるから、

入ったかと思いました」 良かったぁ...変な挙動してたんで、 コアかフレー ムにダメージが

なし」 「うーん、 ダメージによる一時的な物だと思うよ、 検査結果は異常

て、技術者、 クを支えている両足、縁の下の力持ちさんでである。 まだ自分が男だと思っていた頃、 義母さんの右腕が大塚さんなら、この人は義母さんのフットワー この人は木場さんと言って、 研究者としてね)。 開発室では古株の男性社員さんだ。 憧れた人だ (変な意味じゃなく

んだ」 わざわざ馨君に来てもらったのは、 そんな説明の為じゃない

「え?」

箒星はこのまま、本社に戻すことなったんだよ」

「えーと、それは...」

「 絵里さん提案の技術力のアピールはもう十分できたと思うんだよ 旧世代機の箒星が第三世代機相手に良く頑張ったと思うよ」

のガチバトル。 確かにそうだ、 白式相手のクラス対抗戦、 乱入した謎のIS相手

その後も甲龍、 ブルーティアーズ相手に模擬戦も結構したしなぁ。

以上の無理はもう厳しい 「元々第二世代機用パーツのテストに残してる機体だからね、 かな、 改修したのも、 新型のテストだった

え?新型?

気でね」 聞いてないのかい?久々に新型を組んでデモをするらしいよ、 本

うわ、義母さんたら仕掛けてきたなぁ

んですか」 「次の大きな企業向けトーナメントは、 七月の七夕カップ?に出る

カップには間に合わせるって言っていたよ」 「そこには間に合わ無いだろうけど、 年末の大きな大会..オリオン

「 ほ え :.

新型かぁ、 また義父さん達の暗躍でMSモドキの形状になるのか

で馨君には替りあれを使ってもらう」

はい?替り?なんの話ですか?

代機用のパー ツテスト機 ウチが保有してるコアは二基、 一基は箒星で、もう一基は第三世

もう予備は無いですよね? でも今新型を組んでるだから、 あれは一旦解体されてるはずで、

ならこちらで用意しましが」 ああ馨さんお疲れ様です、 ISスーツは持ってきてますか?無い

大塚さんが現れた。

えっとなぜISスーツが必要なのですか?

あっ と時間が押してますね、 はいこちらへ来て下さい」

いく がしっと大塚さんに手を掴まれ、 そのままずるずる引っ張られて

わけわかめ。

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

まぁとにかく機体の問題は解決した。

で次はパートナーだ。

色々考えた結果、 貴方が最強の相棒だと思うのよ。

けして消去法じゃなくってよ?

そんなわけで、君決めた!私と組もうよ、 簪ちゃん」

更識簪ちや 一年四組所属のメガネっ娘にして、 ん!あなたに決めた! 日本国代表候補生。

嫌..かな」

W h y ?

今なんと?

Noと言いましたか?

ね?だからお願い簪さん!私を助けると思って」 「このままだとラウラさんが許してくれない、 つ てのは説明したよ

: *

可愛く言っても誤魔化されないから!

「どうして?私の事嫌い?ウザイ?キモイ?」

「そうじゃないけど...弐式は...未完成だから」

こないだ機体は目処がついたって言ったよね?」

う...でも武器がまだ...だから馨ちゃんの力には慣れない」

: |こ 箒星みたいにコンバットプルーフの有る既製品を使えば簡単なの ううむ、 結構めんどくさい武装積むって言ってたっ

じゃぁ誰と組むの?のほほんさん?」

「のほほん..?誰..?」

ああ、 一夏がそう呼んでるから、 つい 虚仏さんだよ」

トーナメント...休むから」

いやいやいや

機体が未完成とはいえ、 仮にも代表候補生がずる休みはだめでし

ょう。

るのも、 当然日本政府の関係者もくる、未完成機で他国の代表に遅れをと ナメントはクラス対抗戦と違って、 マズイっちゃマズイが不参加が一番マズイ。 外部からの見物も多い。

だいたい全員強制参加のトナーナメントどうやって休むのさ?

ま、そーゆー訳だから、ここにサインね」

僕と契約して相棒になってよ!

ゅ

頑固だなぁ

自分の為も有るけど、どうにもお節介虫が騒ぐ。

「組んでくれたら、 聖闘士星 ` BDリマスター BOXで貸しちゃ

「う!

よしゆらいだな

サムライ ルーパーもつけてみるよ!」

うう...」

ちっ、これでもダメか。

「よしわかった超者ライ(ィーンでどうだ!」

う、うう...しばらく考えさせて」

「締切りは把握してる?」

「うん」

私は簪ちゃん意外と組む気無いからね?」

去っていく背中に声を投げかけるが...返事はなかった。 あんまり無理強いはしたくない、 彼女も色々あるし。

/ (゜ロ/) (/ ロ゜) /

私を助けると思って...お願い...か」

個人端末に届けれらたメール。

簪は、ぼーっとしながらその文面を眺めていた。

嶋野馨。

趣味の合う友人。

明るく、お調子者。

自分を更識家の次女でもなく、 楯無の妹でもなく、 一人の個人と

して扱ってくれる。ただ一人の友人。

本当は、うんと言いたかった。

でも、遠目に姉が見えた、こちらに向けて歩いて来ていた。

何故、逃げてしまったのか。

これじゃいけない、 なんのために自分は弐式を自力で完成させよ

うとしているのか。

わからない。

制御できないぐしゃぐしゃの感情。

「一日だけ...考える時間を下さい」

う。 明日、弐式のテストをして、調子が良かったら、馨とペアを組も そうメールし、 布団に潜り込む。

自分では決めかねた簪は、 それを天に任すことにした。

(上手く...いくといいな)」

`(゚゚ ロ\) (/ ロ゚) /

『さぁさぁ!毎年恒例、 IS学園名物、 6月の個人トーナメントも

いよいよ佳境!

一年生の部第四試合と相成りました!

ます「やんごとなきクリームヒルト様」こと、 本日のゲスト解説者は三年生の部準優勝、ドイツ貴族の血を引き 例によって実況は放送部のエース、二年三組蓮堂藤子。 グー トルーネ・ロー

トリンゲン先輩です!』

『はぁ...何故私がこんなことを』

『いやー準優勝おめでとうございます』

『優勝したわけでもないの?嫌味なの?』

『専用機持ちのケイシー先輩相手に、 あそこまで接戦を繰り広げた

先輩はすごいと思いますよ?』

あの面倒臭がりが負けたせいでここに座っているんだけどね

た笑いをもらす。 怠惰は大罪よ、 と毒づくグー トルーネに藤子が「アハハ」 と乾い

年生の部ですが、 『さてさて序盤の いよいよ専用機持ち組が参戦となります。 gdgd振りが嘘のように、 面白くなっていた一

う思われます?』 四回戦から参加というシード扱いは賛否ありましたが、先輩はど

にヒヨちゃんが参戦してるのだから』 『はっきりいって丁度い 61 のではない?一年生のヒヨコ同士の試合

『先輩が「動 のお医者さん」を既読は驚きました』

『第四回戦まで戦い抜いた連中なら、 けど、 来賓の皆さんを退屈させない試合になるでしょう』 番狂わせは厳しいかもしれな

序盤から見物だが、 整備科が有り、 しかも全員参加ではない三年生、二年生の試合は 一年の試合は序盤はお遊戯が泥仕合が多い。

白くなる。 試合数の少ない三年、 二年のトー ナメント終了のころに一年が面

なかなか良く出来ているものだ。

む 先輩としてはまだ専用機持ちが有利と?

そりゃ そうよ、 見なさい揃い揃って専用機同士で組んで、 鬼に刃

そこに行くと訓練機と組んでいる、 いえそれは金棒です、 混じってますよ、 我がドイツの代表候補生は偉 放送禁止用のアレと』

ません』 『資料によるあの二人は唯一の抽選ペアですが... いえなんでもあり いわ

後で褒めてあげなきゃ

睨まれた藤子が黙る。

機持ちといえど、油断すれば食われるわよ?』 とはいえヒヨコ達も三回の試合を経て経験を積んでいるわ、 専用

『そうですか?』

エースに化けるように、魔物は潜んでいるのよ』 『試合ってのはそういうものよ、ロードレースで一介のアシストが

るのは日本代表候補生、 ト、嶋野馨ペアですね、 『含蓄の有る、深いお言葉ですね...さてそんな専用機組の先陣を切 先輩はどうみますか?』 更識簪&?SHIMANOテストパイロッ

アのダー クホー スね』 『どうも何も無いわ、データがまとも無いから二人とも、 専用機ペ

いうことね 相手が織斑一夏では参考にならないでしょう、 一応嶋野選手の方はクラス対抗戦に一度だけ出場してますが. まお手並み拝見と

『一』は傑作第二世代機とも言われた「箒星」 試合に向けて仕上げて来たということでしょうね、 はい…更識選手の機体は「打鉄弐式」 ですよね?』 未完成と聞いてい 専用機ではないですが一品 一方の嶋野選手 ましたが、

対戦相手の解説の時間が足りませんが、 下手な第三世代機が裸足で逃げ出すわね、 『そうですねぇ、 そうね、 旧世代機だけど、 されそろそろ選手入場です、 コンバットプルーフと言う観点では それは試合中に... ただ扱いきれるかしらね』 前半の小話のせいで、 あれ?』

Aピットから出てきた二機のIS。

簪と馨側のピットから出てきたにも関わらず、そこにはあの特徴

的な赤い機体がいない。

替りに...陽光を反射する、眩しいほどにピカピカな...『金色のI

S』がそこに居た。

作者はタイトルを考えるセンスが有りませんOrz

ウチの義母さんは割りかし天才だっ たりします

なんかキンピカの機体です!キンピカのISが現れました!』

煽らないで下さい。

会場がざわついてるわー。

うわ笑っている奴多数。

ISのハイパーセンサーなめんなよ、 顔見えてんだからな・

hį やっぱり目立つね、 このカラーは」

恥ずかしく...無いの?」

は 僕の横に居るせいで、 ちょっと居心地が悪そうだ。 同様に観客の視線に晒されている簪ちゃん

いや、 そんなには」

無事このアリーナに立つまでの苦労に比べれば、 機体のカラーが

百 でも気になりませんよ。

まじ尊敬するよ。 てかク トロ大尉はこんなカラーのMSで戦場に立てたもんだね

今日までの苦労が走馬灯のように浮

かび上がってくる。 苦笑いを心中で浮かべれば、

数週間前

「そんなわけで彼女とペアを組んで出ます」

「そうか。 悪くない判断だろう、 他の有象無象よりは使えるぞ、

興味なしという感じでラウラさんは簪ちゃんを一瞥した。

使えるとか、失礼しちゃうわ。

ここは昼の学食。

普段の昼は教室でパン派の簪さんだが、 当分は親交をより深める

ため一緒にお昼を食べることにした。

あいかわらず一組ではぼっち状態のラウラさんが一緒なのは 61 う

ものことである。

いや結構ラウラさんと一緒に食べたい子いると思うけどね、 なか

なか寄せ付けないラウラさんです。

さて本日のメニューは?

私はてんぷら盛り合わせ、 かけうどん大盛り、 ご飯どんぶり、 豚

汁大盛り、ゴボウサラダ。

ラウラさんは日替わり定食にソーセージ盛り合わせ、 ザウアー ク

ラウト、肉じゃが

この肉じゃがにえらく感動したらしく、 昼はいつも頼むラウラさ

レシピを調べて本国の部隊に送るとか言ってたな。

どんだけじゃがいも料理に飢えてるんですか?

ている。 れているが、 三人がけのテーブルは二人で明らかに四人前はある料理に占拠さ 簪ちゃんはきつねうどんだけなので、 なんとか収まっ

なんだかラウラさんに怯えてるし、 肩身は狭そうだけど。

おい、 ひつ!」 馨、 貴様テンプラをうどんに投入しないだろうな!」

なんで簪ちゃんはラウラさんの剣幕に怯えてるの? おっとラウラさんは後乗せサクサク派ですか。

塩だと、うまいのか?それは」 私はお塩でいただく派なのですよ、 ハイソでしょ?」

たべてみる?

「はいあ**ー**ん」

半分くらいになったえび天を差し出したら睨まれた。

食いかけを出す奴があるか」

ちっ

ではそのチョリソーと交換で、 よかろう。 等価交換だな」 このかき揚げを差し上げましょう」

学食のチョリソー はメキシコ系で辛いから残してるくせに...可愛

いなぁもう。

んだって。 ちなみに元祖チョリソー であるスペインのチョリソーは辛く無い

よ。 ソーが先に入ってきたんで辛いチョリソーが一般的なのだそうです ようになったんだけど、 スペインの植民地だっ 日本にはこのメキシコ料理としてのチョリ たメキシコに伝わった際に唐辛子を入れる

の受け売りでした。 以上二組所属スペインから留学生アリシア・カハー ルちゃ んより

簪ちゃ んは後乗せサクサク派?しっとり投入派?」

`...きつねでよかった」 めちゃ小声

あー投入派なんだ。

残ったかしわ天をご飯にのせ、 めんつゆをぶかっけて天丼でいた

だく、うんうまいね。

べこまけた。

「さてさて本日のデザー トは、 じゃー ん林檎のタルトでー

「... まるごと?」

簪ちゃんはどれくらい食べる?今日は三人だからハーフじゃなく

てまるごとだよ」

普通で...」

「私は4分の1でいい」

「はいはい」

周囲の女子の視線が痛い。

殺意が篭ってる人がいるのが怖い。

ご飯終わったら、 早速弐式の調整と稼働デー タとらないとね、 لح

ころでラウラさんはペア誰?」

「知らん抽選だ」

ウラさんと組むことになってかもよ」 なんとも男らしい... よかったね簪ちゃ hį 私と組まなかったらラ

耳元で囁く。

「ひつ」

そんなに怯えなくても噛み付いたりしないよ?

…たぶん。

「馨、お前の機体の方はどうなっているのだ」

あ、うん週末...てか明日からだけど、 本社で最終チェックして月

曜日にはこっちに持って来るよ」

「そうか」

うーん、心配してくれているのかなぁ?

なんか違う気がする...

「折角だし簪ちゃんもこない」

「...え?」

弐式の調整の参考になるかもしれないし、 うんそうしよ。 けって

| | | |

'いや...その」

物のお奴とかライダーとか)やってるところあるだろうし」 ついでに映画でもみっよか?まだGW公開の映画 (日曜朝の戦隊

う...」

まぁそう言う事になったのですよ。

翌 日。

とお茶してから会社へと向かったのですよ。 宣言通りちびっこ&おっきいお友達に紛れて映画を鑑賞、 ちょい

「遅い!さては...寄り道したね?」

お義母さまがお怒りです。 やべえ

「で、電車が事故で」

見え透いた嘘は止めなさい」

んです、 まぁまぁ夜子さん、 寄り道の一つもしますよ」 いいじゃないですか可愛い女の子と街に出た

木場さんのとりなしでなんとか事なきを得て、 神フォロー キター 改めて簪ちゃんを

「か、可愛い…」

あの人、素でやってるからなぁ... 木場さんのセリフで顔を真っ赤にして俯いてますが。

ょ 「倉持にケンカ売ったていう、 見所の有るお嬢さんだね、 聞い

「いえ...その...別に、そんなつもりじゃ」

「今日一緒に来たってことは、 ウチに身を預ける気になったんだね

:

「えっ!…その!・・・

よし、じゃぁさっそく契約書作ろうか!

義母さん..

夜子さん、 ちょっと強引ですよ。 絵里さんお願い」

再び木場さんのフォロー。

っていく。 わらわらやってきた大塚さん他数名が義母さんを拘束して引きず

できなんだよね、 義母さんも抵抗してるが...あの人基本的に女性にはあんまり強く 男 (特に義父さん) には容赦ないんだけど...

すまないね、更識さん、 びっくりしたでしょう?」

「いえ...そんな」

ら何でも聞いて。 ラボの機材は自由に使って構わないよ、 分からないことがあった

今日は馨くんに付き合ってくれてるけど、 寧ろ時間が無い のは君

のほうだろうし」

「あ、ありがとうございます...」

ううむ、上手い...

゙さて、馨くんも最終調整ね」

はいい

はぁ気が乗らないなぁ

ほら、諦めて。先にすすまないからね」

そうですね...

もしかして...」

僕の態度で察してくれたのか、簪ちゃんが表情を変える。

いいおもちゃ にされそうだよ」 「うん...僕も専用機持ちになるんだってサ...整備科に進んだら皆の

実習の度に見本として前に出され、 皆にいじられちゃう!

ふぅん...よかった...ね?」

ちょっ!

酷い!酷いよ!簪ちゃん!そんな目で僕を見ていたんだね!?

え?...違ったの?」

はは、 なかなか良く見てるねぇ、 結構かまってちゃんだから、 馨

くんは」

木場さんまで...ヒドイ

「 ほら、馨くんはスーツに着替えて来て」

下に着てきました...」

横着だなぁ」

大きなお世話です。

(/ [) /

初期化と最適化に平行して、微調整がほどこされる。フォーマッティンメモーソナラィス

これは開発主任である義母さん手ずからの調整となる。

一言で言えば、義母さんの調整は「繊細」だろう。

普段の言動からは想像もつかない、ミクロン単位の誤差も許さな

いような、流麗で丁寧な調整。

米粒に写経するような感じといえばいいだろうか。

以前僕がセシリアさんとの試合の直前に、 白式にやった調整とは

大違いだ...

当然その分時間は掛かる、 既に30分が経過したが、 一向に最適

化が終わらない。

ボの皆さんのおもちゃにされていた。 横のブースでは一人で打鉄弐式の調整をしていた簪ちゃんが、 ラ

ラボの女性陣が言いくるめて今は、 当初はわたわたしていた簪ちゃんだが、 ISスーツに着替えさせられ、 強引な大塚さんを筆頭に、

機体に搭乗させられてい . る。

聞き入れられたようだが... 一応地力で完成させたいという旨だけは、 頑張って主張したので、

で急上昇中とみたね、 ううむ、当社開発ラボの良心木場さんの好感度が、簪ちゃんの中 皆よっぽどヒマなのかよってたかって弐式をいじくり倒している。 一応木場さんがフォローしてくれてるから...大丈夫だろうけど。 惚れちゃだめだよ、 奥さん子持ちだから、そ

ま、簪ちゃんには悪いけど、これも狙い通り。

世代機なんて、 に油揚げだ。 好奇心の塊のような技術者さんたちにしてみれば、 そりゃぁ猫にまたたび、 カッパにキュウリ、 未完成の第三 キツネ

るはずだ。 よし、これで弐式は、 試合までには十分実用に耐えるレベルにな

『謀ったね..馨ちゃん』

... ふふ、君ならそう言ってくれると思ったよ簪ちゃ

匿回線&視線が飛んでくるが...ふふふ全然怖くないよ?寧ろ可愛いペーート・サャンネル 僕の表情から、謀られたことに気がついた簪ちゃんから非難の秘 保存保存っとこーゆー時、 君に恨みは無いが、君の姉上がいけないのだよ! (意味不明 専用機はベンリだねぇ。 んから非難の秘

ほら遊んでないでこっちに集中しなさい」

ペシと母さんにオデコをはたかれたました。

はい。

義母さん、 あんた第三世代機ってのがどー これは結局どーゆー機体なんですか?」 ゆーものか分かってるわよね?」

の武装を運用する上で、 そう、 第三世代" だからこの世代のISは基本的に、まず武装ありきで、 兵装"を運用する機体って意味ですか?」 まぁ適当な本体を用意している... そ

私はね、 これが気に食わなかったのよ。 と義母さんは毒を吐いた。

はぁ」 だから私はね第三世代機ISには興味がなかったのよ」

っと惜しいし...」 を生かせる機体を作れるのは、 でもちょっと面白い第三世代兵装を持ち込まれちゃってね...それ 私くらいだし。 埋もれさすにはちょ

は 義母さんが" やだなぁ。 面白い" イテ とか思う兵装が積まれてるんですか...これ

またまたペシコンとおでこをはたかれたですよ。

行の第三世代機 " て最高の結果を出すわ」 「安心しなさい、 本 体 " この子はその兵装をテストするための機体で。 の技術の粋を集めた機体よ、 誰が使ったっ

て終了。 義母がそう言うと同時にリター ンキーを押すと、 機体の設定が全

って...なんじゃこりゃぁぁぁぁぁぁ 初期状態だった機体が、 新の姿..僕の機体へと変貌していく。

...うわっ」

簪ちゃんが引いた声が聞こえた。

無理も無い。

それまでは灰色だった機体の装甲は、 いま眩いばかりの金色へと

変化していた。

某グラサン大尉の機体のようにワンポイントの黒すらない。

「義母さん...」

「一応それも兵装の一つなのよ、我慢しな」

へぇーこの金色の装甲がですか...

装甲のカラーを別にすれば、それは百 にはあまり似ていなかっ

た。

装甲は全体に流線型で、例によって胴体や、 初期状態だからかと思っていたが、 そうではないらしかっ 頭部まで装甲がある、

現行のIS主流をガン無視した形状。

肩部が浮遊型の非接続型で無いのも珍しい。

ISのパーツはこの肩部が、サブスラスター、 シールド、 武装な

どでやたらゴテゴテしていることが多いが、この機体はそうではな

簡素な装甲と放熱のためか?フィンのような形状のパーツが数

本生えているだけだ。

機動力を生み出すのは、 背部、 腰部、 脚部のスラスター

正面からの被弾面積が随分小さい、 おおよそ正面の全幅は通常の

ISの半分程度だろう。

飛行中な細 かな姿勢制御はスラスターではなく、 慣性制御で行な

えということのだろうか?

の子は「小型のロボッ 人間 の露出が多く、パワードスーツ然とした現行のISに比べて、 <u>|</u> っぽく見える

まぁカッコイイことは確かだ、 派手だけど。

· 掃星よ、 可愛がってあげなさい」

掃星、 箒星同様彗星の和名だ。

とが伺える。 義母さんの苦笑めいた表情から、 義父さん一派の介入があったこ

彗星。その名前に負けないように精進しなさい」 てあるわ、夜空を切り裂く刃。世界に蔓延する穢れを祓うとされた 「ハバキには『剣』という意味と、掃うから転じて『祓う』 も込め

... 中二くせえ

ゴンッ!

工具で殴らないでください!

... あら25mmスパナがよかったかしら」

お許し下さいお義母さま。

それはISの装甲越しでも痛いと思います。

さて、 調整はほぼ完璧、武器は箒星で使っていたの流用するから、

通り使い方は分かってるね?」

はい

じゃぁ量子変換は自分でやんな」

えー

ほらほら!いつまで他社の機体構ってるんだい!仕事に戻りな」

そう言って皆さんを追い払い...嬉々として自分が弐式に取り付い

た。

義母さん...

ああ!何が「ちゃんと食べてんのかい?IS操縦者は体が資本だ

よ!」ですか!?ベタエタ触らないで!セクハラですよ

簪ちゃんが顔真っ赤にして恥らっててるじゃないですか!

.....よし保存できた。うむよい画が撮れたな。

(, 口 /) (/ 口,) /

大変だったねぇ」

:

もちろんそれだけではない。

いかに機体が優秀でもISの性能は戦力の決定的な差ではないの

は、周知の事。

ましてタッグマッチとなればコンビネーションも重要だ。

寝食を共にする勢いで、訓練に励み。

なんとかトーナメントにこぎつけた。

まえ」 「期待してるよ、うん日本国の代表として、 いい試合をしてくれた

か? このヨッパのおっさん!僕は代表候補生じゃありませんが! ? 何

ナメント開催期間中、 来賓の「おもてなし」を含めた「懇親

会」が連日開催される。

各国の関係者、メーカーの重役、etc・

命じられた。 他成績上位者数名&留学生、に混じって、僕もパーチーへの出席を 客寄せパンダとして出席が命じられた代表候補生&専用機持ち&

まぁ各国の代表候補生や留学生たちははさすがに隙が無

ところがこのパーチー、 出席者で一番多いのは当然開催地である、

おうジャ パニー ズ!

半分は日本人なんですよね。

さて我が日本の代表候補生は?

ちょ !簪ちゃん!なんでそんなぶるぶる震えてるの?

そう、引っ込み思案なメガネ少女さんですよ。

いかん箒さん!箒さーん!

:

うわ!すげぇ顔で出席者睨んでる!

全力で「私は姉のことなんて知りません!」 というオーラを発し

てるよ!

一夏!一夏は

女性の出席者にかこまれてちやほやされてる!

いかん!ただでさえ機嫌の悪い箒さんの機嫌が!

うわぁ!セシリアさんとかシャルルさんとか鈴ちゃ んも微妙に表

情が固いよ!

いかん一夏は壁の押し花にでもしておかないと、 色々危険だ!

二年三年の先輩方は早々に試合が始まるため、 序盤のパー チー 出

席は免除されている。

居るのはいけ好かない(私怨)生徒会長くらいか。

つまり...群がってくるオサーンの相手をするのは...あ、

ええい!

ここでで引き下がっては男が廃る!

で冒頭に戻ると。

(/ 📮) /

また、 次か次へと政府関係者と、 国内メーカーの人達がこっちに

来るのだ。

考えて見れば私と簪ちゃ んは「国産機、 大和撫子」コンビ。

そりゃ期待するよね...

、次官、それ以上の接近は禁止です」

唯一の救いは義父さんである、さっきからピッタリ僕に張り付い

て、皆さんを牽制してくれてるコトだ。

てるけど、どこ吹く風。 親馬鹿も大概にしろ、 あと空気嫁、ってみんなが無言で言ってき

こんなに頼もしい義父さんは初めてだよ!

親馬鹿さえなければかっこいい人なのだ。 親馬鹿さえなければ..

「あ重田くん、握手はお断りしてるんで」

「嶋野さん...空気読みましょうよ」

君だって!自分の娘がここにいたらそーするだろぉぉぉ

当たり前でしょうがぁぁぁぁ!」

男親って..

「ふぇ~ちかれた~」

「お、お疲れさんだな馨」

「お疲れ...馨ちゃん」

「食え、美味だぞ」

「うう、ありがとう…」

とりあえず一夏&箒さん&簪ちゃ んの問題児トリオへの防波堤は

ウチの義母さんが買って出てくれた。

事情を説明したところ三人を独占し、 誰も寄せ付けないでくれて

業界における義母さんの立ち位置って...

さ い よ 」 じやぁ馨、 私は少し友達に会ってくるか、 あんたが防壁になりな

義母さん...私は疲れてここに避難してきたのですが...

ウチの娘に近寄 馨ちゃん!父さんがいるから大丈夫だ!おっと織斑くん、 あまり

「あんたも挨拶があるでしょう」

どんだけ.. まった... おおモーゼの出エジプト記ばりに人垣が左右に割れている、 青筋浮かべた義母さんが義父さんの襟首を掴んで連れて行って

パワフルな母上だな」

「うん...でもすごくかっこいいね、 後また色々アドヴァイスしてく

すこしはパーチーを楽しめばいいのに。 こんなところでIS談義してたのですか皆して。

あ、ちらし寿司美味しい

白式のデータ見てもらったらボロクソに言われたよ」

母さんの嫌いなタイプの機体だし。 まぁそうだろうね、 白式みたいな特化型の特殊仕様っ て 義

シャルルさんのリヴァイブカスタムとか。

第三世代機だと甲龍みたいな実戦モデルが一番タイプだろうなぁ

データ盗ってこいとかいってたし...やってないけど。

あれで鈴ちゃんは割りとしっかりしてるので、機密レベルの高い

データは絶対に見せてくれないのだ。

まぁ中国という国の体制を考えれば無理も無いけど。

そういえば箒さんはラウラさんとペアになったんだよね、 どうもこうもない、 わかるだろう...」

ちょ っと恨みを込めた視線で箒さんがこっちを見る。

は簪さんと組んで、気が付けば箒さんは誰とも組めないまま締め切 まぁ 一夏が速攻でシャルルさんと組、あたふたしているうちに僕

りになってしまったそうだ。

人が組む八メになったのだ。 結果抽選...二人しかいないのに抽選もなにもないけど...であの二

はない。 アを組みまくったので、さすがに運営委員も考えてしまったそうだ。 入学二ヶ月の新入生が乗る訓練機では逆立ちしたって敵う相手で 専用機(及び専用機に相当する僕の機体)持ちの代表候補生がペ

これでは今後の指標となるデータもとれない。

侃々諤々の争議の結果。

織斑一夏&シャルル・デュノア

セシリア・オルコット&凰鈴音

更識簪&嶋野馨

ラウラ・ボー デウッィ ヒ&篠ノ之箒

の四組はシード扱いとして第四回戦からの参加となっ たのだ。

(どのみち全校生徒約120名60組だと2の乗数じゃないからシ

- ドによる調整は必要なんだけどね)

みにこの四組はブロック分けされ、 準決勝まで当たる事は無

... 仕込みかよ。

候補生ペア」 順当に勝ち上がれば準決勝は、 「大和撫子」 ペアVS「中英代表

日独ツンツンペア」となる。 と「男ペア」(まぁシャルルさんは本とは女の子だけど)vs「

英代表候補ペア」はラウラさん一人にこてんぱんにされているから 下馬評一位は「日独ツンツンペア」である、 なにせ対抗馬の「 中

のでどっちも穴馬扱い。 でまぁ「男ペア」と「大和撫子」ペアは、あんまりデータが無い

さんの方が、機体が未完成の簪ちゃんより高い。とはいえ代表候補生の前評判は、山田先生を翻弄させたシャ

い、だろう...とのこと。 まぁペアを組む以上、予想外の展開はあるんだけどね。 逆に先月のクラス対抗戦の結果を見るに一夏と私では私の方が強

「さてさて、どうなることやら...」

まぁ勝たないとラウラさんのおしおきが怖いから頑張るけどね..

振り返れば。 走馬灯のような今日までの受難 (他にも色々とありましたよ)を

金色の機体と、 それを駆る僕への好奇の視線など可愛いものだ。

金色のIS、 かなりセンスを疑うカラーリングですね』

大きなお世話です。 と解説の先輩につっこみを入れる。

そう?私は好きよ?ナイ・オブ・ゴールド』

おおさっきから気のあいそうな先輩だなぁ

入ってきませんね、 『先輩が日本のサブカルに詳しいのは良く分かりました...えー 謎のISです』 情報

『普通に考えて新型でしょう.. やるわねぇ』

うね!』 『?…えー専用機組はともかく、もう一組の選手の紹介をしましょ

『杉浦丹、 大滝蓮の剣道部ペアね、 機体は両名とも【打鉄】

そう実は四回戦の相手はマイソウルフレンドのマコちゃんである

込み、 機体特性を良く引き出してるわね』 『ISの制御はともかく、乗り手の実力が図抜けてるわね、 『ここまでの試合では、 近接戦闘で圧倒する、 対戦相手の連携を分断 という戦法で勝ちあがってきてますね』 し、タイマンに持 打鉄の ち

先輩的にはどう思われます?』

わからないかもよ?』 7 いかんせん専用機側が未知数すぎるわ、 ただ近接戦闘になったら、

ふっむ。

てか遅いな、 蓮ちゃんは出てきたけど、マコちゃ んが:

『杉浦選手遅いですね...おっとみえ...あれ?』

:

ゴシゴシ

うん間違いない。

しかもあれは近接特化型パッケージを量子変換してるな。マコちゃんのISが打鉄じゃなくて、箒星になってる。

『ねーマコちゃ~ん、どゆこと?』

『あなたの想像通りよ』

義母さんですね?

理事特権でごり押しですか?

あんまり横紙破りすると敵つくりますよー。

と来賓席の義母さんを見る (ハイパーセンサーってベンリだね)

うわ笑ってる・・・最悪。

無情にも試合開始を告げるブザーが鳴った。

Q:馨さんの好感度が上がらない理由は? 【配点10点】

試合開始と同時に。

四機のISが一斉に動いた。

近接戦闘を得意とする剣道部ペアが間合いを詰めようと加速。

ことはせず。 その動きに対し、 専用機ペアは誰もが予想していた「距離を取る」

何故か突撃した。

『簪ちゃんは蓮ちゃんを頼むよ』

了解。

薙刀型の近接兵装を構えた打鉄弐式が這うような低空で、大刀を

構えた打鉄へと向かう。

大刀を右肩にひっさげ、 同じく低空で打鉄も突撃してくる。

防御力の代償として打鉄は機動性に難が有る。

空中を縦横無尽に飛び回り剣戟を演じるのは厳しい。

それゆえ、 打鉄は低空を進んでくる弐式とやり合うしか選択肢が

無し

方

掃星と箒星。

この二機の兄弟機は、 突撃しながらも高度を上げていった。

箒星は近接特化型パッ ケージ通称「炎神」 がインストー ルされて

いる。

武装は二本の近接ブレード。

箒星の特徴とも言える、 胸部装甲が無い、 防御力を捨て、 機動性

を増した、超攻撃的なセッティングである。

対する掃星も両腕に武装をコール。

は有るが。 S&W社製IS用60口径ハンドガン「スマッシャー 人間用でもどこぞの変態企業が作った60口径ピストルというの

用ISで制式拳銃として採用している国も多い。 IS用のサイドアー ムとしてはベストセラー のハンドガンで、

二機が互いの間合いに入るまで、一秒も無い。

その前に、 とばかり、馨がスマッシャーをダブルタップ。

て銃弾を回避。 むき出しの胴部を狙うが、 丹は踏み込むようにすっと高度を下げ

さらに加速して、 一気に掃星の懐へと飛び込んだ。

『速い!速いよ!マコちゃん』

狙いは掃星の装甲の隙間、 馨が茶化すが、 返事もせずに丹は刀を振るう。 首と腰部の間接部分である。

『無視しないでよ~』

回避する馨。 右斜め上への側転という、 トリッキー な三次元機動でその残撃を

左腕のスマッシャーをダブルタップ。

寸前まで掃星が居た空間を薙ぐ。 至近距離の銃撃を、 僅かな横移動で回避する丹、 回避ざまに刀が

た。 回避し切れなかったその一撃だが、 胸部の装甲がそれを受け流し

『頑丈ね』

てるんだよ?すごいでしょ』 9 ただ頑丈なんじゃなくて、 僕が体ひねってうまく残撃を受け流し

再び無言で丹が刀を繰り出す。

隙間に腕をねじ込み、 三発の銃弾の突撃を、 驚異的な運動性で、 突き、薙ぎ、払い、 銃擊、 打ち下ろし、 それを回避した掃星が、 丹は僅かな体裁きで回避する。 PICを使った強引な三連射。 二本の刀が次々と馨を襲う。 僅かに後退、 出来た

『も一発!』

つ ただけだ。 丹の回避先を狙ったどんぴしゃの射撃だが、 左腕のスマッシャ が火を吹く。 シー ルドを僅かに削

『ハンドガンじゃ私には勝てないわよ?馨』

れにわかってるでしょ?僕の役目』 でも全中短剣道優勝者さんに剣で挑むほどドMじゃないし僕。 そ

『不本意だねけどね』

優勢なはずの、丹の表情が歪む。

その視界の片隅では、 パートー である蓮が簪に圧されていた..

かなか見られませんよ!』 9 や一二年、 三年の試合でもここまでハイレベルな近接戦闘はな

にしても大滝にしても、 『上空では杉浦が、 地上では更識が押しているが 中々だな』 対する嶋

りますねぇ 特に嶋野選手のガン・ カタはハリウッ ド映画みたいで見栄えがあ

...まぁ嶋野があの距離で戦闘してるのはワザとだがな』

『わざと...ですか?』

『 あ あ、 、 奴の狙いは更識が大滝を倒すまでの時間稼ぎだ』

確かに、 シールドエネルギーの残数は、 大滝選手残り役半分に対

し、更識選手はまだ1/4くらいしか減っ てませんね』

9 その1/4にしても被弾覚悟で出した、 苦肉のダメージだ。

大滝が不利な点は三つある。

一つは機体性能

二つは武器の間合い

三つは更識の方がISの制御に優れていることだ』

『はあ』

9 そして最悪なことに近接戦闘能力に大差が無い。

大滝のできるのはできる限り粘って、 少しでも更識を消耗させる

ことだけだな』

『断言しちゃいますか...』

『残念だがな。

そして嶋野の作戦は杉浦を2対1で圧倒することだ、 それまでは

杉浦の足止めに専念する』

ずる...』

ずるくもなければ卑怯でもないぞ、これはペアでのタッグマッチ

なんだからな』

杉浦選手としてはどうすればベストなんでしょうか?

簡単だ嶋野を倒せばいい、 それが分かっているから杉浦もあの距

離から離れられんのだ』

っ は あ ら

箒星の性能には目を見張るものがあるが、 結局杉浦の取れる手は

ば一気に一気に嶋野に流れが傾くぞ?』 近接戦闘しかない、 今は7:3で杉浦が圧しているが、 距離を取れ

るんでしょう?普通に距離を取って戦えば...』 『えーと気になるのは、 なぜ嶋野選手はそこまでに2対1にこだわ

『それも簡単だ、 他の専用機組に手を晒さないためだよ』

『は!?』

『あのペアはな、 機体性能が未知数なんだよ、 それは対戦相手への

大きなアドバンテー ジだ。

トランプでジョーカー とエー スが手札にあっ たとしようか?

らん相手のために温存する。 エースで勝てる相手にジョーカーを切らず、 エースで勝てるか分か

当たり前のことだろう?』

『そんな難しいこと考えてトー ナメントに参加したことないっす...』

『今年の一年は専用機持ちが多い、 極めて妥当な戦略だよ。

の専用機持ち共はイライラしてこの戦闘を見てるだろうな』

『なんか先輩楽しそうですね』

『実に面白い後輩だ、 部活には入ってないのか?是非ウチの部に欲

l l

。 ひっ :: 魑魅魍魎の巣窟と言われる「 戦術研究会」 に勧誘されそう

だ!嶋野選手逃げてー!』

'おい... どーゆー 意味だそれは』

ガチャ

ドタンバタン

ブツ

おや放送事故かな?』

地上では加速度的に蓮の乗る打鉄が追い込まれシー ルドエネルギ を失っている。 掃星と箒星、二機の至近距離でのド付き合いは続いていた。

しかし、 馨の掃星のエネルギーは1 /3程度しか削れていない。

いうのに...』 『まったく、 おばさまの口車に乗せられて箒星まで持ち出したって

思うよ?ちょっと08はピーキーすぎて』 『悪いけどマコちゃん、 08じゃなくて07にした方が良かっ

丹がさせじと刀を揮う腕を掴み止める。 ぼんやりした口調でいいながらも馨は丹の懐へ飛び込む。

9

残念パワーは掃星の方が上だよ』

足を駆使して箒星に組み付いてしまう。 バランスを崩した箒星の右腕を引っ張りこみ、 **箒星の蹴りが掃星を強襲するが、それもあっさり脚でガー** そのまま両腕、 両

7 !離れなさい!気持ち悪い

なぁ ... 9歳くらいまでは一緒に寝た仲じゃ

丹が馨を振りほどこうと、 暴れるがまったくはがれない。

て戦ってもらったから、 『さぁて、そろそろ蓮ちゃんは限界だね?あ— でも弐式もセー 大分シー ルド削られちゃっ たなぁ』

...バカにするのも大概にしないさいよ...馨!!』

『ふえ?』

いく ドスの効いた丹の声に反応するように、 箒星の装甲色が変化して

ださい
> < 警告:炎神作動効率95%突破、 装甲色変化を確認、離脱してく

『 げっ 』

けが、 赤から蒼へと全身の装甲が変化する一方で、 より深い赤..深紅へと変化していく。 両肩と頭部の装甲だ

『ちょっとちょっと丹ちゃん、 ソレはマズイよ!』

『やかましい!一度あんたとは決着をつけなくちゃと思っていたの

よ!』

『なにそのフラグ!』

モビルスーツである。 炎神というパッケー ジのモトネタはMS・08イ IJ トという

వ్త そしてイフ ートといえば、 あまりに有名なカスタム機が存在す

そのカスタム機が搭載したシステム。

それを模した、超過駆動システム。

エネルギーはもちろん、 機体本体の消耗すら辞さないトンデモシ

れがIS操者..いいえ人間として、 戦略だかなんだか知らないけど... 対戦相手への最低限の礼儀よ!』 戦うなら全力を出しなさい ! そ

解除による大出力で丹は組み付いていた馨を振り払う。

『いや、そんな武士みたいなこといわれても』

| 天誅!|

『あわわわわわ!』

ちょ !先輩!なんか面白いことになってます!だからや!

| |-

駄な所にかける、 ... 箒星の特殊兵装かしら?どうでもいいけど装甲色の変化とか無 SHIMANOの情熱はハンパじゃないわね

が異常です!嶋野選手は必死に回避してますが! ド削られてますねー!』 『ともあれ!一気に試合が動きました!杉浦選手の駆る箒星の動き !ゴリゴリシール

『...さて、ああでも残念ね、大滝が落ちたわ』

りにはすすみませんかね?』 ではここから嶋野選手の作戦通り、 2対1ですが.. これは作戦通

そうねぇ あの動きは本気を出さなければキツそうねぇ

A変態だから・ ・ではなく微妙に腹黒だから。

逆襲の幼馴染ダヨ

四回戦進出おめでとう丹ちゃん」

「…ありがとうございます。おばさま」

とも言えない表情で相対していた。 三回戦に勝利した直後の更衣室、 そこに訪れた夜子と、 丹はなん

将来義母となる予定のこの女性を、 丹は苦手だった。

る ささか気が重くなるもの無理はない、 尊敬に値する女傑である夜子だが、 とにかく夜子はアクが強すぎ それが将来の姑となると、 ١J

引き攣った笑いを浮かべながら、早々に更衣室から逃亡していた。 す」と告げており。未来の嫁の勝利を祝いに来た雰囲気ではない。 ささやかな抵抗として、 そんな蓮を恨めしく思いつつ、逃げられない身を嘆きつつ、 その顔に浮かぶ妖しい笑みは、ストレートに「悪巧みをして 何か危険な空気を感じ取ったのか、パートーナーである大滝蓮は、 剣呑な光を宿した瞳で夜子を睨む。 丹は

次は馨と当たるのね」

味していた。 般生徒にとっては、 明後日の四回戦からは、 彼女達と当たる事は、 シードとなった専用機組が参戦する、 トー ナメントの終了を意

生だ」といういくばくかの自尊心をもって試合に挑もうとしている 前から諦めてどうする」という負けん気と「相手は自分と同じ一年 ものも居る。 しかし、中には「専用機だろうが、 代表候補生であろうが、 戦う

丹もその一人だった。

それゆえに、決意を込めて、夜子に告げる。

「ええ、全力を尽くして、勝ちに行きます」

可能性が高い組だった。 専用機組の中では馨と簪のタッグは、 一般性とでも「あわや」と

噂される簪。 機体が未完成であり、 代表候補生という立場も、 姉の七光りだと

られているだけだと思われている馨。 親の七光りでテストパイロットに選ばれ、 多少強力な機体を与え

とは絶望的なまでに実力差があるとは思っていない。 簪は兎も角、 丹は馨がけして弱くないことは知っているが、

確かに単純な戦闘能力なら丹ちゃんの方が高いものね。 でも」

「でも、なんですか」

゙ 武器がナマクラじゃ無理じゃない?」

- 弘法は筆を選びません」

硬い声で丹は答えた。

しかし

馨が使うのは箒星じゃなくて新型よ」

せん」 知っています。 でも使い慣れた箒星よりも、 怖くないかもしれま

その言葉に夜子が首を振る。

何がおっしゃりたいんですか」

「貴女が使うに相応しい剣が欲しくない?」

イブを誘惑する蛇のように夜子は甘い言葉を丹に吐いた。

何を...」

今箒星に近接戦闘用に調整しているわ、 貴方向きよね

そんな横紙破りは

って二点だけよ?」 ウチの馬鹿どもと違って、 ねえ丹ちゃん、 私があの子をテストパイロットに選んだ基準は、 機密保持が完璧なのと、 IS学園の生徒

格好の実験場である学園に所属する、 絶対に機密を漏らさない身

それは..

りずるいと思わない?」 それは別に馨じゃなくて、 貴方でも構わないわ...ねぇあの子ばか

甘い甘い誘惑。

それを振り払うように丹は怒鳴った。

変なことを言うのは止めてください」

戦相手が・・ 丹は理解している、夜子はただ新型の慣らしに少しでも強力な対 かませ犬が欲しいだけなのだ。

目的のためなら手段は選らばない。

生き馬の目を抜くIS産業業界で生き残るためならば、 子供だろ

うと利用する。 嶋野夜子は、

それができる人間なのだ。

の大先輩としては不合格をあげなくちゃだめねぇ」 い子ねえ丹ちゃんは、 息子の嫁としてはすごく助かるけど...女

丹の心中に馨 への妬心が無い、と言えば嘘になる。

比較される。 一歳年上というだけで、 ほぼ同年代である以上、両者は容赦無く

馨は昔から成績優秀で、人当たりも良い「いい子」だっ

丹も成績は悪くなかったが、馨に劣り、 生真面目であったが、 そ

れが行過ぎて煙たがられることもあった。

ということだった。 唯一の救いは馨が(見た目は昔から女の子のようだったが)男だ

なかったが、悲しい優越感に浸る事はできた。 世間は女性優位の風潮に向かっていて、それを好ましいとは思わ

それは三年前、馨が実は女性と知れたことで、 しかも、入院で留年し同級生となった馨は、 丹同様にIS学園の 覆されてしまう。

つまりは限られた椅子を争うライバルである。受験コースに進んできた。

当の馨は「マコトちゃんと同学年 」などとはしゃいでいたが、

丹の内心は穏やかではなかった。

きつき、 しかし、女性としての生活などに戸惑う馨は、 何かと頼ってきた。 臆面も無く丹に泣

いっそのこと馨を嫌いになれれば幸せだっただろう。

が出来すぎていた。 しかし馨から向けられる信頼と好意を無碍にするには、 丹は人間

考えが変わったら直ぐに連絡を頂戴ね」

駆け引きというものを知り尽くしているのだ。 丹の葛藤をよそに、 夜子はあっさりと、 その場は引き下がった。

`う~~!」

苛立ちを物にぶつけることすら、 生真面目な丹には出来ない。

、えーっと丹?」

恐る恐る更衣室に帰ってきた蓮が、 ばつが悪そうに声をかける。

· 道

「はひっ!」

くなる本能を必死に押さえる。 内心で「ひいいいい 冷え切った声音に、 煮えたぎるような怒りが含まれている。 いい」と悲鳴を上げながら蓮は、 逃げ出した

も恐ろしかった。 ここで逃げたら、 今良いが、後々どんな目に合うか...想像するの

悪いけど、稽古に付き合って貰うわね」

拒否は許されなかった。

その日学園の剣道場には一匹の修羅が舞い降りた。

結局の所、丹は夜子の提案を受け入れた。

誘惑に負けたのも有る。

使ってみれば、 やはり箒星の性能は打鉄とは比べ物にならない。

なにより

頼むぅぅぅぅとすがりつくようなメールが父から来れば、 嫌とは

言えない。

が偉いのだった。 丹の母と夜子は仲が良く、 杉浦家もまた嶋野家同様に、 夫より妻

()。 口() (/ 口。) /

道化ね

そう内心で丹は自嘲する。

夜子の口車に乗り箒星に乗ったものの、 機体性能だとか、 戦闘能

力とか、そう言った事とは別の次元。

つまり戦術面で丹は馨に負けそうになっていた。

そんな自分が不甲斐なく、 情け無く、 怒りを覚える。

せめて眼前のふにゃふにゃした生き物が、 もう少し真面目に戦闘

してくれれば違った。

丹は馨のことを良く知っている。

あんな戦い方をしなくても、 掃星の能力を全開にすれば、 普通に

戦えるはずなのだ。

それをしない。

望んでも誰しもが得られるわけではない力を持ちながら。

それを振るわない。それは傲慢ではないか?

押さえきれない苛立ち。

逆恨みとも言える怒り。

拭いされない嫉妬心。

それが丹の堪忍袋の緒を切断した。

三重のチェックを外し、 近接特化パッ ジ【炎神】 の真の力。

諸刃の刃であるシステムを起動する。

システム。 搭乗者の保護と機体の保全を無視し、 あらゆる性能を底上げする

ルドエネルギー を削り取って行く。 反則スレスレのこのシステムは起動すれば、 ただ動くだけでシー

稼働時間はもって五分が限界。

だが、五分あれば今の掃星なら十分に落せる。

もはや試合の勝利などどうでも良い。

心の片隅に蓄積し続けた鬱憤を叩きつけるように、 馨にぶつけた。

組み付いていた掃星を無理矢理振り払う。

システムメッセージが間接部の負荷を警告するが無視する。

刀を振るえば、 通常時の数倍のスピードと威力を持って、 敵を襲

『あわわわわり!

う。

周章狼狽する馨に、 丹は体を襲うGの痛みすら忘れるような暗い

愉悦を覚える。

頑丈な装甲に守られているので絶対防御こそ発動しないが、 閃く二刀が掃星のシールドエネルギーを削り取っていく。

たえで残撃の威力がシールドによって軽減されているのが分かる。

に刀を掃星に叩きつける。 装甲の隙間を狙うなどというまどろっこしいこともせず、 力任せ

ないらしい、 馨も必死に防御しているが、 撃でスマッシャ どうやら近接兵装を量子変換してい は両断され、 必死に両手で攻撃を

捌くハメになっている。

(やればできるじゃない!)

ツだ。 襲い来る二刀を馨は良く捌いている。 授業で習ったマーシャルア

しかし反撃する余裕は無い。

タダじゃ 7 マコトちゃん!すぐにシステムを切って!マコトちゃんも箒星も うわぁ!』

『あなたの口車には乗せられないわよ!』

ちょ!ちがっ!』

す。 瞬間的な加速で背後に回った丹が馨の脳天目掛けて刀を打ち下ろ

りぎりと圧されていく。 振り下ろされた刀を、 しかし全出力を出さない掃星が、ダメージを考慮しない箒星にぎ 掴んだ掃星の装甲が火花を散らす!

0になるレベルまで追い込まれていた。 掃星のシールドエネルギーは既に一回でも絶対防御が発動すれば

ギーは尽きていただろう。 後三秒その状態が続けば箒星が押し切り、 掃星のシー ルドエネル

しかし

『丹ごめん!』

組み合う二機の元に飛び込んできた通信。

それは簪に破れた蓮の謝罪の言葉だった。

それで均衡が崩れた、蓮からの通信と同時に、 丹は剣士の感とも

言える、 本能的な回避行動を実行

瞬前まで丹の居た空間を荷電粒子の刃が切り裂いていた。

(/ [) /

話は少し遡る。

開幕早々の突撃。

低空を這うように進んだ簪の打鉄弐式が、 呼び出した薙刀型の近

接兵装を振るう。

蓮の構えていた日本刀型の近接ブレードとぶつかり合い火花を散

らす。

薙刀型とはいうものの、 刀身の反りは浅く、 先端は鋭い、 槍に近

い兵装である。

日本刀というものが優れた近接兵装であることは事実ではあるが、

古来から槍に勝つ刀は無い、とも言われる。

まず間合いが違う。

簪が繰り出した鋭い突きを、蓮は横に機体を流しながらも、 踏み

込み、簪の懐へと入ろうとする。

しかし、それよりも早く、 簪が引いた槍が再度蓮を強襲。

慌てて蓮は大きく後退し、 その攻撃を回避する。

(くそつ...攻撃が届かない)」

蓮は心中で罵りながら、刀を下段に構え、 重心を落とす。

簪はピタリとこちらの槍をつきつけ、 万全の構えだ。 離脱しよう

にも、 機動性はあちらが上、 到底敵いそうに無い。

剣士の力量が槍使いの力量を上回れば、 十分に刀で槍に勝つ事は

可能だ。

だが。

簪の近接戦闘能力とISの制御技術。 弐式の性能

之箒であるから、確実にベスト4クラス)の剣腕を持ってしても上 回るのは難しそうだった。 それらは蓮の全中ベスト8(それも負けたのは優勝者である篠ノ

探る形で、膠着状態となり。 簪と蓮は互いに対峙し、じりじりと円を描きながら、 互いの隙を

最終的には蓮が押し切られる形で、負けた。

吸する。 崩れ落ちる打鉄に、 簪は詰めていた息を吐き、 次いで大きく深呼

無難な勝利に少しほっとしたのだ。

機体性能で圧倒していたが、弐式はこの試合が初の実戦である。

到底、 全力を出すなど危なっかしくて出来ない。

解説の先輩は、 「作戦だ」などと言っていたが、実の所はそんな

事情があった。

ッチする近接に特化している。 だったが、あちらは旧式とはいえ一品物。 そしてそれは相棒である馨の掃星も同様。 しかも搭乗者の特性にマ こちらは量産機が相手

迫している。 しかも状況は当初の作戦(ここから二機掛かりで圧倒) と違い 逼

的に機体性能を上げている状態なのだ 馨から送られてきたデータで箒星が特殊なシステムを使い、 時

馨の救援に向かうべく、 機体を飛翔させた。

る 馨と丹の死闘に魅入っていた。 方の観客席、 その一角に一夏達は陣取り、 眼前で繰り広げられ

「箒星に乗ってる子、すげぇな」

イメージして見るが、 観戦しつつも、もし自身が対峙したならば、 幼い頃、箒と共に剣を習っていた夏が感嘆の声をあげる。 かなりの強敵と推測された。 どう動くか、 脳内で

「そうだな、杉浦は強いぞ」

う。 そんな一夏に対し、丹と同じ剣道部に所属する箒も、苦々しく言

あろう。 自分と、 生身なら、丹に遅れを取る箒ではないが、 今箒星を縦横無尽に駆る丹ならば...悔しいが勝つのは丹で 果たして打鉄を纏った

くうらやましかった。 専用機ではなくとも、 一品物の特注機を駆る丹が、 今の箒には酷

知ってんのか?」

... 馨が良くマコトちゃんマコトちゃんと言ってる子だ」

スなんだろ」 ああ、 幼馴染の委員長タイプって言ってた子な、 なぁ鈴同じクラ

うるさい」

話しかけた一夏の鈴がぴしゃりと返した。

うえ、と怯む一夏。

険しい表情で眼前の試合を食い入るように見ていた。 一夏と箒以外の三人、セシリア、 鈴 シャルの三人は、 先刻から

全力を」 「そうですわ、 「だいたいにしてやり口が卑怯なのよ馨の奴ぅ...」 何がメタゲームですか、 やるなら全力を出しなさい、

き続けている。 鈴とセシリアに至っては、 さっきからブツブツと馨への呪詛を吐

はっきりいって怖い。

なぁシャ

ごめん、 一夏、ちょっと後にして、今はデータ収集に集中させて」

三人は、馨と簪のデータを収集に余念が無い。

な所だが、彼女たちは身一つでそれが可能だった。 専用機持ちの特権とでも言うべきか、生身では専用の機材が必要

一夏と、専用機の無い箒は蚊帳の外である) (ISを展開させずにデータ収集などという器用なことの出来な

それが蓋を開けてみれば、 優勝して一夏と付き合う、最大の障害はラウラだったはずなのだ。 特に鈴とセシリアは、準決勝で当たるが馨達だけに、 馨が何食わぬ顔で新型に乗って現れ、 凄みが違う。

かもパートーナーは日本代表候補生である更識簪である。 未完成と聞いていた簪の機体も、 十分に実用に耐えるレベル。

自身の特訓に忙しかったとはいえ、 そんな情報は事前にまっ たく

出回っていなかった。

馨が隠匿したからだろう。

そういった馨のやり口が、気に食わない。

脳裏に浮かぶのは、しまりの無い馨のへらりとした笑顔である。 しかも、試合内容は、 量産機を駆る一般生徒相手への"手抜き"

と言われても反論できないような内容。

これではまともにデータが取れない。

油を注ぐ。 三年生の「わざとだ」 「情報戦だ」という解説も、二人の怒りへ

こりゃぁ準決勝は血の雨が降るな」

まだ馨が勝ったとは決まらんだろう、 随分圧されているぞ」

うーん、でも馨が勝つぜ?」

何故言い切れる?」

箒星は元々馨の機体で、 それを操縦してるのは幼馴染。 この条件

で馨が負けるはずねぇよ」

箒は、 眉根を寄せる。

何の論拠は無い、だがその言葉に説得力があった。

嶋野馨とは"そういう奴" なのだ。

だが...

おもしろくないな」

なんか言ったか?」

なんでもない」

に 急に不機嫌になった箒。 まだ知り合って数ヶ月の馨のことを、 一夏が理解している、 それが箒には面白くなかった。 まるで十年来の友人のよう

なる。 会話を漏れ聞いてたシャルルまで、 なぜかよそよそしい雰囲気に

鈴とセシリアは...もうなんかイロイロマズイ。

かな...)」 「(あれ...なんか雰囲気悪いなぁ、俺なんかまた変なこと言ったの

だった。 不機嫌な女子達に囲まれて、 一夏は冷や汗が急に噴出してきたの

、(゜ロ\)(ノロ゜) /

やっと面白くなってきたわね」

「(相変わらず酷い人だ...)」

ゲスト用の特別席よりも、ある意味特等席である管制室。

そこに乗り込んできた夜子。

詰めていた千冬は、 面倒なのか、 礼儀正しく無視することにした

わよ」 と麻耶ちゃ hį ぼーっとしてないでデータ集めて、 胸揉む

ちっ」 男誘惑すんのに使いなさい。 やめて下さい !これ以上大きくなったらどうするんですかっ 千冬みたいに嫁き遅れるわよ」

思わず舌打ちする千冬、大きな世話である。

さぁて、 どうでるかしらね、 うちのバカ娘は」

嶋野も考えてのことでしょう、身内である貴方が邪魔をして...」

事前に提出された掃星のスペックからみて、明らかに低い。 管制室のモニターには掃星の状態が映し出されているが、 それは

冬は見抜いていた。 慎重な馨の性格から、 初の実戦で「慣らし」をしているのだと千

作戦なのだろうが、よくよく頭の回る奴だと感心していた。 もちろん馨 の普段の言動から「情報戦」と他者に誤解させるのも

それをぶち壊してくれたのが母親なのだが。

ちょっぴり馨が哀れに思えた千冬は「少しは優しくしてやるか」

ンツァと同情さえしている。

にならないでしょう? バカいってるんじゃないわよ、 それじゃ ウチの技術力のアピール

これが掃星のお披露目なんだから、 剥かせるような試合内容じゃないと!」 ك ا ん!と世間様のめん玉ひん

悲しいかな、夜子の言は正しい。

/ (゜ロ/) (/ ロ゜) /

残りシールドエネルギー21。

星は追い込まれていた。 ちょっと攻撃がかすっただけで0になる可能性のある数値まで掃

『馨ちゃん、大丈夫?』

『助かったよ簪たん、愛してる、結婚しよう』

... 大丈夫そうだね』

冗談は出るが、余裕は無い。

何とか危機を脱した掃星は逃げに掛かった。

1, ていた出力も全開にして、派手な鬼ごっこを箒星と繰り広げている。 既に全力出せないとか戯言いっている場合ではないので、押さえ ハンドガンを喪ったので、 実のことろ掃星にはまともな兵装が無

サブマシンガンかライフルだった。 初期装備と、 グレネードのような副兵装は有るが、 今欲 のは

残念ながらさっきから命中していない。 鬼ごっこに参加しているのは簪の打鉄弐式もだが、 荷電粒子砲は

させ、 はなかった。 三菱製のこのビームライフルはとても優秀だが、 なおかつ回避の上手い丹が駆る箒星に命中させるのは容易で 炎神を全力稼動

利だが...無い袖は触れない。 いる今ならば、 防御力が低く、 攻撃力は低くとも、 システムの稼動でシールドエネルギーを消耗して 銃弾をばら撒ける実銃の方が有

た目にも派手で、観客席は沸いている。 逃げる掃星を追う箒星を弐式が追うという、 二重の追撃戦は、 見

説の先輩は単調な内容つまらんとふて腐れている。 実況の二年生もようやく仕事とばかりにしゃ べりまくり、 逆に解

7 こりゃダメだ、 プランCで行こうか簪ちゃ h

 \Box いの?

うにしようか』 ╗ まぁ こうなっ た以上は速めに終わらせて、 デー 夕を取らせないよ

補を意識を逸らし (あまりに怖かっ 観客席でこちらを睨んでいる(データを集めている) たので) 馨は言う。 中英代表候

 \neg わかっ た

0 秒後に攻撃開始するよる

打鉄弐式とのコンタクト成功しました。 リンク開始、 シンクロ率

システムメッセー ジが流れる。 弐式にも同様のシステムメッ

ジが流れているはずだ。

【シンクロ率95%…同調完了しました】

「いくよ!」

れたミサイルランチャー が両肩と両脚に出現する。 簪の掛け声と同時に、 弐式のスピードが落ち、 変わってコー

テム起動、 【打鉄弐式がミサイル発射態勢に入ります、 サポートに入ります】 マルチロックオンシス

『ほおOLM社の二連M・M・Lだな』

『強いですか?』

商品だ、特にFCS...ロックオンシステムが優秀でな』 小学生みたいな質問だな...最高傑作とも言われてるベストセラー

『さようですか!』

。 おい い

それらは緩い弧を描いて眼前の箒星に殺到する。 四つのランチャーから二発のミサイル...計八発が一斉に発射。

丹はそれを気にはしなかった。八発程度ならば、 回避は容易い、

馨を追い詰める片手間でも十分だった。

だが

 \Box あの程度の数では...馬鹿な分裂ミサイルだと!』

ミサイルが飛び出す。 解説が叫ぶと同時にミサイルの外殻が割れ、 そこから四発の小型

×4...合計32発ものミサイルが文字通り驟雨のように箒星へ

に入らざるを得ない。 いきなり四倍に膨れ上がったミサイルに、 さすがに丹は回避行動

だな。 ...未完成と聞いていたが、 あの数のミサイルを制御するとは見事

『すごいんですか?』

『優秀とは言え、 あの半分が精々だ元々のロックシステムではな』

観客席でも、専用機持ちの三人娘達が言葉を失っていた。

「ありえませんわ...」

手動で補助したって精々20が限界よ」

そうだね...僕もそれぐらいが限界かな」

んと質問する。 素人の悲しさで、三人が深刻な理由が分からない、 一夏がのほほ

じゃぁ残りの12発はどうやってんだ?オー トか?」

だから無理だっていってるでしょう!馬鹿一夏!」

うえ…と一夏が怯む。

まさか...」

「お、なんか分かったのかシャルル?」

「たぶん、嶋野さんが制御してるんだ」

そうだな一人で無理なら二人でってわけか」

得心が言った様に一夏がぽんと手を叩く。

それこそ有り得ませんわ!他人の発射したミサイルですわよ!」

セシリアが悲鳴のような声でシャルルの説を否定する

るように飛び回っているじゃない!」 掃星に特殊なシステムが搭載されてるのかもしれない」 仮定そうだとしてもよ?見なさいよ!馨の奴、 丹の回避を邪魔す

鈴の言うとおりだった。

続けており、 ルを二つ使いミサイルの軌道を制御している簪と違い、 大量のミサイルを制御するべく、 複雑な機動を取り丹の邪魔をしている。 停止し空中に浮かんだコンソー 馨は飛行を

十発以上の他人の発射したミサイルを制御しながらあんなマネは

· まさにダークホースだね」

出来ない。

きょとんとしていた。 三人の代表候補生達の目つきが代わる。 まいち何が凄いのか分からない一夏と箒だけが置いてきぼりで、

(/p.)/

(山嵐だったっけ... これはなかなかむずかしそうだなぁ)

大量のミサイル攻撃というのは弐式に搭載予定の兵装を模したも

だ。 接兵装にしる、 というか基本的に弐式の兵装は、 弐式に搭載予定の兵装を、 荷電粒子砲にしる、 既製品で再現してあるの 薙刀型の近

に勧めたのだ。 「良く似た兵装の使用を" 経験"するのはいいことだよ」 と馨が簪

ミサイルを制御するは不可能だっ とはいえいかに最高傑作と称されるものでも、 しょげる簪に対して馨は言った。 た。 既製品にはこの数

王道だよね?」 まぁ一人で無理なら二人でやればいいんじゃ ない? 物の

実の所シャルルの推測は当たっていた。

簪が手動も含めて制御しているミサイルは二十発。

残る十二発は馨の掃星が制御していた。

掃星搭載の特殊なリンクシステムによるものである。

通常のFSCリンクとは違い

などの感覚の共有すら可能となっている。 を起動すれば、他人の放った誘導兵器のサポートはもちろん。 ハイパーセンサーともシンクロし、情報を共有するこのシステム

が知覚している情報を持っている。 今馨は掃星のハイパー センサー が知覚している情報と、 簪の弐式

見 て " がTPS... しているため、 元々後方も。 も サー いる状態だっ 視える" ドパー ソンシュ 自身を俯瞰するような、 た。 パーセンサーだが、 ティングの画面のように、 例えとしては正確ではない 弐式の視覚を共有 自身を

(やっぱこれ気持ち悪いなぁ)」

るが、 さが襲ってくる。 の方の処理が追いつかないのだろう、 初めてハイパーセンサー 越しに世界を捉えたような気持ち悪 機体が補助してくれてい

ドを送る。 長くは続けられないな、 と思いつつ制御化にあるミサイルコマン

『簪ちゃん、対閃光防御よろしくー』

強烈な閃光を周囲に撒き散らす。馨の制御可にあったミサイルの内四発が自爆。

『うるさいぞ実況』『目が―!』

だが、それでもかなり眩しい。 リーナのシステムが感知してシールドにフィルターをかけて 実際問題として、 その閃光は観客達にも相当眩しかった、 いるの 一応ア

当然、 最大の被害者はシールドの内側に居る丹である。

っている) (ハイパーセンサーで試合を見ていた約数名も似たような被害に あ

る事は避けられない。 すぐさま箒星のシステムが防御したが、 一瞬視界が真っ白に染ま

警告:対閃光防御によりセンサー の感度が一時低下します】

箒星の警告。

としかない、 丹にできるのは、 センサー 精々飛び回って攻撃が当たらないようにするこ によって増幅されている感覚は、 丹を熟練の

剣豪に変える、 しかし馨はさらに八発のミサイルにコマンドを送る。 視界程度はハンデとしては小さい。

ラフルな煙幕を吐き出しながらアリーナ内を飛び回り始めたのだ。 コマンドを受け取ったミサイル達はそれぞれ赤、 黄、 青 白のカ

す 【警告:ジャマー型ナノマシンを感知、 センサー の感度を増幅しま

□ 馨!:

『ごめんねマコトちゃん

戦うつもりのない馨に丹が怒りの声を上げる。 閃光による目潰しと、 煙幕によるジャミング、 あくまで正面から

【警告:】

襲う。 箒星の警告が完了するよりも早く、 丹の全感覚を激しいノイズが

【警告:対電子防御開始、 掃星をロスト警戒してください】 センサー をセーフモードで再起動します

が思い浮かぶ。 ステルスを発動したのだろう、 センサーは打鉄弐式を感知していたが、 先日の実習で教官を翻弄したいた姿 馨の掃星を見失っていた、

思っていなかっ あの時は「またバカやって織斑先生に叱られるわよ」 た。 程度にしか

ていた。 しかし、 自身が自分がやられるとひどく堪えることを丹は実感し

敵がまったく見えない恐怖は、 一度ハイパー センサー の超感覚を

【警告:外部より

唐突に掃星のシステムが沈黙する。

まるで拘束衣のように、重く丹の体を縛り付ける枷と化していた。スキュマキ・ジャケット、恐怖に駆られ体を動かそうとしたが、既に箒星は強化甲冑ではなく 怖に駆られ体を動かそうとしたが、既に箒星は強化甲冑ではなく、エラーを告げるシステムメッセージがディスプレイを埋め尽くす、

゙チェック・メイトだよマコトちゃん」

操縦者保護システムがエラーを吐き出した。 通信では無く生の馨の言葉が耳を打つと同時に、 最後の砦だった

後100少々残っていたシールドエネルギーがいきなり0 になっ

た。

同時に試合終了を告げるブザーが無情にも鳴り響く。

とを感知したのだ。 アリーナのシステムが箒星のシールドエネルギーが 0 になったこ

会場がどよめく。 いが、アナウンスはこの試合を馨・簪組が制したことを告げると、 未だ煙幕がアリーナ内を覆っており、 外部からは状況は分からな

ズが走って、 『ピカっと光った後に、試合場が煙幕に包まれ、 わけがわからないうちに試合が終わってしまいました さらに機材にノイ

:

『面白い戦い方だったわね』

『一人で納得してないで解説をお願いします』

が、 まず閃光ね、 センサー の感度を落すのを狙ったのね。 視界を殺すというよりは、IS の自動防御システム

続いてスモー ク、 あれはただのスモー クじゃなくて、 センサー

のジャ 防御にも使えるタイプ』 マー 効果のあるナ ノマシン入りスモー クね、 ザー

はぁ

その余波よ』 めののEA、 したところ、 スモー クヘ 強力なジャミング攻撃ね、 人間で言えば目を凝らして耳を澄ましたところに、 の対抗とし てセンサー の感度を上げて敵を捉えようと 機材がノイズを吐いたのは 止

『ほうほう』

って、とどめに眼球を抉り出された感じね』 一言で言えば、 目元をひっぱたかれた直後に、 更に目突きをくら

最悪ですな』

見事にエロい作戦ね

どこにエロスがあるんでしょうか!』

もない、 ばかねぇエロティックって意味じゃないわ、 いやらしい、 の頭をとって「え・ろ・ Ŀ١ えげ よ つない、 ろくで

あの... 褒めてるんですか?』

はぁ...そうですか、 もちろんよ、十年に一人の逸材ね、 さて気になるその嶋野選手のISですが... 絶対に我が部に入れるわ』

あ

情報が今入りました、 やはり新型のようですね登録名は【掃星】

はばきぼし》 箒星同様彗星の和名の一つですが、 それ以外は不明で

す

てるのかさっぱりわからなかったけわね』 『第三世代機だろうけど、 試合からはどんな第三世代兵装を搭載

いやーこれは準決勝が楽しみになってきましたね

その物言いは他のペアに失礼よ、 まだ第五回戦もある のだから』

おっとこれは失礼しました、 皆さんがんばってね?』

まっ たく…』

箒星を抱えてピッ な実況と解説の漫才を聞き流しながら、 1 へと戻っていた。 馨は動け なくなった

し踏み台にする。 機体を床に下ろし、 簪は同様に蓮と打鉄を抱えて反対側のピッ 丹が降り易い様にと、 馨は掃星の腕部を伸ば トへ向かっている。

そんな馨に対し、 ずっと俯いていた丹が、 顔を上げて怒鳴る。

どうしてよ!」

湿り気を帯びた声。

それを見てしまった馨が狼狽する。 その目じりには堪え切れない涙が浮かび、 頬を伝い落ちてゆく。

ど、どうしたの?どっか痛いの?すぐに医務室に

違うわよ!バカオル!」

· バ、バカオルってなにー!」

なんで、ちゃんと戦ってくれないのよ!できるでしょう?」

首を逸らす。 握り締めた丹の拳が馨の顔面を襲う、 ひぃっと悲鳴を上げて馨が

「よけるな!」

· むちゃいわないでよぉ」

だって!だって!」

自身は掃星の展開を解除して、そっと丹を抱きしめる。 泣きじゃくり始めた丹を、馨はそっと箒星から引きずり降ろし、

その胸をドンドンと無遠慮に丹が叩く。

つつ丹の背中をさすってやる。 ぐえ、 と蛙のつぶれたような声を上げながらも、 馨はやせ我慢し

ごめんねぇマコトちゃん、でもさぁ<u>」</u>

ばつが悪そうに頬をかきながら、 あまり褒められた戦い方でない、 という自覚は馨自身にもある。 馨は言う。

僕、女の子を殴ったりとか出来ないし」

ぐりぐりと容赦なく捻ってくる。丹の足が、思い切り馨の足を踏みつぶす。

· イタイですマコトさん」

誤魔化したわけでもなく、 このフェミニストは直接的に女性を攻撃することができないらし 馨は本気だった。

l

長い付き合いの丹はそれ理解した。

理解はしたが、納得はしがたい。

撃はい 銃で撃ったり、 いのかとなじる。 こちらの脳みそをフライにするようなジャマー 攻

なら平気なんだけど」 あんまり良くないよね...だから僕は整備科志望なんだって...ー 夏

準決勝はどうするのよ、鈴とセシリアさんでしょう?

まぁ頑張るよ、まだ掃星は全力全開ってわけじゃないからね」

「最後のアレはハッキングよね、どうやったの」

である。 起動中のISにどうやってそんなことができたのか、 普通は無理

あれはぶっちゃけると、 **箒星のシステムにバックドアを仕込んで**

あったから」

へえ」

まるで狙ったように、 最悪のタイミングで夜子がピットに現れた。

「オ、オカアサマナンノゴヨウデショウカ?」

「玄人向けの試合をしてくれたわねぇ馨」

オホメニアズカリキョウエツシゴク」

゙たっぷりとご褒美をあげなきゃねぇ...」

アハ、アハハハハハ、ケッコウデス」

はずの丹に逆にすがりつく馨。 蛇に睨まれた蛙の如く、 がくがくと震えながら、 抱きしめていた

「あのおばさま」

「丹ちゃんはさっさと医務室にいきなさい?ちゃんとアイシングし

ないと酷い目にあうよ?」

「はい

有無を言わさぬ様子で夜子が命じる。

- 僕もアイシング

お母さんが手伝ってあげるから、 あんたはこっちねぇ」

いやああああある、 たすけてまことちゃぁぁぁぁぁん」

だった。 そう叫びながら馨はアリー ナの暗い廊下の先へと消えていっ たの

合掌。

\(゜ □\) (/ □゜) /

「いや別に普通にバックドアの件だけ怒られただけだよ?ほんとだ

「ホントダヨ?」「私の目を見て話しなさいよ」

よ?」

いよいよ準決勝!

「まずいですわ」

「まずいわね」

「碌なデータが取れませんでしたわ」

「相変わらずやり方汚い奴...」

その記録データを持ち寄り検討していたセシリアと鈴は思わず唸 大方の予想通り、準決勝に駒をすすめたのはシードの四組。 第五試合も終わり、 いよいよ明日からは準決勝である。

ちろん仮想的はラウラである。 二人は優勝(一夏とつきあえる)に向けて猛特訓をしていた、 も

他の有象無象など眼中になかった。

かった。 ą お世辞にも相性は良くない二人だったが。そこは代表候補生であ 徹底したコンビネージョン訓練を積んだ結果、二人のペアは強

た。 たラウラが、 たが、これは一夏にシャルルが合わせているだけ、と直ぐにわかっ 何も無い、一対一を二組でやっているだけ、速攻で対戦相手を下し 実際第四試合、 一夏とシャルルのペアは逆に中々のコンビネーションを見せてい 一方のラウラ・箒組は、ひどいものだった、コンビネーションも ならば付け入る隙は有る。 箒に横槍を入れ、あっさりと試合は終了していた。 第五試合の相手など一切寄せ付けず勝利している。

(そもそもこのペアと戦うのは、この二人がラウラに勝った場合だ。

第四試合の衝撃も覚めやらぬ第五試合問題は馨と簪だった。

りと裏切り、開幕の全力奇襲(ジャマー&フラッシュ どんな戦いを見せるのか、 一瞬で試合を終わらせやがった。 何か別の意味で期待して観衆をさっく ミサイルの

結局データは取れなかった。

「そちらのお国の方はなんと?」

時間とデータが足りないって」

....同じですのね」

本職の分析官からしてこの有樣だけに、二人もお手上げだった。

あ、そうだ」

なにかいい方法がありまして?」

聞けばいいじゃない、実際に戦った連中に」

それは負け犬である私への嫌味かしら」

しかし、 剣道の有段者が放つ、静かな威圧感に思わずたじろぐ二人。 長身(身長170cm)の丹からは、自然見下ろす形になる。 自室に二人を迎えた杉浦丹は、冷めた目で二人を迎えた。 ここで引き下がるわけにはいかない。

お願 い丹!あんた以外に馨と五分に張り合った奴はいないんだも

いいませんから、 お家の事情はわたくしも理解しておりますわ なにか攻略のヒントを!」 機体の機密などと

「嫌よ、私はそんなに安い女じゃないわ」

「けちっ!」

「鈴さんっ!」

思わず叫んだ鈴を、セシリアが嗜める。

こちらは教えを請う側なのだ。

ればあっさり教えてくれるわと」 直接カオちゃんに聞いたら?可愛らしくねだったり、 色仕掛けす

「それが出来たら苦労は有りませんわ!」

あんただって知ってるでしょ!馨はボーデウッィヒと同室なんだ

から!」

何を言われるか、 わかったものでは有りませんわ!」

す。 つつ、 その様子に、ベッドでゴロゴロしながら、 そんなこと知らないわよ、 剣道日本を読んでいた、 と丹は冷たく切って捨てた。 ルームメイトの大滝蓮が助け舟を出 力 リー メイトを齧り

まぁ まぁ丹、 こんなに一生懸命頼んでるんだから、 少しくらい

_

「 連 」

「はひっ!」

底冷えのする声で丹が蓮の名を呼ぶ。

ドで物を食べるのは止めなさいって言ってるでしょう」

· ごめんな _ _

「ゴキブリ出るわよ」

やめてぇ!ゴ...とか言わないでぇ!」

助け舟あえなく撃沈。 蓮はあの黒いニンジャ蟲が大の苦手だった。 布団をかぶってガタガタ震え始めました。

゚...私はこれから独り言を言うわ」

-ヘ?」

いた私は、 「貴方たちは図々しくも、 独り言を言うわ、 人の部屋で作戦会議を始めた。 それをどうとるかは貴方達の自由よね」 それを聞

「えっと、いいの?」

意趣返しくらいしても、 「私にもねプライドってものがあるのよ、それをズタズタにされた、 罰は当たらないでしょう?」

に 剣呑な光を宿す丹の瞳と、 恐怖を覚えた鈴とセシリアが思わず抱き合う。 地獄の底から響いてくるような暗い声

「さぁて、 まずは傾向と対策からいきましょうか?」

そんな感じの事態になった。藪を突付いて蛇を出す。

『学年別個人トーナメント、 一年生の部も、 い~よ~い~よ準決勝

分となりました! オルコット・鳳鈴音の中英代表候補生コンビの対戦開始まで、 第一試合、 更識簪・嶋野馨の国産・大和撫子コンビ> Sセシリア 後五

いていただきます! 実況は放送部のスーパールーキー、 一年三組有川響が努めさせて

解説はすっかりお馴染みとなりましたグー ネ・

ゲン先輩です!』

イツの代表候補生の試合なのだがな』

ところで次の試合は別の者が解説らしいが、

『だからですよ、身内贔屓の解説されても困るんで』

『ちつ』

ょうか?』 『えー舌打ちする姿もお美しい先輩。 この試合はどうなりますでし

う料理するかにかかっている』 ひよこの中ではベテラン中のベテランである代表候補生コンビがど 『知らんよ、結局の所、 嶋野の掃星の実力が未知数すぎる。

『左様ですかー』

だ、ヘマをしたら...分かっているな?』 私だ。 次の試合の録画の準備は大丈夫か?貴様はラウラたん担当

『先輩、真面目にやって下さい』

『私は真面目だぞ』

けでも』 先輩が各ペアの立場でしたらどんな戦術を取られるかだ

どういうことだ?ド

として、 『そうだな、 ||機掛かりでもう||機を仕留める』 極め てオーソドックスにいく。 対戦相手の弱い 方を落

『タッグマッチの王道パターンですね』

『ああ、代表候補生ペアなら更識に凰をあてる』

『ほう、その心は』

龍】と相性が悪い。 の【打鉄弐式】は。 機体相性の問題だ。 実戦仕様のクロスレンジ・パワータイプの まだ調整中のオールレ ンジ・スピー ドタイプ

『なんとなくわかります』

る はよくも悪くも器用貧乏だ。そしてスピード重視のため防御力に劣 『一年にしてはよく勉強しているな。 そこに近接パワー型に張り付かれたら...ジ・エンドだ』 オールレンジタイプというの

しかも弐式はまだ未完成で不安定なのに対し、 甲龍は安定性や燃

費がすこぶる良いわけですもんね』

撃はそれをひっくり返す良い手札だからな』 スピード型に追いつけず翻弄ということもあるが、この見えない 『加えて衝撃砲という厄介な兵装も積んでいる、 ただの近接型だと 砲

『なんというか中国さんはソツが無い機体なんですね

足止めできるかに掛かってるが、これはやってみないとわからんの はさっきも言ったとおりだ、 『爆発力では劣るんだがな。 この場合はオルコットがい 掃星のデータが足らん』 かに嶋野 を

は多いぞ。 『まぁそのパターンに嵌らないようにすればい 『はい、で日本人ペアとしてはどうしたらよいのでしょうか いので、 割と選択肢

てい ルコットに更識が、 更識が踏みとどまり、 くという手もあるな。 嶋野が凰を抑えてそのまま一対一の形に持つ 嶋野がオルコットを先に倒すパター ン。

相手が代表候補生である以上、 楽勝というパター ンはなさそうで

そうだな、 ただ私としては取れるオプションが多い 方が楽しくて

好きだがな』

しかないとか、可哀想ですよねぇ』 『そうですね―織斑君みたいに、なんとかして近接して切りつける

『単純ゆえにおくが深いのだぞ。ブリュンヒルデはそれでモンド・

グロッソに優勝している』

『ははは、一緒にしちゃ可哀想ですよ』

『おまえさらっと酷いことを言うな』

ヽ(゜ロ\) (ノロ゜) ノ

弐式の調子はどう?」

... 問題無い... かな?」

もらわないと」 良かった、今日はハードな試合になるからね。 弐式にも頑張って

そういって馨は弐式を優しく撫でる。

グートルーネの解説を聞き流しながら、 馨達はアリーナで対戦相

手が出てくるのを待っていた。

第四、 第五では抑えていた各出力や、 隠しておいた兵装も、 相手

が相手だけに出し惜しみをする余裕は無い。

れていた二人だが、 最近では、授業で山田先生に翻弄され、 学園では最強の一角であることに変わりは無い ラウラにこてんぱんにさ

足りない所を補う、 キチンとコンビネーションを取れば、 強烈な組み合わせだ。 近距離型と射撃型で互いの

「でも...本当に作戦通りでいいの?」

・心配してくれれるの?優しいなぁ簪たんは」

をする。 最近周囲の女子が優しくない馨は「 うっうっう」と妙な泣きまね

「 凄く怒られるとおもうけど...」

゙まぁ大丈夫、慣れてるから」

決めた作戦の「ヒドさ」に躊躇いを覚える。 やっぱドMなんだ、と内心では酷いことを思いつつ、 簪は事前に

ただ、そうでもしないと勝てない相手だ。

り負けては困る」ということがやんわりと言われている。 政府関係者からも、「日本代表候補生が中国代表候補生にあっさ

そのクセ「勝っても困る」という意見もあるのだから度し難い。

良かったと思う簪だった。 その辺を汲んだ作戦を馨が立案したが...つくづく馨とパートナーで

る そんなことを考えていると、 対戦相手の二人がピットから出てく

- 馨!...

「なぁに鈴ちゃん?」

少々険の有る声音で鈴が呼びかけてくる。

「負けなさい!」

「堂々と無茶言わないで」

わたくしたちには負けられない事情が有るのですわ!」

える」の方に重きをおいてますよね? それ代表候補生だから、 というよりも「優勝したら一夏と付き合

目が乙女だ。

せんよ?」 「えー私も勝たないとラウラさんに嫌われちゃうんで、 負けられま

二人は平常心、平常心と念仏のように唱えながら、馨を睨む。 激昂しそうになり、はたとこれが馨の作戦だと気がつく。 ラウラの名前を出された、二人の顔が怒りで引き攣る。

沸かせる素敵な試合をね」 「だからお互いに正々堂々と良い試合をしましょ?観客の皆さんを

大げさな仕草で観客にアピールする馨。

会場のスピーカーへと、 わざと音声を流している。

璧臭い馨は、その性格ゆえに、案外とっつきやすく、生徒の好感度 はけして低くない。 傍目には美男子であり、成績優秀、社交性もある、 (まぁ好きなお笑い芸人、程度の感覚なのだが) と一見して完

観客がわっと沸き、馨を応援する声が上がる。

為である。 観客を味方につけるパフォーマンス。 正々堂々が聞いて呆れる行

くっ

観客にアピールする。 表情をゆがめたセシリアが、 すぐさまそれを笑顔にかえ、 優雅に

欧米人...金髪美人に弱いのだ。 キャーと黄色い歓声が上がる。 観客の大多数である日本人は妙に

になって欲しい」というファンも居る。 セシリアはその大人っぽい容姿で、 同級生の一部から「お姉さま

゙やるねセシリアさん、さすがだ」

される。 セシリアと馨に促され、 鈴と簪も無理矢理観客に愛想を振り撒か

か、一年坊主にしては』 『ふむ、中々エンターテイメントというもの分かっているではない

壷も押さえているしな、どこのギャルゲーだ?』 『金髪ドリル、ツインテロリ、メガネっ娘、ボーイッシュと中々に 『そうですねー。 また皆美人さんなので華があります』

ıΣ グートルーネの言いように鈴が「ロリで悪かったわね!」 また会場が沸く。 と怒鳴

笑顔を振りまくセシリアも内心穏やかではない。

けてくる馨に、きりきりと胃が痛む。 全てはこちらの平常心を煽る心理戦。 とんだ場外プロレスを仕掛

とは、 はならないし、 先月のクラス対抗戦で見せた馨の「口プロレス」も警戒しなくて 想像以上だった。 普通にIS戦闘してくれない敵がこんなにも厄介だ

さて後30秒で開始だね...お姫様方、 れますか?」 僕と一緒にダンスを踊って

馨のセリフが終わるのと同時に試合開始のブザー が鳴った。

「お断りよ!」

低空を這う様に馨目掛けて強襲をかける。 試合開始のブザーと同時に、 鈴はグー ネの予想を無視し、

馨ちゃ んは、 バカだから女の子を殴れないのよ」

昨夜の丹の独り言。

戦をした鈴には、思い当たる節があった。 馬鹿馬鹿しいと思いつつも、先月のクラス対抗戦の際、 散々模擬

ジを量子変換した際も、 ことは、 あの時は箒星を使っていた馨だったが、 確かに無かった。 一度たりとも、鈴に近接兵装を叩き付けた 近接戦闘用のパッ

ランク上の実力がある。 馨の近接戦闘能力は決して低くはない、 こと防御に関して言えば、

· バカだよね_

女の子を殴れない。

何が馨にそうさせるのかは鈴には理解出来ない。

だが、いかにも馨らしい。

だからって遠慮はしないんだからねぇ!」

低空を行く鈴とは逆に、 スター ライト 一人は共に、 馨の電子攻撃に備え、 m k ? を構え、 セシリアは高度を取る。 鈴の突撃を援護する。 機体の対電子攻撃防御能力を

最大に設定してある。

いった絡め手を好むことが分かっていた。 少ないデータからでも、 掃星の電子戦能力が高いこと、 馨がそう

想像がついた。 た助言もあり、 丹の「馨が女性にたいして直接的な攻撃手段を好まない」とい パートナーである簪に攻撃役を任せることは容易に つ

だが。 。

対する馨の行動は、 残念ながら、二人の予想とは少々違った。

(/ 🖟) /

開始のブザーと同時に、馨は掃星を打鉄弐式を庇うように、 隠す

ように、その眼前のに立ちはだかる。

弐式は両肩、 センサーをシンクロさせる特殊システムは既に起動済み。 両脚、 両椀、 計六基ミサイルランチャーをコー ルす

る。

セシリア目掛けて殺到する。 の小型ミサイルに分裂、 各ランチャー から二発ずつ放たれた大型ミサイルは、 合計四十八発のミサイルが嵐の様に、 即座に四発 鈴と

ミサイルくらいで!」

たれる。 甲龍の衝撃砲「龍咆」 が音も無く、 しかし猛烈な威力を持って放

わざと収束を甘くし、 甲龍に向かって来たミサイルの群れを容赦無く蹴散らす。 ショッ トガンのように拡散して放たれた衝

薙ぎ払う。 セシリアも、 スター ライト mk?の持続射撃モードでミサイルを

は目標に迫ることも出来ず、 長大なレー ザーの刃のように、 次々と爆発していく。 振るわれた火線に触れたミサイル

一変する。 どやっ !と言わんばかりのセシリアの表情が、 機体からの警告で

検知】 【警告: 大気中にジャマー型ナノマシン、 ザー 撹乱幕の形成を

「しまっ」

紛れ、 先日の試合で見せた派手な煙幕とは違うが、 薄い靄のような物が試合場を覆っていく。 ミサイル爆発の煙に

あんたは本当にこうゆうのが好きなのねっ!」

靄を突き破り、甲龍が掃星に迫る。

有効な戦法だからね」

てっきり接近されないように距離をとるかと思われた馨は、 その

場で鈴を迎え撃った。

とはいえ、近接兵装をコールするわけでもなく、 マンのポーズ) ただけだ。 両腕を構え (ウ

双天牙月~を馨の脳天目掛けて振り下ろす。 何故距離を取らないか。 不気味に思いつつ、 鈴は連結型青竜刀 <

鈴が畳み掛ける。 カウンター PICを使った、 気味に拳を突き出そうとする馨の機先を制し、 スウェーバックで大振りの一撃を馨は回避する。 さらに

最小に保った、 双刃という特性を利用し、 連続攻撃。 甲龍の得意パターンである。 大型武器の欠点である、 ストロー

方になる。 完全に甲龍のレンジであるクロスレンジに囚われた掃星は、 防戦

「そんなにくっついたらセシリアさんが援護できないけどいい

鈴は馨がそこに留まった理由を察していた。 連撃をなんとか回避しつつも、馨は気安い口調で鈴の話し掛ける。

機体が打鉄弐式をロストしたことを警告する。

入ったのだ。 周囲に展開したジャマー 煙幕に紛れて、弐式がステルスモー ドに

いらしい。 上空のセシリアが必死に探索しているが、 結果はあまり芳し

掃星が強烈なジャマーを垂れ流し続けているからだ。

かしら)」 (あたしの攻撃を回避しながら、 電子戦...掃星って電子戦型なの

「 鈴ちゃーん、おしゃ べりしようよー」

はしない。 相変わらず馨は、 防御は上手い、 内心で舌打ちしつつ、 鈴は返事

が、 ようもない。 ロプロレスなどと言われる馨の口撃、 この距離では通信するまでもなく、 肉声で声が届くのでどうし 本当は遮断 したいところだ

できるのは平静を保ち、無視することだけだ。

. 無視はひどいよ」

て離脱しようとする掃星に、鈴は龍咆を叩き込もうとした。 はんべそのような口調で言いながら、 僅かな連撃の切 れ目を突い

乾いた電子音がエラーを告げ、衝撃砲のロックオンが外れる。

かまわず鈴は見えない砲弾を放つが。 直撃はしない。

見られない。 僅かに掠ったようだが、 頑丈だと聞いていた掃星の装甲に損傷は

「ロックオンジャマー!?」

「ぴんぽーん」

「くっ」

れば対処の使用はあるんだよ?」 丹ちゃんから入れ知恵されたみたいだけど、そのことが分かって

なる。 こちらの戦法がばれれば、 あちらの取るべき行動は予測しやすく

えに来るのは想像がつく。 丹の口から、馨が近接戦闘を避けることが分かれば、 鈴が馨を抑

している。 それは確かに正しいの戦法なのだが、 一つ問題が有ることを失念

なる。 鈴が馨を抑えるとなると、 馨が仕掛けた情報戦に焦るあまりの、 必然セシリアの相手は簪がすることに ちょっとしたミスなのだが。

けして相性が良くないということを。 万能型の弐式は、 射撃型に偏っているブルーティアーズにとって、

なんで知ってんのよ 二人が丹ちゃんの所にい くかなーって思ったから、

蓮ちゃ

んを買収しておいたの」

カロメイト十個分で。

あの時、 学園の購買では一箱150円、 ベッ トで齧っていて丹に叱られたアレか 十箱で1500円、 安い。

· いちいちやることがセコイのよ!」

抑えがたい怒りのあまり、鈴が怒鳴る。

叫んでいるが、 元々鈴は、 怒りの沸点が低い方だ、 どうにもならない。 理性は「平常心、 平常心」 لح

そこへ

『りりり鈴さん!ヘルプミーですわ!』

たような通信が入る。 ステルスモードの弐式から奇襲を喰らった、 セシリアの泡を食っ

戦闘への切り替えが遅いセシリアに、 先日の授業で恥をかいたというのにかかわらず、 イライラが増す鈴 相変わらず近接

9 無理よ!今後を見せたら馨に何されるかわからないわ

『そうですけど!』

あんたも代表候補生なんだから!そのくらい何とかしなさいよ!』

鈴は素早く作戦を考える。

セシリアが粘る間にまず馨を下す。

機体の相性を考えれば弐式相手に自分が遅れをとることは無い。

戦で勝てると思わないことよ!」 (問題は馨をいかに早くリタイアさせるか!) 般生徒と同じ作

タッ グマッチでは基本的な戦法だと思うけど?」

うるさい!」

ングを計っていた。 怒鳴りつけてきた鈴に苦笑しつつも、 馨は次の一手を打つタイミ

てる。 用第三世代型機、 元々SHIMANOで防衛省からの要請があって試作していた軍 鈴が予想した通り、掃星は電子戦などを得意タイプISである。 一対一が基本の競技用ISとしては非常に珍しいタイプだった。 色々あってお蔵入りした機体..ということになっ

(本当はどうなってるんだか...)

の推移を注意深く観察する。 鈴の攻撃に耐えながらも、 センサーリンクで簪とセシリアの戦闘

弐式の薙刀が閃き、一基、また一基とビットが破壊され

でいるが、セシリアが圧されている。 やはりブルーティアーズは接近されると苦しいようだった。 小剣型の近接兵装 < インターセプター > で致命的な一撃こそ防い

ネルギーは1/3近くまで減らされている、 一方でこちらはといえば、 甲龍の猛攻を凌ぎきれず、 だがまだなんとかなる。 シールドエ

やっぱり鈴ちゃんは強いねえ」 おだてても手加減はしなわよ!」

そして、 本心からの言葉だったので、 攻撃を開始した。 すこし馨はしょぼん、 とする。

脳裏でトリガーを引く。

別に銃を撃ったわけでも、 ただ通信を送っただけだ。 ジャマーを発したわけでもない。

『鈴さん!後ですわ!』

秘匿回線でセシリアが警告してくる。 何事と後に意識を向けたが、 そこには無いも無い。

『ちょっとセシリア!』

げられた弐式の薙刀によって弾き飛ばされ明後日の方向に飛んでい ぽかん、と間抜けな顔をしたセシリアに簪の一撃が突き刺ささる。 意識を向けたセシリアの動きが、一瞬完全に停止する。 寸での所で、引き上げたインターセプターで防御、しかし撥ね上

武器を失ったセシリアの顔から血の気が引いていく。

『セシリア!何をぼっとしてるのよ!』

『だって一夏さんが!』

『何を言ってんのよ!』

た天秤が、弐式へと傾く。 怒鳴ってもどうすることも出来なかった、 かろうじて拮抗してい

がきをしている間に、 鈴は冷徹にセシリアを切り捨てることを決めた、 馨を落とさなければこちらが負ける。 セシリアが悪あ

馨あんた何をしたのよ!」

セシリアが完全に動きを止めた一瞬。 そして不可解なセシリアか

らの通信。

何かを馨が仕掛けたのだ。

「こうしました」

楽しげな声で馨が言うのと同時に、 再びの秘匿回線。

『鈴、好きだ』

囁くような一夏の声。

鈴がフリーズしたのは言うまでも無い。

その隙を突いた掃星が甲龍に組み付く。

「いまのは...」

合成した一夏の声だよ、そっくりでしょ?」

<u>-</u> -

「ふ?」

「ふざけんなぁぁぁ!」

怒り狂う鈴が暴れるが、 残念ながら甲龍は完全に掃星によって拘

束されていた。

腕で鈴に抱きついてくる。 器用なことに、馨は掃星の腕部をPICで保持したまま、 生身の

は、放しさいよ!」

つくのは嫌いじゃないんだよね」 女の子は殴りたくないから近接戦闘は苦手だけど...女の子とくっ

すすすと馨の手が鈴の頬と腹部を撫でる。

『なんかエローイ!ことになってます!』

『いいぞ、もっとやれ』

実況よ解説もなにやらヒートアップしていた。

「放せ!放しなさいよぉ!」

『嫌だ!鈴から...放れたくない!』

なにやら熱烈な一夏のセリフ、 しかし現実を考えれば、 虚しいば

かりである。

乙女の純情弄ぶなぁぁぁぁぁ

半泣きで叫ぶ鈴

やだ弄ぶなんて、鈴ちゃんのエッチ」

『鈴のエッチ』

波状精神攻撃に、 鈴のMPがゴリゴリと削られていく。

`コロス...ゼッタイニコロス」

正気を失った鈴は散々暴れるが、どうやっても掃星が引き剥がせ

ない。

見れば、掃星の装甲の一部がまる液体のように溶け出し、 甲龍を

拘束しているのだ。

れた甲龍のシステムに対して馨が攻撃を開始する。 どうやらケーブルのような役目を果たしているのか、 さらに触手の様なものが伸び、甲龍の各部へと侵入していく。 有線接続さ

甲龍のシステムは外部からの不正アクセスを警告するが、 その間

にも、 のお触りと一夏の囁きが繰り返され、 鈴にはなす術も無い。

『なんというか外道ですね』

『エロイな』

『ああえげつないとかいう』

いや普通にエロイだろアレは、 おオルコットが、 がんばるようだ

そうと、ブルーティアー ズのビットが掃星に照準を据える。 それも四基全て、 多少鈴を巻き込んでもやむなし、 セシリア本人は簪の猛攻を防ぎながら、 甲龍に張り付く掃星を引き剥が

初には出来なかったビット全基と機体の同時制御に成功していた。

一鈴さんをお放しなさい!』

ほぼ完璧な奇襲。

精密狙撃は、 甲龍には掠りもせず、 四条の光線が掃星に突き刺さ

ಠ್ಠ

普通ならば、大ダメージを受けてしかるべき、 単純に火力という意味では白式の雪片弐型に次ぐ、四基同時攻撃。

め。 だが、 そして平然としている。 まるで何事も無かったのように、 掃星はその攻撃を受け止

退が告げられる。 変わりに、まだシールドエネルギーの残っていたはずの甲龍

摩訶不思議な光景に、 誰もが思わず首を傾げる。

'先輩!今のは一体何事でしょう!』

『...なるほど、あれが掃星の第三世代兵装か』

『え、納得してないで説明をプリーズです!』

さっ きから気になっていたんだが、 見ろ掃星の装甲が溶け出した

 \Box

ように、甲龍に絡みついているだろう』

- 『あ、はいなんか水銀みたいな感じですね』
- 『まさしくそれだよ。 掃星は装甲表面を流体金属で覆っているんだ』
- 『流体..金属』
- 特殊な液体金属をナノマシンで制御してるんだろうな、 生徒会長
- の【霧の淑女】の水の装甲に良く似ている』
- Sにですか』 『あー日本人なのにロシアの国家代表だっていう生徒会長さんのI
- 装甲はそれが目的か...』 属全体に伝播させることで「受け流して」 『オルコットのレーザー 攻撃もだが、 外部からのダメー いるんだな、 古臭い全身 ジを流体金
- 『ほえー』
- 『良く見れば放熱用のパーツらしいものの周囲に陽炎も見える』
- 『なんか反則臭い頑丈さですね』
- シールドと併用すれば、 『そうだな、現行のISでは最強クラスの防御力を持ってるはずだ、 装甲では受け止め切れないダメージもコン
- トロールできる』

『ところで甲龍がリタイアしたのは』

- 『接触している部分からオルコットの攻撃で受けた熱量を流し込ん
- だんだろう、絶対防御が発動したんだな』
- 『うわズル』
- おੑ オルコットが落ちたな。 別に凰もオルコットも弱くは無い h
- だが、相手が悪すぎたな』
- 『そうですねぇ』
- で失礼する』 『さて、 私はラウラたんの試合に供えてアップを開始するのでこれ
- :

とにかく試合は馨達が勝った。

/(。 口/)(/口。)/

「ひっ!」「カオルゥゥゥゥ!」「馨さん!」

簪は、二人の殺意に怯え、 試合終了後、更衣室に襲撃を掛けた鈴とセシリア。 ロッカーの陰に隠れ震える。

「きゃぁ」、カオル... コロスゥゥゥゥゥ」「どったの?ではありませんわ!」「あ、二人とも乙カレー!どったの?」

そうな悲鳴を上げて戯れている。 フォ 馨に飛び掛り首を絞めようとする鈴の両腕を掴んで、 スの暗黒面に落ちた鈴がヤバげである。 馨はうれし

正々堂々とか言って置いて、 なんですのあの試合は!あとあの一

夏さんの音声はどうしましたの!」

「コロスコロスコロス...」

特性ボー カ しいけどね」 「あれはトーナメントで使おうと思って、 イド『織斑イチカ』です、 トークソフトだから歌は難 前から用意しておいた、

「お幾らなら売ってくれますの!」

迷わずブラックカードを取り出すセシリア。

· セシリアアアアアア!」

「おやああああ!」

じゃれる二人を馨が羨ましそうに、 抜け駆けをかましたセシリアに、 鈴が矛先を変える。 指を加えて見ている。

ちょ!馨さん、見てないで!助け!」

欲しければ、あげますよ?」

あっさりと言った馨に、鈴の動きが止まる。

早く行かないと席が無くなっちゃうよ」 「後で部屋に来てねー、 ところでそろそろ一夏達の試合が始るけど、

はっとした二人。

· う、 〜 」

鈴がきつい表情で馨を睨む。

鈴さん!わたくしは先に行きますわよ!」

くっ!待ちなさいよセシリア!抜け駆けするなー!」

ばたと観客席に向かう。 復讐よりも、 一夏の試合の観戦の方が大事と判断したのか、 ばた

やれやれ、さて僕らは機体の点検に行きますか」

「試合はいいの?」

「モニターで十分じゃないかな、それよりも明日の決勝に備えない

ے

「ありがとう」

「どういたしまして」

べってくれないなど知る良しも無い、鈴とセシリアだった。 ちなみに『織斑イチカ』 は 調教しないと本人そっくりにはしゃ

(ノロ゜) ノマクアイ

うしむ。

無事第準決勝には勝ったんだけどねえ

一夏&シャルルさん組VSラウラさん&箒さん組の試合で、 事故

が発生、大騒ぎ。

んだよなぁ。 なんか、 いいところは全部一夏に持って行かれちゃった気がする

ちえー。

三位決定戦と決勝戦は全て中止だし、トーナメントもこのまま続

今、先生方が会議しているところだ。

けられるかどうか...

外工作)は、生徒会長を中心に、専用機持ち&代表候補生の仕事と なり(つまりパーティで客寄せパンダしてたメンツね)。 そんなわけだから、各国各企業の関係者へのケア(という名の対

やたらと神経を使う仕事に辟易しました。

父さんバリアーが発動して助かりました。 皆して、ラウラさん件とか掃星の話聞いてくるし。例によって義

呂でゆっくり手足を伸ばしたい気分だね。 ようやく開放されて、学園に戻ってきたけど、さすがに今日は風

ラウラさんは大丈夫なのかなぁ。 と思いつつ寮へ向かう。

· 馨 !.

うお箒さん、 なんですか?なんで帯刀してるですか?真剣

ですか?

「 万が一トーナメントが続行されて!お前が優勝したら... わかるな

でなくば斬る!

と言わんばかりの迫力。

というか鍔に手をかけるのやめて下さい、 先生え!ここに危険人

物がいますぅ!

は ぁ :

ふざけて一夏とつきますう、 とか言いそうに見えるんだろうか、

僕は。

てか、 簪ちゃんが一夏と付き合うと言い出したらどうすんですか?

ま現状ではそれは無いか。

弐式の一件で二三発殴られっても一夏は文句言えない立場だしね。

興奮する箒さんを適当にあしらって、自室に戻る、 さっきのでど

っと疲れが増したよ...

ぁੑ ラウラさん、 体はもう...て、なにしてんの?」

ラウラさんが、 端末に向かってなにやら百面相している。

『そうです隊長!そこで熱い接吻を!』

通信画面の美人なお姉さんは、 どちらさまですか?

「 せ、接吻!だと...!?」

そうです、 これで織斑教官の弟君は隊長の「嫁」 です!』

え?今、嫁とか言いませんですたか?

ふむ、 隊長のお役に立てて何よりです』 よしだいたいたわかった、 ありがとうクラリッサ」

いや、ちょっと待った。

関して何か間違った理解を あと通信画面の向こうのお姉さん、 なんでラウラさんはデレを通り越してデレデレになってるの? あなた何か日本のサブカルに

馨」

「何でしょう?」

私は一夏を『嫁』にするぞ!」

もう嫁でも婿でも手篭めでも好きにしてください。 頬を赤らめ、そう主張するラウラさんはたまらなく可愛い。

というのはどうなのだ?」 時に馨、 お前は一夏の友人だと言ったな、 や...奴の好みのタイプ

つまりシスコンですね。ひとことで言うと「千冬姉」

私も教官は大好きだ!相思相愛だな!」

さんが (泣) 何を素敵理論を展開してるのですか...あーあ、 ツンツンなラウラ

な らいはサポー まぁライバルには若干出遅れ気味ですから、 もげる。 トしますかねぇ... いやもうあいつらは放っておこうか スター トダッシュく

うかな.. しばらくは皆に平等に介入して、 一夏が混乱するのを見て楽しも

よし、明日一番でキメるぞ」

お風呂入ってこよ。 あー明日は朝から血の雨の降るな、 降水確率100%。

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

「おやまぁ二人さん、仲のよろしいことで」

80台のCカップと見た。 うむ、やはり素敵なおっぱいですね?シャルルさん。 まぁ一夏ならいいかと、風呂場に侵入したら。 男子入浴中ということだったけど。 一夏とシャルルさんが一緒に風呂に入っていた。

かかかかかかり

私にもご利益があるようにと拝むことにする。

セシリアさんに負けず劣らずの美乳だ、うむ眼福。

「はいはい、悪かったですね貧相で」

はあ〜生き返る。 ちゃっちゃと体を洗って、ざぶりと湯船に浸かる。 もう疲れたし、 さっさと風呂入って寝よ。

「ししししし嶋野さん!はしたないよ!」

どの口でそんなこと言うのです貴方は。 外国では公衆浴場で水着ってのは普通のことなんだけど、国際色

豊かな学園の寮は、 貴方、 まぁ大半の生徒は自前で用意するけどね、セシリアさんとか。 一夏と一緒に入るのになんでゼンラーなんですかゼンラー。 大浴場にちゃんと水着が備えてあるのです。

さんだって」 ちゃ、 ちゃ んと一夏にあっちむいてもらってるもん! · 僕 は 嶋野

私は日本人ですから、 水着を着て風呂に入る習慣はねーのですよ。

はいはい、 ちゃんと下は隠しますからね、 これで勘弁勘弁」

上も隠そうよ!」

隠すほどのものじゃ ないのですよ、 貴方と違って」

いや隠せよ!」

うるさいなぁー夏は。

話題をそらすために、 事情聴取のあった君らは免除されたかもしれないけど、 パーチーで見世物になってきたんだ、 あの事故 疲れ

だから静かにして。

えーとお疲れさん」

はいどうも。

「う゛-嶋野さんのエッチ」

ん?シャルロットさん?それとも全然違う名前なのかな?」 「そろそろ名前で呼び合う関係になりません?ねーシャルロッ

お姉さんのサディスティックな部分がそそられるなぁ。 おやおや可愛らしい膨れっ顔して。そっぽを向きましたよ。

陥落しちゃったし。 「頑張らないとライバルは多いですよー? (あっさりラウラさんも)味方は多いほうが良いと思うけどねぇ」

耳元でそっと囁く。

来月の臨海学校が楽しそうだねぇ」

「りんかいがっこう?」

日限定空間におけるIS運用のうんたらかんたらって奴ですよ。 箒さんやセシリアさんの水着が楽しみなだなぁ 一日目は自由行動、ま、ようするに水着でビーチでやっふーね。

みずぎ...」

お、悩んでる悩んでる。

一夏は誰の水着が見たい?」

しらねーよ!てか俺もう出てもいいか?」

だし、 気兼ねしなくていいじゃない。 シャルルさんには説明した?」 一夏は僕の" 事 情 " は知ってるん

人のプライヴェー トをペラペラ言うわけ無いだろ!

それ以外だと割と口軽いじゃん。

ري ا Ь

あ、 シャルルさんがふくれっつらでこっちを見てる。

一夏と僕の秘密が気になるんだね、 恋する乙女だねえ

しかし、可愛いなぁこの生き物。

あー久々の大浴場はいいねえ。

本当は毎日でもいいんだけどねぇ。

嶋野さん、 その

シャ ルルさんの視線が腹部を向いている。

やっぱりお湯に浸かるとくっきり浮かんできちゃうなぁ

「ちょ くなっただけだよ。 っと小さいときの事故でね。 気にしないで」 昔の傷だから成長して段々大き

の良い物じゃない。 とはいえ、 下腹部から胸元近くまでの裂傷跡だ、 見ていて気持ち

水着はワンピースじゃないとダメだし、 大浴場は人の少ない時間に短時間しか入れないし。 結構面倒なんだよねえ。

あれ...三人入ってる、 だ、 誰ですか

「げ!山田先生」

あ

何しに来たんだあの人は。

うーん、うっかり風呂上りの一夏とばったり いやん。 みたいな?

あー、それっぽいとこあるなぁ

シャルルさん、ちゃんと下着は制服の下に隠してきた?

ところで男物の下着履いてるんですか?

「それどころじゃねぇだろ!」

はは、そうだねごめんごめん、 借り一ってことで」

湯船を出て、とっとこと脱衣場に向かう。

あら馨さんたら男前。

しししししし嶋野さん!」

山田先生、 一夏達が入ってるんだから侵入するとマズイですよ」

てか本当に何しに来たんですか?

ああああああ貴方はどどどどどの口でそそそそんなことを」

大丈夫ですよ、ちゃんと下は隠しましたから。 疲れたんでお風呂

に入りたかったんです」

「上も隠してください!」

いいじゃないですか、 先生の十分の一もないんだから、 ちょっと

分けてくれますか?」

それが出来たらどんなに セクハラですよ!」

そんなこんなでその日の夜は更けていった。はいはい

/(゚ロ/)(/ロ゚)/

本日10: 「あー協議の結果、 00より三位決定戦を、 トーナメントは最後まで行なうことになった。 続いて決勝戦を行なう。 いいな

凰、嶋野」

Yes, Mamm!, ,

とある理事とその派閥が強行に (以下略)

..前にもあったよね、こんなこと。

やっぱり、ラウラさんと箒さんペアは負け判定か。

一夏とシャルルさんかぁ、さてどうやって

ぁ

素敵ングなことになりそうだな。 今女子制服を纏ったシャルルさんが一組に入っていった。 これは

『ねえねえ鈴ちゃん』

『なによ、今どうやってあのドイツ

ß

『これ、隣のライブ映像』

掃星の処理能力を持ってすれば、 鈴ちゃんの机の端末に、 一組の防犯カメラの映像を送る。 この程度の不正アクセスはお茶

の子さいさいである。

(注:犯罪です)

専用機って面倒だけど便利だよね。

シャルロッテさん衝撃のカミングアウト (なんか違う)

一夏がそこのことを知っていたことバレ

一組に突撃する鈴ちゃん。

セシリアさんと箒さんも立ち上がる

そこにラウラさん登場!

そしてキス!キャー

続いて「嫁」宣言。

なぜか一夏に攻撃を開始する皆

(もちろん私が煽ったのは言うまでも無い)

6し、これで勝ったな。ふぅ

この騒ぎでボロボロになった一夏は敵じゃなかった。

シャルルさんも頑張っ たけど、 実質二対一、優勝は僕と簪さんの

ペアになったのですよ。

やれやれこれで、義母さんに叱られることも無いな。

ただ一つ不気味なことがあった

織斑先生から「場外プロレスは" ほどほど" にしておけよ」 ڔ

忠告があった。

さかついにデレ はて、ばれた以上てきっりお仕置きされると思ったんだけど...ま へぶんつ!

つけあがるな」

ごめんさい。

(, 口 /) (/ 口,) /

頭を抑えながら、半べその表情で退出する嶋野。

すね しかし...戦域支配型ISとはプロフェッサー夜子も相変わらずで

し出す。 二組の担任であるジェニーが、 机にコーヒー の入ったカップを差

職員室のコーヒーは酷くまずいんだがな...

とりあえず受け取って礼を言う。

頼んだぞ部門優勝者殿」総合優勝者様のご要望とあれば」
ガキのおもちゃには分不相応だな。 その辺は頼む」

学園に関わる荒事の元締めである私に、 端末には嶋野の専用IS【掃星】の全データが映し出されている。 夜子さんが送ってきたも

戦域支配型。

だけに見られるカテゴリ。 一機当千と言われるISの中でも、 最も戦争に適した、 軍用IS

三世代として十分なものがあるが、 りい 単体の攻撃力は、量産型に毛が生えた程度、 特化型に比べれば全体的に大人 本体のスペックも第

化、電子化された現代の軍隊にとっては天敵ともいえるだろう。 通常の電子戦を受け付けないISにすら通用する電子戦能力なの だが、トーナメントでも散々見せ付けられた電子戦能力は、 機械

さらには強力な情報戦能力。

だから。

キング能力。 あっさり稼動中のISのシステムを攻略するハッキング・クラッ

う。 おそらく学園のシステムも嶋野がその気になれば、 攻略可能だろ

実際防犯カメラの映像をあっさりと拾っていたしな。

るほど真価を発揮する。 このタイプは配下にISや機械化・電子化された兵器がいればい

ば・ 現在学園に配備されている訓練機と専用機、 ・EUの先進諸国ぐらいなら、 普通に戦争ができるな。 全てを統括下に置け

だが、 このISの本来の目的は、 そんな下らないことではない。

さすがに夜子さん。

諦めの悪い人だ。

表向きは、 確かに凶悪なISに見えるが、 このIS本来の目的は、

大気圏外での活動を主眼に置いたもの。

つまり宇宙開発用IS、その雛形。

その象徴が尋常ならざる防御力を見せ付けた流体金属装甲。

スペースデブリの直撃に耐え、 シールドとの併用により大気圏へ

の突入すら可能となっている。

情報集能力にしろ、通信管制能力にしろ、 掃星一機でその十数倍

の量の機材を代行できる。

嶋野の奴は知っているのか...?

端末を操作し、嶋野の各種データを呼び出す。

座学に関しては言う事は無い、 これだけなら今すぐ三年に飛び級

させても問題はないだろう。

だが。

実技に関して言えば、凡人の域をけして出る事は無い。

ISへの適正は並、さらには単純に身体能力が低すぎるのだ。

幼少時、 父母と死別する切っ掛けとなった事故で負った怪我の後

遺 症。

加えてインター・セクシャルという特殊な生まれ。

ISを纏えば、 そういった不利な点は全てISが補ってくれる。

ISの性能を十全に引き出すのは上手い。 だからIS性能が同等

か、勝っている分にはこいつは強い。

今回のトーナメンと優勝にしても、 掃星の性能と、 タッグマッチ

という試合形式に拠るところが多い。

整備科志望か..

賢い選択だろう。

嶋野はどう足掻こうと操縦者として。 高 み " に至れ ない。

舌先三寸の話術も、 変幻自在の戦術も、 足りない物を補うため

必死の努力の結果。

「難儀なことだな」

それをぶち壊しにしてくれたのが夜子だ。

まぁプロフェッサーの身内である以上は」

ジェニー が肩を竦める。

この業界で「博士」といえば篠ノ之束。

「教授」といえば嶋野夜子である。

特徴はトラブルメーカーであること。

間の常識を知っていて、その上でそれを無視するから性質が悪い。 夜子は束のように超俗的 (真性の天才) ではないが、きちんと世

束は「空気が読めない」夜子は「空気を読んだ上でぶち壊す」

結果的に周囲にとんでもない被害を撒き散らす。

ここ数年大人しくしていた夜子が急に色々と動き始めた。

ロクでもないことになりそうだな

海人さんと少し話をしておく必要が有るな...

夜子の夫である、あれはあれで色々と問題のある人物のドヤ顔を

思い浮かべつつ、コーヒーを啜る。

やはりマズイ。

織斑先生!ジェニー 先生!また嶋野さんに~」

やれやれ... 山田先生が半泣きで教務室に飛び込んできた。

モヒトツマクアイヽ(・ロヽ)

【引越しにまつわる悲喜交々】

一今…なんて?」

ガタガタ震えながら、 「うっとおしい」とか言われるけど気にしない。 傍らにいたラウラさんに抱きつく。

ですから、お引越しです、 いやぁぁぁぁぁ!ラウラさんと離れたくないぃぃぃぃぃぃ 嶋野さんは直ぐに準備を」

首をぶんぶん振りつつ悲鳴を上げる。

「うるさい。耳元で喚くな」

わけにはいきません。 トレードします」 デュノアく...さんが女性と判明した以上、織斑くんと同室という とにかく緊急措置ということで、 嶋野さんと

「そうだな、嫁とフランス女が同室など認められん」

ああああ スたん (ベルギー) でもミーシャたん (ロシア) でもいいですから 「せめて他の部屋にしてぇぇぇ、ゾフィーたん (米国) でもアイリ

でダメです」 「一人で寮生活している子には、 宗教上など色々理由がありますの

うわぁぁぁぁぁん!

なんだよー 山田先生のくせにー、 シャルルさんが女の子だなんて

1mmも疑ってなかったくせに!

「それとこれとは関係ないじゃないですかぁ!

「お前気がついていたのか」

「二日で気が付きましたよ...だいたい織斑先生も気がついてたんで

しょう?」

「ノーコメントだ」

゙ずるっ!大人ってずる アウチっ!」

「教官への批判はゆるさん」

たいです。 いたっ! あでもちょっと気持ちいいかも、 痛い!経絡秘孔のツボでも突いてるんですか?すごくい あっ、 らめえ!

教官」

先生と呼べと言っているだろう」

何?ラウラさんに名案あり?僕と離れたくないってこと?

私が変わりに嫁と同室というのは如何でしょうか?」

ううう うわぁぁぁ hį ラウラさんが自分の欲望に忠実になってるぅぅぅ

いいかげん離れる、 たたでさえ日本はしめっ

僕とラウラさんの頭上に織斑先生の鉄拳制裁が降って来た。

ねばらん」 人連中が今回の事故の件でグダグダ言わんよう、 いかガキ共、 私はこれから下らんパーティーに出て、 睨みを利かせにか アホな大

「う...申し訳ありません」 誰が姐さんだ、 馬鹿者。 ...もう私が何を言いたいか分かるな?」 \neg お勤めご苦労さまです姐さ l1 _

これ以上私の手を煩わせるな、 ですね。 わかります。

「…」a」「は~い…」

僕が承諾したので、先生達は引き上げていく。 これ以上ごねるとさすがにマズそうだ、 命の危険を感じる。

さようなら楽園の日々。さようなら僕の妖精さん。

-馨_」

なんですか?ラウラさんも寂しいですか?」

荷造りを開始したところでラウラさんが話しかけてくる。

な虫がつかんようにしろ」 「お前なら、 嫁が欲情することもあるまい。 嫁の世話を任すぞ、 妙

コンコンとドアがノックされた。ううう、ひどい。

'開いてますよー」

夏だった。 入室してきたのは荷物を持ったシャルルさんと、その手伝いの一

とりあえず雰囲気が重い。

たラウラさんに、 みたいだ。 まぁいきなり態度を変えて「嫁」とか言ってファーストキスを奪 さしもの一夏もどう対応していいか、 わからな

ルルはあんまりラウラさんとは仲良くなかったし。 何より恋

敵だもんなー

るしなー ラウラさんも、 **|-**ナメントではシャルルさんに止めを刺されて

「えーと、よろしく」

「よろしくだ」

お、案外素直に返事を返した。

に評価してるのか... ふーん。 やっぱIS戦で負けたってことで、 シャルルさんのこと一定以上

一夏」

「なんだ」

ってくれない?とくにそこのダンボールは全部研究論文だから、 ソ重いんで。 「悪いけど、 よろ」 荷物多いから、 荷造りできたのからドンドン持ってい ク

「え、あ」

ンダスタン?』 『女の子同士の込み入った話をするから出てけっていってんの。 ァ

『あー了解』

やれやれ、相変わらず鈍いな。

さてと、 シャルルさん... いやシャ ルロッテさんだっけ?」

「 発音的にはシャルロット... かな」

シャルロットさんね、 えーとラウラさんと共同生活する上での注

意点をいくつか」

·おい、なんだそれは」

基本的に一般常識に疎いこと。

裸で寝るので気をつけること。

何かあったら、 織斑先生の名前を出せば何とかなること。

言うたびにラウラさんが噛み付いてくるのが可愛らしい。

その様子にシャルロットさんも胸キュンしたらしい。

て感じで。 だってラウラさん可愛いもんね、 人に懐ききって無い子猫ちゃ

ر ا ا

「痛い!痛いってば!噛み付かないで!」

「あはは」

存分に最後のスキンシップを楽しんでいる内に、 ある程度二人は

打ち解けてくれたようだ。

シャルロットさんは、 性格も良いし (案外嫉妬深いけど) ソツも

無いから大丈夫だろう。

なぁ (泣) 名残惜しいけど引っ越すか...あー ぁ このまま三人で暮らしたい

よし、じゃぁまたねラウラさん」

「嫁を任せたぞ」

はーい…そうだ、二人とも次の休日、 外出許可を取っておいて」

· · · · · · · ·

二人の歓迎会をしようよ、 もちろん一夏達も呼んで」

僕ってば気が利くよね (自画自賛)

そんなわけで帰ってきました。元の部屋に。

「はぁ...また一夏と同棲かぁ」

゙おい人聞きの悪いこと言うなよ...」

はいはい、まぁいいことも一つあるんだよね」

馬鹿だなぁー夏はなんだよ?って一夏が怪訝な顔をしている。

ってるじゃない!」 シャルロットさんが使ってベッドを存分に堪能できることに決ま

「待て」

する。 ル ンばりのダイブを慣行しようとした僕を一夏が羽交い絞めに

何をする!放せぇ!」

訳が立たないだろう。 「ふざけんな、そんな変態発言を聞いてスルー 俺がシャルのベッドを使う」 したらシャ ルに申し

なん...だと?

ガー を使うって話しになったら、 『皆聞いてよ!一夏が酷いんだよ!僕がシャ だめだ俺が使うとか変態発言を ルロットさんのベッド Ŧ

各専用機持ちさんたちと箒さんの携帯に通信を送る。

モガー!」 わー!お前は何を言ってるんだ!」

ドドドドという足音が響き。部屋のドアがぶち破られる。

さん」「嫁の浮気を正しに来たぞ」「一夏のえっち」 ー 夏 ぁ 「一夏!この不埒者が!」 「見損ないましたわ!一夏

する。 鈴ちや ん、箒さん、 セシリアさん、 ラウラさんが怒り心頭で殺到

一夏の表情がみるみる青ざめていく。

しに...」「おいイギリス」 なんで馨に抱きついてんのよ!」「成敗!」 ちちちち違う!これは」 話せばわかる!」 「一夏のバカ..」 「どうせならわたく

ふっチョロいな...

【警告:複数のISよりロックオンされています】

なんで掃星が警報をえ?

いつまで一夏にくっついているんだ!」 準決勝の恨みい!」 「 あのソフトちゃ んと動きませんのよ 「そうだ嫁から離れろ!」

ひい L١ L١ い ١١ い い L١ ١١ 飛び火したああああああああ

うるさいわよ専用機組」

制裁まで後3秒。

といったあたりで、救いの女神が舞い降りた。

丹ちゃんである。

その姿を認め、 まず鈴ちゃんが止まる、 続いて箒さんだ。

織斑先生に報告されたくなかったら、 静かにしなさい」

とうぜん割と外聞を気にするセシリアさん。 織斑先生の名前が出たので、ラウラさんも舌打ちする。

基本的には常識的なシャルロットさんも矛先を下げてくれた。

「まったく、 何かと暴力に訴えるのは女子としてどうかと思うわよ

うんうん、まったくその通りだよね。 暴力反対!

説教すればいいでしょう、説教すれば」

え

ね しが紳士・淑女というものがどういうものか教えて差し上げますわ」 嫁の心得を聞かせてやろう」「二人ともちょっと反省が必要だよ ああその手が会ったわね」 「あ、 ひい 馨は私に任せてくれないかしら」 ١١ 「よし二人ともまず正座だ」

お説教は一時間に及んだ..

(/ D

まったく酷い目にあったぜ」

シーツも布団も枕も全部持っていっちゃったよ...残り香が」

ッコミ待ちなんだよな... 自業自得だろうが...黙ってりゃわかんないのに、 コイツは基本ツ

会するから、 夏、 外出許可取っておいてね、 次の休み、皆でラウラさんとシャルロッ 朝からでOKだから」 トさんの歓迎

それは名案だけど、外でやるのか?」 うんカラオケボックスで」

なんでカラオケなんだよ」

歌は良いよ?人類の作った文化の極みだよ?ヤックデカルチャー

カラオケか、 久々だな、 何歌おう..

, | |

スキャ ン終了 > 室内に盗聴器の存在を確認しました、 数2】

ら仕方ないんだろうけど。 ついこないだ駆除したのにまた増えてるよ。 まぁ一夏の部屋だか

に 掃星は流石だな、以前は一々機械を駆使しなくちゃならかったの 一発スキャンだし。

全部録音型だし回収して「織斑イチカ」のサンプルデータに使う

ダミーはまた、一夏の親父ギャク詰め合わせだな。

って掃除に来たらシャルロットさんの女バレ(告白だったし。 しかしこないだは間一髪だった、一夏達がいないタイミングを狙

無線型の盗聴器が生きてたらやばかったよなぁ。

まぁベッドの下に潜ってたのはそうゆうことなんですよ。

別にエロ本取り戻しにきたわけじゃないんですよ?

って誰に説明してんだ僕は...

/(゚゚ロ/)(/ロ゚)/

VTシステム暴走事故などのトラブルもあったが、 学園の個人トーナメント期間中に連日連夜開催された懇親会。

なんとか全日

程を終え、最後の懇親会は無事開催された。

会場には学園の生徒の姿も有る。

れているからだ。 成績優秀者が招かれ、 企業等のスカウトと会話する機会が設け

慮したのだろう。 ただ一年の姿は無かった、 事故の当事者も居る事から学園側 が 配

かったかのようだった。 だが会場は全体的に和やかな雰囲気で、 暴走事故など、

事故発生後、速攻で逃げ出した人間に代わり、 子が、三年の部準優勝者、グートルーネ・>・ロートリンゲンと、 イツ政府の人間を伴って会場入りしたことだった。 学園側からの圧力も有ったが、決定的だったのは 新たに派遣されたド · 教授"

終始笑顔で二人と会話する夜子。

を褒める。 政府関係者(女性)は馨の優勝の祝いを述べ、グー トルー ネも馨

いうヒドイ理由で噛み付き、規制と全廃の急先鋒だったのが夜子だ 止されたシステムだったわけだが) (もちろん色々と問題の有るシステムであったが故に結果として禁 VTシステムが発表された際「存在そのものが気に食わな

そんな彼女がドイツの関係者と談笑する。

の意味を理解しない者は、 幸い会場にはい なかった。

正直助かりました

お互い バカな身内が居ると苦労するわね、 カティ

に返す。 礼を述べるドイツ政府関係者:カティアに対し、 夜子は自嘲気味

脳裏浮かぶ のは、 旦那を筆頭とした会社と各企業のバカ共である。

すよ」 せんか、 プロフェッサーの所の皆さんは、 ドイツでもSHIMANOの製品は高く評価されておりま 皆優秀なエンジニアではあり

るけど、研究室は実質ウチのラボに横滑りしちゃったしさ」 「その教授ってやめてくんないかなぁ...|応まだ大学に籍は残って

「それでも私にとっては貴方は恩師ですので」

「まぁ教え子のピンチとあれば幾らでも協力するわよ、

男の教え子だと随分と無茶な要求をすると聞きますが」

だから、 いいじゃない、 こっちが無茶突きつけてあげるのサービスよサービス」 大体私の教え子の男共なんて皆マゾばっかりなん

酷い思い出ばかりが浮かんで、内心でちょっと悲しくなる。 本当のことだからどうにも困る、 イことをサラリと言う夜子に苦笑するカティア。 懐かしい学生時代に思いを馳せ..

しかし新型も随分と面白い機体ですね」

流体金属は三・住、 色んな所と協力して作った機体よ。 システムは足立っていう技研さん」 内装はウチ、

「まだ諦めてはいらっしゃらないんですね」

て物は腐る程あるでしょう? 用の物よ。 勿論よ、 今はまだ兵器として扱われているけどさ、 あたしにとってISは最初から、 そして今でも宇宙開発 元軍用品なん

「 はぁ... おやブリュンヒルデですよ」

会場入り した織斑千冬が、 まっさきにこちらへとやってくる。

カティア、 今回の件、 そちらで色々動いてもらえて助かっ

こちらこそ、 色々と迷惑を掛けました」

杯より ほらほら!二人して辛気臭い話はしない!千冬まずは駆けつけ三

勤務中です」

をする。 グイっ とビー ルの入ったグラスを突き出す夜子に、千冬が渋い顔

に絡まれていますので、 プロフェッサー、 グー 少し失礼します」 トルーネ嬢が、あまり質のよろしくないの

お貴族様のお守も大変ね、 いってらっしゃ いカティア

アを夜子と千冬は見送る。 カツカツとヒールを慣らして、 グー トルー ネの元に向かうカティ

を侍らせていたせいのようですね」 「どうやらボーデウィッヒの件が出ないのは、 夜子さんがカティア

に ?ところで本当なら優勝したウチの娘を見せびらかす予定だったの 別に深い意味は無いわよ?元教え子と楽しくお話して何が悪い 余計なことをしたのは誰?」 の

れましたね」 「ノーコメントです、 それより、 随分と面倒なISを送り込んでく

「何が言いたいのよ

余計なことに首を突っ込んだら 嶋野の性格を考えると、 危険すぎるオモチャだと言いたいのです、

真剣な表情の千冬に対し、 夜子がニヤニヤとした笑顔を浮かべる。

夜子さん、 真面目な話をしているのです」

鞘を捨てた日本刀って感じだったに」 あんた、 しっ か り " 先 生 " してるの ねえ... 会っ たばっ かり の頃は

「昔の話です」

世間的には見向きもされなかったそれを、 それが嶋野夜子だった。 最初にISが宇宙開発用プラッ トフォー ムとして発表された際。 評価した数少ない人物の

千冬とのつきあいもその頃からのものだ。

ばれる人間であった。 **工学、航空力学等複数の分野のエキスパートであり、** 女だてらに東大教授という地位にあった夜子は、 宇宙開発、 所謂天才と呼

携わった人物だ。 すぐさま束とコンタクトを取った夜子は、 初期からのIS開発に

が「すぐにブツ怖いおばさん」というレベルで夜子を認識している ことからも、その凄さが伺える。 けば、世界中で最もISを理解しているといっても大げさではない。 実の千冬、 束や千冬のような、最初からISの開発に係わってい 一夏、箒以外は両親すらうっすらと認識していない束 た人間 を除

のは夜子だった。 実際に、束の常人には理解しがたい思考を、 翻訳し世間に広めた

関係である。 だ生徒が非常に多いし、 教授の二つ名が指し示すように、東大で彼女に「IS学」 特にゼミ生ともなれば、 完全に親分子分の

当の教諭は完全に子分である。 現在の教員でIS学園の卒業生はほぼ夜子の教え子、 IS学園が作られてから数年間は、 当然のように教鞭をとっ 特に整備科担 た

主任。 さらにはモンド・グロッソの際には、 ナショナルチー ム付き整備

千冬にとっても【暮桜】 ISデザイナーとしても優秀であり、 の機付長である。 彼女が設計した、

あるい

は

関与した機体は名機と呼ばれる機体が多い。

まさに業界の女ドン。

まぁあんな性格なので敵も多いのだが...

けど。 大丈夫よ、馨は騒いだり、 "悪い"ことするのはダメないいこちゃんだからね」 バカなことをして叱られるのは好きだ

「何を訳の分からないこと」

「その話はまた今度、 ゆっくりお酒でも呑みながらね

「はぁ」

皺取れなくなるわよ」 ほら、 眉間の皺やめないさい、若いうちはいいけど、 年取ったら

千冬の眉間を人差し指でぐりぐりと押す夜子。

かザワザワしている。 周囲が「ブリュンヒルデを子供扱い...」 「 織斑先生可愛い...」 لح

「余計なお世話です」

も苦々しい。 やんわりと夜子の指をのける千冬、 その表情はクー ルを装いつつ

た今度ね千冬」 「もう可愛くないわねぇ。 さて私も若い子に唾つけてくるから、 ま

一当分は結構です」

去って行く夜子の背中を見送り、 仕事中だが、 正直酒の一杯も呑みたい気分だった。 溜息を吐く千冬。

お、千冬君じゃないか」

「嶋野社長、ご無沙汰しています」

てくださいよ」 ちょ、嶋野さんは織斑さんとお知り合いだったんですか!紹介し 仕事中なのかい?硬いなぁ、 昔みたいに海人でいい の

「ごめん佐々岡くん、重田くん頼むよ」

て去って行く。 はいはいと応えた佐々岡という人物が、 重田なる人物を引きずっ

ょ 「うん、馨ちゃんの専用機の件では色々お世話になってね、 「二人とも某企業のIS関連の取締役に見えましたが」 同志だ

と言われた時は嬉しかったねー、あの装甲も 「凄いでしょ?いやー 夜子さんが、大気圏に突入可能なISを作る 「(ロボットマニア仲間か...)あの掃星というISですが

頁角に覚しにはなが、思りずについみに叩だめだこの人は…ちょろ過ぎる。

頭痛を覚えた千冬が、 思わずこめかみを抑える。

たよね?きつくなったらいつでもウチでポスト用意するよ?」 いえ大丈夫です」 あれ?頭痛?IS学園の先生大変?確か結構責任の有る立場だっ (変わらないなこの人は、 マイペースでお人よしで優しい人だ)

「そう?」

正真 嶋野はあまり操縦者向きではありません」

「あ、うん。それは知ってる」

ぎかと思います、 本人も整備科を志望していましたし、 いらぬ危険が」 専用機を与えるのはやりす

大の男が公衆の面前である。次の瞬間、海人がポロポロと泣き出した。

周囲もギョっとしたし。 千冬も軽くパニックなる。

海人さん、 違うんだよ千冬くん」 すみません言葉がキツ

ううん、

取り出したハンカチで涙を拭いながら海人が首を振る。

き身のナイフみたいだった千冬くんが、 になっていてね」 「僕はね、 ちょっと感動しちゃったんだよ。 生徒を思いやる立派な先生 会ったばかりの頃は抜

いえ、その...」

どうしていいかとっさには思いつかない。 完全に子供扱いされたことのなど、 先刻の夜子と同じようなことを言っている。 何年ぶりか分からない千冬も、

かいう太い男の声はとりえず無視することにしてもだ。 嶋野さんが織斑さんに泣かされてる、うらやましいい L١ L١ ع

このままだと

あらぁ千冬。 なんでウチの旦那泣かしてるの?」

来た。 慌てて逃げ出そうとした千冬をガシっと掴む。 こんな騒ぎを見逃す夜子ではない。

も嬉しくて思わずね。 ねえ夜子さん、 千冬くんは立派に先生をやってるんだねぇ、 僕は

見ると直ぐ泣いちゃうし」 年取ると涙腺がゆるくなってダメだよね、 ちょっと泣き系のアニメ

最後でブチ壊しね」

え?何が?」

か聞こえてきている。 生徒からも「織斑先生いつも雰囲気違うね」 そろそろいつもの自分のペースに戻さないとマズイ。 なにやらイチャイチャし始めた嶋野夫妻。 「なんか可愛い」 لح

も大丈夫だよ。 できてるからね」 「あ、引き止めてごめんね。それから馨ちゃんの事は心配しなくて 勤務中なのでそろそろ失礼してもいいでしょうか」 いつだって僕らは最高性能のISを用意する準備が

相変わらしい。 いえ、そういうことではないのですが...技術屋らしくズレた所も

かせただけであって、色々とパッケー ジとかイコライザとか夜子さ んに内緒で企画したり、 「いや!違うんだよ夜子さん!今のは意気込みをね、千冬くんに聞 「へぇ...それはどういうことなのかしらね、 用意してるわけでは ア・ナ・タ」

その日の夫婦漫才も好評をはくしたそうである。いや一安定のクオリティですね」という囁き声が聞こえる。 あちこちからは「あれが業界名物の嶋野夫妻の夫婦漫才ですか」 しどろもどろに、泥沼に嵌っていく海人。

「大変でしたね織斑先生」

ああ、 ほんとですよ!胸の話ばっかりで まったく夜子さんにも困ったものだ」

帰りの車中。

嶋野夫妻の「子供扱い」が、昔からけして嫌ではない千冬なのだ そんな会話をしながらも、千冬の内心は穏やかだった。

乙女心は雨のち雨【複雑怪奇】

夕焼けに染まる放課後の教室。

誰もいない教室で二人。

一夏と僕は、臨海学校のしおりを作っている。

「悪いな手伝ってもらっちゃって」

気にしないで」

゙ でも皆と街にいくって話だったんだろ?」

うん、でも...」

しおりを折るふりをして、顔をしたに向ける。

オレンジ色の教室でもはっきりわかるくらい、 顔が真っ赤になって

いるのが、わかる。

一夏と...好きな人と二人きりの方が愉しいから...」

· えつ!?」

する。 恥ずかしさに耐えきれず、発作的に席を立ち、 蚊の啼くような小声だったけど一夏に聞こえてしまったらしい。 教室から逃げようと

「ごめんつ!」

「待てよっ!」

そんな僕の腕を一夏が掴む。

· あっ!」

ごつごつした、 つんのめりそうになった僕を一夏が抱き寄せる。 男の子の体に包まれると、 一夏の匂いがする。

「いちか..」

'逃げるなよ...」

だって...」

告白されて、答えないままとか、ないだろ?」

いちか、ぼく...」

・俺もシャルが好きだ」

ぎゅぅっと痛いくらいに強く僕を抱き締める一夏。

不自然な姿勢なのに、二人の顔が唇が.......

例えお前が男でも、もう我慢出来ない」

え?

「あ..れ?」

ここは寮の自室のベッドの上で、今は朝。ぼぅっとした頭で、周囲の状況を確認する。

. は ぁ ...」

思わず漏れるため息、あと十秒あれば...

って僕は何を考えてるんだ、 昨日の馨さんが持って来た薄い漫画本のせいだよ... 教室だし。 男同士だし。

僕 () と一夏が男同士なのに...

「夢かぁ…」

そして、 間に二回くらいは、 自分を偽ることを止めた先月末、 隣のベッドに、つい一夏の姿を探してしまう。 願望とも、 妄想ともつかぬ甘い夢を見てしまう。 あれからもう大分立つのに、 一週

目が覚めてしまうと、甘い夢の感触は急速に覚めていき、 しさだけが残る。 胸には虚

現実の一夏があんな行動にでることはまずない

腕に抱かれた感触が残って

それにしても、今日の夢は生々しかった。

だいたい、

「うにゅ」

!

感触があるのは当たり前だ。

今僕はベッドに潜り込んだ誰かに抱き締められているんだもの。

同室のラウラではない。

こっちらをすっぽりと懐に納める長身。

女性らしい柔らかさに欠ける、痩身。

「馨さん...」

ああ、 そういえば昨日は一日雨で、 夜になっても止んでいなかった

な :

馨さんの以外な弱点、雷がダメらしい。

そんな夜は一人では眠れないらしく、 事情を知っている人のベッ ド

に潜り込むのが習性なのだそうだ。

僕にラウラが教えてくれたんだよね。 先日朝起きたらラウラのベッドで馨さんが寝てい ζ 何事と思った

まぁ:: |夏のベッドに潜り込まれても困るしな..

むにゅ

幸せそうな顔だなぁ。

普段の言動から、 けど、そんなことはない。 これ幸いと胸やらお尻を触ってくるかと思ってた

ただこちらを抱えて幸せそうに眠っているだけだ。

子供の頃、母さんに抱かれて眠ったのとは少し違う感じがする。

まるで男の人のような体つきのせいだろうか。

僕も男装がまかり通るくらい中性的な顔立ちだけど、 あくまで「 か

わいい男の子」でしかない。

体型だって特性のコルセットで誤魔化してたし。

そこをいくと同じ中性的でも、 馨さんは「綺麗な男の人」 に化けれ

ると思う。

体つきも、丸みに欠けるし、胸もまっ平らだし。

だからだろうか?

父親に抱かれて眠るってのはこんな感じなのかなぁ

ない。 生憎婚外子である僕にはその経験がないから、 比較することはでき

.. とりあえず嫌じゃない。

「まだ六時か」

もう少し、 この心地良さに包まれて微睡んでいよう。

もしかしたら夢の続きも見られるかもしれない

そういえばラウラはどこへ行ったのだろう?

のベッドにはその姿はおろか、 昨晩使用し た痕跡すら無い。

まぁいっか。

目を閉じると、意識が急速に遠退いて行く。

「おやすみなさい...」

ひゃい

(/ p.)/

雀の鳴き声と、カーテン越しに差し込んでくる朝日が、 はよ起きろ

や、と言っている。

だが、断る。

この朝の微睡みほど心地好く、幸せなものはそうない。

この至福の時間を楽しまない奴はちょっとおかしい。断言する。

入学当初はやたら朝の早い箒に叩き起こされたが、その後は馨が超

絶朝に弱いこともあって、 この時間を邪魔する奴はいない。

はずだった。

ふにゅ

まさにそんな感じだろうか。

俺のベッドの中に異物が有る。

すわっ !また寝惚けた馨か!とも思ったが、 馨にしては、 柔らかす

ぎる。

俺の右腕に絡み付いてくる柔らかい感触の

ぎぎぎぎぎと言う感じでそちらを覗き込むと、 長い銀髪が見えた。

ら、ラウラ!」

左手で布団を跳ね上げる。

ドイツ代表候補生、ラウラ・ボーデウィッヒ。

千冬姉を「教官」と慕う、というか心酔する軍人娘。

日には同じクラスの皆の前で俺のファースト・キスを奪いやがった、 転校初日にクラスの皆の前でぶったかかれ、 ...トーナメントの最終

問題児だ。

問題は、 何故こいつは俺のベッドにもぐりこんで寝ているか?とこ

いつの格好だ!

馨が譲ったと推測される肌襦袢(見覚えがある)。

まったくサイズが合ってない上に、着方もなってないせいで、 はだ

けるなどという生易しいものではない。

辛うじて体に絡み付いている、と言う感じで、 なしていない。 白い裸身を隠す用を

たぶん全裸よりも扇情的な格好だろう。

なんだ...もう、朝か?」

朝か?じゃない。 なんでお前は俺のベッドで寝てるんだ。

「こうやって起こすのが日本の伝統だと聞いた」

お前に間違った日本を教えてる奴は誰なんだ..

と)』と言っていたぞ」 馨も『うん、 大筋で間違ってないよ (二次元世界では良くあるこ

奴とは一度きちんと話をする必用がある。

「だが効果はてきめんだろ」

「そうだな」

この状況で目が覚めない奴は脳みそ腐ってるわ。

`いいではないか、お前と私の仲だ」 ほら、ちゃんと着ろ」

どんな仲だよー

「夫婦とは包み隠さぬものだろう?」

親しき仲にも礼儀ありだよ!この場合は!」

とほざいて教えてくれなんだ」

そうか、だが正しい着方がわからん、

馨は『だいたいでい

うん。という感じでラウラが俺の方を向く。

俺に直せっていってんのか、おい。

くっそー

ラウラの裸を直視しないよう顔を逸らしつつ、 とりあえず腰紐できちんと縛る。 襦袢の前を合わせ

「ご苦労。まだ朝食までは随分あるな」

乱れていた髪を一度束ねて、後へ流す。

先月のトーナメントでの事故以来、 見事な銀髪が朝日を受けて、 騒ぎになってしまった。 纏っていたからよかったが、こちらは全裸だ、 向こうは馨の入れ知恵だろう、辛うじて学園指定のスクール水着を 更衣室に乱入してきたり、先日は入浴中に堂々と入ってきやがった。 俺のことを「嫁」呼ばわりし、食事は同席は当たり前、 ひどく綺麗だ。 ラウラは180度態度を変えた。 思わず悲鳴を上げて 着替え中に

脱衣所で馨が笑い転げていて、 んとかしなくては このままエスカレー トすると何をしでかすかわからんぞ。 本気の殺意が湧いたぜ。

おい

なんだよ」

そんなに見つめるな、 私にも「恥ずかしい」 という感情はある」

目の前にうそつきが居ます。

だが頬を染めて視線を逸らし恥らうラウラは、 悔しいが可愛い。 か

なり可愛い。

「だいたい鍵はどうしたんだ」

馨が空けてくれた」

おい

馨は」

今頃シャルロットのベッドの中だろう」

おい、まて

昨日は土砂降りだったからな、 許してやれ」

?なんの話だよ」

とはしゃべれん」 女同士の話だ、 いかに嫁といえど友人のプライベートをペラペラ

まぁそれはそうだけどな。

そいえばあいつ天気の悪い日は、 誰かの部屋にご厄介になることが

多いな。

なんだ雷がダメとかか、 意外と可愛いと

痛っ !何すんだよ」

'他の女のことを考えていただろう」

てきた。 て一悶着があったりして、 具体的に言うとものすげぇ怖い笑顔をした杉浦さんが注意にやっ これが切っ掛けで、取っ組み合いに発展したり、 とにかく大変だった。 箒が乱入してき

「織斑くん、ほどほどにね」

汚物を見るような目でこちらを見ないで下さい。

(, 0/) (/0,)/

その日の放課後。

朝遅刻しそうになってISを使った罰掃除も終え、 ナでの自主練習に勤しむ俺たち。 例によってアリ

先月のトーナメントからは、 ちょくちょく四組の更識さんと、 馨の

専用機持ちが、俺、 幼馴染の杉浦さんも週一くらいで参加するようになった。 馨、 鈴 セシリア、 シャル、 ラウラ、 更識さん

で七名。

+ 特注機の箒星で八機。

うだ。 (IS抜きの) 大抵の軍隊となら正面から戦争が出来るメンツだそ

「今年の一年ヤバクない?」

専用機持ち七人+ って…どこと戦争するつもりよ」

「マジ チ、バロスw」

と自主練している上級生の皆さんの呟きをハイパーセンサーが拾う。 なんなんでしょうね...

で今俺はどうなっているかというと、 箒に追い詰められていた。

1on1の練習試合。

普段はここまでキツイ事態にはならない。

近接特化型の白式にとっては同じ土俵で殴りあう、ある意味やり易 専ら打鉄の基本装備である大刀での近接戦闘を主とする箒、 い相手だった。 それは

率は五分・・ もっとも箒本人の剣の技量が俺より上な、 だったんだがなぁ 機体性能は俺が上、 で勝

「どうした一夏!打ち込んでこないか!?」

くっそー 調子に乗りやがって...

きゃー 箒さんステキー!頑張ってー!

馨うぜぇ!

今俺が追い詰められている理由、 それは箒が何時もの打鉄ではなく、

箒星を使っているからだ。

箒が箒星を使う。

「今、下らないことを考えたな?」

【警告! ^ 電磁ワイヤー接近!】

うぉ!アブねぇ

ラウラのシャヴァルツェア・レーゲンが搭載しているワイヤー ı ド。

それに良く似た感じのワイ で回避できたが、 危なかった。 ヤー 型の装備が、 真横を掠める。 間一髪

圧攻撃を仕掛けるワイヤー 白式のシステムが告げる所によれば、 (というか鞭?)らしい。 それは絡みついた対象に高電

今の箒星は、普段馨が使っている基本型でもなければ、 トで杉浦さんが使っていた二刀流装備でもない。 ナメン

と峰側は実体刀という特殊なブレード)左腕には複合シー 蒼く変化した装甲色。 右腕にブレード(刃の部分はビー ルド (マ 切っ先

シンガンとさっきのワイヤー が仕込まれている)

つまりあれだ「グ 」 だ。

箒さん !箒さん !ザ とは違うのだよ!ザ とはぁ つ て言って

.

うるさいぞ!馨。

余所見をしている場合か?」

くそっ、 も箒の調子が良いせいか、 下手に距離を取ればワイヤー 圧倒されっぱなしだ! とマシンガンが、 至近距離で

こうなればいちかばちか

:

:

「はい箒さんの勝ち~」

負けた..

鮮やか抜き胴を食らった。

装甲に覆われてない部分だったからあっさり絶対防御が発動して負

けた.. O r z

箒星は動きが機敏だな...もうとても打鉄には乗れん」

「あれはあれで安定感があって良い機体だよ?柔道経験者の人は打

鉄が好きって人が多いんだよ」

「それはそうかもしれんな、 ただ私の剣術に有っているのは機動型

りしい

くそ…和気藹々と会話しやがって

放課後はこちらに来たいと言うなら朝練だけでも出ること」 「さて篠ノ之さん、 約束だから、きちんと剣道部に顔を出してね、

「わかった」

そう箒の奴、 杉浦さんに頼み込んで箒星を借りたらし

代償はサボリ気味の剣道部へ顔を出すことらしい。

そうまでして俺に勝ちたかったか...?

ちなみにてっきり箒星を専用機にしたかと思った杉浦さんだったが。

コアに拒否されたのよ」

と言っていた、そんなことあるのか?

らしいわよ」と鈴、 の操縦者がよっぽどお気に入りだっ そんなものなのか。 たんじゃない?たまにある

初期化してないのならありえますわ」とセシリア、 ري ا

馨がきゃーきゃー言いながら逃げ回ってる、 な調子なんだよなぁあいつ。 ちなみに箒は現在馨と飛行訓練・ という名の鬼ごっこ中だ。 模擬戦だといつもあん

それにしても無様だぞ嫁」

獲物を見定める猛禽のような表情のまま、 上空を眺めながら「どちらとやっても楽しそうだな」という感じで、 ラウラが俺を詰る。

. 分かってるよ...」

官の試合の動きを見て勉強しろ」 貴様の機体は基本的に教官の【暮桜】と同じだ、 つまりもっと教

た千冬姉の真似は、 それも分かってるよ... ただ世界の強豪相手に雪片だけで勝ち上がっ ISにのってまだ3ヶ月の俺には難しい んだよ!

おい 「丁度いい、 私の所に秘蔵の試合映像が有る、 一緒に なんだ、

セシリアと鈴がラウラを引きずっていって何か会議をしている。 女

子会か?

抜け駆け...とかなんとか?

聞かないのが礼儀だよな。

ちなみにさっきからシャルはずーっと、 心ここにあらずだ。

とても幸せそうだ。

いいことでもあったのだろうか?茶柱立ったとか?いやそれは無い

じに顔が崩れるのが不気味だからじゃない。 邪魔しちゃ悪いし、そっとしておく、 けして時々ニヘラっという感

あくまで邪魔しちゃ悪いからだ。

じゃんになってもつまらんしな。 せっかく買い物に付き合ってくれる約束したのに、 機嫌を損ねてお

あ 箒が馨を捕まえたらしい。

何故か機体の展開を解除した馨が箒に抱えられて降りてきた。

箒さんにお姫様だっこされちゃっ た ぽっ」

このまま握りつぶしてやろうか?」

いやしん、 箒さんこわーい」

:無性にイラっとするな。

戻ってきたラウラと鈴もそうらしい。

次は俺」あたし」私とだ!」

えっと、 なんで三人とも怒ってるの?」

「「怒ってない!」わよ!」ぞ!」

箒さん、 なんか三人とも怖い、たしけて」

「そうだな、 どうせなら三対三でやるか?おいシャ ルロット...なん

だあの腑抜けた面は」

なんか幸せな世界にいっちゃったみたいだね

ではセシリア」

その言い方、人数あわせのようで納得いきません わ

ですが、このセシリア・オルコットがチー ムに加わわるならば、

負けはありませんでしてよ?」

する。 胸元に手を当ててえっへん。 というセシリアお得意のポーズを披露

まぁ なんでも良い」

箒の奴、 ちょっと良い機体にのってるからって調子に乗ってない

「そうだな、 嫁がハンデだが、 私が居れば問題なかろう」

ハンデ言うな」

ちなみに二位はシャルだ)がいるんからな。 確かに専用機組によるペナントレース一位のラウラと、 三位の鈴(

まぁ俺と箒と馨は何時もビリ争いで忙しいんだがな

そっちのトップはぶっちぎりで四位のセシリアじゃないか、 ならば

この勝負勝った!

悪いけど、 そこはちょっと譲ってもらえるかな?」

全員が凍りつく。

声の発生源は俺たちの真後ろ。

全員がISを纏っていたというのに、 く気が付かなかったのだ。 そこまで接近されてもまった

俺がこの学園のボス猿だいい気になんなよ、 おや生徒会長。 なんの御用です?話題の新米達にご挨拶ですか? あ? みたいな?」

生徒会長...?この人がか?更識さんに顔立ちなんかが良く似ている、 姉妹なのかな?

ただ、 誰にでもニコニコと接する馨だけに、 なにやらやたら刺々しい口調の馨が気になる。 全員が驚いている。

「相変わらずだね君は」

いつも言ってるじゃないですか。 キャラが被ってるんだって」

「君みたいな色物枠と一緒にされては困るな」

「ははは、自覚が無いなんて手遅れですね」

二人の間にバジッ!というかんじで火花が散る。

仲悪いのか・・・?

トーナメントでは簪が世話を掛けたね」

と・も・だ・ち、として当たり前の事をしただけですわ」

お礼をしようと思ってね」

なんですか?その胸の堕肉を揉ませてくれるとか?」

はははは」

. はははは

こ、怖い。二人とも笑ってるけど怖いぜ。

二人の間に発生してる圧力に、 俺を含めて全員がちょっとずつ、

人から離れ始めた。

動物的な本能が告げてる、 近くにいると危険だって。

生徒会長直々にISの実技指導をしてあげるよ、 最高のご褒美だ

ろ?このクサレドM」

お礼はお礼でも、 お礼参りのお礼ですか、 どこのヤクザですか?

嫉妬は醜いですよ?このシスコン」

· · · · · · · · ·

「死ねっ!」」

怒号と共に二人が激突した、 体何が始まっ たんだあぁぁぁぁ

女の闘い【嫉妬編】

(嫉妬の理由】

いつもと変わらぬ笑みを浮かべ。

いつもと変わらぬ態度でアリーナの廊下を行くIS学園生徒会長、

その内心を更識楯無。

その内心は「はらわたが煮えくり返る」ほどの怒りに支配されてい

た

二年生にして「学園最強」を意味する生徒会長。

学生の身で自力で第三世代型ISを組み上げた快挙。

そしてロシア国家代表。

ミステリアスな美貌に加えて豊満な肢体。

人たらしと称される程のカリスマ。

まさに才色兼備の彼女だったが、 唯一つままならぬことがある。

それが愛する妹、簪との関係であった。

楯無は簪のことが可愛くて仕方ない。

目に入れても痛くない。

しかし、 年子の姉妹などというものは、 否が応でも周囲から比較さ

れる。

簪とて世間から見れば優秀な部類ではあるが、 姉があまりに規格外

すぎた。

髪の悪戯とも言うべき一夏の出現によって、 簪は茨の道とも言える、 卑屈になるか、 あるいは徹底的に嫌い、 姉と同じ進路を選んだ。 違う道を選べばともかく、 自身のISが未完成の

鉄弐式】組み上げることすら決めてしまっている。 ままおかれた状態にあい、 簪は姉への複雑な感情から、 自力で【打

きず。 簪に嫌われたくないためがゆえに、 その全てが完璧超人たる楯無にとっ 思い切った行動に出ることもで ても悩みの種であった。

折角同じ学校にいるというのに、 入学以来一度も会話が無い。

「あの男女...」

無意識に殺気を発し始めた楯無に、 すれ違う生徒がビクリと反応し

飛びのく。

怒りの原因。

嶋野馨。

簪の周りをうろちょろする軽佻浮薄な害虫。

その存在そのものが憎い。

公衆面前で簪といちゃくな、 近いもっと離れろ(注:被害妄想です)

昼食で同席すること35回、 私なんて簪が入学して以来一度も無い

のに!(数えてるの..?)

あまつさえ...「あーん」だと?度し難い。

寮でも簪の部屋に頻繁に出入りしている。

そして先日はついに..

嫉妬由来の妄想です) お泊り、 同衾...私の簪ちゃ んを汚したその罪万死に値する」 (注:

どう殺してやるか。

にも専用機持ちとなった。 今までは我慢していたが、 先日のトー ナメントでアレもクソ生意気

刺殺か斬殺か爆殺か、 ならばアリーナで公開処刑が可能だ。

とりあえずコロス。

) コワ:

体何が始まったんだよ!」

両者ISを展開しながら、 初撃を繰り出す。

会長のフック気味の張り手が馨の顔面に激突。

それを頭部装甲で受け止め馨はパンチを会長の下腹部めがけて、 力

ウンター 気味に放つ。

水のマントの装甲がそれを受け止め、 派手に吹き飛ぶ。

要約すると初撃は相手の顔面を狙ったビンタと腹パン。

おいおい...

えーと、 なんで二人はケンカしてるのかな?」

こっちの世界にようやく帰ってきたなシャル。

その疑問も最もだ、 アリーナの中央で激突した二人はさっきから、

殴る、蹴るしかしていない。

近接武装をコールするのすらまどろっこしいといわんばかりの凄絶

な取っ組み合いだ。

物理的に、 精神的にもドン引きした俺達は、 今アリー ナの上空壁際

の辺りに待機している。

ぶっちゃけいつあの殴る蹴るが終わって、 か分からないから避難だ。 本格的な戦闘に突入する

「とりあえずケンカの理由は分からん」

「解説してやろうか?」

おお助かります。 って誰?なんか聞いたことある声だけど。

「ひっ!」

何故かラウラが悲鳴を上げた、そっちに意識を向ける。

放して下さい!ロートリンゲン先輩』(ドイツ語で脳内変換して

下さい)

ツ語で以下略) 『やだラウラ「 お姉さま」でしょ、ほらもう一回やり直し』 (ドイ

にた。 打鉄を纏った金髪巻き毛の美人さんがラウラに背後から抱きついて あと頬摺りしてる。 誰 ?

ドイツ語らしき言語で喋っている所を見るとドイツからの留学生?

だからよろしくね"お嫁さん"」 ・ロートリンゲンよ、 顔を会わせるのは初めてだったわね、 あのラウラ嫌がってるんで止めて上げて下さい、 ラウラの「 お姉さま (スー 織斑一夏。 ル的な意味で) 私はグートルー えっと先輩?」

あの、分かってて言ってますね?

「ええ、ひどい間違いを吹き込んだものね」

· あのなんとかやめ 」

美をあげないと」 勘違いしてるラウラも可愛いわ、 あとでクラリッサ大尉にもご褒

ダメだ、ドイツ人は未来を生きてる。

『ひゃう!ど、どこを触っているのです!』

 \neg ラウラはくすぐらるのが苦手なのよね...お・ へ・そ』

なんかラウラが悩ましげな...

ſĺ 夏、 見るな!こんな私を見ないでくれ...」

え?ぎゃ!

顔面というか、目の当たり目掛けて鈴のビンタが来た。

「何すんだよ鈴!ってひっ!」

一夏さん...ラウラさんに意識を向けたら撃ちますわ」

俺の周囲にブルーティアーズが四基浮かんでいる。

は、はい...で馨の奴は生徒会長とケンカしてるんでしょう?」

一人の女を巡る、二人の女の醜い争いよ」

え...なにそれ...

「生徒会長...更識の妹が嶋野のタッグパートーナーだってのは知っ

ていて?」

すもんね」 やっぱ更識さんのお姉さんなんだ、 顔だちとか髪の色とか似てま

ええ、 残念ながらバストサイズは圧倒的に更識姉が上だけどね」

そんなこと誰も聞いてないし...

すから。 あと女子の皆さん、 一々胸部を隠すのやめてください、 見てないで

ごとに更識姉は嶋野に圧力を掛けていたんだよ」 「更識妹と嶋野はタッグになる前から随分仲が良くてね、 ことある

「なんだってまた」

が抱える大罪の中でも最も罪深い感情だな」 「嫉妬だよ、英語だとジェラシー、 ラテン語だとフトー ノス。 人類

なんか中二病っぽいこと言ってるし、 この人馨と同じ臭いがする..

際でロシア国家代表。 さらにはあの美貌にあのバスト、 ああみえて更識姉は出来る女だ。二年の癖に生徒会長。 纏うISは自分で構築させたもの。 さらには人間的な魅力も備えてい 学生の分

オ色兼備の天才って奴かぁ

さて年子でそんな姉を持った妹の感情という奴が想像できるかな

「「分かります」」

なぜか同意する箒と杉浦さん。 かんねー です先輩 俺も世界最強の姉いるけど、

そうかよかったね」

学園内ではほぼ接触が無いんだ」 とにかく更識妹は姉に屈折した感情があって、 姉妹だというのに

無視された..

おーい皆して、 を送るのやめてくんないかな...結構傷つくんですけど... バカとかニブチンとかトー ヘンボクって感じの視線

接触していたいレベルでだ」 「ところがだ、 更識姉は妹が可愛くて仕方ない。 私がラウラと始終

にも泣きそうですよ? あの先輩そろそろマジでラウラを放してあげてください、 なんか今

7 ラウラは泣き顔も可愛いな、食べてしまいたいくらいだ』

『ううう』

姉の嫉妬袋の緒が切れたんだろう」 ようだし。先日はついに妹の部屋に嶋野が泊まったと聞いて、 そんな訳で嫉妬だよ。 更識妹は友人らしい友人は嶋野しかいない 更識

嫉妬袋ってなんですか、 堪忍袋じゃ ないんだから...

そういえば一昨日は夜から急に振り出して、 いったまま帰ってこなかったな... 更識さんとこに遊びに

やっぱあいつ雷だめなんだな。

まぁ、 なんだじゃぁそろそろ止めに入ろうぜバカらしい」

何故か皆の視線が痛い。 至極まっとうなことを言ったハズなんだよ

「死ねば良いのに」

「自覚ないんだ」

「度し難いな」

コレだから男は」

えーなんでー?

最新鋭機のガチンコ勝負、そうそうみられるものではない」 「しかしこれは見物だぞ、 学園最強の生徒会長とSHIMANOの

どうみてもただのケンカですって。ゲートルーネ先輩...現実見ましょうよ。

ほら。

...キャットファイトか?何故武器を使わん」

「さぁ」

「ちっつまらんな。 ラウラ、 レールカノンを用意しなさい」

は、はいお姉さま...」

えーと先輩?突っ込みどころか多すぎて

「よし、撃て」

J a

えー!!!

【女同士のケンカは怖い】

組み合っていた二機にレールカノンが着弾、 大爆発を起す。

うわー

った。 互いを蹴飛ばして回避した二機は、 ゆらりと幽鬼のように立ち上が

お遊びはこの辺までにしましょうか?」

そうだね、グートルーネ先輩のお陰で肝と頭が冷えたね」

じとーとした感じの視線を二人が送ってくる。

先輩は「はんっ!」という感じの顔で二人を見下ろす。

なんなら三機でバトロイヤルでも構わんのだぞ!」

何この人、バトルマニア?

眼下の二人は先輩を無視して、 互いに向き合った。

まず会長が武器をコールする。

あのランスとブレードもそうだ」 あのISはナノマシン入りの水を武器と装甲として使っている。

「武器をコールしないのかい?」

た義母の名に傷がつくじゃないですか」 「ご冗談を素人の組んだ機体如きに武器を使っては、 掃星を設計し

めね」 「はは、 この身は国家代表だよ?このミステリアス レイディも含

ということは多いに関係があるのではありませんか?」 「ほほほ、 その国家代表選出にしても、 あなたがIS学園の学生だ

えーと、なんで?

義務付けられてるよね」 アラスカ条約で各国、 各企業が開発したISはその詳細の公開が

あー授業で習ったなそれ。 シャルサンキュー

なるのよね」 「だけど学園に所属している場合は、 いろいろあって公開が任意に

トを学園に送り込む理由はそこだ。 「そうだな、各国が代表候補生と専用機。 各企業がテストパイロッ

わよくばワンオフを発言すれば万々歳。 はコピーできないからな」 三年間の間に山ほどデータを取り、 首尾よくセカンドシフト、 なにせワンオフアビリティ

ほえ

も事実だろうよ、 更識姉は確かに強い、 実際ロシアは国家代表用の専用ISを丸投げした だがロシアにしてもそういう思惑があるの

Ξ 分、 シャ共はお飾りより実弾がお好みのようだ」 軍用量産機の開発に全力を投入できてい る。

物騒な話だなぁ...

「パクリの分際でよく言うよ」

ね ょ 「義母さんも会長のナノマシン入りの水の利用は評価していました 水は宇宙線の遮断とか色々有用だし、 着眼点はいいわ」って

「それは光栄だね...」

えーと、 ISの武装としての評価じゃないんだな...

いえ?純粋に会長が嫌いだからです。 ...散々私を挑発してきたのは、そういうことなのかい?」 機械があればきっちりデータを盗めと厳命されてましてね」 会長も私のこと嫌いでしょ

綺麗だし、 なんだってあんなに馨は会長嫌ってるんだ? あ いつの好きな巨 いてえ!何すんだよ!

「おっぱい見てたでしょ。あの女の」

「見てないぞ」

:

死んだ魚のような目で、 まずい胸の話題は鈴にとってはタブーだ。 会長、 箒 あとグー トルー ネ先輩の胸部を

凝視している。

だい たいなんですかそのだらしない胸!見せ付けてるんですか、

この淫乱!」

はん!無乳の変態らしい、 低レベルな挑発だね?」

まな板!」

おい止める

3 「あんなのただの脂肪の塊よ...どうせ年取れば垂れるし、 てか垂れ

やばい!なんか小声で呪詛を吐いてる...鈴!帰って来い!現実世界 に帰ってくるんだ。

「それはこっちのセリフだ!私の簪ちゃんに近寄る害虫は駆除する

鈴があっちの世界に行ってしまっ の罵りあいは続いていたらしい。 ている間も、 聞くに堪えない二人

何が私の簪ちゃんだ!簪ちゃ んは僕のだ!」

ふざけるな!」

「死ねえええええ!」

人の意思が一番大事。 なんか盛り上がってるけどさ、 なぁそうだよな皆? たぶんどっちのもんでもないぞ?本

なんかさっきから皆冷たい。

したが... コールームラマサザンバー 本当は秋のキャ ノンボール・ファストまでは隠しておくつもりで

毎度だか、 んだろうけどさ。 お前恥ずかしくないのか?まぁ素早くコー ルするにはい

大型の実体刀か?いや刃が無いな」

箒さんは知らないだろうね。

だなク いや今ムラマサザンバーと言っていただろう、 スボーンガンダム×3のメイン兵装と同じだ」 ならばあれはあれ

「なんですかそれは?」

あれは映像化してないが名作だぞ、是非一度読むべきだ」

先輩は詳しすぎませんか。

掃星のコールした、 さがある) ハンドガー ド付きの大型剣(ISの全高並の長

企業ロゴが目立つなぁ。 しかし側面の三菱マー クと「ミツビシヘヴィインダストリアル」

の

【三菱重工製試作兵装:詳細不明、 大型ビームブレードと推測】 エネルギー 発生機関の内臓を確

うーん、まぁ間違ってはいないよ白式。

Fで使ってる軍用ISはあそこ製だし」 「ミツビシ製かぁ、 あそこの製品は地味に優秀なんだよね、 D

へえそうなのか、 俺にとっては車とか家電のイメージが強いんだが..

ちなみに鉛筆の三菱はグループとは関係無いんだぜ、 これトリビア

【掃星より情報リンク要請を受諾。 許可しますか?Y e s / Ν 0

うん良く分からんからYes。 と下らないことを言っていたら、 なにやら白式のシステムが告げる。

馬鹿一夏。認可したわね」

なんだよ鈴、別に良いだろ」

あんたは掃星の怖さ Yes!YesL!

馨がなんかしたな... なんだろう。 観戦 (避難) していた女子皆がYesで連打してる。

やった織斑くんの生写真引き換え券ゲット!」

私は寝起きの音声データ!」

かおるううううううう

タオルとか!どうしろっているの?馨さん!)」 一夏落ち着いて!危険だよ二人とも本気だから! (使用済み

はなせぇ !放してくれシャル!奴とは一度

うるさいぞ一夏(生写真か、 まぁ外れよりはよかろう...)

ぎゃぁ あああ ああ

これが電磁ワイヤー か : 効いたぜ、 ガクッ

はこれか」 「ふむ、 これは面白いな、 ナメントで見せた掃星の動きの良さ

あの解説を...

「動くぞ」

まず会長のランスが火を吹いた。

ガトリングガンを内臓してるらしい、 猛烈な弾幕が掃星を襲う。

いはずだ」 「ベルガ・ ギ スのショットランサーを連想したのは私だけでは無

誰に言ってんすか先輩。

弾丸は掃星の装甲に全て阻まれて激突したはしからポロポロとこぼ 流石に頭部センサーだけは庇っているが、 れていく。 まぁそれはおくとして、 - を物ともせず掃星がミステリアス・レイディに突撃をする。 残念だがまったく掃星に効いていない。 降りかかる弾丸のシャ ワ

実体弾はよほど大口径でないと意味をなさんな」 その運動エネルギーで別の弾丸の運動エネルギーを相殺している、 「そうなんですよね...」 見事だな、 弾丸の持つ運動エネルギーを流体金属装甲が受け止め、

そういえばトー かったもんなぁ ナメントの決勝戦でもシャルの攻撃は殆ど効いてな

零落白夜なら... いけるか?

やはりか!」

先輩が声を上げる。

掃星のムラマサザンバー の先端が火を吹いたからだ。

強烈な荷電粒子砲の一撃、 らの想定外の一撃。 傍目にはブレー ドにしか見えないあれか

৻ৣ৾ 回避し切れなかった会長のISの肩アー マー に突きささり、 吹き飛

あれ、でもあんまり効いてない?

なるぞ」 「ミステリアス レイディ の水の装甲も堅牢だな。 これは長期戦に

きつける。 クロスレンジに到達した掃星に対し、 会長が鞭の様な水流の刃を叩

高圧水流の剣、 ラスティ ・ネイルとかいったかな」

だのか! 狙いはムラマサザンバー、 掃星本体の防御力には通用しないと踏ん

5 : ラスティ やっぱりなぁエネルギーが噴出した。 ・ ネ イルの刃をムラマサザンバー が迎撃する。 刃の部分か

がラスティ なんというか鋸にも似た感じになったムラマサザンバー ネイルの水の刃を蒸発させて断ち切る。 のビー ム刃

ぞ さすがはHENTAI技術に定評のある三菱だな、 ド偽装荷電粒子砲じゃなくて、 遠近両用ビー 私は大満足だ ム兵装!

繰り広げている。 興奮する先輩を他所に、 眼下では会長と馨が激しい つばぜり合い を

ランスと蛇腹剣を駆使する会長。

長大なブレードをコンパクトに扱う馨.. あいつ以外にやるなぁ 本体の攻撃力と防御力は掃星が上、 操縦者の技量は明らかに会長が

よって攻防はほぼ拮抗している。

しかも二機とも防御力が高いからなんというか泥沼だなぁ。

馨の奴いつもより動きがいいわね」

はしきれてませんが、 「そうですわね、会長の攻撃をほぼ完全に見切っていますわ、 掃星の防御力で耐えてますわね」 回避

釣られて許可した情報リンクのせいだ」 「種明かしをすると、さっき貴様らが織斑の生写真やらなにゃらに

あとで覚えてろ...馨ぅ

りも上手いだろうさ」 この場にいる10機以上のISの目を借りているのだ、それは見切 実にえ (げつなく) ろ (くでもなく) い (やらしい)。

「よくわかんねーですけどズル」

まっている」 ずるくないぞ、 相手は国家代表だ、 どんな手を使ってもOKに決

国家代表には人権は無いのか...

恫喝、 私も相手が代表候補生や専用機持ちの場合は買収、 いくるめなどありとあらゆる手を使って勝ちにい

「ずる...」

· ずるくない」

いやずるいです。

,戦争には卑怯もずるいも無い、同じことだ」

そんな常在戦場はいやだなぁ

がなぁ 惜しむらくは...もう少し嶋野の身体能力が高ければ良かったのだ

え?

本の一瞬の出来事だった、 を潜り抜け、 掃星の僅かな露出部分を切り裂いた。 ラスティ ・ネイルの水流の刃が馨の防御

過信しすぎだったのもあるだろう」 極薄の水の刃だからできる攻撃だな。 嶋野も少々掃星の防御力を

射撃戦にシフトするつもりか? 会長を罵倒しながら馨が間合いを取る、 というか一気に離脱する。

一馨の奴お得意の電子戦はしないのかよ」

が悪い、 嶋野も電子戦はしない 一対一では隙が大きい上に、効果もイマイチだろう。 更識姉のISは範囲攻撃があるからな。 のだろうさ」 分かっているから しかも相手

むぅ。

でも射撃戦なら馨が有利じゃない?」

イディの武器はそれだけではない」 射撃兵装の攻撃力はなだが、 さっきも言ったがミステリアス

激しい撃ち合いを演じる二機。

兵装であると分かっ それが当たらない、 分からんがやはりエネルギーの消費が激しいのだろう。 用しないってことか... といっても馨の方は狙い済まして一撃を放っている、 た以上は技量に勝る会長には生半可な射撃は通 初撃は奇襲のような一撃だったが、 アレが射 の程度かは

· そろそろか...」

掃星が慌てたように機動を変えようとし、 先輩の呟きと同時だっただろうか。 果たせず爆発に包まれる。

なんだ!?

だが...」 入りの水を気化させ水蒸気爆発を起こす。 単発では効き目は薄そう あれがクリア・パッションとかいう奴だ。 霧状にしたナノマ シン

サーやスラスター部は装甲で覆われていないのだから」 「そうだ、これは流石にシールドで軽減せざるをえんだろう、 「上下左右前後の六方向。 その爆圧で押しつぶすんですね セン

流体金属の装甲が吹き飛び、 ってしまっている。 爆発で巻き上がった砂煙を振り払うように、 見えない空中機雷かそれは厄介だな... 地金色の二次装甲と金のまだら色にな しかし馨の奴無事なのか? 掃星が出てくる。

何より、馨の息が上がっていた。

ているな。 拮抗しているように見えてい 相手が相手だ無理もない」 たが、 やはり嶋野はかなり無理をし

うよ。 くない方法で引導を渡してあげよう」 そろそろ諦めたらどうだい?一年にしては良く頑張った方だと思 二度と簪ちゃんの部屋に止まらないと約束するな、 あまり痛

い目に会いたくなければ、 「ふふふ、なんですかその上から目線は?会長こそ僕の奥の手で痛 謝るくらいで許してあげますよ?」

「だまれダブリ変態男女」

「そっちこそ黙れ陰険へタレシスコン」

簪ちゃんと同衾とか絶対に許さん!」

と一緒に寝よ?」って出来ないんでしょう!このヘタレ!」 悔しかったら自分で頼んだらどうです?「 久しぶりにお姉ちゃ

:

なかではオルコットと私はキャラが被っているな」 同族嫌悪という奴だ。 あの二人タイプが似ている。 ちなみにこの

はぁ、 確かに金髪巻き毛枠ですね先輩は。

しかし、 の二人は。 すげえ下らない理由であんな死闘を繰り広げてんだなぁあ

ちっ」 よし分かった、 君は一度徹底的に痛めつけないとダメなようだね」

馨が舌打ちする。 なんで動かないんだ?的になっちまうぞ?

手に動けばそれでジ・ 既に周囲にクリア・パッションが仕込まれているんだろうよ。 エンドだ」 下

むし。

会長がランスを構えた。

まずい蜂の巣になっちまう、止めないと!

俺が飛び出すよりも早く。

馨の前に誰かが飛び込み立ちはだかった...あれは更識さん?

(/ 📮) /

泣きそうな顔で姉である会長を睨んでいる。

「か、簪」

゙お姉ちゃんのバカっ!」

アリーナに響き渡る怒声。

会長が驚愕の表情を浮かべる。 漫画ならガーンという効果音が入っ

たところだろうか...

なんで馨ちゃんにこんなことするの!?」

簪は、 そいつは君の思っているような奴じゃない んだ!お前は騙

されてるんだよ!」

「私の友達を悪く言わないで!」

傍目にはまさに一人の女を巡る二人の女の争い。

あれで馨が男のままなら、 過保護な姉として間違ってはいないん

だよなぁ

..会長は馨の奴が元男って知ってるみたいな口ぶりだな。

生徒会長だからか?

籊:...

「私から友達まで取り上げないでよ!」

悲痛な叫びを上げて泣き出す更識さん。

撫でる。 立ち上がった馨がそんな更識さんを抱きしめて、 よしよしと頭を

目配せする。 さっきまでの態度はどこへやら、 会長に苦笑気味の笑顔を向けて

会長が踵を返しピットへと向かう。 会長は悔しげな表情だったが、 両者の間で合意がなされたらしい。

ふむ水入りから、 まさかの更識姉TKOか、 万馬券だな」

賭け事っすか先輩!千冬姉にチクちますよ!

ても儲かるようにしてあったがな」 「安心しろ現金は賭けていない、 まぁ胴元である私はどちらが勝っ

最悪だこの人..

たのか、 ちなみに嗚咽を続ける更識さんをさらし者にするのが忍びなかっ 早々に馨は更識さんをつれてピットへ引き上げた。

あれがIS学園の「最強」である生徒会長か

強いな、 あそこまで悪相性の掃星をあそこまで追い詰めるとは...」

... おれにはただのケンカにしか見えなったぞ?

く貴重なデー そんなだからアンタは何時までも弱っちいのよ、 タが取れたわよ?」 今の戦闘、

…ぎゃふん。

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きイ 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 います。 ・ンター そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 タ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n3974s/

IS~Friend~

2011年10月21日08時11分発行